鹿児島県の中世城館跡

— 中世城館跡調査報告書 —

1987・3
鹿児島県教育委員会

序　　文

この報告書は，鹿児島県教育委員会が中世の城館跡を埋蔵文化財包蔵地として，全県的に把握するため，国（文化庁）の助成を得て昭和57年度から61年度までの５か年にわたって実施した中世城館跡調査をまとめたものです。

南北朝時代から戦国時代にかけて多くの城館が築かれましたが，江戸幕府の発した一国一城令によりほとんどのものが廃城されました。これ等の城館は江戸時代から各種の書物に記され，合戦話や悲話等とともに伝承されて人びとに親しまれてきています。

このように，人びとになじみの深い城館跡は，鹿児島県の歴史をひもとく上で貴重な文化的遺産として保護・活用がなされなければならないと考えます。

この調査の結果，県内に所在する 940 余の中世城館跡について基礎的な資料を得ることができました。

本書が，鹿児島県の歴史研究や文化財の保護のために活用されることを期待します。

終わりに，この調査に御協力をいただいた調査員及び調査補助員の方々並びに各市町村教育委員会に心から感謝いたします。

昭和62年３月

鹿児島県教育委員会
教育長　山　田　克　穂

例　　言

1　本報告書は，鹿児島県が国の補助をうけて，昭和57年度から61年度までの５か年間にわたって実施した中世城館跡調査の結果をまとめたものである。なお，麓については紙数の都合により割愛した。

2　調査は，鹿児島県教育委員会が主体となり，各地区あるいは各市町村毎に委嘱した調査員を中心として調査補助員・調査員助手，及び各市町村教育委員会等の協力を得て実施した。

3　調査の企画及び報告書の体裁等については，調査指導委員会を適時開催して指導・助言を得た。

4　本報告書は，1)概説　2)中世城館跡一覧　3)　中世城館跡分布図　4)中世城館跡略測図　5)文献一覧　6)索引　で構成した。

1)　概　説

概説については，鹿児島大学法文学部教授五味克夫，鹿児島短期大学学長三木靖両氏の調査指導の結果を原稿化していただいたものを掲載した。

2)　中世城館跡一覧

ア　市町村の配列は，鹿児島県埋蔵文化財調査報告書㊱「鹿児島県市町村別遺跡地名表」に使用されている配列に従った。

イ　城館の名称は，調査カードに記載された名称・別称を基に，調査指導委員会において決定した名称である。原則的には古文献等に用いられているものとし，文献等にあらわれていないものについては地域で一般的に呼称されているものとし，その他については字名を付して名称とした。又，市町村等において指定文化財に指定されている場合には混乱を避けるため指定名称を採用した。

ウ　所在地は，現行の行政区画による地名とした。

エ　立地は，山頂，丘陵，山麓，平坦地等その特徴を示すものとした。

オ　現況については，畑地，山林，宅地等その特徴を示すものとした。

カ　規模・形状については，規模は城館跡の範囲を○○m×○○mといった概数で示し，形状は城館跡の縄張りについて単郭ないしは複郭といった表現方法を用い，単・複で略記した。

キ　残存状況については，城館跡の残存度を良，やや良，不良，消滅の４段階とした。

ク　存続期間については，築城時期から廃城時期までを示すようにしたものの，推定，伝承については（　）書きとし，不明のものについては空欄とした。

ケ　築城者，在城者については，煩雑を避けるため○○氏といった姓氏名で示した。

コ　文献等については，煩雑を避けるため番号で示した。名称については文献一覧を参照のこと。

サ　城館跡に関する地名は，城館跡の範囲に含まれる地名等を記した。

シ　遺構については，残存する郭（曲輪・腰郭，犬走り等を含む），空堀，井戸跡，通路（堀底道を含む），虎口等の代表的な名称を記した。

ス　備考については，発掘等の有無，別称（別）や郭の名称（部），その他等について記した。

セ　資料等によって確認されたものには㊞と略記したが，多くは小幡晉氏による提供資料に負うところが大きい。

3)　中世城館跡分布図

ア　分布図は，国土地理院発行の５万分の１地形図を約７万分の１に縮尺して使用した。

イ　城館跡の範囲は，できるだけその範囲を示すようにしたが，一部その中心部を示したものもある。又消滅した城館跡についてはその中心部を●で示した。

エ　現在城館跡が記載されていない地形図についても，今後の活用の利便を計るために全て掲載した。

4）中世城館跡略測図

ア　略測図・見取図・絵図等を出来うる限り掲載するように努めたが紙数の都合で割愛したものもある。トレースは事務局で行った。なお等高線や字図等による位置的なものは除いた。

イ　スケールはできるだけ付したが，調査カードに記載のないものについては無理に記していない。スケールの単位はメートルとした。

エ　略測図は下記のように統一した。

ア）煩雑を避けるため，地形や形状が概念的に理解できるように努めた。

イ）堀はケバで示した。

エ）方位は調査カードに記されているものを利用した。

5）文献一覧

ア　原則として調査員によって提示されたものを基に作成した。

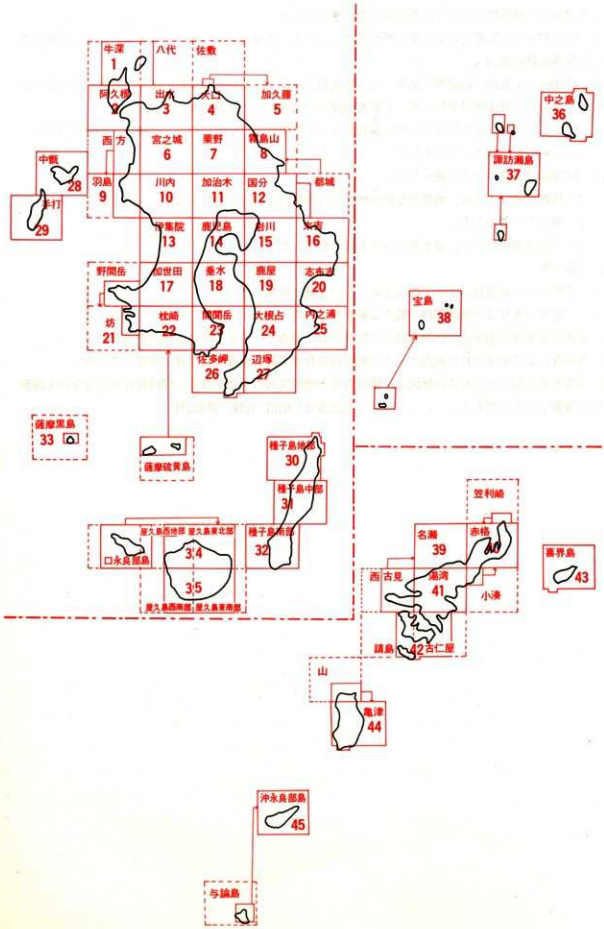
イ　一覧表の番号は中世城館跡一覧の文献番号と一致する。

6）本書の執筆及び編集は，各調査員から提出された調査カードをもとに吉永が担当した。

7）本調査により作成された調査カードは鹿児島県教育委員会事務局文化課に保管している。

8）本報告書に用いたこれらの地図は，建設省国土地理院長の承認を得て，同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。　（承認番号）昭61 九複，第352号

分布図索引


牛深
1
八代
佐敷
阿久根
2
出水
3
大口
4
加久藤
5
西方
宮之城
6
栗野
7
鶴島山
8
中甑
28
羽島
9
川内
10
加治木
11
国分
12
都城
串打
29
伊集院
13
鹿児島
14
谷山
15
知覧
16
野間岳
17
加世田
18
垂水
19
鹿屋
志布志
20
坊
21
枕崎
22
開聞岳
23
大根占
24
内之浦
25
佐多岬
26
辺塚
27
薩摩黒島
33
薩摩硫黄島
種子島北部
30
種子島中部
31
種子島南部
32
屋久島西地部
屋久島東北部
口永良部島
34
35
屋久島西南部
屋久島東南部
中之島
36
諏訪瀬島
37
宝島
38
笠利崎
名瀬
39
赤木名
40
西古見
湾
41
小湊
喜界島
43
請島
42
与仁屋
山
亀津
44
沖永良部島
45
与論島

目　　次

序　　文

例　　言

第１章　中世城館跡調査事業の概要 …… 7
　第１節　調査の経過 …… 7
　第２節　調査の方法 …… 9
　第３節　調査の組織 …… 13
　第４節　調査の成果（市町村別調査城館跡数一覧） …… 17
第２章　概　説 …… 18
　第１節　文献資料からみた鹿児島県の中世城館跡　（五味　克夫） …… 18
　第２節　研究資料からみた鹿児島県の中世城館跡　（三木　靖） …… 23
第３章　中世城館跡一覧 …… 36
　1　鹿児島市 …… 36
　2　指宿市 …… 38
　3　枕崎市 …… 38
　4　加世田市 …… 38
　5　串木野市 …… 39
　6　川内市 …… 40
　7　阿久根市 …… 42
　8　出水市 …… 43
　9　大口市 …… 44
　10　国分市 …… 45
　11　垂水市 …… 46
　12　鹿屋市 …… 47
　13　西之表市 …… 49
　14　名瀬市 …… 50
　15　鹿児島郡地区 …… 51
　　①　桜島町　②　吉田町　③　三島村
　16　揖宿郡地区 …… 51
　　①　喜入町　②　山川町　③　開聞町　④　頴娃町
　17　川辺郡地区 …… 53
　　①　坊津町　②　知覧町　③　川辺町
　18　日置郡地区 …… 55
　　①　市来町　②　東市来町　③　伊集院町　④　松元町　⑤　郡山町
　　⑥　日吉町　⑦　吹上町　⑧　金峰町

19 薩摩郡地区 …… 59
① 樋脇町 ② 入来町 ③ 東郷町 ④ 宮之城町 ⑤ 鶴田町
⑥ 薩摩町 ⑦ 祁答院町 ⑧ 里村 ⑨ 下甑村
20 出水地区 …… 65
① 高尾野町 ② 野田町 ③ 東町 ④ 長島町
21 伊佐郡地区 …… 66
① 菱刈町
22 姶良地区 …… 66
① 加治木町 ② 姶良町 ③ 蒲生町 ④ 溝辺町 ⑤ 横川町
⑥ 栗野町 ⑦ 吉松町 ⑧ 牧園町 ⑨ 霧島町 ⑩ 隼人町 ⑪ 福山町
23 曽於郡地区 …… 74
① 大隅町 ② 輝北町 ③ 財部町 ④ 末吉町 ⑤ 松山町
⑥ 志布志町 ⑦ 有明町 ⑧ 大崎町
24 肝属郡地区 …… 78
① 串良町 ② 東串良町 ③ 内之浦町 ④ 高山町 ⑤ 吾平町
⑥ 大根占町 ⑦ 根占町 ⑧ 田代町 ⑨ 佐多町
25 熊毛郡地区 …… 82
① 中種子町 ② 南種子町 ③ 上屋久町 ④ 屋久町
26 大島郡地区 …… 83
① 大和村 ② 住用村 ③ 瀬戸内町 ④ 竜郷町 ⑤ 笠利町
⑥ 喜界町 ⑦ 徳之島町 ⑧ 天城町 ⑨ 伊仙町 ⑩ 和泊町
⑪ 知名町 ⑫ 与論町
第4章 城館跡分布図 …… 88
第5章 城館跡略測図 …… 178
第6章 文献一覧 …… 208
索 引 …… 214

第1章　中世城館跡調査事業の概要

第1節　調査の経過

中世城館跡の調査研究は、鹿児島においては古くから行われており、古くは江戸時代にまで遡ることができる。しかし、埋蔵文化財包蔵地として、保護の対象として扱われるようになったのは近年になってからのことである。城館跡調査は、多くが文献、縄張り、歴史等の調査が主であったが、城館跡の遺構、遺物等をも含めた発掘調査は、昭和50・51年の九州縦貫自動車道建設に伴う鹿児島市加栗山遺跡（川上城の一部）の調査が最初である。その後、同じく九州縦貫自動車道建設に伴なう横川町中尾田遺跡（片城の一部）が昭和53・54年、シラス採土に伴う大口市平泉城跡が昭和55・56年に調査されている他、近年では国分市城山山頂遺跡（隼人城跡、昭和52・53年）、川辺町平山城跡（昭和58年）、横川町横川城跡（昭和61年）等が公園建設に伴うものや鹿児島市苦辛城跡（昭和56・57年）等住宅地建設にともなうものが多くなってきており、埋蔵文化財包蔵地として保護を図る必要性が出てきた。

県教育委員会では、この様な状況に対処するために、国の補助をうけて昭和57年度から61年度の5ヶ年にわたって中世城館跡調査を実施した。当初は、「日本城郭体系」、「市町村誌」、「遺跡地名表」等により約700余の城館跡の存在が予想され、県内を3地区（熊毛地区及び南西諸島、旧大隅地区、旧薩摩地区）に分けて4ヶ年の事業として開始したが、諸般の事情により5ヶ年にわたって事業を実施した。

各年度の事業実施経過等については、下記の通りである。

1　昭和57年度

①	事業実施内容	熊毛地区及び南西諸島地区の中世城館跡の調査（18市町村）
②	事　業　費	4,800,000円
③	実施期間	昭和57年
④	調査員数	調査員　14名（文化課職員5名を含む。1人1～3町村を担当。）
		調査補助員　18名
⑤	調査城館数	49城館
⑥	会　議　等	昭和57年11月17日　指導委員会及び熊毛地区調査打合せ会
		昭和57年11月24日　大島地区調査打合せ会

2　昭和58年度

①	事業実施内容	旧大隅国地区の中世城館跡調査
		及び昭和57年度の補充調査（39市町村）
②	事　業　費	6,000,000円
③	実施期間	昭和58年
④	調査員数	調　査　員　37名（文化課職員3名を含む。）
		調査補助員　2名
⑤	調査城館数	321城館
⑥	会　議　等	昭和58年9月12日　肝属地区調査打合せ会

昭和58年９月16日　曽於地区調査打合せ
昭和58年９月13日　姶良地区調査打合せ

3　昭和59年度

①	事業実施内容	旧薩摩国のうち出水・北薩地区の中世城館跡調査及び昭和57・58年度の補充調査（27市町村）
②	事　業　費	4,000,000円
③	実施期間	昭和59年
④	調査員数	調　査　員　27名
⑤	調査城館数	250城館
⑥	会　議　等	昭和59年７月24日　指導委員会 時和59年８月28日　出水地区調査打合せ 昭和59年８月30日　川薩地区調査打合せ

4　昭和60年度

①	事業実施内容	旧薩摩国のうち日置・南薩地区の中世城館跡調査
②	事　業　費	4,500,000円
③	実施期間	昭和60年
④	調査員数	調査員　　25名（文化課職員２名を含む）
⑤	調査城館数	248城館
⑥	会　議　等	昭和60年６月27日　日置・鹿児重地区調査打合せ 昭和60年６月28日　川辺・指宿地区調査打合せ

⑤　昭和61年度

①	事業実施内容	昭和59・60年度の補充調査及び報告書作成作業
②	事　業　費	4,500,000円
③	実施期間	昭和61年
④	調査員数	調査員　　２名
⑤	調査城館数	76城館
⑥	会　議　等	昭和61年10月６日　第１回指導委員会 昭和61年12月１日　第２回指導委員会

第２節　調査の方法

調査は、中世に築かれて当該時期に利用された城館跡（元和１年の一国一城令以前の城館跡）周知の埋蔵文化財包蔵地として、全県下について把握することを目的とし、文化庁の「中世城館遺跡総合調査について」の手引を参考に作成した「中世城館跡調査実施要項」に基づいて実施した。調査要項は年度により若干異なるが、基本的な内容の変更はない。昭和60年度の調査要項は次の通りである。

中世城館跡調査実施要項

１　目　　的

近年の開発事業は、平地から丘陵・山地に及びその地理的景観のみでなく、歴史的風土をも変貌させつつある。こうした状況に対処するため、県内各地、特に丘陵・山地に多く分布する中世城館跡の調査を実施し、その実態を明らかにするとともに、基本台帳を作成して保護立案のための基礎資料の整備を図る。

２　調査内容

１）文献調査　古文書、地誌、地方誌、字絵図、字名、研究史、論文等

２）遺構調査　名称、所在地、遺構、歴史的変遷、機能等

３）伝聞調査　伝承などの聞込み等

３　調査計画

昭和57年度　南西諸島（西之表市、熊毛郡、名瀬市、大島郡）

昭和58年度　大隅地区（大口市、伊佐郡、国分市、姶良郡、曽於郡、鹿屋市、垂水市、肝属郡）

昭和59年度　薩摩地区（出水市、阿久根市、出水郡）

昭和60年度　薩摩地区（串木野市、日置郡、加世田市、枕崎市、川辺郡、指宿市、揖宿郡、鹿児島市、鹿児島郡）

昭和61年度　整理、報告書作成

４　調査組織

１）調査指導委員　４名　調査に関する指導

２）調　査　員　各市町村１～３名、市町村に所在する中世城館跡の調査を担当する。

３）調査員補助　各市町村１～２名、文化課職員の調査に協力する。

４）調査員助手　調査員の調査に協力する。

５　調査方法

１）文献調査

当該城館に関する古文書等の文献調査及び

調査及び収集

①　近世の地誌、近代の地方誌などによる調査

②　小字集成図（または土地宝典）を基にした地名の聞込み

③　近世の古城図、中世の古文書、旧藩時代の藩政資料などによる調査

④　空中写真、地籍図（不動産登記簿付属地図等）による調査

２）遺構調査

現地で縄張り（ｍ単位）、歩測等により遺構の現況を調査し、文書、略図、写真等により記録する。

3）伝聞調査

伝承と地名について古老から聞き取り、記録する。

6　調査結果

1）基本台帳

城館ごとに作成（カード式）し、県教育庁文化課に保管する。

2）調査報告書

全県的状況、主要遺跡（城館跡）の状況等を記録し、関係機関に配布。

調査は、城館跡の所在・位置、及び範囲の確認を行い、城館跡ごとに調査カードを作成し、記入・整理した。

又特徴的な遺構や現況については写真による記録を適宜行った。

中世城館跡調査カードの様式（規格Ｂ４）

1

記入上の留意	整理番号		土塁，櫓台，のろし台，道路（大手，からめ手，搦堀道），古木他
	関連する城館番号		
1 名称	（他の名称 ）		
2 所在地	現在 市郡 区 町村		
	（旧＜明治２６年以前＞ 郡 町村大字 ）		
3 遺構の状況	現状	a.占地状況	山頂，山腹，丘陵，平地，その他（ ）
		b.周辺	山林，水田，畑，寺社境内地，宅地，その他（ ）
		c.所有関係	国有地，公有地，区有地，寺社有地，民有地，その他（ ）
	保存	d.現存状況	良，やや良，不良，消滅
		e.史跡指定	国・県・市・町・村 ：史跡・旧跡・重要遺跡
		f.他の法律・条例との関係	都市計画法（市街化区域，市街化調整区域，風致地区）
			環境保全条例（ ），森林法（ ）
		g.当面予定されている開発計画	有（ ），無
	管理	h.管理状況	
		i.遺構のある場合	全部，部分（時期（ 頃）；原因（ ））
4 の一	j）遺構の特色（郭＜単郭＞，複郭（２郭），犬走り，堀（空堀，水堀，たて堀），土塁＜折れひずみ，ます形＞，石垣，虎口，水の手＜井戸＞，櫓跡，他，磴石，		

鹿児島県教育委員会

3 遺跡の状況 その二

地種図（公図・切図）上の特色

⑤ 地籍図			
⑥ 全体図			
⑦ 古地図			

4 研究史

	執筆者	題名	発行所掲載誌	備考（刊行年）
① 概説（概況）				
② 報告				
③ 論文				
④ 報告書				
⑤ その他				

備考 発掘，調査

b 伝承（伝承者氏名 ）

c 地名

大字	小字	小字内の呼称（通称名，字名，きげ名），番号

5 史料 その一

文献	史料名	判本	備考（所蔵者）
① 古文書			
② 古記録			

鹿児島県教育委員会

5 史料 その二

d 遺物（陶磁器，武器，武具，鏡末，銭貨，古銭，すずり，糸巻，木製品他）

e その他

6 歴史的環境

a 交通路（陸路，水路，のろし道，軍事道路，その他）

b 農業関係（市場，市神，その他）

c 手工業関係（鉱床，精錬，製鉄，番匠（大工）その他）

d 農業関係（農水，用水，その他）

e 宗教，信仰関係（社寺，僧侶（五箇寺），祭祀，祭祀遺構，祭文，その他）

f 他遺との関係

g 関連する城館

h 古戦場（首塚，五輪塔など）

i その他

鹿児島県教育委員会

7 考察	a 歴史	1 築城者 2 築城時期 3 存続期間（築城から廃城まで） 4 主要城主名（城主の変遷） 5 築城から廃城まで城郭に加えられた変化（拡張部分他） 6 主な事件	b 構造	性格 恒久的城郭、臨時城砦 密接な関連をもつ城郭（　　） 軍事的にみて （記入自由欄） 日常的領主支配の視点からみて
報告者氏名		調査年月日		

鹿児島県教育委員会

8 結論	

鹿児島県教育委員会

第3節　調査の組織

調査主体者	鹿児島県教育委員会	教育長	井ノ口恒雄（昭和57・58年度）
		〃	山田　克穂（昭和59～61年度）
調査責任者	鹿児島県教育庁文化課	課長	猿渡　侯昭（昭和57・58年度）
		〃	桑原　一廣（昭和59～61年度）
		課長補佐	本田　武郎（昭和57・58年度）
		〃	坂口　肇（昭和59・60年度）
		〃	川畑　栄造（昭和61年度）
		主幹	吉井　浩一（昭和57年度）
		〃	中村　文夫（昭和58～61年度）
調査企画		主任文化財研究員	諏訪昭千代（昭和57～59・9）
		〃	向山　勝貞（昭和59・9～60年度）
		主任文化財研究員兼埋蔵文化財係長	立園多賀生（昭和61年度）
		文化財研究員	吉永　正史（昭和58～61年度）
		〃	繁昌　正幸（昭和57年度）
事務担当		主幹兼管理係長	川畑　栄造（昭和57年度）
		管理係長	寺園　晃（昭和58～60年度）
		企画助成係長	浜松　巌（昭和61年度）
		主査	安藤　幸二（昭和57・58年度）
		〃	浜松　巌（昭和59・60年度）
		主事	畑　征治（昭和59.4～59.8.13）
		〃	山下　玲子（昭57・58年度）
		〃	田中　孝子（昭59～60.8）
		〃	川畑由紀子（昭和60.8～61年度）

調査は各年度毎、各市町村毎に調査員を委嘱して実施した。調査に際しては調査員の下に調査補助員や調査員助手をおいて協力を得た。調査指導委員、調査員等の氏名は次の通りである。

1　調査指導委員

五味　克夫　鹿児島大学法文学部教授
三木　靖　鹿児島短期大学学長
村野　守次　前鹿児島女子短期大学教授
河野　貞徳　鹿児島県考古学会長

2　調査員及び調査補助員

調査員は、昭和57年度は1～3市町村の地区ごとに委嘱し、その下に調査補助員をおいた。昭和58年度からは各市町村毎に調査員を委嘱し、調査員の下には調査員助手をおいて協力を得た。離島での調査では文化課職員が調査を実施する際に調査補助員を委嘱した。

○調　査　員

市町村名	調査員氏名	備　考
鹿児島市北	西元　肇	清水中学校教諭
〃　南	江平　望	市文化財保護審議会委員
桜島町	清瀬国紀	町公民館長
吉田町	大井　節	町文化財保護審議会委員
三島村	吉永正史・立神次郎	文化課職員
指宿市	西山喜蔵	市文化財保護審議会委員
喜入町	田中豊志	社会教育指導員
山川町	松下尚明	社会教育課文化係長
開聞町	永吉一蔵	町文化財保護審議会委員
頴娃町	西　敏夫	社会教育指導員
枕崎市	宗前鉄夫	市文化財保護審議会委員
加世田市	松山賢太郎	市文化財保護審議会委員長
坊津町	鹿島文夫	町文化財保護審議会委員長
知覧町	園田　覚	前町歴史館長
川辺町	樺山　寛	町文化財保護審議会委員長
串木野市	冨宿三善	町文化財保護審議会会長
市来町	久保幸博	町教育委員会社会教育課長
東市来町	谷山秀雄	町文化財保護審議会委員長
伊集院町	有馬俊郎	町教育委員長
松元町	岩城久賢	町教育委員
郡上町	郡山政雄	町文化財保護審議会委員
日吉町	瀬野富吉	
吹上町	辻　正徳	県文化財保護指導委員
金峰町	山下貞雄	町文化財保護審議会委員
川内市	山田慶晴	市文化財保護審議会会長
樋脇町	東野清孝	町文化財保護審議会委員
入来町	本田親虎	町文化財保護審議会委員
東郷町	山口忠正	町文化財保護審議会会長
宮之城町	鮫島富士男	県文化財保護指導委員
鶴田町	室屋光義	町文化財保護審議会会長
薩摩町	保田修二	町文化財保護審議会委員
祁答院町	緒方公正	町文化財保護審議会委員
里　村	塩田甚志	町文化財保護審議会委員長
下甑村	松田純治	手打麓公民館長
阿久根市	草原　新	社会教育指導員
出水市	北御門純夫	市文化財保護審議会委員

市町村名	調査員氏名	備　考
高尾野町	山下常三	町文化財保護審議会委員
野田町	提　成孝	町文化財保護審議会委員
東　町町	原口重吉	町文化財保護審議会会長
長島町	山崎友喜	町社会教育課主事
大口市	宮原景彦	市文化財保護審議会委員
菱刈町	泉　生	町文化財保護審議会委員
国分市	本田　潔	市文化財保護審議会委員
加治木町	瀬川新義	町文化財保護審議会委員
姶良町	谷口純男	町文化財保護審議会委員長
蒲生町	松永守道	町文化財保護審議会委員
溝辺町	西野隆志	社会教育指導委員
横川町	首藤　始	横川町史談会員
栗野町	大野益夫	町文化財保護審議会委員
吉松町	野中良則	町教育委員
牧園町	今別府　元	町文化財保護審議会委員
霧島町	宮田安彦	町文化財保護審議会委員
隼人町	三ツ石友三郎	鹿児島工業高校教諭(当時)
福山町	松下栄盛	町文化財保護審議会委員
大隅町	税所　薫	宮崎種畜牧場鹿児島支場
輝北町	有田　均	町文化財保護審議会委員
財部町	堀之内　胤	社会教育指導委員
末吉町	鳴海勇雄	町文化財保護審議会委員
松山町	福重清七	町文化財保護審議会委員長
志布志町	那珂野久廣	町社会教育課長補佐
有明町	福田南兵衛	町文化財保護審議会委員長
大崎町	鎌田政秋	町文化財保護審議会委員
垂水市	町田満男	市文化財保護審議会委員
鹿屋市	小幡　晋	市文化財保護審議会委員
串良町	宮地俊貴	神官
東串良町	下伊倉　肇	町教育委員会管理課長
内之浦町	永井　衛	町文化財保護審議会委員
高山町	北園　博	町文化財保護審議会委員長
吾平町	松山三郎	町文化財保護審議会委員
大根占町	半下石鶴則	町文化財保護審議会委員
根占町	神田三男	町文化財保護審議会委員
田代町	〃	〃

市町村名	調査員氏名	備考	市町村名	調査員氏名	備考
佐多町	植木嘉章	町文化財保護審議会委員	竜郷町	岡山隆二	町文化財保護審議会委員
西之表市	山崎勇三	郷土史家	笠利町	〃	〃
中種子町	岩坪博秀	町教育委員会文化係長	喜界町	英友一郎	町文化財保護審議会委員
南種子町	弥栄久志	文化課職員	徳之島町	義憲和	町文化財保護審議会委員
上屋久町	戸崎勝洋・吉永正史・宮田栄二(文化課職員)		天城町	〃	〃
屋久町	繁昌正幸	(文化課職員)	伊仙町	〃	〃
名瀬市	上野史	大島高校教諭	和泊町	伊集院健了	町文化財保護審議会委員
大和村	登山修	金久中学校教諭	知名町	〃	〃
住用村	〃	〃	与論町	〃	〃
瀬戸内町	〃	〃			

○調査補助員

市町村名	氏名	備考	市町村名	氏名	備考
名瀬市	恵原義盛	市文化財保護審議委員	和泊町	中田実	町文化財保護審議委員
笠利町	富田克彦		知名町	高野東風盛	町文化財保護審議委員
竜郷町	武義辰	町文化財保護審義会委員	与論町	阿野三雄	町社会教育指導員
瀬戸内町	浅野浩史	町文化行政担当係長	西之表市	樋口兼一	
住用村	福島義光	村文化財保護審議委員	中種子町	園中秋雄	町文化財保護審議委員
大和村	境頼雄	村文化財保護審議委員	南種子町	河東不凡	
喜界町	田ノ上紀男	町文化財保護審議委員	上屋久町	永里岡	町文化財保護審議委員
徳之島町	町田進	町文化財保護審議委員	屋久町	田渕川幸雄	町文化財保護審議委員
天城町	建林正秀	町文化財保護審議委員	三島村	日高政行	村議会議員
伊仙町	四本延宏	歴史民俗資料館員	〃	岩切浅芳	村議会議員

第4節　調査結果について

市町村名	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	合　計
鹿児島市				42		42
桜島町				2		2
吉田町				4		4
三島村				5		5
十島村				0		0
指宿市				6		6
喜入町				9		9
山川町				5		5
開聞町				3		3
頴娃町				9		9
枕崎市				6		6
加世田市				9	5	14
大浦町				0		0
笠沙町				0		0
坊津町				5		5
知覧町				17		17
川辺町				25		25
串木野市				10		10
市来町				6		6
東市来町				11		11
伊集院町				8		8
松元町				3		3
郡山町				14		14
日吉町				15		15
吹上町				19		19
金峰町				13		13
川内市			58			58
樋脇町			10			10
入来町			8			8
東郷町			10			10
宮之城町			34			34
鶴田町			16			16
薩摩町			5			5
祁答院町			14			14
里　村			2			2
上甑村			0			0
下甑村			2			2
鹿島村			0			0
阿久根市			15			15
出水市			12			12
高尾野町			6			6
野田町			4	1		5
東　町			2			2
長島町			1	1		2
大口市		15				15
菱刈町		8	2			10
国分市		14			6	20
加治木町		13				13
合　計	0	50	201	248	11	510

市町村名	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	合　計
姶良町		25			17	42
蒲生町		21	4			25
溝辺町		8			1	9
横川町		9				9
菱野町		4				4
吉松町		4				4
牧園町		12			1	13
霧島町		2			2	4
隼人町		13			10	23
福山町		6			2	8
大隅町		7	5		9	21
輝北町		8			2	10
財部町		6				6
末吉町		4			4	8
松山町		3				3
志布志町		7			1	8
有明町		6				6
大崎町		8			4	12
垂水市		18	6		1	25
鹿屋市		30	8		1	39
串良町		10	6			16
東串良町		2	5			7
内之浦町		6				6
高山町		18			3	21
吾平町		6				6
大根占町		2			3	5
根占町		7				7
田代町		4			1	5
佐多町		4			3	7
西之表市	8		4			12
中種子町	1					1
南種子町	1	1				2
上屋久町	6	4				10
屋久町	5	2				5
名瀬市	8					10
大和村	1					1
宇検村	0					0
住用村	1					1
瀬戸内町	2					2
竜郷町	1		3			4
笠利町	2		5			7
喜界町	2	1				2
徳之島町	3	1				4
天城町	2	2				3
伊仙町	1	2	3			6
和泊町	2					2
知名町	1					1
与論町	2					2
合　計	49	271	49	0	65	434
調査城館跡数合計						944

地区	No.	市町村名		調査城館数	フモト再	同一再	不明再	消滅再	提供資料等	掲載城館数
鹿児島地区	1	鹿児島	市	42		6		10		36
		計		42		6		10		36
	2	桜島	町	2	1					1
	3	吉田	町	4	1				1	4
	4	三島	村	6					1	7
	5	十島	村	0						0
		計		12	2				2	12
指宿地区	6	指宿	市	6	2		1			3
	7	喜入	町	9	2			3		7
	8	山川	町	5	1			2		4
	9	開聞	町	3						3
	10	頴娃	町	9	1	2				6
		計		32	6	2	1	5		23
川辺地区	11	枕崎	市	6	1			2		5
	12	加世田	市	14	1			1		13
	13	大浦	町	0						0
	14	笠沙	町	0						0
	15	坊津	町	5	3			1		2
	16	知覧	町	17	1					16
	17	川辺	町	25	2	1		2		22
		計		67	8	1		6		58
日置地区	18	串木野	市	10	1			1		9
	19	市来	町	6	1	1				4
	20	東市来	町	11		1		5		10
	21	伊集院	町	8	1			1		7
	22	松元	町	3						3
	23	郡山	町	14	1	3				10
	24	日吉	町	15	2			6		13
	25	吹上	町	19	2			1		17
	26	金峰	町	13	3			2		10
		計		99	11	5		16		83
北薩地区	27	川内	市	58	7			9		51
	28	樋脇	町	10						10
	29	入来	町	8	1					7
	30	東郷	町	10		2				8
	31	宮之城	町	34	3	3				28
	32	鶴田	町	16	1					15
	33	薩摩	町	5			1			4
	34	祁答院	町	14	3			1		11
	35	里	村	2	1				1	2
	36	上甑	村	0						0
	37	下甑	村	2	1					1
	38	鹿島	村	0						0
		計		159	17	5	1	9	1	137
出水地区	39	阿久根	市	15	1		1	2	1	14
	40	出水	市	12	1	1		5		10
	41	高尾野	町	6	1					5
	42	野田	町	5						5
	43	東	町	2						2
	44	長島	町	2						2
		計		42	3	1	1	7	1	38
伊佐地区	45	大口	市	15	3			2	9	21
	46	菱刈	町	10	2				2	10
		計		25	5			2	11	31
		小計		478	52	20	3	55	15	418

地区	No.	市町村名		調査城館数	フモト再	同一再	不明再	消滅再	提供資料等	掲載城館数
姶良地区	47	国分	市	20	1				7	26
	48	加治木	町	13	2	1	1	3	3	12
	49	姶良	町	42	2	5		2		35
	50	蒲生	町	25	1	2		3		22
	51	溝辺	町	9	1		3			5
	52	横川	町	9	1		2	1	1	7
	53	栗野	町	4	1				5	7
	54	吉松	町	4	1		2	1	3	4
	55	牧園	町	13	1	1	7			4
	56	霧島	町	4						4
	57	隼人	町	23	1	2		1	1	21
	58	福山	町	8	1		1		4	10
		計		174	13	11	16	11	23	157
曽於地区	59	大隅	町	21		1		1		20
	60	輝北	町	10	2					8
	61	財部	町	6	1					5
	62	末吉	町	8	1	1			3	9
	63	松山	町	3	1			1	1	3
	64	志布志	町	8	1					7
	65	有明	町	6		2				4
	66	大崎	町	12					2	14
		計		74	6	4		2	6	70
肝属地区	67	垂水	市	25	2	1		3		22
	68	鹿屋	市	89	4			4		35
	69	串良	町	16	1	1		1		14
	70	東串良	町	7		1		4		6
	71	内之浦	町	6			1			5
	72	高山	町	21	1	2				18
	73	吾平	町	6	1					5
	74	大根占	町	5				1		5
	75	根占	町	7						7
	76	田代	町	5	1					4
	77	佐多	町	7	1			1		6
		計		144	11	5	1	14		127
熊毛地区	78	西之表	市	12		3		2		9
	79	中種子	町	1						1
	80	南種子	町	2						2
	81	上屋久	町	10			2	1		8
	82	屋久	町	5			1			4
		計		30		3	3	3		24
奄美地区	83	名瀬	市	10				1		10
	84	大和	村	1				1		1
	85	宇検	村	0						0
	86	住用	村	1				1		1
	87	瀬戸内	町	2				2		2
	88	竜郷	町	4				3		4
	89	笠利	町	7				2		7
	90	喜界	町	2						2
	91	徳之島	町	4						4
	92	天城	町	3						3
	93	伊仙	町	6						6
	94	和泊	町	2						2
	95	知名	町	1						1
	96	与論	町	2						2
		計		45				10		45
		小計		467	30	23	18	40	29	423
		合計		944	82	43	21	95	44	841

第2章　概　　説

歴史史料よりみた本県の中世城館跡

五味克夫

鹿児島県史料『旧記雑録』は昭和45年より毎年1冊宛発行され、これまでに追録8巻、前編2巻、後編5巻、附録2巻の解説公刊を終っている。同書は幕末、明治初年の薩藩の碩学伊地知季安・季通父子の長年にわたる藩内史料収集、編纂の成果で藩記録所収蔵の記録文書を基本に島津家史料の集成を企図したものであった。『記録雑録』には中世文書に限っていえば、県内関係全文書のうち約4分の3が収録されているとみられ、今後補遺編として刊行予定の二階堂文書、祢寝文書等未採録文書の公刊によって中世の鹿児島県を知る史料はほぼ網羅されるとしてよいであろう。このように鹿児島県の全中世史料が活字化され広く紹介されることは中世城館の調査研究にとってもきわめて意義あることといえよう。すなわち中世城館の出現、所在分布、その活用状況、歴史的変遷等を文献面から総合的に考察することが出来、今後逐次進められるであろう考古学的調査と相まって具体的にその実態にせまり得ると思われるからである。現時点ではさし当って刊行済の『旧記雑録』前・後編によって本県の中世城館跡について史料面から些少の考察を加えてみることにしよう。

さて『旧記雑録』は文書の他、記録や編著も混在しているから史料的価値は一律ではない。たとえば島津国史』や『西藩野史』や『譜』の地の文等は文書や記録等を基に、山本正誼や得能通昭等個人の手で、或は記録奉行以下記録所、職員らの手によって編年的に文章化されたものであって、いかに文章的にすぐれていてもそれを以て直ちに事実を示しているものとして解してはならない。ここでは城館のことを問題にしているのであるから、これについていえば、編著の城館の記事をもって直ちに城館の歴史的事実を示しているとしてうけとってはならぬということである。さらに具体的にいえば、城の開創をそれぞれの地方の豪族がその在地の領主として支配をはじめた時点に置くことが通常行われているが、これは疑わしいということである。たとえば肝付城の開創を伴氏が肝付郡弁済使となって入部した時点に求めること。これは系譜や伝記の記述で、もししかりとすれば平安時代にまで遡ろうか。肝付城＝高山城は南北朝期以降文書に現れ、城郭として用いられたのもその頃からとみられる。居館と居城の位置については厳密に区別して考える必要があろう。

さて『旧記雑録』の中で文書や記録（日記・覚書）等直接史料を中心に通覧すると当然のことながら建武以降の南北朝期に城郭に関する史料は数多く登場してくる。戦闘行為が日常化していなかった鎌倉期に領主は何も山城を居所とする必要はなかったし、また山城を常備する必要もなかったであろう。ただ地勢上山麓に居館を設ける例は多かったようで、南北朝の争乱期に入り、戦闘が日常化してくると、そこに城を拵え、乱杭、逆茂木等の防禦施設をおいて非常に備え、戦闘の際はそこに竄ったのであろう。はじめは恒久的なものではなく応急的なものであったが争乱の長期化に伴い、次第に山城として整えられ、何々城とよばれるようになったのであろう。今『旧記雑録』によって史料（文書・記録・編著）に見える頻度数の多い代表的な城郭名を順に列挙してみよう。もちろん概略の数で厳密なものではないが大体の傾向はうかがえよう。そしてこれらによってそれぞれの城郭が各時代に果たした役割の多少をある程度推測することができよう。便宜上次の5期に区分してみる。（1）は南北朝期（前編巻1～30、～応永1）、（2）は室町期（前編巻31～44、応永2～天文4）、（3）は戦国期前半（前編巻45～48、天文5～天文23）、（4）は戦国期後半（後編巻1～15、天文24～天正12）、（5）は桃山・江戸初期（後編巻16～102、天正15～寛永15）

である。そして（１）では加瀬田城・東福寺城・碇山城・大姶良城・市来城・木牟礼城・催馬楽城・志布志城・谷山城・知色城・橋木城・（高江）峯城・（鹿児島）清水城等、（２）では帖佐城・隈之城・碇山城・伊作城・曽於郡（橋木）城・平佐城・（鹿児島）清水城・指宿城・谷山城・東福寺城・（川辺）松尾城・大口城・加治木城・清色城等。（３）では（大隅）清水城・加治木城・岩剛城・小浜城・市来城・（薩摩）加世田城・谷山城・苦辛城・神前城・伊集院城・百次城、（４）では大口城・馬越城・横川城・牛根城・蒲生城・平良城・市来城・廻城・曽木城・羽月城・平泉城・湯之尾城・山野城等があり、（５）では平佐城・隈城・宮之城・大口城・蒲生城等が多くあらわれる。

文書の上で城名やその内容についてふれているのは合戦の際の軍忠状や着到状　軍勢催促状、感状等であろう。加瀬田城（大隅）は建武３年（延元２、1336）、南朝方の肝付氏の拠城となった関係でその種の史料がまとまっており、大手木戸口、水手、野頚、搦手などの名称がみえ、乱杭、逆茂木などの施設の存在、攻際、攻防戦の状況がうかがえる。市来城（薩摩）の建武４年の合戦では野頚、水手、大手城戸の存在が知られるし、碇山城（薩摩）の暦応２年（延元４、1339）の合戦では水手、矢倉、大手、小城戸の存在が知られる。同城は守護方の本城として守備を堅め、南朝方の数次に及ぶ攻撃を退けた。史料に「城壁垣立を取破る」等の表現等もみられる。東福寺（薩摩）の暦応４年・康永２年（興国２、４、1341、43）の合戦では大手城戸口大手大将等の名称がみられる。同軍には関連して催馬楽（矢上）城、谷山城（薩摩）をめぐって南朝方（肝付氏、矢上氏、谷山氏ら）と北朝方（島津氏ら）との間で激戦があり、その関係文書が多い。浜崎城は東福寺城の一部で現在の多賀山に当たるかと推測され、貞和３年（正平２、1347）一時南朝方に奪取られ乍ら堀をへだてた東福寺城は落城しなかったと考えられる。この他知色城（薩摩）も文和３・４年（正平９・10、1354・55）南朝方・北朝方両軍の争奪戦のあったところであり、大姶良城（大隅）は観応２年（正平６、1351）に、志布志城（日向救二院）は貞和４年（正平３、1348）に南朝方の武将楡井頼仲らの拠城としてそれぞれ激戦があり、その関係文書が少なくない。島津氏６代氏久は大隅半島経略のため、父の拠城であった鹿児島東福寺城を離れ、まず大姶良城に居を定め、ついで志布志城に移っている。そしてその子７代元久が南北朝末期、そこから鹿児島の清水城に移り、同城を本城と定めたわけで、その居城移動の経緯については後年の「山田聖栄自記」（文明年間写）に詳しい。

橋木（曽於郡）城（大隅）は姫木城に接し、共に要害の山城として建武５年、南朝方北朝方両軍の激闘があった。峯城は川内川沿いの高江にあり、応安５年（文中元、1372）の合戦で寄手の将渋谷（入来院）重門が戦死している。木牟礼城（薩摩）は島津氏の下向後、最初に拠った城との伝承をもち、事実文和４年（正平10、1354）には５代貞久が居住しており、その後も島津総領家の総州家の居城として７代島津伊久の子守久が応永末年、奥州家島津氏の攻撃によって国外に落去するに至る最終段階まで保持していた由緒ある城郭であった。しかし、周辺部の農地開発によって崩され、現在は記念碑を残すだけになってしまっている。

川内の碇山城は前述の如く南北朝期守護島津氏の居城として、室町期には総州島津家の拠城として重要な意味をもった城跡であるが、全山碇山石とよぶ良質の石材からなっているため採掘が進められ、度々その重要性は指摘されながらいかんともしがたく、既に山全体の過半を削りとられてしまっている。県内の中世城館として本来保存さるべき城跡の１、２にあげられるものが実用性の高い私有地にあっては何の保存策もたてられない。これが文化財保存の実態なのである。せめて残存部分だけでも調査ができないものであろうか。痛惜にたえない。

清水城（薩摩）は近世の絵図に鹿児島本城と記されているように７代元久から14代勝久に至る南北朝末

期から戦国期にかけての約150年間島津氏歴代の居所があった城跡でその築城の経緯については「山田聖栄自記」にそれまでの東福寺城（奥州家島津氏の本城に当る）の狭少さをさけて広い場所を選んだとあり、稲荷川（精木川）が東南をめぐり北西を急崖できった広い台地に設定されている。北半の葛山が橋の口城で搦手の城に当たり、南半の大興寺岡が清水城でその麓に居館が設けられていたらしい。同城については「聖栄自記」の他「応永記」（往言集）に応永20年（1413）、伊集院頼久が9代久豊の留守をうかがって蜂起、清水城を奪い、急ぎ吉田から引き返してきた久豊が再び取り戻す状況が記されており、城の位置、模様が推測できる。清水城の居館は現在の清水中学校、もと大乗院の敷地内にあったかと思われるが、近年山上でも遺跡（建物）、遺物（青白磁等）が発見された。14代勝久時代の居館での生活の様子は「空山日記」の享禄2年（1529）6月11日より7月晦日迄の記事によってほぼ承知し得る。清水城の対岸の高地は尾頚小城、諏訪神社とつながり、さらに東方は東福寺城に接している。ここらは南北朝期一室町・戦国期一近世へと三州の覇者のまず制圧すべき要地としてその居城が設けられたり、それをめぐる攻防戦が展開されたりしたところであり、同一の城で『旧記雑録』に記載される回数も目立って多い。

室町期の城郭関係史料は南北朝期に比して少ないが、応永年間、本宗島津家が二統に分裂して大隅守護職をもつ奥州家と薩摩守護職をもつ総州家が争うようになり、南薩に勢力を持つ伊集院氏（頼久）が後者と結び戦火を交えることになる。はじめは協力して北薩の渋谷氏を討つなどしていたが（入来清色城を攻圍、占領）、次第に不和となり、応永14年（1409）総州家の伊久が平佐城（薩摩）に没するや、奥州家の元久は軍を動かし同城にあった二子忠朝らを追って占領、忠朝は近傍の隈之城、永利城、碇山城に拠って抵抗をつづけた。長子守久の子久世は川辺平山城に拠り、応永23年（1416）久豊のために鹿児島で誘殺されるが、その子久林は伊集院頼久と連合して応永24年（1417）、久豊の軍を川辺平山城・松尾城周辺で撃破している。しかし、鹿児島に進攻した伊集院氏は逆に谷山城に包囲され、久豊に屈服、尓来孤立した総州家は本拠の中薩の諸城を次々に陥され、応永28年（1421）、最後に隈之城に移った忠朝も開城、総州家の抵抗もここにほとんど絶熄するに至った。以上の経過は「応永記」に詳細である。また前記の「聖栄自記」は山田忠尚（聖栄）が後年この忠朝（道聖）から聞いたことをもとに島津家の歴史をまとめたものである。

かくして奥州島津家は薩摩、大隅、日向三国の守護職を兼帯、三州の太守と称したが、9代忠国以降、国内の有力一族、諸豪族の統制に苦しみ、国一揆の猖獗にも悩まされていた。10代立久の市来城攻め、11代忠昌の肝付城攻め、12代忠治・13代忠隆の吉田城攻め等の関係記事も『旧記雑録』に収録されている。

大隅の清水城ははじめ豪族税所氏の、ついで島津氏の守護代本田氏の拠城であった。本田氏は次第に勢力を強め、天文年間、15代貴久の追討をうけるまでに至った。島津家の一族でその有力家臣となった樺山氏もこの地方に勢力を扶植、長浜（生別府）城はその居城となっていた。

建昌城は享禄3年（1530）豊州家島津季久が平山氏を討って帖佐を領するや、二子の忠康を帖佐本城＝平山城＝平安城におき、長子の忠廉を新たに南北朝期の萩峯城の南につづく瓜生野の山城においたことにはじまる。文明18年（1486）同氏が日向飫肥に移って一時名は消えるが、その地理上の利点から慶長5年（1600）再び登場する。すなわち島津家18代家久は西から北東に吉田、蒲生、山田、平山の要害城を配する中心の城として瓜生野城に注目、中国建昌の地名をとって建昌城と名づけ領国の居城にしようとした。これを聞いた在京中の義弘は家久に書状を送り、同城が北に流水があり、且つ築城に多大の人数、日数を要し、居城とするに適しくない。むしろ現在の内城に手を入れるなり、東福寺城・清水城を活用するなりした方がよいと述べている。この後関ヶ原の戦いがあり、義弘は西軍に属したため、東軍方の肥後加藤氏

らの侵攻にそなえ、川内の平佐城（同城は天正15年の豊臣秀吉の島津攻めの際豊臣軍の攻陥に桂忠昉らが守って屈しなかった。）や蒲生城等の要害城を修補している。結局翌６年（1601）家久は南北朝期の鹿児島の山城、上山城を本城に定め、その麓に居館を、周辺に将士を居住させる鹿児島城及び城下町の築造に着手するのであるが、その完成に至る長期間に、建昌城への執着も捨てきれず、元和元年（1615）には内内に幕府への打診を行っており、義弘はまた新鹿児島城が海浜から近く防御に難点ありとし、熱心に東福寺、清水城等古城の利用の再検討をすすめたりしている。後に鶴丸城の美称で呼ばれる鹿児島城は山麓の居館と山上の上山城がセットになっており、上山城には慶長18年（1613）同族日置家の島津常久が居住したが、その病死と元和元年の一国一城令によって山上の施設はほとんど取り壊されるに至った。寛永10年（1633）幕府巡検使は建昌城、国分新城を検分しているがその見解として前者は水利に難点があり、且つ急崖で石垣を築くのに年月を要するであろうと批判、後者については屈指の名城といえるとした。国分新城は中世の山城隼人城で山麓に居館（舞鶴城）を設け、島津義久は富隈城から同所に移り、晩年をそこでおくったのである。国分の城は、鹿児島城の控えの城として幕府も容認し、幕末の薩英戦争の際には同城への移転も話題に上がったりしている。

さて14代勝久は国内の一族や諸豪族の統御にいよいよ苦しみ、川上氏の川上城（薩摩）を攻めて抜けず、天文４年（1535）逆に鹿児島本城たる清水城を迫われて大隅、日向へ出奔、実力者薩州家の島津実久と伊作（相州）家の島津忠良・貴久との争覇戦が展開される。その際の両軍の奥城が鹿児島周辺、薩摩半島部に多い。また関係資料も少なくない。谷山城・神前城・苦辛城等々。谷山城は南北朝期、懐良親王を奉する南朝方の谷山隆信の居城で、東福寺城による北朝方の島津貞久らの軍と対峙、そこを拠点に出撃、紫原下の牛髭等で激戦が展開され、応永20年代には島津久豊と伊集院頼久らの間で争奪戦が、天文８年(1539)には島津忠良・貴久らと島津実久らの軍との間で攻防戦が展開され、その度毎に城の規模は拡大され、堀土塁等施設が益々整備されていった。苦辛城は谷山城の支城として大永７年（1527）築城され、実久の家臣平田宗秀がよった城であるが、短期間に複雑な防禦施設をつくりあげていたことが発掘調査で判明し、文献の記述を見事に裏付けた。しかし調査終了後、皇徳寺団地造成により消滅した。

薩州家島津氏を服属させ、薩摩一国をほぼ平定した伊作島津氏は、進んで大隅で蒲生・菱刈・祁答院氏らの連合軍と戦った。その際岩剱城・蒲生城及びその属城松坂城・北村城における元文23年（1554）より弘治３年（1557）にかけての詳細な合戦記録として「蒲生山本氏日記」があり、新楾・垂城戸などの用語もみえ城郭史料として興味深い。また永禄４年（1561）の大隅廻城の戦の関係資料も多い。同城はまず肝付氏が奇襲によって奪取し、守将をおいていたのを島津貴久らの軍が攻めて陥れたのである。このような当時の城をめぐる合戦についての史料としては主なものに「長谷場越前自記」、「筌輪伊賀自記」、「樺山昭剣自記」、「上井覚兼日記」などの記録類がある。そして『旧記雑録』はこれらをほとんど採録していて調査研究に至便である。

永禄５年（1562）島津氏は日向の伊東氏と気脈を通じた北原（伊勢介）氏を横川城(最近の調査の結果、広城にまたがる城郭と判明した）に攻めて陥れ、進んで菱刈氏とそれを支援する相良氏の軍を永禄12年（1569）伊佐地方で戦い制圧した。菱刈氏の城は大口城を中心に、山野・平泉・羽月・曽木城、さらに本拠地の本城・馬越城・市（一）山城・湯之尾城等であったが、最終段階では大口城に拠り、他の城はすべて島津氏が占拠し整備していた。平泉城は近年、全面調査の結果遺構が明らかになったが、その他の諸城も同様にそのころ手が加えられたものと思われる。平泉城については『旧記雑録』にもかなり詳細に記されていて、番衆の交代等当時の状況が調査結果とつき合わせて推測できたが、調査後すべて破壊消失して

しまったのは残念なことであった。

天文4年（1535）勝久が清水城から没落した後、諸将の支持を得て太守となった貴久は天文19年（1550）居城を伊集院一宇治城から鹿児島内城に移した。内城は後に大龍寺が建てられたが、その遺構や史料から推定して山城ではなく、小丘上に設けられた館城であったことがわかる。貴久のあと義久も内城にいたが、同城内の状況は「上井覚兼日記」等の記載によって推察できる。義久は文禄2年（1593）大隅富隈城（これも現状からみて館城と考えられる。）に移り、さらに国分新城（新城は前述の如く現在の城山で隼人城の跡であり、要害城であるが、その居館は山麓にあり、舞鶴城とよばれた。）に移っている。17代義弘は飯野城（日向）から栗野城（大隅）に移り、さらに平松城（岩剣城山麓の館城）、帖佐、加治木の館城に移り住んだ。それらの城館の石積みは野面積も現存し、中世山城から近世館城への石垣の遺構をよく示している。

かくして中世から近世への推移の中で、各所に設定された大小の様々の城郭も遂次捨て去られ、主要城館名と、新たな行政単位としての郷名とが次第に一致し、郷名によって同時に城館名を現すように変わってくる。そしてそれ以外の小城は次第に廃城となり、元和の一国一城令等によって城館の整理はさらに進行し、山城の施設は破壊または放置されて草木に被われ、麓の居館が地頭仮屋または領主館に変わり、郷名と城名とが一体となって外城の名で呼ばれるようになったのである。

以上鹿児島県下所在の『旧記雑録』所載の中世城館のうちからその主要なものについて列挙し、些少の説明を加えてきた。もちろん『旧記雑録』は旧薩藩全領域を対象とした資料を収集採録しているので現在宮崎県に属している諸県郡の史料も多く含まれている。また中世、島津家の勢力範囲に含まれた地域全般に及ぶ史料も掲載されている。すなわち伊東氏と係争のあった日向各地の城郭の史料、肥後・肥前・豊後・豊前・筑後・筑前諸国の城郭名も少なからず掲載されている。そして島津氏が薩摩・大隅から日向へ、三州統一から九州制覇へと領域を拡大していくのに合わせてそれらの記載がふえ、広がっていくのである。それらについては一切とりあげなかったが、その中には城郭史の史料として重視すべきものも少なくない。とくに日向飫肥城の攻防戦の関係史料、飯野・加久藤・三山（小林）城等島津義弘がそこを居処としていた時代の関連史料、都城及びその周辺の南北朝期の関係史料、及び慶長4年の伊集院忠真反乱事変関係の史料等鹿児島県の中世城館を調査研究する際にも見落としてはならない史料が多いことをも付言しておきたい。

現在に残る中世城館跡の数々は遠く南北朝期のものから室町期、戦国期、そして近世初期のものまで、そしてはじめから終わりまで、幾度も手が加えられながら使用されたもの、廃城となって古城の名で呼ばれていたもの。いったん廃城になりながら再度城郭として復活したものや、或は用いられようとしたもの。等様々でありその一々がそれなりに生きた歴史研究の貴重な素材を提供してくれているのである。

今後は益々考古学的調査と文献史料面からの調査の共同・協力の重要性・緊急性がたかまり、要望されてくるであろう。その点今回の中世城館の悉皆調査、まとめは将来の調査研究の発展にとって大切な基礎作業となったといえよう。

研究資料よりみた本県の中世城館跡

三木　靖

はじめに

本稿は，本県の中世城館跡についての主な研究資料をとりあげて，その研究の進展をたどり，中世城館がどのように明らかになりつつあるのかを述べていきたい。したがって，量的にも多く，質的にもレベルの高い中世史研究の記述の中で，中世城館に言及したものを省略せざるをえなかった。

1

中世城館は，戦国・織豊時代が終幕を迎えると同時にその機能を自ずと停止し城館跡となった。

とはいえ，いくつかの城館は元の形態を残していた。特に西日本の外様大名の動向を気遣っていた徳川幕府は大坂夏の陣の後の元和元年（1615）閏6月13日諸大名に，「貴殿御分国中居城をハ被レ残置，其外之城者悉可有レ破却之旨上意ニ候」（『鹿児島県史料　旧記雑録後編4』600頁，巻71・1280）と命じた。その内容は一領主は居城の一城のみを許され，他の城を破壊せよというもので，一般にこの命令は「一国一城令」といわれるようになった。

すでに織田信長・豊臣秀吉は制圧した領国の城館を破壊してきており，その延長上に位置づけられる政策であったが，この場合特に西日本の外様大名領を主としたもので全国に法令として出されたことが注目される。

徳川幕府は，元和元年7月の「武家諸法度」で「諸国居城雖レ為レ補修レ必可レ言上，況新儀之構営堅令レ停止事」と居城以外の築城を禁じ，居城の修築も許可制とし，のち寛永12年（1635）6月21日にはこれを改め，「新儀之城郭構営堅禁止之，居城之隅矢石壁以下敗壊之時者，達レ奉行所可レ受其旨也，櫓塀門等之分者，如レ先規可レ修補」（『御当家令條・律令要略（近世法制史料叢書2）』2～3頁）と修復についての制約も厳重にした。

南九州では大正15年（1587）島津氏が秀吉軍に敗れ，中世城館は基本的にはその役割を終えたが，その後も文禄元年（1592）権北国兼の変，慶長4～5年（1599～1600）庄内合戦，慶長5～7年（1600～1602）関ケ原合戦における義弘西軍加担に対する徳川幕府による派兵への島津氏方の対策等で中世城館が使用されたが，その後徐々にその使用もなくなっていた。

寛永10年（1633）徳川幕府の上使が島津藩領へ到着した際，島津氏は「帖佐之建昌之城」を案内している。これは，元和元年に島津氏が建昌城を居城にしたいと幕府へ許可を求めた（前引用書，616～617頁，巻71，1319，1320）事に関連があったと考えられ，今回「御住城ニハ可レ難レ成」（『鹿児島県史料 旧記雑録後編5』401頁，巻86　676）と居城には適していないと判定された。

これは中世城館の積極使用案が当時まで存在していたことを示してもいるが，それも許可されず，この頃を以て南九州の中世城館が中世城館「跡」となったとみられている。

これら城館跡は，地元では関心を集めており，例えば吉田松尾城跡については，元禄12年（1699）4月25日付で「吉田松尾之城」のタイトルを付けた絵図が作られ，蒲生龍ケ城跡については，天保5年（1834）3月に写された絵図が残っており，この時よりも以前に絵図が作られていたと考えられる。このような絵図は，現地をかなり正確に調査した結果と思われ，いずれも史料価値は高い。

文政7年（1824）「薩藩名勝誌」が各郷の年寄衆の報告をもとに完成した。この各郷の名勝誌も残っているが，各地で中世城館跡を「古城」として掲載している。鹿児島県立図書館の18冊では61か城を数え（鹿児島県内では57か城となる。），城名（古戦場等を某陣，その他某塁，某営等を呼称にしているものもある。），曲輪名，形態，大小，比高，配置，地形，現状や沿革，伝承を詳細に記したのもある。この各郷の

報告も何度か作られたので「再撰帳」等といわれているものがある。いずれも，藩政期の中世城館跡への関心を反映しており貴重なものである。同じように藩内の中世城館跡について，城名，所在地，一部の来歴を書いた簡単な一覧表相当の「国中古城事」もあった。寛政元年（1789）の幕府上使への「御答書」中のものでは26か城があげられていた。（『藩法集8　鹿児島藩上』170～171頁「島津家列朝制度」巻之6 307）

このような一般的な城館跡ではなく，藩主島津氏の歴代当主の居城跡のみを数える場合もあり，「薩隅日御城地」（前引用書170頁，巻之6　306）14か城や，「御元祖以来　御居城之事」（『薩藩政要録　鹿児島県史料集1』46～48頁，二の十）（原名「要用集」文政11年（1828）改編）21か城などがある。

このような藩政期の中世城館跡への関心は一般的にいうと，史跡名勝の一つとされていた事とともに，軍事的な価値に留意しておくのが為政者の務めであった事があげられる。さらに島津藩の場合は，各郷の統治責任者は麓に存在しており，この麓は，中世城館の麓すなわち周辺部であった事に起因するものが普通であったため一層関心を惹いたのである。

島津斉興（1789～1859）の時に全60巻が完成した『三国名勝図会』（天保14年（1843）編集，明治38年（1905）刊，昭和41年写真製版3巻本刊）は，これらの事情によって，各郷別に「旧蹟」として中世城館跡を取りあげている。その記述は，(1)文献に見える内容を整理している，(2)地元の伝承に触れている，(3)前記の「名勝誌」等を典拠としているものが多い，(4)異称，曲輪名，土塁，空堀等の遺構や現状に関心を払い，(5)鳥瞰図様の城館跡風景図を掲載しているのがある，(6)古戦場跡や関連史跡を数多く扱っている等の特徴がある。

その中でも，当時すなわち現在から150年程以前の中世城館跡の実状をスケッチした城館跡の風景図は，他に類似のものがなく，城館跡の資料として重要なものである。風景図の中で城館跡を含んでいても，その旨表示のないものを除き，明確に城館名の掲載されているもののみをみても次の14点がある。

	城館名	所在地		城館名	所在地		城館名	所在地
1	平城	鹿児島	2	伴氏館	鹿児島	3	平佐城	高江
4	平佐城	高江	5	高江古城	高城	6	木牟礼城	出水
7	大口城	大口	8	山崎古城	山崎	9	伊作城	伊作
10	鶴ケ城	曽於郡	11	平山城・高屋城	帖佐	12	岩剛城	重富
13	加瀬田城	百引	14	松尾城・内城	志布志			

この中には，その後破壊されてしまったものもあるので，典型的なもの7点を転載しておきたい。

図1　三国名勝図会伴氏館図

図2　三国名勝図会平佐城図

図3　三国名勝図会平佐城図

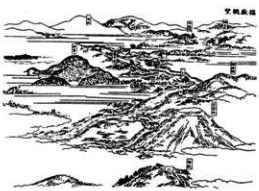


図4　三国名勝図会木牟礼城図

図5　三国名勝図会山崎古城図

図6　三国名勝図会岩剱城図

図7　三国名勝図会加瀬田城図

この『三国名勝図会』での扱いをみると，「某城」という名称が多いが，それに合わないものでも内容上より城館跡としていいものを含めると，現在の本県内のみで292か城を掲載している。このうち，それぞれの地域の麓の発生源となったものについては詳細な記述がみられる。

それらは，いわば当該地域の中世史の主要な舞台という位置付けをされているし，事実当該地域の根本領主の居城であったものが多い。また関連史料の多い故もあって島津氏関係の城館跡についての記述も詳細である。

地域的な精粗があり，また奄美大島諸島は対象から除かれていたため，本県全域について触れていたとはいいきれないという制約があるし，記述の95%以上の部分が文献記録に見える内容の整理である等の問題点もある。しかし，「高さ20間程」，「周廻35町許」，「東西は長く，南北は狭し」，「本丸，二の丸等の跡存す」，「丸数大小5つ」，「大手口」，「搦手口」，「小径」，「濠塹2つ」，「塹の跡あり」，「隍存す」（以上「ごうせん」，「せん」，「こお」はいずれも堀のこと），「堀跡3つ」，「堀切の跡存す」等城郭の規模，構成や注目される遺構を調べており，また城名，曲輪等の個有名詞には同書にしか記録のないものがあり，同書は大変貴重なものとなっている。もっとも，城名等には近世的呼称や通常使わない美称や，文字遊び的なも

のもないとはいえなず慎重な扱いが必要な部分があることも忘れてはならない。

なお，藩政期が終ってからは中世城館跡への関心は低下しており，明治以降に書かれた『薩隅日地理纂考』（明治４年（1871）の序文がある。），『鹿児島県地誌』（明治17年（1884）政府へ提出されたものの写し。大隅国を欠いている。）等の地誌類はもちろん，『鹿児島維新前土木史』（昭和９年，鹿児島県刊）も，城館跡についての「城塁台場」という記述はあるが，先行の『三国名勝図会』を超える部分は多くはない。

2

本県の城館跡に関する個別の考察は，明治35年（1902）から翌年にかけて雑誌『歴史地理』誌上にみられるものを以て嚆矢とする。それは，次のものである。

藤田	明氏	「鹿児島城の沿革」	（第４巻第９号）
藤田	明氏	「鹿児島城」	（第５巻第９号）
藤田	明氏	「新納忠元と大口城址」	（第５巻第10号）
藤田	明氏	「清水城址補考」	（第５巻第10号）
川住鍠三郎氏		「清水城址補考」	（第５巻第10号）

以上のうち４つは，島津氏の本居城についての関心より，鹿児島の清水城跡を主に文献によって考察したものであり，１つは島津氏の戦国家臣団中最有力者であった新納忠元についての関心より，大口城跡を主に文献によって考察したものであった。

次に個別城館跡を取りあげたのは，「鹿児島県史跡名勝天然記念物調査報告書」にみられるものであった。

昭和元年の第１輯（鹿児島県刊）には，城館跡関連として，次の５つの調査報告が掲載されている。

鶴丸城跡	担当	池田 米男 氏	加世田別府城跡	担当	有川群五郎 氏
加世田御屋地跡	担当	有川群五郎 氏	平佐城跡	担当	伊地知茂七 氏
天堂ケ尾関白陣跡	担当	安田 尚義 氏			

このうち，前者を除く４つは中世城館跡とみなせるものであり，主に文献による報告であった。

さらに，昭和３年同じく史蹟の部第２輯（鹿児島県刊）には次の調査報告が掲載されている。

伊作城跡	担当	有川群五郎 氏

これも文献による報告で島津氏にかかわりが深いために取りあげられたのであった。

以上の調査は，大正８年に「史蹟名勝天然記念物保存法」の施行をみたのに対応し指定対象物件を洗い出す作業の一環であり，法律上の保存の対象という視野からの調査の結果報告である事に意義があり，範囲が薩摩国の各地に及んでいるのは新しい到達点というべきであろう。

中世城館跡についての最初の研究は，林吉彦氏の『考古学上より見たる清水城址』（昭和７年９月，鹿児島市長田町・極東孔版社印行。）であった。

同書は，１緒言，２総論，３日本城郭の沿革，４三州城郭の沿革，５清水城跡，６結論，付録という構成で，当時定説とされていた，清水城を大興寺ケ岡上に想定する説を批判する意図で書かれたものである。その特徴は，文献についての検討とともに，城郭研究の成果によって地形，地勢を観察する方法を採用している事である。大興寺ケ岡には，「土塁，堀，削平地（郭），削崖の跡」という物的証拠がない，というのが最大の指摘で，大切な視角である事はいうまでもない。そして，定説が削平地とするのは，「日本全国の山地に見る所の段々畑」に過ぎず，塹壕だとするのは単なる山径と浸蝕による凹道であると強く主張してやまない。前段で中世城郭の築城の原則を誤き，せめて三州内の城郭だけでも実地踏査をして欲しい

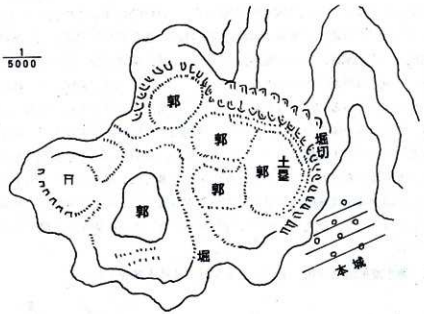
としている。結論として清水城とは，「稲荷山と清水屋形とを併せ称するもので，狭義にては国主の居館清水屋形のみが清水城である」とし，「清水屋形編成図」（5000分の１）を掲載している。

さらに同書は以上の説明のために，東福寺城跡，高山城跡，志布志松尾城跡，太良城跡，木牟礼城跡，亀ケ城跡，虎居城跡，一宇治城跡，谷山本城跡，御所ケ原城跡，菊池城跡，碇山城跡等について遺構等に着目しつつ，縄張り（城郭の平面プラン）を論じている。これには，高山城図，太良城図，牛山城図等(いずれも5000分の１）が付いている。図には曲輪，道，堀，堀切，土塁が記されている。このような踏査は中世の薩摩，大隅，日向の３か国をカバーしており，時期的にも初期より後期まで，領主についても島津氏とそれ以外，規模についても大規模からそれ程でないもの，時期についても長期にわたったものとそうでないもの，領主の本居城であったものとそうでないものと多方面を視野に入れて行われていた。

以上の点よりみて，同書は中世城館跡の最初の実地調査の報告であって，本県の中世城館跡についての基礎的な調査報告となっており，研究史上重要な役割を果した。その成果を示す図のうち代表的なものを２点転載しておきたい。

図８　林吉彦氏　清水屋形図（同氏「考古学上より見たる清水城址」による。）

図9　林吉彦氏高山城図（同氏「考古学上より見たる清水城址」による。）



3

中世城館跡を実測する作業は，昭和11年５月から翌年１月にかけて薩摩郡（現在の川内市を含む。）の全城館跡の実地調査をした福田信男氏によって，継承され飛躍的な発展をみた。この調査は歴史地理科で学び，岡山県の永山卯三郎氏の教えを受けた同氏が，昭和９年から鹿児島県立川内高等女学校（現川内高等学校）で教鞭をとることとなり，地元の郷土史の理解のために，古城跡を実地に調査し，位置を確認し，遺跡を確かめ，作図することを目標としたものであった。

実地調査は，城跡が土地台帳字絵図の何字に所在するか，５万分の１地形図のどこに当たるか，人工的な遺構があるか，その現状はどうか，文献や伝承と照応するかについて行い，見取図または実測図を書きし，位置，現状，文献，備考の４項について整理をした。

確認した103か城はもちろん，その他24か城を含めた127か城について2500分の１の実測図を作成した。その原図は昭和20年に空襲のため焼失してしまったが，全城の解説と一部の城郭の5000分の１実測図，鳥瞰図が『薩摩郡に於ける古城址の調査』（昭和12年２月川内高等女学校刊。昭和62年２月川内郷土史研究会がタイプ印刷で復刊。）として刊行されていたため，広く活用されている。

その103か城とは次のものである。備考には『三国名勝図会』に見えるものに㈠を付した。これにより103か城中42か城が，今回初めて記録された事も分かるのである。

	城館名	所在地	備考		城館名	所在地	備考
1	久住城	川内	㈠	2	清水城	川内	㈠
3	小鹿倉城	川内	㈠	4	椿山城	川内	
5	雲之上城	川内	㈠	6	楠元城	川内	
7	碇山城	川内	㈠	8	平佐城	川内	㈠
9	椿城	川内		10	二福城	川内	㈠
11	矢倉城	川内	㈠	12	椿城	川内	
13	都城	川内	㈠	14	南の城	川内	
15	水引城	川内	㈠	16	椿城	川内	㈠

17	宮里城	川内	(二)
19	検見ケ城	高江	(二)
21	白石ケ城	高江	(二)
23	椎城	水引	
25	梅ケ城	高城	
27	染之城	高城	(二)
29	妹背城	高城	(二)
31	高城	下東郷	
33	新城	上東郷	(二)
35	鶴岡城	上東郷	(二)
37	仮屋城	上東郷	
39	不詳(古城之段)	上東郷	
41	野首城	樋脇	(二)
43	助之城	樋脇	(二)
45	高城	樋脇	(二)
47	前田城	樋脇	(二)
49	久留主城	樋脇	
51	永利城	永利	(二)
53	大住吉城	入来	(二)
55	清色城	入来	(二)
57	灘上城	入来	(二)
59	川床城	入来	(二)
61	薗牟田城	薗牟田	(二)
63	片城	薗牟田	(二)
65	新城	大村	(二)
67	松尾城	大村	(二)
69	久冨木城	山崎	(二)
71	余ケ城	山崎	
73	高城	山崎	(二)
75	白男川城	山崎	(二)
77	不詳（城木場）	宮之城	
79	松尾城	宮之城	(二)
81	虎居城	宮之城	(二)
83	舟木古城	宮之城	
85	中城	宮之城	
87	湯田城	宮之城	(二)
89	畦吉古城	佐志	
91	長岡城	鶴田	(二)

18	不詳（城山）	高江	
20	大峯本城	高江	(二)
22	峯ケ城	高江	
24	湯田高城	高城	(二)
26	タンタコ城	高城	
28	内之城	高城	(二)
30	亀ケ城	下東郷	(二)
32	西川内城	下東郷	
34	原之城	上東郷	(二)
36	国司城	上東郷	(二)
38	不詳（城ケ原）	上東郷	
40	不詳(智屋城ケ段)	上東郷	
42	高城	樋脇	
44	樋脇城	樋脇	(二)
46	不詳(限城之段)	樋脇	
48	市比野城	樋脇	(二)
50	内田城	樋脇	
52	岩田ケ城	永利	(二)
54	椎城	入来	(二)
56	箕冠城	入来	
58	椎城	入来	
60	西之城	薗牟田	(二)
62	高城	薗牟田	(二)
64	西牟田城	大村	
66	永福城	大村	(二)
68	大久保城	大村	
70	松尾城	山崎	(二)
72	山崎城	山崎	(二)
74	折小野城	山崎	
76	栗脇城	山崎	(二)
78	平川城	宮之城	(二)
80	轟原城	宮之城	(二)
82	於手城	宮之城	
84	恋ノ巣城	宮之城	
86	高城	宮之城	
88	鶴ケ城	佐志	
90	鼠ケ城	佐志	
92	椿城	鶴田	

93	築瀬城	鶴田		94	不詳（城ケ段）	鶴田	
95	梅君ケ城	鶴田	(三)	96	丸尾城	鶴田	
99	鶴田城	鶴田	(三)	98	不詳（城之段）	求名	
99	境田城	求名		100	長野城	永野	(三)
101	亀城	里	(三)	102	鶴城	里	(三)
103	大城	下甑					

以上のうち33か城には実測図，見取図，鳥瞰図を掲載している。その中から代表的な６点を，当時の水準を示すものとして転載しておきたい。

図10　福田信男氏碇山城図（同氏「薩摩郡における古城址の調査」による。）

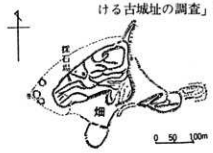


図11　福田信男氏平佐城図（同氏「薩摩郡における古城址の調査」による。）

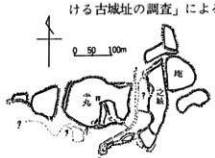
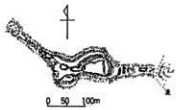


図12　福田信男氏絲脊城図（同氏「薩摩郡における古城址の調査」による。）

図13　福田信男氏市比野城図（同氏「薩摩郡における古城址の調査」による。）



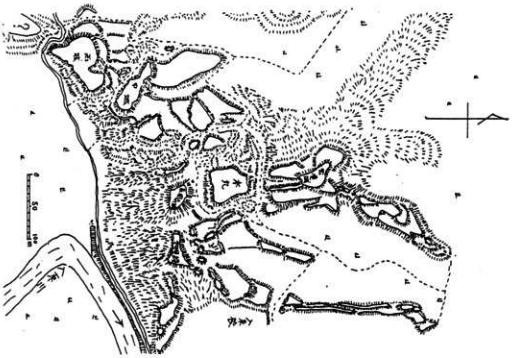


図14　福田信男氏清色城図

（同氏「薩摩郡における古城址の調査」による。）

図15　福田信男氏虎居城図
（同氏「諸磐郡に於ける古城址の調査」による。）

同書は，このような調査をもととして郡内古城跡の一般的考察として，次の10点をあげている。

（1）城館跡は戦略上の要地に存在している傾向がある。（2）その位置をみると鉄道沿線500m以内のもの23，バス路線500m以内のもの76，自動車通行可能道路500m以内のもの98であり，その城館の周辺部へ自動車の行けないところは4であり，かっての交通路と近いところにある。また高度をみると，標高100m以下のもの80，200m以下のもの99，300m以上のものは2で，本郡の地勢を考えると低位置にある。20万分の1地質図によれば，シラス地域にあるもの83，安山岩地域にあるもの11，沖積層地域にあるもの4，秩父古生層地域にあるもの2で，大部分が自然の侵蝕が垂直的に働き断崖を多く作り，低い丘陵でも登攀が困難になりうる地形ができるシラス地域に存在している。（3）分布は入来院氏，祁答院氏，東郷氏の3勢力の会合点に密であり，領主の摩擦面に多くなっている。（4）地形上では不明の3を除くと台地形を利用したもの26，尾根の先端を利用したもの25，尾根の中間を利用したもの14，独立した岡を利用したもの13，その他22で，台地性の形状による割合が半分以上となる。（5）川内川に臨むもの13，川内川支流に臨むもの20，小流に臨むもの30と河川を利用するものが6割を越え，そうでないものも周囲に泥沢があるもの等河川曲流の不足を補っているものがある。また，永野から市比野にかけ，付近の山峡を塞ぎ河川の水を溜めて，敵を防いだという伝承を持つものがあり，文献に記述されているものもある。（6）城郭構成についてみると，堀切がなく平坦な面も一つかそこらで単調なもの12，独立した岡ではあるが勾配が緩いので平坦な面をいくつか持つものすなわち堀切がなく複雑な平坦な面のもの8，一か所に堀切があって平坦な面の少ないもの19，一か所に堀切があって平坦な面が多いもの10，両端に堀切のあるもの4，中央に浅いが堀切のあるもの7，二つ以上の堀切があり，平坦面の多いもの15，その他で堀切のあるもの21となり，不明の3を除き96までは堀切があり，堀切のないものは4である。（7）土塁は44の城館にあり，過半はない。石垣は皆無で，礎石かと思われるもののあるものもなく，投げるための石とみられる大小の石がみられるものが2ある。井泉はないと思われ，大手口，搦手口の分かるもの，本丸・二の丸・三の丸の分かるものもほとんどない。城郭構成としては，何といっても堀切が目立ち，土塁がそれに次ぎ，他はほとんどないといえよう。（8）平坦な面とは曲輪の事とみてよく，不明の3を除き，単純

な曲輪しかないものは35で他は複雑に多くの曲輪があり，これらは質的にも高いものとなっている。(9) 城館跡は，畑地となっているもの78，宅地となっているもの27，山林となっているもの20で，その他の利用が15であり，大多数は開拓され経済的な価値を持っているので，城館期の原形は人工的に失われつつある。(10) 文献の城館跡についての記述は少ない。またあっても面積，幅員，周廻等は実際と違っている。

この考察は，薩摩郡の全中世城館跡についての基礎的調査を総括したものであるとともに，本県の中世城館跡の調査にも指針となるものである。

以上の点よりみて，同書は薩摩郡という限られた地域のみとはいえ中世城館跡の悉皆調査を計画し，それを完遂した実地調査，分布調査の報告であり，本県の中世城館跡についての学術的な調査報告となっており，研究史上画期的な役割を果たした。

4

本県の中世城館跡についての研究が，大きな流れとなるには，その後30年の日時が必要であった。本県の中世史研究が飛躍的な発展をとげたことがその背景にあるが，その推進者である五味克夫氏の指導を受けた田野辺道宏氏は，中世城館跡を実地調査し，見取図を作成した上で，主に山城の縄張りの性格を追求した。

実地調査は主なものだけでも，勝目城，平山城，給黎城，指宿城，御所ケ原城，菊池城，谷山本城，苦辛城，川口城，比志島城，矢上城，長谷場城，東福寺城，川田城，亀ケ城，伊作城，南郷城，一宇治城，鶴丸城，串木野城，鍋ケ城，大石城，桑原城，莫根城，尾崎城，出水城，蒲生城，清色城，鶴ケ岡城，建昌城，萩峯城，平安城，帖佐平山城，加治木城，長尾城，廻城，末次城，加瀬田城，垂野城，志布志内城，松尾城，安楽城，入船城，白石松尾城，高須城，木谷城，横山城，志々目城，大姶良城，富山城，弓張城，高山城，胡摩崎城，北原城，富田城，入船城，国見城，高城等の本県のほぼ全域にわたり，それぞれ見取図を作成している。このように本県の本土各地において多数の本格的な図面作りは初めての事であり，本県の中世城館研究と郷土史誌等の城館についての記述とに大きく貢献した。

さらに，明確な遺構を存するものは室町期か戦国期に使用されたものであると述べる等時代的変遷に注目し，升形，大手，櫓，腰曲輪，虎口等の城郭構成について考察を加えた。また，椿，城山，古城，城内，荒神，野首等の城館関連地名についても述べている。

これらは，昭和44年度の鹿児島大学法文学部史学科の卒業論文「鹿児島県に於ける中世城郭の一考察」にまとめられているが，未刊である。未刊であるとはいえ，この論文は，中世城館跡の現地調査により，本県の中世城館跡を縄張り図レベルで研究するための基礎を築いた。

この前後から，中世城館跡の調査・研究は各方面・各地で進展しており，

① 伊作城について　鳥羽正雄氏「亀丸城跡」（『鹿児島県文化財調査報告書』第3輯（鹿児島県教育委員会，昭和31年刊)），五味克夫氏「伊作城跡」（『(鹿児島）中世史研究会報』第7号（同会，昭和42年刊）

② 建昌城について　五味克夫氏「建昌城の史料」（『(鹿児島）中世史研究会報』第30号（同会，昭和46年刊)），臼井徹「薩摩本城候補地にあげられた建昌城」（『鹿児島県土地家屋調査士会』第7号（同会，昭和50年刊)），

③ 上城について　田野辺道宏氏「上城城址」（『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書（20)』「九州縦貫道関係埋蔵文化財調査報告書XI」（鹿児島教育委員会，昭和57年刊)，

④ 東福寺城について　五味克夫氏「東福寺城跡」（『鹿児島市文化財調査報告書』第2集（同委員会，昭和53年刊)），なお同城跡を含む鹿児島市街地と同周辺の城跡について上村俊雄氏「(現代都市と都市遺跡）鹿児島」（『古代学研究』第69号（同会，昭和48年刊)），

⑤ 大田城について　浜田盛秀・貴島清蔵『太田城の発見』（大田城顕彰保存会，昭和48年刊）

⑥ 南郷城について　中野繁氏「南郷城跡の研究」（『鹿児島史学』第26号（鹿児島県高等学校歴史部会，刊）），

⑦ 楠川城について　三木　靖「屋久島の楠川城」（『歴史読本』第25刊第15号（新人物往来社，昭和55年刊）），

⑧ 吉田松尾城について　三木　靖「吉田松尾城の研究ーその変遷及び縄張りについてー」（『(鹿児島短期大学）研究紀要』第30号（同学，昭和57年刊）），

⑨ 知覧城について　小幡晋氏「知覧城跡調査記」（『知覧文化』第19号（知覧町立図書館，昭和57年刊）），

⑩ 大口城について　三木　靖「大口城跡の絵図と縄張り図」（『(鹿児島短期大学）研究紀要』第31号（同学，昭和58年刊）），

⑪ 高山城について　中野繁氏「中世高山城と肝付氏について」（『鹿児島の歴史と文化』（鹿児島県歴史資料センター黎明館，昭和59年刊）），高山城跡保存管理計画策定委員会編『国指定史跡高山城跡保存管理計画策定報告書』（高山町教育委員会，昭和60年刊），三木靖「大隅国肝付郡高山城の変遷」（『(鹿児島短期大学）研究紀要』第36—37号（同学，昭和60—61年刊）），

⑫ 隼人関係城館について　小幡晋氏「隼人山塞考」（『大隅』第19号，（同史談会，昭和52年刊）），上村俊雄氏「隼人の城について」（『隼人文化』第３号（同研究会，昭和52年刊）），

⑬ 奄美関係城館について　里山勇慶氏「奄美の城」（同氏，昭和58年刊），沢村仁氏等「南西諸島中世遺跡の研究」（日本建築学会九州支部研究報告」第26号（同会，昭和57年刊），上野堯氏「名瀬市域における中世城館について」「『大島紀要』第１号（大島高等学校，昭和60年刊），中山清見「奄美のグスク」・義憲和「徳之島のグスク」（『特別展グスク』（沖縄県立博物館，昭和60年刊），徳富重成氏「徳之島のグスク考」（『徳之島探集手帖』第32号（徳之島郷土研究会，昭和58年刊），義憲和氏「古城探訪」（『徳州新聞』　昭和58年５月），三木靖「沖永良部島の山城」（『薩琉文化』第21号（鹿児島短期大学付属南日本文化研究所，昭和58年刊）），同「龍郷町のグスク関係調査の概要」（同前23号，同昭和59年刊）），

等があり，現在では各城館跡の縄張りとその変遷の検討も発表されるようになった。

前述した「城塁台場」の後，本県の城館跡について現地踏査の成果を含めた城名，所在地，城主等の一覧表としては，『日本城郭全集』（人物往来社，昭和43年刊）の鹿児島県，小幡晋氏「大隅・日向古城塁址名録」「薩摩国中世古城塁址名録」（『大隅』第17—18号（同史談会，昭和49，51年刊））（なお同氏には本県100余か城について紹介した『南九州の城址』（耕文社，昭和44年）がある。），三木靖編「(日本城郭大系）鹿児島県」（『日本城郭大系』第18巻（新人物往来社，昭和54年刊））がある。特に後者は，現地調査による見取図45点があり大島郡を含めて本県を網羅的に把握した点が特徴である。これに相当するものに「鹿児島県主要城跡一覧」（『鹿児島大百科事典　別冊』（南日本新聞社，昭和56年刊））等があり，現在，これらを基礎とした本県の中世城館跡の一覧表と紹介とが盛行することとなっている。

各市町村が刊行する『郷土史誌』，「文化財要覧」，「文化財地図」等には古くより，中世城館跡の紹介があったが，昭和40年代に入り，前述の調査報告書等の増加を反映して，意欲的な実地調査の報告がみられるようになったのも忘れてはならない。その中には『鹿児島市史・Ⅰ』（鹿児島市，昭和44年刊）のように中世の城下町について言及するものもあり，中世城館跡の周囲についても関心が寄せられるようになってきている。なお本回の中世城館跡調査による成果が，担当調査員等により発表されており，価値の高いものもある。本稿ではそれらについては割愛せざるをえなかった。

5

本県の中世城館跡についての発掘調査は，松本雅明氏が昭和44年に大島郡龍郷町戸口で戸口城跡を取りあげて（同氏『沖縄の歴史と文化』（近藤出版，昭和46年刊））以来であり，ここに本県の中世城館跡についての本格的な調査報告がみられるようになった。

以下，報告書の刊行順にそれをみておきたい。

①「村原（椋ノ原）遺跡」（加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書」（加世田市教育委員会，昭和52年刊））

②「南宮島遺跡」（「姶良町都市計画事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」（姶良町教育委員会，昭和52年刊））

③「萩原遺跡」（「同前」（同，昭和53年刊））

④「大龍遺跡」（「鹿児島市埋蔵文化財発掘調査報告書（1）」（大龍遺跡発掘調査団，昭和54年刊）

⑤「上ノ城遺跡」（「加世田市埋蔵文化財発掘調査報告書（2）」（加世田市教育委員会，昭和55年刊））

⑥「中尾田遺跡」（「鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書（15）・九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告Ⅶ」（鹿児島県教育委員会，昭和56年刊））

⑦「加栗山遺跡」（「同前（16）同前Ⅴ」（同））

⑧「小瀬戸遺跡」（「同前（19）同前Ⅹ」（同，昭和57年））

⑨「平泉城跡」（「大口市埋蔵文化財発掘調査報告書（1）」（大口市教育委員会，昭和57年刊））

⑩「苦辛城跡」（「鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書（27）・皇徳寺ニュータウン（仮称）造成工事に伴う埋蔵文化財調査報告書」（鹿児島県教育委員会，昭和58年刊））

⑪「廻城ー落城と出土遺物ー」（河口貞徳・本田道輝，昭和59年刊）

⑫「平山城跡（川辺城跡）」（川辺町埋蔵文化財報告書（1）」（川辺町教育委員会，昭和59年刊））

以上の外にも，調査を行ったもの等多くの成果があるが，代表的なものを掲載しただけでも，この10年間，連年中世城館跡の発掘の行われていることが明確になる。

その対象地は，県本土の中央から西側となっており，山城跡が多いが平城跡や館跡も含まれている。時代，本支城，規模等にも広がりがあるのが目につき，いずれも遺物を収集し，遺構も確認している。遺物はあまり多くはないが，遺構としては大規模な空堀，規模は小さいが要所ごとに設けられた堅固な空堀，数度の改変を示す虎口，建物跡，櫓列跡と考えられるピットを持つ曲輪跡等が発掘されており，正確な曲輪の形と配置，各曲輪の役割，空堀と道や虎口の位置についての検討資料が続々と提供されている。特に，文献にない城館跡が発見される事もあり，すべてが緊急発掘という性格を持ちながら，縄張りの検討・研究等中世城館調査に大きく貢献している。

おわりに

本県の中世城館跡については，早く藩政期に関心が寄せられていたので，関連する資料がある。文献による城館をめぐる研究はその後も進展をみたが，縄張り図をもとにした研究は『考古学上より見たる清水城址』『薩摩郡に於ける古城址の調査』以降であり，長い中断の後「『鹿児島県に於ける中世城郭の一考察』『日本城郭大系・鹿児島県』等により縄張り図レベルでの研究の基礎が確立した。この前後から，個別の縄張りの変遷の研究と発掘調査による本格的な報告とがみられるようになり，本県の中世城館の悉皆調査と，各城館跡の縄張りの詳細な調査とが現実的な課題となってきている。

中世城館跡一覧

第３章　中世城館跡一覧

鹿児島市

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
1－1	川上城	川上町字加栗山他	丘陵	山林 畠・宅地	300×650 複	不良	(正平７年～10年、文和元年～４年) ～慶長17年	川上氏	川上氏	1.4	加栗山（搦山） 野久保、引場	郭、空堀	発堀有
1－2	尾額小城（おくび）	稲荷町字後迫	丘陵	宅地		消滅	南北朝期～	中村氏 肝付氏 島津氏	中村氏 肝付氏 島津氏	1.3.4.5.6	後迫		
1－3	篠馬楽城（せばる）	坂元町字城ノ上他	丘陵	宅地 学校・墓地		消滅	南北朝期～	矢上氏	矢上氏	1.3.4.5.	城ノ上、城ノ下 天上		(別)矢上城
1－4	比志島城	笹与志町字古屋敷他	山頂	山林	150×200 複	やや良	(寛元元年～　) ～天正15年 宝治元年	満家氏	満家氏 比志島氏	1.3.4.5	城ノ脇、仮屋下 古屋敷	郭、空堀、土塁、虎口 井戸、土橋、大手、 からめ手	
1－5	小山田城	小山田町字高城他	山頂 平地	山林 畠・宅地	300×700 複	不良	(建武年間～ 延元３年・暦応元年)	小山田氏	小山田氏 吉田氏	1.2.3.4.5	高城（川路） 城山	郭、空堀、井戸、大手 からめ手、櫓台、通路	(郡)平城、高城
1－6	伴掾館跡	下伊敷町字天神城他	丘陵	山林	300×300 複	やや良	安和２年～正平６年	伴氏	伴氏、島津氏 伊敷良	2.3.4.5.6	城ノ谷、内ノ丸 天神城	郭、空堀、土塁	(別)神食城
1－7	犬迫塁	犬迫町字仮屋	丘陵	山林	100×150 複	良	建武年中～天文６年	小山田氏	比志島氏 島津氏	1.3.4	仮屋	郭、空堀、土塁	(別)勝岡城
1－8	夏薀城（なつかげ）	長田町字夏薀	丘陵	宅地		消滅	文和元年 (　　) 正平７年・明治10年	上山氏	西郷氏 上山氏 島津氏		夏薀、宇都		
1－9	原羅営	原良町字源六ケ入口他	丘陵	山林	150×200 複	不良	正平元年・貞和２年 (　　)～応永30年 正平24年・応永２年	畠山氏	畠山氏 伊集院氏	1.2.3.4.5. 6	源六ケ入口 尾畔	郭、空堀、土塁 水の手	(別)原良営
1－10	野元営	武町字城本	丘陵	山林	300×300 複	不良	南北朝期～(文明３年、 正平９年)	畠山氏	畠山氏	1.2.3.4.5. 7	城ノ本	堀	(郡)野元営 野元原武岡城
1－11	小田城	西別府町字小田城他	山頂	山林	200×250 単	良		芦谷氏 別府氏	芦谷氏 別府氏	4	小田城、取添	郭、堀、井戸、大手	(別)取添城
1－12	上山城	新照院町41－１	山頂	山林	100×200 複	やや良	(正平７年・文和元年) 正平24年	上山氏	上山氏 島津氏	1.3.5.7		郭、空堀、土塁、 からめ手	
1－13	鹿児島城	城山町字堀ノ面	平地	宅地 寺社境内地	200×900 複	不良	慶長７年～明治４年	島津氏	島津氏	1.3.4.5.7. 10.11.12	堀ノ面	水堀、石塁、水の手、 厨館、溜、櫓台、通路 大手、井戸	(別)鶴丸城　発堀有 県指定
1－14	清水城	坂元町字稲荷ノ上他	丘陵	山林・宅地	400×800 複	不良	応永８年～17年 ～天文19年	島津氏	島津氏	1.2.3.4.5. 5.8.9	稲荷ノ上 国料追掛 大興寺岡、大堀	郭、空堀、水堀、土塁 石塁、通路、大手	(別)鹿児島本城 樋之口城　発堀有

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	造構	備考
1－15	東福寺城	清水町字田ノ浦	丘陵	山林 寺社境内地	100×200 程	良	天喜元年～(応永11年、応永17年)	長谷場氏	長谷場氏 矢上氏、島津氏	1.2.3.4.5.6	田ノ浦	郭、堀、土塁 水の手井戸	
1－16	内城	大竜町字内の丸	平地			消滅	天文19年～(慶長7年、慶長9年)	島津氏	島津氏	1.3.4.5.6.11.15	内ノ丸	水の手、井戸、大手	発掘有 (別)御内、本御内
1－17	浜崎城	清水町字田ノ浦	丘陵	山林 寺社境内地	100×100 程	良	天喜元年～(貞和3年、正平2年)	長谷場氏	長谷場氏 矢上氏 島津氏	1.2.3.4.5.6	田ノ浦	郭、堀、土塁 水の手、井戸	1－15と同時
1－18	谷峰城(たにみねじょう)	常盤町字二之迫	丘陵	山林 宅地		消滅	南北朝期～(嘉応2年、建仁3年、観応元年、正平5年、観応元年、正平7年)	肝付氏	肝付氏 蛟島氏	1.3.4.5.	二ノ迫		
1－19	唐濱城(とうのはまじょう)	田上町字城ケ平他	丘陵	山林 宅地		消滅	南北朝期～(正平9年、文和3年)	畠山氏	畠山氏	1.2.3.4.	城ノ平、内城 陣ケ迫、陣ノ平 陣ノ原	郭	(別)郡山営
1－20	川口城	五ケ別府町川口字陣岡	丘陵	山林	200×300 程	やや良				2.	陣ノ岡	郭、空堀	
1－21	善幸城(ぜんこうじょう)	山田町皇徳寺字内ノ丸他	山頂	山林		消滅			平田氏	1.3.4.5.16	内ノ丸、内城 牛河内、 牧田平都	郭、空堀、土塁、虎口 土橋、水の手、水溜	発掘有 (部)牧田塁
1－22	前城	中山町字前山他	丘陵	山林 畠地	150×200 程	不良	応永24年			17	前城、内前 しがらみ	空堀	
1－23	神前城	上福元町字和田	丘陵	寺社境内地	100×100 程	不良			寺山氏	1.3.4.5.16		郭、空堀、通路、大手	(別) 玉林城、権現城
1－24	菊地城	上福元町字見寄	丘陵	荒地 山林	150×300 程	不良		菊地氏	菊池氏	3.4.5.16		郭、空堀	
1－25	御所ケ原城	上福元町御所原字後迫他	丘陵	宅地・山林 火葬場	200×300 程	不良	～康永元年、貞和3年	谷山氏	横良氏	3.4.5.16	後迫、見寄ケ原	空堀	
1－26	城ケ原	上福元町字城ケ原	丘陵	宅地		消滅				17	城ケ原		
1－27	椿山陣	上福元町字竹迫他	丘陵	山林	150×200 程	やや良	応永24年～	島津氏	島津氏	1.2.3.4.5.16	竹迫、牟田、入来堂ケ迫、椿山	空堀、水の手、井戸	(別)内城
1－28	渡之平城	上福元町字渡ノ平	丘陵	畠 宅地	150×200 程	不良	康永元年～	島津氏	島津氏	1.2.3.4.5.16	渡の平	空堀、水の手、井戸	
1－29	谷山城	上福元町字本城他	山頂 丘陵	山林 寺社境内地 その他	500×650 程	やや良			寺山氏、谷山氏 伊集院氏 帯刀氏	1.2.3.4.5.7.16	本城、堀落 陣ノ平、桜馬場	郭、腰郭、空堀、 水堀、土塁、虎口、 通路大手	(部)陣之尾城 千々輪城 弓場ケ城
1－30	茶臼ケ城	下福元町慈眼寺	丘陵	山林	250×800 程	やや良				4.6.17			(別)洗水ケ城
1－31	堀ノ内	下福元町西堀之内他	丘陵	山林		消滅				4.	太郎の宇都 西堀之内 東堀之内		
1－32	宇宿城	和田城宇宿城他	平地	畠 平地		消滅	慶応4年～	山田氏	山田氏	1.4.16.17	宇宿城、野首		
1－33	大蛸山陣(おおだこ)	平川町字蛸山	山頂	山林	150×150 単	良		島津氏			蛸山		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
1－34	辺田城	中山町字辺田	山頂	山林	200×300 複	やや良					辺田	郭、空堀、水の手	(別)
1－35	茶磨塁	武町三丁目三重尾崎	丘陵	山林	200×400 複	良	南北朝期～	畠山氏	畠山氏	1.2.3.4.	三重尾崎	郭、空堀	(別)茶臼城
1－36	橋之口城	坂元町字城ノ後	丘陵	山林 宅地	500×600 複	不良	応永８年～天文19年	島津氏	島津氏	2.	長谷場	堀	

指宿市

2－1	松尾城	西方字城ケ崎	山頂 平地 丘陵	山林 寺社境内地	300×900 複	やや良	～鎌倉時代 慶長20年	頴娃氏	指宿氏,河多氏 宇良氏,島津氏	66	城ケ崎	犬走り、空堀、井戸 折れひずみ	(別)指宿城
2－2	清見城	池田字城ケ平	山頂	山林	200×400 単	不良	室町時代初期～		池田氏		城ケ平		
2－3	原田城	十二町中小路他	山頂 山麓	山林 畠 寺社境内地	100×200 単	不良		指宿氏	指宿氏		原田	空堀	(別)ハンダン城

枕崎市

3－1	桜之城	西鹿籠字城山他	丘陵	山林 宅地	100×300 複	良	元禄元年(天文７年)～元和元年	島津氏	島津氏 喜入氏	3.200			(別)山之城
3－2	鵜之城	枕崎字前河鼻	台地	宅地		消滅	(享禄元年)(天文７年)～元和元年	島津氏	島津氏 喜入氏	3.200	前河鼻		
3－3	鳥城	西鹿籠字山下	丘陵	山林 (墓地)	150×150 単	やや良	(享禄元年)(天文７年)～元和元年	島津氏	島津氏 喜入氏	200	山下		
3－4	小湊城	西鹿籠字町村	平地	宅地 (原野)		消滅	(享禄元年)(天文７年)～元和元年	島津氏	島津氏 喜入氏	2000	町村		
3－5	小陣	西鹿籠字小陣	丘陵	山林	100×200 単	良		島津氏	島津氏 喜入氏		小陣		

加世田市

4－1	竜瀬城	武田字池ノ山他	山頂	山林	200×250 複	やや良				70	池ノ山,下池ノ山,登立ノ山 登立ノ下,地蔵堂,城ケ崎 荒瀬下,大荒瀬,荒瀬,東瀬	郭,腰郭,犬走り, 空堀,土塁,虎口, 水の手,通路,堀底道	
4－2	別府城	武田字城ノ山他	山麓	宅地 寺社境内地 老人福祉センター	150×200 複	不良				70	城ノ山、尼ケ城 上鴻巣、下鴻巣	虎口、通路、大手	(別)加世田城
4－3	上ノ城	武田字上ノ城他	丘陵	山林 宅地	150×350 複	不良				70	上ノ城、陣ノ尾 八反堀、柿本小路	郭、腰郭、空堀、 土塁、虎口、水の手 通路、堀底道、庭園	発堀有 (別)新城
4－4	内田城	唐人原字陣ノ尾他	丘陵	山林	150×200 複	良				70	下上鴻巣,下中鴻巣 山下小路,下瀬戸口	郭,腰郭,空堀,通路 堀底道	
4－5	尾守城	村原字砕ノ原他	丘陵	山林 畠・宅地	200×250 複	不良				3.70.71		郭、腰郭、空堀、 土塁,水の手,通路	発堀有 (別)大森城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
4－6	陣	益山字陣	平地	宅地		消滅			別府氏の一族	70	陣		
4－7	花牟礼城	川畑、花牟礼他	丘陵	宅地		消滅				70	花牟礼、花牟礼下 上約場、下約場	堀	
4－8	柿本城	武田字中野他	丘陵	山林、水田 畠、宅地	150×200 程	不良	平安末期～	平氏 別府氏			中野、柿敷、前ノ山 後ノ平、柿本	郭、腰郭、空堀、水の 手、井戸、古木他	
4－9	佐方城	唐人原字佐方原他	平地	畠、宅地 (荒地)	100×200 程	不良		益山一族		70	佐方原、上横ケ谷 横ケ谷、佐方村	腰郭、空堀、水堀、 通路、堀底道	
4－10	小陣	唐人原字山下他	平地	山林、畠 宅地	100×150 程	不良		益山一族		70	山下、小陣峠、小陣 小陣ノ上		
4－11	土城	内山田字土城他	平地	畠 (茶園)	100×100 程	不良				70	土城、大谷ノ尻、 水河路各、相草野迫 相草野口、桜ケ各	空堀	(別)岡ケ岡
4－12	古城	内山田字原他	平地	山林 宅地	150×200 程	不良				70	原、原山、瀬戸口、 道、後道、赤牛 外堀、上下堀	空堀、通路、大手	
4－13	鵜塚陣	益山字宇都	小丘	山林 宅地	100×100 単	不良				70	宇都		(別)鵜ノ塚

串木野市

5－1	串木野城	上名麓	山頂	山林 宅地 寺社境内地	200×300 程	やや良	(建保3年)～元和元年 (承久2年)～元和元年	串木野氏	串木野氏 川上氏 山田氏	3.100	城之元	折れひずみ、 石塁、井戸	(別)亀ケ城 城之元
5－2	坂下城	上名生堀字坂下	丘陵	畠		消滅	(建保3年)～元和元年 (承久3年)～元和元年	串木野氏	大前氏一族	3.100	坂下	空堀	(別)坂下殿 カラユウ(殿)
5－3	殿城	上名字門前	丘陵	畠	200×300 程	不良	(建保3年)～元和元年 (承久2年)～元和元年	串木野氏か?	在庁氏 串木野氏	100	門前(殿ケ鼻)	帯郭、空堀、石塁、 井戸	(別)門前 殿ケ鼻
5－4	浜ケ城	下名字浜ケ城	丘陵	寺社境内地 宅地	250×300 程	不良	(建保3年)～元和元年 (承久2年)～元和元年	串木野氏	在庁氏 串木野氏	3.100	浜ケ城	井戸	
5－5	羽島城	羽島字殿他	丘陵	山林 畠	200×300 程	良	中世初期頃～元和元年	都司氏	都司氏 国分市	3.100	殿(城ノ平)	井戸	(別)野中殿、殿
5－6	陣ノ岡	羽島字陣ノ岡	山頂	山林	200×400 程	不良	中世初期～	都司氏 伴氏		100	陣ノ岡 (松尾殿)		(別)鳥越陣ノ尾 陣ノ尾、松尾殿
5－7	城ノ園	荒川字城ノ園	丘陵	畠	150×200 程	不良	中世初期～元和元年	荒川氏	荒川氏 串木野氏 島津氏	3.100	城之園		
5－8	陣ケ岡	荒田字城ノ本	山頂	山林	200×300 単	不良	中世初期～承久2年	串木野氏	串木野氏	3.100	陣ケ岡(城ノ本)		(別)城ノ本
5－9	出城	荒川字出城	山頂	山林	250×300 単	良	中世初期頃～元和元年	荒川氏	荒川氏 串木野氏 島津氏	100	出城		

川内市

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	城域者	在城者	文献	地名	遺構	備考
6－1	碇山城	天辰町字碇山	丘陵 平地	山林 宅地 採石場	200×200 複	不良	廷元４年 ～文明17年		島津氏	3.14.54	碇山		
6－2	猪子岳城	高江町字猪子岳	山頂	山林	100×150 単	やや良		豊臣氏		3.	猪子岳	郭．堀	(別)猪猫岳城
6－3	高江城	高江町東ノ城西ノ城	平地			消滅					東ノ城．西ノ城	土塁	(部)東ノ城．西ノ城 (別)城山城
6－4	白石ケ城	高江町白石ケ城	丘陵	山林 宅地	150×200 単	やや良					白石ケ城	井戸．通路．大手	
6－5	高江峰城	高江町字内場．	丘陵	小学校敷地 墓地(共同)	150×300 複	不良	南北朝時代 ～近世初期	島津氏	高江氏．山田氏．石坂氏 新川氏．平良氏．上下氏 入来院氏．島津氏 北郷氏	3.55.56	内場．上小牟礼	空堀．土塁．井戸	(別)寨城
6－6	寄田城	寄田字南仮屋園	山麓 平地	山林 畠	150×300 単	不良			寄田氏．執印氏 島津氏 入来院氏		南仮屋園		
6－7	大峰元城	高江町字山口上	丘陵 平地	山林 畠		消滅			武光氏 樋氏	3.	山口上	水堀	
6－8	検見ケ城	高江町字平	丘陵	山林 宅地	100×100 単	やや良				3.	平	空堀．井戸	(別)検ケ城
6－9	妹背城	高城町字城内	丘陵	山林	150×500 複	やや良	建久８年～元亀元年	武光氏 高城氏 東郷氏		3.53	妹背		(別)高城城
6－10	内之城	高城町字上手	丘陵	畠	100×150 単	やや良					内之城		
6－11	染ノ城	高城町字上手	丘陵	畠	200×200 単	やや良					上手		
6－12	梅ケ城	城上町字川原段	丘陵	荒地		消滅					川原段		
6－13	タンタコ城	城上町城上字今寺	丘陵	山林	200×300 単	やや良					今寺		(別)白鹿城
6－14	平山城	城上町平山字下塚	丘陵	畠	200×250 単	やや良					下塚		
6－15	藤峰城	城上町川平字今寺	丘陵	山林	100×150 複	良					今寺		(別)藤の坊
6－16	樒城	小倉町字樒	丘陵	畠	100×200 単	不良					川底		
6－17	小倉城	小倉町字山茶園	台地	河川敷		消滅					立山茶園		
6－18	八丸城	小倉町字柳ノ丸	山頂	山林 寺社境内地	150×250 単	やや良					川底		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
6－19	館城	五代町字平	丘陵	山林 畠	200×400 複	やや良	仁安2年～文明17年	長田氏			平	井戸，大手，堀底道	(別)永田城 長田城
6－20	尾賀館城	隈之城町字尾賀他	丘陵	畠・宅地 学校敷地	200×300 複	不良				3.	尾賀，尾賀上 瀬白木		
6－21	小城	勝目町字小城他	平地	畠 宅地		消滅					小城，外園原		(別)館城
6－22	二塚城	隈之城町字城ノ下他	丘陵	畠 宅地	200×200 複	不良	鎌倉時代～ 安土桃山時代	薄葉氏，島津氏 種子田氏，吉田氏 新納氏，山田氏		3.14.12	城ノ下，城		
6－23	矢倉城	矢倉町字矢倉城	平地	宅地		消滅				3.	矢倉城		
6－24	勝目館城	勝目町字館	丘陵	畠 宅地	150×300 複	やや良					館		
6－25	館山城	中村町字上持他	山頂	山林	150×200 単	やや良				3.	上持，正止		
6－26	雲之上城	中村町字片山他	山頂	山林	150×250 複	やや良				3.	片山，白谷，白山	土塁，礎石	
6－27	小鹿倉城	中村町字城山	丘陵	山林 (河川敷)	100×200 複	良				3.	城山		
6－28	清水城	中村町字寺之段	丘陵	山林 畠	100×300 複	良				3.	寺之段		
6－29	亀之城	中郷町字山崎	丘陵	畠 宅地	150×150 複	不良				3.4.	山崎	空堀	(別)かくまれ城 鶴丸城
6－30	久住城	久住町井場ケ迫	丘陵	山林 宅地	200×250 複	良					井場ケ迫		
6－31	小松城	宮内町字小松城	平地	水田		消滅					小松城		
6－32	永引城	御陵下町字本城東之城	平地	宅地		消滅			高城氏，島津氏 今給黎氏，東郷氏 都答院氏	3.19	本城，城事		(別)屏風城 田島城
6－33	白谷城	陽成町字本川白谷	丘陵	山林	100×300 複	不良					本川		
6－34	白浜城	白浜町鳥山	丘陵	山林・畠 宅地		消滅			白浜氏		鳥山		
6－35	新城	田海町字新城ヶ原	山頂	山林	200×400 複	良	天正年間～	島津氏	島津氏	3.5.	新城ヶ原		
6－36	高城	田海町字高城	山頂	山林	100×250 複	不良					高城		
6－37	西川内城	田海町字西川路	山頂	山林	250×500 複	不良					西川路		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
6－38	総徳ノ城	都町字屋敷田他	丘陵	山林・畠 宅地	150×400 複	不良				3.	屋敷田、門前 麦、灰原、京手		(別)麦城
6－39	都城	都町字都原	丘陵	畠・宅地 寺社境内地	200×350 複	やや良				3.	都原		
6－40	永利城	永利町山田字大手	丘陵	山林 宅地	150×450 複	不良			永利氏 島津氏 入来院氏	3.14.57.	大手		
6－41	石神城	永利町字石神	丘陵	山林、畠 宅地	150×300 複	不良			永利氏		石神		(別)石上城
6－42	猫岳城	高江町字猫岳	山頂	山林 寺社境内地	150×300 単	やや良	天正15年～	豊臣氏	豊臣氏	3.	猫岳	郭、空堀	(別)一夜城
6－43	鉢巻城	宮里町字安養寺	山頂	山林 宅地	200×350 単	やや良	天正15年～	豊臣氏	豊臣氏	3.	安養寺	郭、土塁 折れひずみ、石塁	(別)安養寺砦
6－44	宮里城	宮里町字古城	丘陵	山林 宅地	100×200 単	やや良	南北朝初期 建武３年～元亀元年	宮里氏	宮里氏、島津氏 入来院氏、北郷氏	3.58.59.	古城	空堀、土塁	
6－45	平佐城	平佐町字庵ノ城他	丘陵	山林、畠 宅地 寺社境内地	600×900 複	不良	鎌倉時代～	薩摩氏	北郷氏	3.56.60	藤崎、庵之城 寄待	空堀、土塁、石塁	(別)源訪之尾城 建技城
6－46	橋元城	橋元町字宝岩	丘陵	畠 宅地	100×150 複	やや良					宝岩、三丸		(別)渕ノ上城
6－47	松尾城	湯田町字城ノ尾	山頂	山林	100×150 単	不良					城ノ尾		
6－48	湯田城	湯田町字高城	山頂	山林	300×300 複	不良			神崎氏 東郷氏 島津氏	3.5.61	高城		
6－49	萩城	湯田町字行人平	山頂	山林	100×200 単	良					行人平		(別)ハゲ城
6－50	仕剣丸城	西方町仕剣丸	山頂	山林	200×300 単	良					仕剣丸		
6－51	百次城	百次町字上野他	丘陵	畠 宅地	400×550 複	不良	鎌倉初期～戦国まで		上野氏 山崎氏 入来院氏	3.64.65	城ノ下、白谷、 上野、和田		(別)岩田ケ城 上野城

阿久根市

7－1	奥弥城	大字山下小字片野他	山頂	山林	500×800 複	やや良	弘安年間～文禄２年	阿久根氏	阿久根氏 有馬氏	3.4.5. 206.207	片野、寒	郭、通路	
7－2	新城	大字山下小字新城他	丘陵	採砂場		消滅	永禄年間～文禄２年	阿久根氏	阿久根氏	3.4.5. 206.207	新城、久保下		
7－3	中之城	大字山下小字新城	丘陵	宅地		消滅	室町中頃～寛永以前	阿久根氏	阿久根氏	3.4.5. 206.207	新城		
7－4	出水ケ塁	大字鶴川内小字丸塚	山頂	山林	150×200 単	やや良	天文年間～永禄年間	島津氏	島津氏	3.4.5. 206.207			

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
7－5	出水ケ陣	大字鶴川内	山頂	山林	100×150 単	良							㊟
7－6	桑原城	大字鶴川内小字桑原他	丘陵	宅地 畠、山林	150×250 複	やや良	正治２年～江戸初期	島津氏	島津氏 宮原氏	3.4.205 206.207.208	桑原、城ノ迫 通路、井戸	郭、井戸、虎口、 通路、井戸	
7－7	田代城	大字鶴川内小字西原他	山頂	山林 畠	200×200 複	やや良	天文年間～文禄12年	田代氏	田代氏	3.4.5. 206.207	西原、下西原	郭、堀、通路、 虎口	
7－8	大石城	大字波留小字元年他	山頂	山林 畠	200×300 複	やや良	元弘年間～文禄２年	大石氏	大石氏	3.5. 206.207	元年、大蔵庵	郭、石垣、井戸、 通路、大石	
7－9	賀喜城	大字波留小字鳥越他	山頂	山林	200×200 複	やや良	弘安年間～正安年間	葛弥氏	葛弥氏	3.4.5. 206.207	鳥越、塩屋	郭、池、通路、 井戸	(別)大竹城
7－10	小田城	大字波留小字向山	山頂	山林 畠	200×300 複	やや良	弘安年間～正安年間	葛弥氏	葛弥氏	209	向山、小田代	郭、通路	
7－11	大川上城	大字大川小字橋ノ口他	山頂	山林 畠	250×300 複	やや良	天文年間～文禄２年	湯田氏	湯田氏	3.205.206	橋ノ口、東宇都 中ノ越、折尾野	郭、通路	
7－12	大川下城	大字大川小字久保下	丘陵	神社境内 畠	100×200 複	不良	天文年間～文禄２年	湯田氏	湯田氏	3.205.206	久保下	郭,虎口,通路,石塔	
7－13	大下城	大字多田大字大下他	山頂	山林	150×300 複	やや良	応永年間	坪久田氏	坪久田氏	3.4. 205.206	大下、山ノ口	郭、通路	(別)多田城,地主城
7－14	陣之尾塁	大字多田小字陣之尾	山頂	山林	150×300 複	やや良	正平年間	菊池氏	菊池氏	3.5. 206.207	陣之尾	郭、通路、塁	

出水市

8－1	井之上城	上鯖渕字大城他	丘陵	山林、畠 宅地 寺社境内地	150×200 複	やや良			和泉氏 井口氏	3.27	大城、小城、下平 上平田、井ノ上、御所廻り 北御所遺跡	郭、腰郭、水の手	(別)井口城、井口居 小城
8－2	太田城	上鯖渕字太田	丘陵	畠 宅地	150×300 複	不良				27	多宝寺、里屋、作馬場 西平、堂山	水の手	
8－3	知色城	中央町字大崎他	平地	畠、宅地		消滅			知識氏 島津氏	3.27	大城、大将軍、カキフセ 蔵、御供田、堂築院、 八幡、新村		(別)尾崎城
8－4	谷城	下知識字谷城他	平地	水田、畠 宅地		消滅				27	谷城、東内城 西内城	水の手	
8－5	松尾城	上鯖渕字松尾中他	丘陵	山林 畠、宅地		消滅				27	松尾(中、東、下)段 馬場、若宮、尾崎、岩屋		
8－6	朝熊城	下鯖渕字朝熊他	山麓	山林、宅地 寺社境内地 その他	100×250 複	不良			朝熊氏	3.27	朝熊、諏訪後		
8－7	安原城	下請渕字永福他	丘陵	山林 寺社境内地 その他	100×150 複	良			安原氏	27	永福、鐙 安原、御供田		
8－8	内城	中央町字成瀬寺他	平地	水田		消滅			平城氏	3.27	成願寺、八坊、滑中 二光院、伝法院敷、長谷場		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
8－9	出水城	武本花見ヶ城他	丘陵 平地	山林、水田 畠、宅地 寺社境内地	700×800 複	やや良	建久年間～	和泉氏	肝付氏 島津氏	3,27,28	花見ヶ城、高ノ口、城内、出水、武本、馬場ノ上、堀ノ内、城ノ段	郭、腰郭、土塁、空堀、土塁、石塁、犬走り、空堀、竪堀	(別)鳥ヶ城、和泉城 (部)花見ヶ城
8－10	平山城	武本字老神他	平地	水田		消滅			和泉氏	27,28	老神、老神ノ上、大坪、東大坪		

大口市

9－1	王城	平出水字王城	丘陵	山林 畠	100×250 複	良	南北朝～戦国期				王城		
9－2	大平城	田代字仮屋	丘陵	山林	200×300 複	良	保元３年～建久５年		大平氏		仮屋	空堀	
9－3	薤原城	薤原字城ヶ尾	丘陵	山林 畠	200×400 複	良	鎌倉期～室町期		薤原氏		城ヶ尾		
9－4	陣之尾城	薤原字大道他	丘陵	山林	300×800 単	良					大道、道ノ上、上ノ原、芳ヶ迫		
9－5	曽木城	曽木字取添	丘陵	山林	200×300 複	良		曽木氏			城添	空堀、井戸	(別)源詰城
9－6	小鷹城	下殿字山下他	丘陵	学校敷地		消滅	～文禄年代				山下、七口城		(別)高殿城
9－7	羽月城	下殿字野首	丘陵	山林	100×300 複	不良	南北朝～戦国末期		羽月氏、島津氏 新納氏、肝付氏		野首	空堀	(別)藤尾城、高山城
9－8	平泉城	平出水字城脇	丘陵	山林		消滅	南北朝～戦国末期	牛屋氏	宇宿氏、島津氏 伊集院氏		城脇	空堀、井戸	発堀有
9－9	渕辺城	渕辺字中村	丘陵	山林	150×300 複	良	鎌倉末～		渕辺氏		中村	空堀	
9－10	山ノ城	曽木字山ノ城他	丘陵	山林 畠	300×400 複	やや良			曽木氏		山ノ城、坂ノ上		
9－11	山野城	山野字松尾	丘陵	山林	100×200 複	やや良			山野氏、相良氏 島津氏、菱刈氏		松尾	井戸	
9－12	大口城	里山字城山	丘陵	山林 畠	200×500 複	やや良	建久年代～近世初期		牛屋氏、永留氏 大島氏、新納氏	99.	上ノ馬場、城山	空堀、土塁、石塁	(別) 牟田口城、牛山城
9－13	鳥巣城	鳥巣	低 丘陵端	山林	150×400	やや良	南北朝～戦国期						⑧
9－14	前城	宮人	低 丘陵端	山林 畑地	200×400	やや良	南北朝～戦国期						⑧
9－15	目丸城	目丸	台地端	墓落 畑地	200×300	やや良	南北朝～戦国期						⑧
9－16	牛尾城	牛尾	台地端	山林	300×400	やや良	南北朝～戦国期						⑧

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	文献	遺構	備考
9－17	川岩瀬城	川岩瀬	台地端	山林	200×500	良	南北朝～戦国期						⑧
9－18	針持城	針持	台地端	山林 畑地	200×250	良	南北朝～戦国期						⑧
9－19	関白陣	曽木天堂ケ尾	小丘陵上	小公園	200×300	良	天正15年～	豊臣氏					⑧
9－20	郡山城	郡山	台地端	山林	200×400	やや良	戦国期						⑧
9－21	木之氏城	木之氏　城ノ口	台地端	畑地 山林	200×700	良	戦国期				城ノ口		⑧

国分市

10－1	上井城	大字上井町平井他	山頂 山麓	山林、畠 宅地 寺社境内地	200×400 複	不良	康正２年頃～　文明17年 慶長17年	上井氏	隼人氏、 島津氏、上井氏	1.3.5.14 137.193	平館、拝殿、一条、内門、 宮下、宮脇、神社、大隅郡、米迫 郡境、城尾子、宮脇、見ノ迫		
10－2	桂姫城	大字上の段白尾谷他	峡谷	山林	200×250 単	不良				3.5	白尾谷、マブシ谷、関所谷 高田口郷、内野々、山神下、 湯屋、屋形前		
10－3	清水城	大字清水外城	山頂	山林	600×800 複	不良	古代～慶長２年頃	梶所氏	梶所氏、本田氏、 隼人氏、島津氏	1.3.5.14 137.196	外城、寺馬場、殿屋、土塁、 正馬場、土居、堀切、豊ノ口、 新田、本田、安田口		(別)清都城 芦原城
10－4	郡田小城	大字郡田字小城	丘陵 平地	山林、畠 宅地（工場）		消滅	建武４年～	野付氏、野辺氏 谷山氏、矢上氏	野付氏、野辺氏 谷山氏、矢上氏	1.5.196	小城、弁平、亀甲、辻、松原口、 口ノ町、堂前、宮脇、鍛ヶ淵、 御蔵が平地		(別)郡田城
10－5	高松城	大字郡田城ケ原他	丘陵	山林 オートバイ練習場 養鶏場	150×300 複	不良				1.	北尾原、堤ケ元、城ケ原、草神、 鍛冶、高松屋敷、屋台原、 五色野、本戸		
10－6	橋木城	大字重久吉永山他	山頂	山林 寺社境内地	400×600 複	不良	治安元年～	梶所氏	梶所氏、重久氏 伊集院氏、島津氏 北郷氏、本田氏	1.3.5.14 7.197.198	吉永山、今城、鍛冶、今城、 狐ノ下原、道場口、白盛、 中盛		(別)橋城、曽於郡城 神山城、曽於中城、 新之下都城
10－7	長尾城	大字敷根大王原他	山頂	山林 寺社境内地	200×1000 複	やや良	元暦元年～慶長18年	土岐氏	土岐氏 敷根氏	1.3.5.14	大王原、番水、草道、小城、 野木山、向ケ原、門倉、鍛冶 神楽、御法道、鳥越		(別)敷根城
10－8	鼻連山城	清水字鳥越他	丘陵	山林、宅地 寺社境内地 墓地、大字、鳥居敷地	150×300 複	不良	建部４年～建部５年	野付氏、野辺氏 矢上氏、 大隅氏、谷山氏		1.3.14.193	鳥越、鼻連、三岡、山城、 西原園、上園、川園、中島 浦合、道場下、江後		
10－9	隼人城	大字上小川村新城	山頂	山林、公園 城山公園	500×600 複	不良	大永５年～明治初年	本田氏 島津氏	本田氏 島津氏	1.3.5.7. 14.193.194	新城、城ノ下、城の下、小城、 正尾、野付ケ原、大手、大竹山 大手、沙門原		(別)国分城 清水新城、国府新城 発掘有
10－10	舞鶴城	中央町二丁目五の一	平地	宅地 学校	200×400 複	不良	文禄５年～慶長17年	島津氏	島津氏	1.3.5.7.14 193.194. 195	新館、御内、大馬場、大竹山 建速王、大屋根		(別)御内、御内屋敷
10－11	渡瀬ノ陣	大字川内字渡瀬	丘陵	山林	150×200 複	不良	慶長４年～慶長５年	島津氏	島津氏、勝目氏 入来院氏	3.5.14.193	渡瀬、陣ノ口、子盛、 関向谷、本山、堅見、大尾、 百尾谷、菊山、鍛冶下		
10－12	姫木城	大字姫城小字城山他	山頂	山林	200×1000 複	不良	古代～天文年間	梶所氏	梶所氏、姫城氏 本田氏、島津氏 伊集院氏	1.3.5.14. 137.196. 199	竹下、上石原、沼前、河手石 竹下、中城、石城、上下新切 土ケ所、西尾、川原、山野、大島		(別)比売之城 比売奴城、熊襲城
10－13	檜井堀	新町字内ノ丸	山麓 低丘陵	宅地 会社工場	200×300 複	不良	正平初年～			131	内ノ丸		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
10−14	桑ノ丸	重久字桑ノ丸	丘陵	山林	200×200 複	やや良	南北朝～戦国期	重久氏			桑ノ丸		
10−15	野口高城	野口字東高城他	台地端	水田・畠宅地	100×350 複	やや良	南北朝～				東高城、西高城 中高城		(別)高城
10−16	字豆塞畳	上井字字豆門	丘陵	山林	150×400 複	やや良	南北朝～戦国期				字豆門		
10−17	脇ノ丸城	上ノ段字脇ノ丸	丘陵	山林	200×700 複	やや良	戦国期～戦国末期	数根氏(?)			脇ノ丸		
10−18	府中館	府中字石園他	平地	寺社境内地	100×350 複	やや良	和銅６年～天援３年				石園、中領		(別)中丸城
10−19	片城塁	上ノ段字片城	丘陵	山林	100×100 単	やや良	戦国期～戦国末期	堀氏		121	片城		
10−20	下井城	下井	台地端	集落地	300×300 複	不良	戦国期～						◉
10−21	幸原城	川原	丘陵台地	山林	200×800 複	良	上代～中世						◉
10−22	陣ノ口	川内	小丘陵端	山林	150×500 単	良	戦国期～						◉
10−23	台明寺塁	台明寺	台地端	山林	150×250 単	良	戦国期～						◉
10−24	後川内城	後川内	丘陵台地	山林	200×400	良	上代～中世						◉
10−25	野坂塁	小川内	丘陵台地	山林	250×350	良	戦国期～						◉
10−26	川内城	川内　城ケ谷	丘陵台地	山林	250×350	良	上代～中世						◉

垂水市

11−1	入船城	牛根麓字城山	丘陵	山林畠	150×150 複	やや良	暦応年間～暦応２年	牛根氏	港浜氏、小川氏牛根氏、肝付氏	134、135 136	城山	郭、堀、水堀、たて堀、土塁、水の手、大手、からめ手（清水）	(別)牛根城
11−2	尾迫城	浜平字尾迫	丘陵	畠	150×200 複	やや良	応永年間～	伊地知氏	伊地知氏		尾迫	土塁	
11−3	葛迫城	浜平字城内	丘陵	畠	150×300 複	やや良	応永年間～	伊地知氏	伊地知氏	134、135	城内	土塁	
11−4	古今城	新城字感王寺	丘陵	山林	200×350 複	やや良					感王寺		
11−5	崎山城	海潮字崎山	丘陵	山林畠	100×200 単	やや良	南北朝期～	肥後氏	肥後氏		崎山		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
11－6	白石城	新城字白石	丘陵	山林	200×400 複	良					白石		
11－7	高城	高城字城前他	丘陵	山林 畠	150×200 複	良	大永2年～天正2年	肥後氏	肥後氏 伊地知氏		城前、地蔵下 中道 本高城川原		
11－8	垂水城	市木字成山他	丘陵	山林 畠	200×250 複	やや良	保安元年～元和元年	藤原氏	藤原氏、五弁氏 伊地知氏、島津氏 川田氏		陣ノ尾、天下平 城山、城ノ下 葛迫	郭、空堀、土塁、 折れひずみ、水の手 (清水)	(別)荒崎城
11－9	田上城	田神字田上他	丘陵	山林 畠	200×300 複	やや良	応永年間～慶長4年	伊地知氏	鬼塚氏、伊地知氏 和泉氏、勅使氏 島津氏		田上、小尾中野 小牧、宇都、 等持院、是井元	堀、(空堀)、土塁、 通路	
11－10	早崎塁	牛根麓字早崎	丘陵	山林	250×500 単	不良			河南氏 島津氏		早崎		
11－11	林城	田神字上馬場他	平地	垂水小学校 敷地		消滅	慶長16年～明治2年	島津氏	島津氏		上馬場、後馬場		
11－12	垂水本城	本城字上本城他	丘陵	山林 畠	100×250 複	やや良	応永20年～慶長4年	伊地知氏	島津氏		上本城、三野ノ下 寺ノ北良、中字都	堀、土塁、大手、 からめ手	
11－13	新城	新城字城山	丘陵	山林	300×600 複	良					城山		(別)松尾城
11－14	小浜塁	海潟字小浜塁他	丘陵	山林	200×300 単	不良	元亀初期～	伊地知氏	伊知地氏		小浜塁、丸尾 門の口、城ノ原		
11－15	茶円ケ尾塁	海潟字茶円ケ尾	山頂	山林		消滅					茶円ケ尾		
11－16	平常の陣	牛根麓字陣ノ原	丘陵	山林 畠	150×150 単	やや良	元亀2年～	島津氏	島津氏		陣之原	土塁	(別)陣ノ原塁 平座の陣
11－17	古城	柊原字市の園	丘陵	山林 畠	300×300 複	やや良					市の園	土塁	土地の人はフッゾンの丘という。
11－18	諏訪城	新城字諏訪他	丘陵	山林 畠	150×200 複	やや良	室町期～戦国	肥後氏	肥後氏 伊地知氏		諏訪、浦川内 稲荷平	堀、土塁	(別)清水城
11－19	中俣城	中俣字射馬松他	丘陵	山林 畠	300×800 複	やや良	鎌倉初期 建暦2年～天正2年	中俣氏	中俣氏		射馬松、小国前 是井、迫田、 小園比良、野元	井戸、土塁	(別)小園の丘 観音城
11－20	二川砦	牛根二川字牟田	平地	宅地		消滅	文明～天正				牟田		
11－21	境城	牛根境字城他	丘陵	山林 畠	250×400 複	良	戦国～戦国末期	池袋氏	池袋氏 本田氏 肝付氏		城、石佛	空堀、土塁	
11－22	下本城	芝原港平	丘陵	山林 畠	250×500 単	やや良		伊地知氏	伊地知氏 (?)		港平	空堀、腰郭、土塁 虎口、大手、からめて	

鹿屋市

12－1	大姶良城	大姶良町字城内	独立状 小台地	山林	250×400 複	良	鎌倉～南北朝	藤原氏	藤原氏、和泉氏 肝付氏、禰寺氏 島津氏	3,14,39 118	城内	郭、空堀、土塁 虎口、大手、堀底道	(部)看経城、内城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
12－2	鹿屋城	北田町字中名	台地端	山林 宅地 台地端	400×800 複	やや良	天正６年～寛永10年	伊集院氏	伊集院氏 島津氏	3.		郭、腰郭、空堀、土塁、虎口、水の手土橋、通路	(別)亀鶴城
12－3	鹿屋一谷城	西祓川町字一ノ谷	山麓 (小台地)	山林	200×350 複	良	正平５年～正平６年	檜井氏	檜井氏(?)	39.121	一ケ谷	郭、空堀、土塁、虎口、通路、大手、からめ手、堀底道	
12－4	鹿屋古城	新生町字古城	独立状 丘陵	宅地 (市街地)		消滅	南北朝初期～ 天正６年	肝付氏	肝付氏	3.14.17 118	古城	郭、堀(空堀)土塁、虎口、大手、からめ手、堀底道	
12－5	鹿屋光城	王子町字山中	台地端	山林 宅地	200×200 複	やや良	建暦　鎌倉初期 ～ 建保年間～南北朝	肝付氏	肝付氏	118.	山中	郭、空堀、土塁、通路、大手、からめ手、堀底道	
12－6	木谷城	花岡町字城山	独立状 丘陵	山林 畠	200×300 複	やや良	正平６年～正平７年	檜井氏	檜井氏 称寂氏	39.121	城山	郭、腰郭、空堀、土塁、大手	
12－7	久恵城	西原町字久恵城	独立状 丘陵	荒地	100×150 単	不良	南北朝初期～戦国期	檜井氏	檜井氏	3.39.120	久恵城	郭、腰郭、空堀、土塁	(別)崩の意なり
12－8	假屋城	下高隈町字假屋	台地端	山林	200×300 複	やや良	天正６年～文禄３年	伊集院氏	伊集院氏(?)		假屋	郭、空堀、腰郭、土塁、のしろ台、大手	(別)伊集院城
12－9	古前城	中名字古前城	台地端	山林 畠、宅地	200×200 複	不良	鎌倉中期～南北朝	肝付氏	萩原氏 鹿屋氏	3.	古前城	郭、空堀	
12－10	志々目城	獅子目町東字陣ノ尾	山麓 (台地)	山林	200×200 複	良	南北朝初期～戦国	高山氏(?) 志々目氏	称寂氏	39.123	陣ケ尾	郭、腰郭、空堀、水堀、土塁、虎口、のしろ台	(別)中付城
12－11	白崎城	白崎町字白崎	台地端	山林 宅地	100×100 単	不良	南北朝～戦国	鹿屋氏	鹿屋氏	119	白崎	郭、空堀、土塁、通路、大手、堀底道	
12－12	陣之尾墓	南字山下	山頂	荒地	200×300 複	良	南北朝初期～ 戦国末期	肝付氏		3.	山下	郭、空堀、土塁、のしろ台	
12－13	瀬戸城	祓川町瀬戸口	台地端	山林 荒地	200×300 単	良	鎌倉～南北朝	肝付氏、蔵原氏 長谷氏、鹿屋氏			瀬戸口	郭、空堀、土塁、虎口、のしろ台、通路	
12－14	高隈城	上高隈町字重田	小丘陵 端	山林	300×400 複	良	正平初年～戦国期	北原氏 檜井氏	檜井氏、田代氏 称寂氏、肝付氏 伊集院氏、蘭氏	3.14.39. 121	重田	郭、腰郭、空堀、土塁、ま干形、虎口、のしろ台、通路、下手、からめ手、堀通	(別)松尾城
12－15	高須城	高須町字城山	独立状 小丘陵	山林 寺社境内地	100×300 複	良	鎌倉～戦国期	石堂氏	肥後氏、石堂氏 肝付氏、称寂氏	39.117.121	城山	郭、空堀、土塁、虎口、大手、からめ手、堀底道	
12－16	高須古城	高須町字古城	小丘陵 (台地)	山林 墓、公園 中学校敷地		消滅	鎌倉～南北朝期				古城	郭、腰郭、のしろ代大手	
12－17	茶臼城	南町字福山他	丘陵	山林	200×450 複	良	～戦国末期	称寂氏 肝付氏			福山、牧之原	郭、腰郭、のしろ代大手	
12－18	西俣城	南町字内城	台地端	山林 宅地		消滅	弘安年間～戦国末期	佐々木氏	佐々木氏 肝付氏 称寂氏	3.39.121	内城	郭、空堀、土塁、通路、大手	
12－19	野里城	野里町字大津	台地端	山林 畠	100×200 複	やや良		称寂氏(?)		39.121	大津	郭、腰郭、空堀、土塁、通路(大手)	
12－20	長谷城	祓川町字長谷口	丘陵端	山林 寺社境内地	100×350 複	不良	鎌倉～戦国期	長谷氏 鹿屋氏	長谷氏 鹿屋氏 称寂氏	3.39.121	長谷口	郭、腰郭、空堀、土塁、虎口、大手、からめ手	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
12−21	浜田城	浜田町下浜田	台地端	山林 畠	200×200 複	やや良	南北朝～戦国期	浜田氏	浜田氏		下浜田	郭，空堀，土塁	
12−22	日ケ城	上板川字芝原日ケ城	台地端	白砂山		消滅	南北朝～戦国期				芝原	郭，空堀，土塁， 虎口，のしろ台	
12−23	船隈城	川西町字船隈	台地端	山林 畠 宅地	150×150 複	不良	南北朝～戦国期	鹿屋市 肝付氏	肝付氏	39.121	船隈	郭，空堀，土塁， 通路，大手， からめ手，堀底道	
12−24	古江城	古江町字小城	丘陵	山林	150×300 複	やや良	天文～永禄年間	肝付氏		3.127	小城	郭，空堀，土塁， のしろ台，通路， 大手，からめ手	
12−25	横山城	福山町字岡元	丘陵上	山林	200×300 複	やや良	南北朝～戦国期	横山氏	富山氏	3.39.121	岡元	郭，土塁，のしろ台 大手，からめ手	
12−26	陣城	永小原	丘陵	山林 荒地	200×500 単	良	南北朝～戦国期	称寂氏				郭，土塁，のしろ台	
12−27	荒平城	天神町小字古城	丘陵端	山林 畠	200×400 複	やや良	南北朝初期～ 永禄年間	荒平氏	荒平氏	128.130	古城	空堀，たて堀，土塁 虎口，のしろ台， 大手，からめ手，堀底道	
12−28	金北郷山塁	大姶良町大字 瀬貫金北郷山	丘陵上	山林 （墓地）	200×250 複	やや良	南北朝～戦国末期	富山氏			瀬貫	郭，土塁，のしろ台 大手，からめ手	
12−29	小牧城	岡原小字小牧城	台地端	山林 畠	400×400 複	やや良	南北朝初期～ 天文年間	小牧氏	小牧氏	131	小牧城	腰郭，空堀，土塁 のしろ台，大手， からめ手	
12−30	年貫城	南町小字年貫	台地端	山林，宅地 寺社境内地	100×200 複	良	戦国末期～大正２年	佐々木氏 肝付氏 称寂氏	佐々木氏 肝付氏 称寂氏	121	年貫	郭，空堀，土塁， 虎口，大手， からめ手，堀底道	
12−31	山ケ城	南大字山下小字山ケ城	山頂	山林	100×200 複	良	戦国末期～ 天文永禄年間	称寂氏	称寂氏（？）		山ケ城	郭，腰郭，空堀， 土塁，のしろ台， からめ手，大手	
12−32	宮前城	川東町小字宮ノ前	台地端	山林 畠	150×300 複	やや良	南北朝～戦国末期	鹿屋氏			宮ノ時	郭，空堀，土塁， 虎口，大手， からめ手，堀底道	（別）川東城
12−33	志々目西城	獅子目町大字西	台地端	山林，畠 寺社境内地	150×200 単	やや良	戦国初期～戦国末期	志々目氏	志々目氏 富山氏		西	郭，空堀，土塁， 虎口，のしろ台， 大手，からめ手	
12−34	観音山塁	高須町字北高須	小 丘陵	山林 寺社境内地	50×150 単	やや良	戦国初期～戦国末期	鹿屋氏			北高須	水堀，土塁	
12−35	大塚山塁	南町字大塚山	丘陵	山林	100×100 単	やや良	戦国中期～戦国末期	肝付氏			大塚山		

西之表市

13−1	野久尾城	西之表町上西池ノ窪				消滅	慶長17年～元和元年	種ケ島氏	種ケ島氏	47.48.49 50			（別）石峰城
13−2	黒山尻城	西之表町池田	丘陵 平地	畠 宅地		消滅	大永５年～天文５年		種ケ島氏	47.50	池田，黒山	水の手，井戸	（別）はしわ城 田中城
13−3	赤尾木城	中目桜城 他	丘陵	畠，宅地 山林，学校 墓地	500×600 複	やや良	建仁年中～慶長４年	種ケ島氏 島津氏		47.48.49 50.51	桜城，豊山，小畑，本城 後松島，石の峯， 根来上河，根来下河		（部）内城，新城， 本城，堀ノ上城 （別）上ノ城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
13－4	住吉城	住吉里野	丘陵	山林 畠、宅地	200×600 複	やや良	天文10年～天正７年	種ヶ島氏	種子島氏	47.48	前園、中目、 城方屋、城の山	堀郭、犬走、空堀、折れひずみ土手形、虎口、木の手、道、犬走からの手、堀底道、古木	
13－5	古城	西之表字古城	丘陵 平地	山林、水 畠、宅地 寺社境内地	150×200 複	不良					古城、北平、国師ノ上 堀渡、下笠原、上笠原、野首		
13－6	安納城	大字安納堂所	山麓 丘陵 平地	山林、水田 寺社境内地	200×250 複	やや良			種ヶ島氏	47.48	堂所、尾辻、薄原辻 小谷、金堀野、名道ヶ小田 北野ノ平、笥ノ平		
13－7	屋久田城	大字西之表字屋久田	山頂、山麓 丘陵、平地 （砂丘）	山林、水田 畠、宅地 寺社境内地	250×250 複	不良			種ヶ島氏	47.48.49	屋久田、屋久原上、赤嶺、大道上道、小笠原道、道野下、瀬田西城代、東城代、道瀬		
13－8	古田城	大字古田字中路	山頂、山麓 丘陵、平地	山林、水田 畠、宅地 寺社境内地	200×300 複	やや良	長禄２年～元和元年		種ヶ島氏	47.48	中路、城大路、下通り城 上通り城、明神下、中之迫 城之口、城口、元城口、五斗蒔 大田、横田、古川		
13－9	古城	大字西之表字城内	山頂 丘陵	山林 畠、宅地	150×300 複	やや良			高野氏	48	城ノ内、谷、 谷の中峯	堀郭、郭郭、土塁、 虎口、水の手、井戸 古木	

名瀬市

14－1	浦上城	浦上字有盛	丘陵	山林 墓 寺社境内地	100×200 複	やや良		平氏			有盛		
14－2	有屋アジ屋敷	大字有屋字竹ンサク	山頂	山林	100×300 複	不良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		竹ンサク		
14－3	小宿城	大字小宿字城	丘陵	山林 畠	100×150 複	やや良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		城		
14－4	知名瀬城	大字知名瀬字城田	山麓	畠		消滅	平安後期～	アジ氏	アジ氏		城田		
14－5	根瀬部城	大字根瀬部字城田	丘陵	山林 畠	150×400 複	不良	長保２年頃～	アジ氏	アジ氏		城田		（別）グシク・ クシクバテー
14－6	伊津部勝城	大字伊津部勝字城原	丘陵	山林 畠	150×150 複	やや良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		城原		（別）高城 （タカグスク）
14－7	中勝原テラ屋敷	大字西仲勝字中勝原	山麓	寺社境内地	150×150 複	不良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		中勝原		
14－8	小湊アジ屋敷	大字小湊字中村	平地	宅地	150×150 単	やや良		イイマランコラ 兄妹			中村		
14－9	朝戸城	大字朝戸字大加	丘陵	山林 畠	150×300 複	やや良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		大加		（別）朝戸アジ屋敷
14－10	上川城	大字知名瀬字上川	丘陵	山林 畠	100×200 複	不良	平安後期～	アジ氏	アジ氏		上川		

鹿児島郡

桜島町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
15－1	横山城	横山字西平他	丘陵	山林 公園	250×400 単	やや良	元亀年中～元和元年	長田氏	長田氏、東条氏 島津氏、本田氏 鎌田氏	3.18.19	西平、城山 城山谷		(別)長門城、長田城 三角城

吉田町

16－1	本吉田城	本名字瀬戸	丘陵	林	100×250 複	良			吉田氏		瀬戸	郭、空堀	発堀有 (別)カコーカ城
16－2	上城	本城字上城	丘陵	山林 畠	200×250 複	不良			吉田氏	3.20	上城	腰郭、空堀、礎石、 古林	(報告書あり)
16－3	松尾城	東佐多浦字松尾城	丘陵	山林	500×600 複	不良	応永末期～元和５年	吉田氏	吉田氏 島津氏	3.14.20.21	松尾城	郭、空堀、たつ堀、 土塁、水の手	(別)吉田城
16－4	鳥巣城	宮之浦字馬場園	丘陵	山林	200×300 複	不良	南北朝～		矢上氏	22	馬場園	腰郭、虎口、櫓台、 堀底道	

三島村

17－1	青尾の城	三島村大字硫黄島 稲村舎	丘陵	山林	200×300 複	良	文治３年～	上総五郎兵衛研盛断					(別)東丘の城
17－2	平家城	三島村大字硫黄島 平家城	丘陵	山林 竹林	150×150 複	良	文治３年～	福原氏					(別)高丘の出丸 高丘の城
17－3	永良部崎城	三島村大字硫黄島 猿座崎	丘陵	山林 竹林	100×200 複	良	文治３年～	越中次郎衛景光					(別)尾崎城
17－4	城ケ原	三島地大字硫黄島 黒島崎	丘陵	竹林 牧場	150×150 単	良	文治３年～	平氏					(別)西丘の城
17－5	黒木御所	三島村大字硫黄島 中園	平地	宅地	150×150 単	良	元暦元年～			203			
17－6	平家城	黒島字平家城	丘陵	放牧地 山林	200×500 複	良	文治３年～	平氏 日高氏	平氏 日高氏		平家城		
17－7	的城	黒島字片泊	斜面地	荒地	100×100 単	不良	文治４年～	大原氏	大原氏				⑧

揖宿郡

喜入町

19－1	網屋城	前之浜字庵山他	山頂	山林	250×400 単	不良	延元年間～	伊作氏			亀山、旭之庵、木越 小原、西田原、東前田原 城の出口、牛道、投引渡		(別)あんや城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
19－2	上籠城	中名字田中他	丘陵	山林		消滅	治承4年～延元4年	伊作氏	伊作氏		田中、権八ケ鼻 半宇都路		
19－3	給黎城	中名字城山字	丘陵	山林	200×500 複	やや良	建久元年～承応二年	伊作氏	伊作氏、島津氏 伊集院氏、蒲生氏 竹付氏		城山、旧薬、落部道 上ノ山、太刀掛ヶ迫 天神元、笠薗	堀、空堀	
19－4	猪熊山城	中名字高野他	台地上	畠		消滅					高野、高野南、高野東 高野西、高野北		
19－5	米倉城	生見字米倉	山頂	山林	100×200 単	不良	治承初期～	給黎氏			米倉		
19－6	愛宕城	中名字内城他	山頂	山林	100×250 複	やや良					内城、愛宕、 愛宕下、垂口		
19－7	上ノ城	中名字上ノ城他	丘陵	山林		消滅					上ノ城、宇都、 城ケ野山野		(別)上ん城

山川町

20－1	臼ケ城	成川字内山	山頂	草地	150×200 単	不良		頴娃氏(?)		3.	内山		
20－2	馬背城	成川字中野	丘陵	荒地		消滅		頴娃氏(?)		3.	中野		
20－3	鎌田城	成川字井手	平地	宅地	100×100 単	やや良	天正4年～	鎌倉氏		176.	井手	堀(空堀)	(別)成川の西殿
20－4	土矢倉城	福元字土矢倉	山麓	山林 学校		消滅	天正16年～	頴娃氏		3.	土矢倉		

開聞町

21－1	仙田城	仙田字永迫	平地	宅地	100×100 単	不良						通路	
21－2	上野城	上野字川頭西	丘陵	畠 宅地	100×150 単	不良					上野	井戸	
21－3	小城	十町字小城	平地	宅地	100×150 複	不良					小城		

頴娃町

22－1	頴娃城	郡字古城他	丘陵	山林、畠 雑木林	100×200 複	やや良	鎌倉末期～応永27年	頴娃氏	頴娃氏 島津氏	3.174.178	古城、古城鼻 下干迫	郡、堀、空堀、通路 大手	
22－2	指山城	郡字上指山他	丘陵	畠 雑木林	100×150 複	やや良	南北朝期～	頴娃氏			上指山、下指山	郡、腰郡	
22－3	頴娃城	郡字城内他	丘陵	山林、水田 畠(原野)	400×600 複	やや良	応永7年～天正16年	頴娃氏	頴娃氏	3.4.22.178 179.180. 181.182	城内、高城、上城山 下城山、城山本堅敷	郡、腰郡、郡郭、堀、空堀、たて堀 土塁、段状のひな、ます形、 石垣、虎口、通路、大手 大手かいの手	(別)獅子城、野首城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
22－4	陣山砦	都山陣ノ山	丘陵	畠	150×200 単	不良	南北朝～戦国期	領主氏			陣ノ山		
22－5	猫城	御領字田中流他	丘陵	山林・畠 雑竹林	150×300 程	やや良	鎌倉中期～南北朝期	領主氏			田中水流、 平瀬滝ノ上、西高峰 東高峰、高峰後平	郭、腰郭、土塁、 土十形、石塁、 通路、大手	(別)高峰城
22－6	貝角城	上別府字東城ケ平他	丘陵	畠 雑木林	100×200 程	やや良	南北朝～戦国期	領主氏			東城ケ平 西城ケ平	郭、堀、空堀	

川辺郡

坊津町

25－1	野首城	大字栗野字野首他	平地	宅地 一部荒地	100×100 程	不良					野首、野首上 尚集	石塁	
25－2	陣ケ岳	大字久志陣ケ尾	山頂	山林		消滅					陣ケ尾		

知覧町

26－1	亀甲城	郡字城山	丘陵	山林	100×150 単	やや良						腰郭、帯郭、堀 空堀、水の手、井戸	(別)穂尻城
26－2	知覧城	永里字東ノ榊他	丘陵	山林	500×700 程	良						東ノ榊、西ノ榊、 北谷、南谷、城内 石坂之上	
26－3	穴ケ城	郡字穴ケ城	丘陵	山林	150×350 程	良					穴ケ城		
26－4	寺師城	郡字西福寺他	丘陵	山林	150×200 単	やや良					西福寺 九日田	堀、空堀	
26－5	古城	郡字古城他	台地端	畠	150×200 単	やや良					古城 内持園		
26－6	厚地城	厚地字堀之内	山麓	畠	150×150 単	やや良	平安末期～				堀之内		
26－7	野石城	厚地字野石城他	山頂	山林	150×300 単	良					野石城 重口		
26－8	山石城	厚地字宮谷山	山頂	山林	100×200 単	やや良					宮谷山		
26－9	柴立城	永里字柴建他	舌状台地	山林 寺社境内地	200×350 単	やや良					柴建 坂之上		
26－10	園田城	永里字城ケ尾平	台地端	畠	200×300 程	やや良					城ケ尾 桿馬		
26－11	新榊	東別府字新榊内他	平地	山林 宅地	100×250 程	やや良					新榊内 西新榊内		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
26－12	為朝城	東別府字中須岡	丘陵	山林	200×200 単	やや良					中須岡		
26－13	川堀城	瀬世字川上田他	台地端	山林 畠	100×300 単	やや良					川上田、川堀		
26－14	南別府城	南別府字城山他	丘陵	山林	150×150 単	良					城山、城山道、城脇、城東追、堀内		
26－15	陣の岡城	西元字城ケ尾他	丘陵	山林	250×300 複	不良					城ケ尾 陣之比良		
26－16	猿山古陣	西元字猿山岡他	丘陵	山林	150×300 単	やや良					猿山岡 猿山之面		

川辺町

27－1	平山城	平山字本城他	丘陵	山林	500×700 複	不良	大治5年～ 戦国室町時代	川辺氏	川辺氏	3.5.173 174.175	本城、花見城 天神城、新城	郭、堀、空堀、水堀、大手、からめ手、土塁、虎口、櫓台、通路	(別)河邊城又は内城発掘有
27－2	田部田城	田部田字陣他	丘陵	山林、畠 寺社境内地	150×450 複	不良	寛元宝治～	川辺氏		174	陣、東小城 西小城	帯郭、空堀、土塁、虎口	(別)茶磨ケ陣
27－3	兎ケ城	永田字兎ケ城他	丘陵	山林	300×400 複	やや良					兎ケ城 上兎ケ城	帯郭、空堀	
27－4	勝目城	中山田字城内	丘陵	山林	150×250 複	やや良	文禄8年～	島津氏	島津氏		城内	腰郭、空堀、水堀、土塁、からめ手、ます形、虎口、井戸、大手	(別)山田城
27－5	陣之尾城	上山田字陣之尾他	丘陵	山林 畠	100×200 複	不良	永禄8年～				陣之尾、城戸坂	帯郭、空堀	
27－6	堀之内	上山田字堀之内他	平地	水田 畠		消滅			川辺氏		堀之内 東堀之内		
27－7	城ケ南風城	上山田字城ケ南風他	丘陵	山林 畠	100×400 単	やや良	平安時代～				城ケ南風 城ケ南風頭	帯郭、空堀	
27－8	野首城	上山田字久保	丘陵	山林 畠	150×250 複	不良	南北朝時代～				久保		
27－9	本別府城	本別別字東陣他	丘陵	山林 畠	200×200 複	不良	鎌倉中期～				西陣、東陣 陣之迫		
27－10	高田城	高田字城ノ後	丘陵	山林 畠	100×400 複	やや良	文禄3年～慶長15年				城ノ下	郭、帯郭、空堀、土塁、虎口、大手、からめ手	(別) 侘多城、牧ノ城
27－11	堀之内	高田字堀之内	丘陵	山林 畠	150×200 単	不良	鎌倉中期～		千田氏		堀之内	郭、帯郭、通路、大手、からめ手	
27－12	古城	高田字城ノ平	丘陵	山林 畠	100×300 複	不良	鎌倉中期～		平氏		城ノ平	帯郭、空堀	
27－13	衣刃（おに）ケ城	小野字二反尾鼻	丘陵	山林	100×200 複	不良	平安時代～				二反尾鼻		

番号	名称	所在地	立地	況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
27−14	松尾城	野崎字松尾他	山頂 丘陵	山林・畠 寺社境内地 宅地	150×300 複	やや良	鎌倉時代～戦国時代	川辺氏	川辺氏 酒匂氏 島津氏		松尾、東城、 加賀山、全勝寺 吉寺庵	郭、堀郭、空堀、 土塁、虎口、大手、 からめ手、堀底道	
27−15	野崎陣	野崎字陣平	丘陵	山林 畠	100×100 単	不良					陣ノ平	虎口	
27−16	楠原陣	野崎字陣の前	丘陵	山林	150×250 複	不良					陣の前 陣の後 陣の東		
27−17	市崎野小城	清水字小城平	丘陵	山林	150×200 単	不良	平安時代～				小城平		
27−18	河邊氏居館	清水字桜元	平地	水田 畠		消滅	鎌倉時代～	川辺氏	川辺氏		桜元		
27−19	内青折城	清水字内青折．	丘陵	山林	100×250 単	不良	平安時代～				内青折		
27−20	古殿源訪陣	古殿字陣他	丘陵	山林 寺社境内地	150×200 複	やや良					陣、内陣		
27−21	野間陣之尾城	野間字陣之尾	丘陵	山林 畠	250×300 複	やや良	鎌倉時代～	川辺氏			陣之尾	番郭、堀、空堀、 土手形、虎口、大手	
27−22	大田尾館	野間屋形久保	丘陵	山林 畠	300×300 複	不良	鎌倉期～				屋形久保、 屋形久保平	番郭	

日置郡

市来町

28−1	重信城	大里陣ケ迫	丘陵	畠	100×150 単	良							(別)重信上城
28−2	詰城	大里木場迫	丘陵	畠	150×300 複	不良							(部)上城
28−3	鍋ケ城	大里木場迫	丘陵	畠	200×250 複	良							(別)なべんじょ
28−4	河上城	川上中組	山頂	山林	150×400 複	良				112			(別)楮城

東市来町

29−1	鶴丸城	長里字長谷他	山頂 平地	山林	400×400 複	やや良	延元２年～永禄４年	市来氏	市来氏 新納氏	113.114	長谷、本寺 大根城	堀、空堀、土塁、 礎石、通路、大手	(部)大根城
29−2	番屋城	長里字番屋城	平地	宅地		消滅	南北朝～室町期				番屋城		
29−3	平之城	長里字平之城	丘陵 平地	山林 畠	200×300 単	不良	南北朝～室町時代				平之城		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
29－4	大田原墓	美山字大田原	山頂	荒地	150×200 単	不良				14.37.108			(別)阿弥陀山
29－5	伊作田城	伊作田字浜之丸	丘陵 平地	山林	150×200 複	不良	南北朝～	伊作田氏	伊作田氏		浜之丸		
29－6	古城	長里字古城原	山頂 平地	山林	200×200 単	やや良					古城原	石墓	
29－7	総陣之尾	長里字陣ケ尾	山頂 平地	山林		消滅					陣ケ尾		(別)陣ケ岡
29－8	得仏城	長里字得仏ケ字都	平地 山の中腹(半分荒地)	山林		消滅				113	得仏ケ字都		
29－9	粉城	伊作田字粉原	山頂 平地	山林 畠		消滅					粉原		
29－10	向粉城	伊作田上粉	丘陵 平地	畠		消滅					上粉		

伊集院町

30－1	一宇治城	大田字神前城他	山頂 山麓 平地	山林	500×600 複	良	万寿3年～建久8年	伊集院氏	島津氏	108	神明城,釣瓶城,上平城,中平城,弓場城,阿多城,上中尾,下中尾,屋敷内	郭,堀郭,堀,空堀,土塁,虎口,井戸,大手,からめ手,堀底道	(別)鉄丸山 伊集院城
30－2	大田城	大田字越ノ山他	山頂 山麓 平地	山林 畠	200×300 複	良	久安6年～建久9年	大前氏	大田氏 寺脇氏 時吉氏	210	越ノ山,城山道 下谷平,数田尾	郭,石塁,水の手	(別)大前城,時吉城
30－3	内城	飯牟礼字古城	山頂	畠 宅地		消滅	鎌倉中期(?)	島津氏	島津氏	108	古城		(別)古城,平城
30－4	大内山城	徳重字瀬戸内	山頂 山麓	山林	300×300 複	良				108	瀬戸内		(別)小城原
30－5	上神殿城	上神殿村字向江	丘陵	山林 宅地	150×250 単	不良			橋口氏 島津氏 薬刈氏		向江	堀,空堀,たて堀	(別)城山
30－6	長崎城	大字土橋字長崎	丘陵	山林 畠	350×400 複	不良				3	長崎		(別)長崎墓
30－7	小城	徳重字小城	山頂 山麓	山林	150×300 複	良				108	向江		

松元町

31－1	石谷城	石谷西折頭	丘陵	山林 畠 寺社境内地	150×300 単	良	弘治元年～文永6年	伊集院氏 長門氏 町田氏	町田氏 伊集院氏	3.4	石谷下	空堀,井戸,大手,からめ手	
31－2	谷口城	福山字福山	丘陵	山林 畠	100×1400 複	やや良	享禄年間～天文6年	肥後氏	肥後氏	3.4	福山	堀,空堀	(別)福山墓
31－3	春山城	春山字城ノ丘	山頂	山林	400×900 複	やや良	延元元年～元中6年 明徳3年		島津氏 伊集院氏	3.1.137 138.139 140	城の丘	空堀,井戸	

郡山町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
32－1	松尾城	郡山字松尾	山頂	山林	500×500 程	やや良			郡山氏 人来院氏		松尾	堀、空堀、水の手、土塁、石塁 ます形、犬走り、井戸、のろ台 通路、大手、からめ手	(郡)詰城、 弥五郎城、城山城 (別)郡山城
32－2	平城	西俣字平城	山頂	山林	200×400 程	やや良			比志島氏		平城	空堀、犬走り、大手 からめ手、堀底道	(別)平ん城
32－3	聖ノ城	西俣字和田	山頂	山林	150×350 単	やや良			西俣氏			堀、空堀、土塁、 ます形	(別)和田城
32－4	有屋田城	有屋田字別府原	山頂	山林	200×600 単	やや良			伊集院氏		別府原	堀、空堀、土塁、石塁、犬走り 水の手、大手、からめ手、 堀底道	
32－5	川田城	川田字城	山頂	山林	150×200 程	良			川田氏		城	堀、空堀、土塁、犬走り、井戸、 石垣、折れ(ひずみ、ます形、水の手 礎石、通路、大手、からめ手	(別)馬越城
32－6	毘沙門城	東俣字谷口他	山頂	山林	300×300 程	やや良					谷口、立平	犬走り、空堀、土塁 水の手、井戸、大手 堀底道	(別)城ノ松
32－7	水ノ手城	郡山字水の手	山頂	山林	150×300 単	やや良					水の手	堀、空堀、大手、 堀底道、通路	(別)城
32－8	陣ノ尾城	東俣字宇都頭	山頂	山林	200×300 程	やや良					宇都頭	空堀、堀、土塁、 通路、大手、堀底道	
32－9	厚地城	厚地字長谷	山頂 平地	宅地	150×150 単	不良			島津氏		長谷	空堀、堀、大手、 堀底道、大手	(別)岩戸城、田島城
32－10	油須木城	油須木字上ノ原	山頂	山林	200×250 程	やや良			島津氏		上ノ原	堀、空堀、土塁通路 大手、からめ手	

日吉町

33－1	井尻城	吉利字妙見他	丘陵	山林 畠 宅地	150×250 程	不良	元亨4年～		小藤田氏	122	妙見、井尻	郭、腰郭、空堀、 ます形、井戸	
33－2	井手ケ城	吉利字石町	丘陵 平地	宅地		消滅	正中元年～正平元年			14.124	石町		
33－3	勝手ケ城	吉利字田ノ頭	丘陵	山林 寺社境内地	100×200 程	やや良	文治5年～康永元年		若松氏	125	田ノ頭	井戸	
33－4	田平城	吉利字城ノ尾	山麓	山林 畠 宅地		消滅	天文2年～				城ノ尾		
33－5	南谷城	吉利字南谷	丘陵 平地	畠 宅地	50×150 程	良	文禄4年～明治元年	称寂氏	称寂氏 小松氏	5.133	南谷		
33－6	野崎城	吉利字野崎	丘陵	山林 宅地	100×150 程	不良	康永元年～	郡菅院氏 渋谷氏	郡菅院氏 渋谷氏	14	野崎		
33－7	若松城	吉利字南谷	丘陵	畠 宅地		消滅				5.14.122	南谷	腰郭、帯郭、水の手 礎石	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
33－8	松尾城	目置字内城	山麓 山頂	山林 畠 宅地	200×700 複	不良	文治元年～	小野氏	小野氏.目置氏 山田氏.島津氏	14.124.129	内城		(別)山田城、目置城
33－9	古垣城	目置字松尾	丘陵	宅地	150×300 複	不良	康永元年～明治初年	島津氏		14.122.124	松尾	ます形、井戸	(部)島津お仮屋
33－10	吉利古城	吉利原田	丘陵 平地	畠 宅地		消滅	大永６年～弘治元年	吉利氏	吉利氏	132.204	原口		(別)第１吉利城
33－11	吉利城	吉利原口	丘陵 平地	畠 宅地		消滅	天文12年～文禄４年	吉利氏	吉利氏 伊集院氏	132.204	小園	郭、腰郭、空堀、 井戸	(別)第２吉利城
33－12	領家政所	吉利前畑	丘陵 平地	畠 宅地		消滅	正中元年～	都司氏	都司氏	3.122	前畑		近所に地頭所跡
33－13	春日城	目置字春日	丘陵	山林 畠	100×150 複	不良	南北朝～貞和２年	都司氏	都司氏		春日		

吹上町

34－1	池之城	大字中原中津	丘陵	山林	200×450 複	不良	弘安年間			72	中津	空地、池	(別)イケンジョウ
34－2	伊作城	中原字麓	山頂	山林 畠	400×700 複	やや良	弘安年間～鎌倉末期	島津氏	島津氏	72.3	麓	腰郭、空堀、ます形 虎口、井戸、通路、 大手、からめ手	(別)亀丸城、 石亀丸城、殿の城 県指定
34－3	亀山城	中原字亀山	山頂	山林	250×350 複	やや良	弘安年間～鎌倉末期			72	亀山		
34－4	中原城	中原字王蔵	平地	山林 畠 宅地	400×400 複	不良	～建武４年		祓山氏 吉木氏	72	王蔵	空堀	(別)上之城
34－5	椚ケ峰城	中原字椚ケ峰	山頂	山林	100×400 複	不良	弘安年間～鎌倉末期			72	椚ケ峰	空堀	
34－6	堀ノ内	中原字堀之内	平地	畠 宅地		消滅					堀之内		
34－7	山ノ城	中原字山瀬戸	山頂	山林 宅地	100×100 複	不良	弘安年間～鎌倉末期				小瀬戸	空堀	(別)山瀬戸城
34－8	打越城	湯之浦字小牧	山頂	山林 畠 宅地	150×400 複	不良	永仁元年～	島津氏	島津氏	72	打越	空堀	
34－9	皮籠石城	湯之浦字鍋石	山頂	山林 水田、畠	100×150 複	不良	弘安年間～鎌倉末期				鍋石	空堀	(別)西ノ城、天ノ城 鍋石城
34－10	三石城	湯之浦字小牧田	山林 畠 宅地	台地	150×150 複	不良	弘安年間～鎌倉末期			72	小牧田		
34－11	大牟田城	田尻字大牟田	山頂	山林 畠 宅地	100×250 複	不良	弘安３年～鎌倉末期				大牟田	堀	(別)ウタン城
34－12	田尻城	田尻字尻鎌他	山頂	山林	200×200 単	不良	弘安３年～鎌倉末期				尻鎌、城ケ崎		(別)瀬戸口城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
34−13	天ケ城	和田字天ケ城他	山頂	山林 宅地	200×300 複	不良					天ケ城、陣之尾 陣之平	堀	(別)陣ケ岡城
34−14	椿ノ城	永吉字椿		山林 畠	200×200 複	不良					椿		(別)カキシ城
34−15	南郷城	永吉字字都山	山頂	山林	200×600 複	不良	文治元年 〜 正治元年〜天文2年	桑波田氏	桑波田氏 上井氏 島津氏	3.37.201	野首城	空堀、ます形	(部)野首城 永吉城
34−16	勇介城	永吉字野首	平地	山林 畠	150×250 複	不良			伊作氏 桑波田氏		野首		(別)勇ケ城（いさんがじょう）
34−17	田中城	和田字椿井	丘陵	山林 畠 宅地	100×200 単	やや良	建久年間〜弘安年間	伊作氏			椿井	空堀	(別)和田城

金峰町

35−1	鶴之城	花瀬字城内他	丘陵	畠 宅地	100×200 複	不良	保延年間〜	阿多氏	阿多氏 島津氏	3	城内、下野首 内田迫、上野首 丈之馬場		(別)阿多城
35−2	上床城	浦之名字上床原他	丘陵	山林 畠 宅地	150×250 複	不良	永正12年〜天文年間		上床氏	3	上床原、 東上床堀、外城 片平田、西ノ迫		
35−3	貝殻崎城	宮崎字貝殻崎	台地	畠	150×150 単	不良	建久3年〜応永年間	鮫島氏	鮫島氏	3	貝殻崎		(別)鮫島城
35−4	古城	宮崎字城之岡	丘陵	山林 畠	100×150 複	不良			源氏(?)	3	城之岡		(別)城之岡、宮崎城
35−5	亀ケ城	尾下字城前他	丘陵	畠、宅地 寺社境内地	200×350 複	不良	文明年間初期〜	島津氏	島津氏	3	城、前、比手、 迫畑		(別)田布勢城 亀山城
35−6	江田城	中津野字城之越	丘陵	山林	200×300 単	不良	天文年間〜			3	真門砂入	水の平、井戸	(別)城越、中津野城
35−7	牟田城	高橋字真門砂入	平地	畠		消滅	正応5年〜	二階堂氏	二階堂氏		真門砂入		(別)高田城
35−8	牟礼ケ城	池辺字小城園他	丘陵	山林	200×400 複	不良	延慶2年〜応永13年	二階堂氏(?)	二階堂氏	3	小城園、牟礼城 南平、牟礼ケ城 峯ノ前、向田平	堀、たて堀	(別)池辺城、小城園
35−9	今城	花瀬字上今城原	台地	畠	350×350 複	不良	興国3年〜正平2年			3	上今城原 下今城原		(別)今城原
35−10	機敷本陣	宮崎字宮田水入	平地	畠		消滅	〜天文7年			3.202			

薩摩郡

樋脇町

36−1	市比野城	市比野字城下他	丘陵	山林	150×350 複	やや良	〜戦国時代		入来院氏	3.14	城下、城後	堀、たて堀、土塁、 折れひずみ、水の手

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
36－2	内田城	市比野字上之段後	丘陵	山林 宅地	150×250 複	やや良	～戦国時代		入来院氏		上ノ段後，内田	腰郭，帯郭	
36－3	久木野城	市比野字笹原	丘陵	山林	100×150 複	やや良	～戦国時代		入来院氏		笹原	腰郭，帯郭，堀	(別)久留上城
36－4	隠之城	塔之原字熊之城段	丘陵	山林 畠	200×200 複	不良	正応３年～元亀元年				熊之城段	堀，たて堀	
36－5	助の城	塔之原字笹野	山頂	山林 畠	200×300 複	やや良	正応３年～元亀元年		渋谷氏		笹野	堀	
36－6	高城	塔之原字大丸他		山林 畠	150×150 複	やや良	正応３年～元亀元年		渋谷氏		大丸，木場田	土塁，ます形	
36－7	高城	塔之原字高城・	山頂	山林 畠 宅地	150×200 複	不良	正応３年～元亀元年				高城	土塁，折れひずみ	
36－8	樋脇城	塔之原字城内	丘陵	寺社境内地	200×400 複	やや良	正応３年～元亀元年		渋谷氏	3.14	城内		
36－9	前田城	塔之原妙甘ケ字都	丘陵	山林 畠	150×250 複	不良	正応３年～元亀元年		入来院氏 渋谷氏	3.14	妙甘ケ字都	堀，空堀，土塁， ます形	
36－10	野首城	倉野字諏訪上他	丘陵	山林，宅地 寺社境内地	150×250 複	やや良	正応３年～元亀元年		倉野氏	3.14	諏訪上圃	土塁，ます形，水の手	(別)野久尾城 倉野城

入来町

37－1	清色城	浦之名字後之迫他	丘陵	山林，水田 畠，宅地 寺社境内地	600×600 複	良	長和元年～明治２年	入来院氏	入来院氏 渋谷氏	73.74.75.76 77.78.79.80 81.82.83	後迫，堺之坂 古春，園畑， 上舘之口	郭，堀，空堀， 水の手，通路，大手 からめ手，堀底道	(別)入来城
37－2	測上城	大字浦之名字近井手他	丘陵	山林，畠 寺社境内地	200×300 複	良	平安後期～中世末期 宝治２年～中世末期	測上氏	測上氏 渋谷氏	73.74.75.76 77.78.79.80 81.82.83	近井手，椎木迫 松塚，上ノ山， 掛ノ迫	郭，腰郭，土塁，通路	
37－3	冠城	字浦之名字黒武者他	丘陵	山林	200×400 複	良	鎌倉末期～戦国末	渋谷氏	入来院氏 渋谷氏	73.77.88.89 90	黒武者 椎木ケ丸，小原		
37－4	川床城	浦之名字川床他	丘陵	山林	250×300 複	良	13世紀中頃～16世紀末	入来院氏 渋谷氏	種田氏	73.77.88.90 91.92	川床，兎田， 平田，舟越	堀，空堀	(別)朝陽城
37－5	粉城	大字浦之名字粉	丘陵	山林 畠	100×300 複	良	宝治２年～中世末迄	測上氏	測上氏 渋谷氏	73.75.77.78 84.85.86.87 88.89.90	粉	堀，空堀，土塁	
37－6	大住古城	副田字大里他	丘陵	山林，畠 寺社境内地	300×300 複	やや良	鎌倉中期～16世紀末		入来院氏 渋谷氏	73.75.77.86 87.93.94.95 96	大里，大住原， 牛木ケ丸	腰郭，空堀，水堀	(別)大住城
37－7	粉城	字副田字地蔵原他	丘陵	山林，畠 宅地	250×400 複	やや良	鎌倉中期～16世紀末		渋谷氏	73.75.77.86 93.94.96.87	地蔵原，粉下， 牛木ケ丸，馬渡 舟橋	腰郭	(別)粉之原城

東郷町

38－1	斧渕城	斧渕字古城	丘陵	山林 畠	150×300 複	やや良	建久９年～正平13年	東郷氏	東郷氏	3	古城		(別)国司城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
38－2	鶴ヶ岡城	斉湖字城内	丘陵	山林	600×700 複	やや良	宝治2年～天正16年	渋谷氏	渋谷氏	3.4	城内	土塁	(別)国見城 (郡)南城、山崎城、高城、川原城、二丸
38－3	原之城	斉湖字梅木ヶ迫	丘陵	山林 畠	200×250 複	やや良		東郷氏	西川氏 六野氏 鳥丸氏	3.4.5	梅木迫		
38－4	仮屋城	山田字丸田	丘陵	山林 畠	200×500 複	やや良				3.37	丸田		
38－5	山田城	山田字城之尾	丘陵	山林 畠	150×200 複	やや良				37	城ノ尾		
38－6	古城	南瀬字大堀	丘陵	山林 畠	200×250 複	やや良				3	大堀		
38－7	智屋城	南瀬字智屋城ヶ段	丘陵	山林 畠	100×200 複	やや良					智屋堀ヶ段		
38－8	古城	南瀬字上平田	丘陵	山林 畠	150×300 単	やや良				3	上平田		

宮之城町

39－1	余ケ城	山崎字餘ヶ城	山崎	山林 畠	150×300 複	やや良					餘ヶ城	土塁	(別)余城ヶ段
39－2	山崎城	山崎字下太田	丘陵	山林	150×250 複	やや良		大前氏	都答院氏	3.148.150	下太田	空堀	(別)中城
39－3	於天城	船木字於天城	丘陵	山林	150×200 単	やや良				149	於天城		(別)おて城
39－4	城ノ段	二渡字城ノ下他	丘陵	畠	50×150 複	やや良					城ノ下、城ケ迫		(別)折小野城
39－5	高城	二渡字高城	丘陵	山林 畠	200×500 複	やや良			渋谷氏 東郷氏	3.150	高城		(別)平城
39－6	館城	虎居諏訪字宇都	丘陵	山林	200×400 複	やや良					諏訪宇都		
39－7	轟原城	虎口字原口	丘陵	山林	100×200 複	やや良				148.149	原口		
39－8	松尾城	虎居字松尾	山林 丘陵	畠	150×300 複	やや良	康応～弘治3年		渋谷氏 都答院氏	148.149	松尾		
39－9	久富木城	久富木字野久尾他	丘陵	山林	250×300 複	やや良	～14世紀中頃		渋谷氏	3.148.149 150	野久尾、山住 横橋		(別)平城
39－10	松尾城	久富木字上横橋	丘陵	山林	200×200 複	良				3.150	上横橋		(別)松尾段
39－11	平城	久富木字城ケ峯	丘陵 平地	山林 水田	100×100 単	不良			久富木氏		平城、城ケ峯	郭	(別)城ケ峯

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
39—12	栗脇城	白男川字栗ノ脇	丘陵	山林	100×100 複	不良				150	栗ノ脇		(別)城ケ岡
39—13	白男川城	白男川字城下	丘陵	山林	200×300 複	やや良	弘安～正応の頃(?)			149.150	城下		(別)古城
39—14	恋ノ巣城	船木字城ノ段	山麓	畠	150×150 単	やや良				149	城段		(別)城ノ段
39—15	古城	船木字古城	丘陵	畠 宅地	200×300 複	不良				148.149	古城		
39—16	古城	屋地字古城	丘陵	山林	200×250 単	やや良					古城		
39—17	虎居城	屋地字薬師院他	丘陵	山林	150×400 複	やや良	文治6年　江戸時代 ～ 康治元年　寛永年間	大前氏	大前氏,島津氏 渋谷氏,北郷氏	3.148.149	薬師院、城段 城内、入女 井穴、東口		(別)中城、下ノ城 宮ノ城
39—18	古城	田原字古城	丘陵	山林 畠	200×350 複	不良					古城		
39—19	鶴ケ城	田原字鶴ケ城	丘陵	山林	150×200 複	やや良				149	鶴ケ城		
39—20	城木場城	平川字城木場	丘陵	山林 畠	150×300 複	不良					城木場		
39—21	新城	平川字城	丘陵	山林	150×300 単	不良				148.149	城		(別)平川城
39—22	時吉城	時吉字城中他	丘陵	山林 畠	250×300 複	やや良			大前氏	148.149	城中、平ノ前 弓場ケ迫 舟渡ケ迫		(別)上ノ城 高岡城 西岡城
39—23	巣ケ城	田原字巣ケ城	丘陵	山林	150×200 複	不良					巣ケ城		
39—24	巣ケ城	田原字ヨキトキ他	平地	山林 畠	150×250 複	不良					ヨキトキ、九尾		
39—25	湯田城	湯田字城	丘陵	山林 畠	100×300 複	やや良		大前氏	大前氏	3.148.149	城		(別)古城
39—26	中城	時吉字中城	丘陵	寺社境内地	100×100 単	やや良					中城		
39—27	古城	平川字悪四郎原	丘陵	畠 山林	150×150 単	やや良				148.149	悪四郎原		(別)タメモト城
39—28	穴城	白男川字穴城	丘陵	山林	200×200 単	不良					穴城		

鶴田町

40—1	梅ケ君城	鶴田字城内	山頂	山林、畠 寺社境内地	150×300 複	やや良	天正8年～文禄元年	島津氏	島津氏	3.5.170	城内	空堀、井戸	(別)鶴ケ城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
40－2	鳥の巣陣	鶴田字竹下	山頂	山林	150×250 単	やや良			鶴田氏 島津氏	3.5.170	竹下		(別)関白陣，太閤陣
40－3	鶴田城	鶴田字古城	丘陵	山林 畠	200×250 複	やや良	応永８年～天正７年			3.5.148 170	古城		(別)古城，中山城
40－4	丸尾城	鶴田字丸尾	丘陵	山林 山	200×400 単	やや良	応永年間～			14	丸尾		
40－5	萩之平陣	鶴田字萩之平	山頂	山林	100×150 複	やや良	応永８年～			3.5.148 170	萩之平		(別)アタゴ山
40－6	善福寺陣	鶴田字島廻	山頂	山林 宅地	50×100 単	やや良	応永８年～			3.5	島廻		
40－7	神崎山陣	鶴田字木場迫	山頂	山林	150×200 単	やや良	応永８年～			3.5.148 170	木場ケ迫		
40－8	鶴之巣陣	鶴田字鷺ノ巣	山頂	山林	150×350 単	やや良	応永８年～			3.5.170	鷺ノ巣		
40－9	城之段	神子字城ノ段	山頂	山林 畠	200×300 複	やや良					城ノ段		
40－10	城ケ宇都	柴尾字城ケ宇都	山頂	山林	150×300 単	やや良					城ケ宇都		(別)高岡，錦ケ尾
40－11	築瀬城	柴尾字築瀬	丘陵	山林，畠 保育所敷地	150×300 複	やや良					築瀬		(別)築瀬殿
40－12	樺城	柏原字御手水	山頂	山林	150×200 複	やや良		大前氏	大前氏 都城院氏		御手水		(別)愛宕山
40－13	長岡城	柏原字城ケ迫	山頂	山林 畠	100×300 複	やや良		大前氏	大前氏 都城院氏	3.148.170	城ケ迫		
40－14	ヨケガ迫陣	鶴田字ヨケガ迫	山頂	山林	150×250 複	やや良					ヨケガ迫		
40－15	琢摩陣	鶴田字西平	山頂	山林	150×300 複	やや良					西平		(別)鶴ノ陣

薩摩町

41－1	堤田城	求名字城ノ前他	丘陵	山林 畠	150×500 複	やや良	明徳３年～	河野氏	河野氏	3.171	城ノ前，内原 アヌケ田 城ケ崎	堀，空堀	
41－2	戸子田城	求名字前畑他	山頂	山林 畠	200×300 複	やや良					前畑，山中	堀，空堀	(別)辻の丘
41－3	中津川城	中津川字手ハギ山他	丘陵	畠 墓地	150×500 複	やや良					手ハギ山，提田	堀，空堀	
41－4	松尾城	永野字城ノ下	山頂	山林 畠	300×300 複	やや良	康応年間～永禄12年		渋谷氏 都城院氏	3.5.172	城ノ下	石塁	(別)長野城

祁答院町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城主	在城者	文献	地名	遺構	備考
42－1	薗牟田城	大字薗牟田小字城山	山頂	山林	100×400 複	良	平安末期～室町末期	郡答院氏 大前氏	郡答院氏 大前氏		城山	郭，堀，土塁，土橋 通路，大手， からめ手，堀底道	(別)弦掛城
42－2	片城	大字薗牟田小字片城	山頂	山林		消滅	文明年間～文禄９年	北原氏	北原氏 雲嗣子氏		片城		
42－3	高城	大字薗牟田小字遠見ヶ城	山頂	山林	200×300 複	やや良	文明12年～永禄３年	郡答院氏	北原氏 雲嗣子氏		遠見ヶ城	堀，空堀，石垣	(別)海老ヶ城 遠見ヶ城
42－4	西之城	大字薗牟田小字西之城	山頂	山林	100×150 複	やや良	平安末期～室町末期	郡答院氏(？) 大前氏(？)	郡答院氏 大前氏		西之城	堀，たて堀，通路， 堀底道	
42－5	大久保城	大字下手小字大久保他	山頂	山林 畠	100×200 複	やや良	室町中期～室町後期	郡答院氏(？)	郡答院氏(？)		大久保，左屋元	堀，空堀，土塁， 折れひずみ，土橋， 通路，堀底道	
42－6	大村古城	大字下手小字城ノ下他	山頂	山林	200×400 複	やや良	平安末期～室町末期	大前氏	大村氏，平田氏 吉関氏，滝関氏		城ノ下，陣内	郭，堀，空堀，土塁，大手 折れひずみ，通路， からめ手，堀底道	(別)大村城 永福城
42－7	菊池田城	大字下手菊地田	丘陵	山林 畠		消滅					菊地田		
42－8	新城	大字下手字岩下	山頂	山林	200×300 複	やや良	室町末期～永禄９年	郡答院氏	郡答院氏		岩下	郭，堀，空堀，土塁 通路，大手， からめ手，堀底道	
42－9	松尾城	大字下手字松尾	山頂	山林	300×300 複	やや良	室町時代～永禄９年	郡答院氏	郡答院氏		松尾	堀，たて堀，通路， 堀底道，湧水	
42－10	滝関城	大字下手字滝関	山頂	山林	150×250 複	やや良	平安末期～	大前氏	滝関氏		滝関	郭，湧水	
42－11	西牟田城	大字上手小字西牟田	山頂	山林	150×300 複	やや良	安土桃山～寛永10年	西牟田氏	西牟田氏		西牟田	郭，堀，空堀， たて堀，土塁，折れ ひずみ，通路，堀底道	

里村

43－1	亀城	里字城山	丘陵	山林，畠 水田，宅地 (公園)	100×150 複	やや良			小川氏	3	城山	水堀，井戸，大手	(別)単人居城
43－2	鶴城	大字里	丘陵	山林 畠	100×150 複	やや良			小川氏				◉

下甑村

45－1	大成	手打字仮屋	丘陵	畠	100×200 複	不良	承久時代～近世初期		小川氏		仮屋，茶円	腰郭，空堀	(別)如天

出水郡

高尾野町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
47－1	紅葉城	柴引字城内他	山麓 丘陵	山林、宅地 集落公民館 採砂場		消滅	天正８年～元和元年	島津氏(？)	宮原氏		城ノ内、小陣 西小陣		(別) 高尾野城 砂原城
47－2	本城	下高尾野字高城	丘陵	山林	150×300 複	不良	～正治２年(？)				高城		
47－3	新城	下高尾野字新城	平地	山林 宅地	150×250 複	不良	～正治２年頃(？)				新城	堀、空堀	
47－4	竹林城	江内字木牟礼	平地	宅地		消滅	文治２年～永享２年	本田氏	本田氏		木牟礼		
47－5	木牟礼城	江内字尾崎	平地	畠 宅地		消滅	文治２年～永享２年	島津氏 本田氏	島津氏		尾崎		

野田町

48－1	亀井山城	上名字城内他	丘陵	山林	300×500 複	やや良	保元元年～貞和元年	千葉氏	千葉氏 鮫島氏	164	城内、城の平	堀、空堀	(別) 亀井城
48－2	新城	上名字新城	山頂	寺社境内地	150×300 複	やや良	天文17年頃～永禄８年	島津氏	島津氏	161	新城、城の平	郭郡、空堀、土塁	(別) 亀井新城
48－3	尾ケ無城	上名字山城	山頂	山林	200×250 複	不良					山城	郭郡、井戸	
48－4	越地城	上名字城ケ迫	丘陵	山林	150×300 複	不良					城ケ迫	空堀	(別) 為朝城 為朝一夜の陣
48－5	木牟礼城 屋形跡	下名字屋地他	丘陵	宅地	300×800 複	不良	建久７年～	本田氏	島津氏		屋地、東笠掛、 耳取、西笠掛、 金剛園	水の手、土塁、 折れひずみ	

東町

49－1	高磯城	鷹巣字陣之内他	丘陵	公園 学校	150×200 複	不良	天文６年～元和元年			163	犬山寺、陣之内 馬場ノ下	堀、空堀、土塁、池	(別) 鷹ノ巣城
49－2	山門野城	山門野字城ノ岡	山頂 丘陵	山林 畠	100×200 複	不良	鎌倉時代～室町時代			165	城之岡	郭、腰郭、堀、空堀 土塁、石塁	

長島町

50－1	鬼城	平尾字鬼城他	丘陵	山林	100×200 複	やや良	鎌倉時代～戦国時代				鬼城、上鬼城、 堂ノ前、蔵屋敷 薬師、館前	腰郭、堀、空堀、 通路	(別) 鬼ケ城
50－2	堂崎城	城川内字御城内他	岬	山林、畠 寺社境内地	100×250 複	やや良	南北朝期～戦国末期	長島氏	長島氏	161、162、 163	御城内、本馬場 内馬場、複ノ丸 仮屋ノ上	郭、土塁、石塁、 通路	(別) 長島城 城川内城

伊佐郡

菱刈町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
51－1	市山城	大字市山字薩摩迫	丘陵	山林	500×800 複	良	建久５年～寛永11年	入山氏	入山氏、蒲池氏 平田氏、相良氏	3.46	薩摩迫、大丸 野首	郭、腰郭、空堀、 たて堀、土塁、井戸	(別)入山城 一山城
51－2	太良城	大字南浦字西川	丘陵	山林、宅地 会社敷地	300×350 複	やや良	建久５年～慶長19年	菱刈氏	島津氏 菱刈氏	3.46	西川	郭、腰郭、空堀、 水堀、たて堀、大手 からめ手、堀底道	(別)平城、本城
51－3	花北城	大字花北字丸山	丘陵	山林	200×350 複	良	嘉暦元年～慶長15年	牛屋氏	花北氏 蒲池氏、島津氏	46	丸山	郭、腰郭、空堀、 たて堀、通路、 大手	(別)鳥ヶ城
51－4	幾田城	下手字幾田	丘陵	山林	150×400 複	良	永禄年前後			46	幾田	腰郭、空堀、たて堀 大手、からめ手	
51－5	湯ノ尾城	川北字湯之元	丘陵	山林 (公園地)	250×300 複	良	建久５年～慶長19年	菱川氏	菱刈氏 島津氏	3.46	湯之元	郭、空堀、水堀、 たて堀、大手、 からめ手	(別)水天城
51－6	馬越城	前目字城山	丘陵	山林	150×400 複	良	建久５年～寛永７年	馬越氏	馬越氏、蒲池氏 井手氏、大隅氏	3.46	城山	郭、腰郭、空堀、 たて堀、土塁、通路、 大手、からめ手、堀底道	(別)高見城
51－7	球摩陣	下手字比良田	山頂 丘陵	山林	150×300 複	やや良	永禄年間			3.46	比良田	郭、堀、空堀、 たて堀	
51－8	荒田営	荒田字早風下	丘陵	山林 畠	200×300 単	やや良	永禄10年～12年		島津氏	3.46	早風下	郭	(別)荒田陣、陣ノ岡
51－9	陣城	田中	台地端	山林	200×300	やや良	戦国						㊙
51－10	徳迎城	徳迎	台地端	山林	150×500	やや良	戦国						㊙

姶良郡

加治木町

52－1	岩屋城	大字木田字岩屋寺	山麓	山林	150×200 複	不良					岩屋寺	石塁、池	
52－2	館城	大字小山田字上学力	丘陵	平地		消滅	不安末期～慶長12年	加治木氏	加治木氏		上学力	水の手	
52－3	加治木城	大字反土字本丸他	丘陵	山林 畠 宅地	400×1000 複	やや良	平安末期～慶長12年	加治木氏	加治木氏 伊地知氏 肝付氏		本丸、寺ノ上、松尾 高江城、東戸ノ上、 大手口、井手口、下新屋	郭、堀、空堀、 水の手、井戸、大手	(別)本城、古城 龍門ヶ城
52－4	葛原塁	大字日本山字西の原	丘陵	山林	200×300 単	不良					西の原	堀、空堀	(別)楠原塁
52－5	陣ケ平	大字日本山字龍口	山頂	山林	150×450 単	不良	文和４年～天文18年	畠山氏	畠山氏 伊集院氏		龍口、陣ケ平		(別)黒川崎

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
52－6	土器(かわらけとりで)囲墓	大字日木山字黒川	山麓	宅地 墓地，国道	150×200 単	不良	南北朝～ 文和３・４年頃	畠山氏	畠山氏		黒川		
52－7	奴久良(やくら)城	大字日木山字前原	丘陵	ゴルフ場		消滅					前原		
52－8	向陣	大字反土字小陣	平地	水田		消滅					小陣	井戸	
52－9	大蔵館	大字日木山字観音字都	山麓	寺社境内地	100×100 単	不良		大蔵氏	大蔵氏		観音字都，園田		
52－10	内城	西別府	台地 低丘	畑地 山林	400×500 複	不良	戦国						
52－11	陣ノ尾城	小山田	低 丘陵上	ゴルフ場		消滅	戦国						
52－12	日之迫墓	小山田	低 丘陵上	山林	200×300	やや良	戦国						⑧

姶良町

53－1	岩郷城	平松字下山ノ口	山頂	山林	200×300 複	不良	～天文23年	渋谷氏	渋谷氏	3	下山ノ口	郭，腰郭，堀，石塁	(別)剣の平，剣の峯 礎石
53－2	下城	北山字下城	丘陵	山林	250×250 複	やや良	南北朝～文禄２年	平山氏	平山氏 梅北氏		下城	郭，腰郭，堀	
53－3	城瀬城	平松字城瀬	山麓	山林	150×200 複	やや良					城瀬	堀，土塁	
53－4	新城	三十町字三十町	山頂	山林	150×200 複	不良	明応４年～弘治元年	辺川氏	辺川氏，伊地知氏 都答院氏，鎌田氏	3.5	三十町	郭，堀，空堀	
53－5	諏訪城	平松字城ケ字都	山頂	山林	150×250 複	やや良	享徳３年～文明18年	島津氏	島津氏	3	城ケ字都	郭，腰郭，堀	(別)字都城
53－6	惣陣鹿倉山	平松字平田	山頂	山林	150×300 複	不良	～天文23年	島津氏		3	平田	郭	
53－7	高城	住吉字高城	山頂	山林 畠	150×200 複	不良	南北朝～	平山氏	平山氏	68	高城	郭，腰郭，石塁	
53－8	建昌城	西餅田字建昌	山頂	山林	500×600 複	やや良	享徳３年～文明18年	島津氏	島津氏	3.67.68	建昌城	郭，腰郭，堀，からめ手 土塁，折れひずみ， 物台，大手	(別)瓜生野城
53－9	山田城	上名字中城	山頂	山林	200×200 複	不良	～大永７年	源氏 川越氏	源氏，川越氏 梅北氏，梅北氏	3.5	城	郭，堀，礎石	(別)王城山，為朝城 上名中城
53－10	中堅城	北山字中堅	山頂	山林	100×150 複	不良	弘治３年～文禄２年	平山氏	平山氏		中堅	郭，井戸	(別)古城 北山大丸城
53－11	古城	中津野字瀬戸上	山頂	山林	100×100 複	不良	南北朝～享徳４年	平山氏	平山氏	3.68	瀬戸上，テイロ	郭，腰郭	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
53－12	中城	北山字二の瀬戸	山頂	山林	150×150 複	不良	弘治3年～文禄2年	平山氏	平山氏		二の瀬戸	郭，腰郭，土塁	
53－13	萩峯城	西餅田字拾石迫	山頂	山林	200×250 複	不良	正平12年～	畠山氏 野元氏	野元氏	3.68	拾石迫	郭，堀	(別)府大丸城
53－14	日當比良	平松字山ノ口	山麓	山林		消滅	～天文23年	島津氏	島津氏	3.5	山ノ口	石塁	
53－15	平松城	平松字上星原	山麓	小学校	150×200 複	やや良	～天文23年	島津氏	島津氏	3.5	上星原	郭，石塁，井戸	
53－16	狩集陣	平松字城瀬他	山頂	山林	100×250 複	不良	～天文23年	島津氏	島津氏	3	城瀬，山口		
53－17	為朝城	上名字城ノ平	山頂	山林	150×200 複	不良		源氏(？)	源氏(？)		城ノ平		(別)内田城
53－18	上脇城	木津志字上脇	山頂	山林		消滅					上脇	郭，腰郭	
53－19	平山城	鍋倉字本丸	山頂	山林 寺社境内地	500×500 複	やや良	弘安年中～文禄4年	平山氏	平山氏	3.68.69	本丸	郭，帯郭，堀，空堀 水の手，のしろ石， 大手，からめ手	(別)平安城
53－20	茶臼城	西餅田字上場	丘陵	山林	300×500 複	不良	南北朝時代～	平山氏	平山氏	5	上場	土塁	(別)餅田城，上場城
53－21	焼山営	平松字山口他	山麓	山林	100×100 複	不良				3.5	山口，下山ノ口	郭，堀	
53－22	白銀坂陣	脇元字瀧ノ字都他	山頂	山林	100×150 単	不良	～天文23年	島津氏	梅北氏 島津氏	3.5	瀧ノ字都，尾崎，平田		
53－23	帖佐館	鍋倉字字都	平地	宅地 寺社境内地	100×150 複	やや良	文禄4年～慶長11年	島津氏	島津氏	68.69	字都	ます形，石塁，井戸	(別)御屋地
53－24	北山城ケ段城	北山字城ケ段	丘陵	山林 畠	100×200 複	やや良	南北朝～戦国末期				城ケ段		
53－25	上名橘ケ丸城	上名字橘ケ丸	丘陵	山林	100×300 複	やや良	南北朝～戦国末期				橘ケ丸		
53－26	陽春院城	上名小字陽春院跡	丘陵	山林 宅地	100×100 複	やや良	戦国中期～戦国末期				陽春院跡		
53－27	中城	中津野字中城他	丘陵	山林，宅地 寺社境内地	100×200 複	やや良	南北朝～戦国末期	平山氏(？)			中城，瀬戸上		
53－28	大山城	上名字柳丸他	丘陵	山林	200×450 複	やや良	南北朝～戦国末期				柳丸，大丸 高曽，百田		(別)上名，柳丸城
53－29	下名陣ノ尾城	下名字陣ノ尾	丘陵	山林	150×150 複	やや良	戦国中期～戦国末期				陣ノ尾		
53－30	鍋倉柳丸塁	鍋倉字柳丸	丘陵	山林	100×400 単	不良	南北朝～戦国中期	平山氏			柳丸		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	造構	備考
53－31	三十町陣ノ尾	三十町字陣之尾	丘陵	山林	100×150 複	やや良	大永元年～大永７年	川上氏			陣ノ尾		
53－32	井手丸塁	春花字井手丸	丘陵	山林	100×150 複	やや良	天正３年～	敷根氏	敷根氏		井手丸		
53－33	御田中ノ丸	東御田字中ノ丸	小台地	宅地	100×100 単	不良	鎌倉中期～戦国	平山氏	平山氏		中ノ丸		
53－34	平松山ノ丸塁	平松字山ノ丸	丘陵	山林	150×200 単	不良	奈良時代～戦国末期	大隅氏			山ノ丸		
53－35	寺師柳丸城	寺師字柳丸	丘陵	山林 宅地	200×200 複	やや良	南北朝～戦国				柳丸		

蒲生町

54－1	北村城	北字小迫	丘陵	山林	200×500 複	不良	鎌倉時代～弘治３年	北村氏	北村氏	3.14.37 143.144 147	小迫	帯郭，空堀，土塁，礎石，櫓台，大手，からめ手	(別)矢筈城，高城
54－2	尾ケ城	下久徳字弓場ケ宇都	丘陵	山林	150×150 複	不良	弘治２年～弘治３年	島津氏	島津氏	142.144	引場ケ宇都 金丸	空堀，水の手，櫓台 大手	(別)新栫，陣
54－3	蒲生城	久末字竜ケ山他	丘陵	山林	1000×1300 複	不良	保安４年～弘治３年	蒲生氏	蒲生氏	3.14.37 141.142 143	竜ケ山，新口，外ノ口，大堀，山頂，馬場，野口，下城，二階下，建山上，建山下	空堀，土塁，礎石，水の手，からめ手，ます形，櫓台，大手，古木	(別)竜ケ城
54－4	松坂城	米丸字松坂他	丘陵	山林 水田	200×300 複	不良	天文弘治年間	中原氏	市来氏 中原氏	3.5.14.37 142.143 144.151	松坂，御納戸	帯郭，犬走り，堀，空堀，土塁，水の手，櫓台，通路，のしろ台，大手，郭底道	
54－5	栫野城	漆字栫野	丘陵	山林	150×200 複	不良	天文～弘治２年	楠氏	楠氏	3.5.142 145	栫野	水の手　通路	(別)馬道の山，栫城
54－6	松元城	漆字松元	丘陵	山林	100×150 複	不良	戦国時代	楠氏	楠氏	3.5.142	松元	ます形，水の手 通路，大手	
54－7	本南陣	漆字荒田原	山頂	山林	100×150 単	不良	戦国時代	楠氏	楠氏	3.5.142	荒田原	水の手，大手	
54－8	遠江ケ塁	漆字野峯口	丘陵	山林 畠 宅地	150×150 単	不良	戦国時代	楠氏	楠氏	3.5.142	野峯口	水の手，通路，大手	
54－9	切手園	漆字切手園	丘陵	山林	200×400 単	不良	弘治２年	島津氏	島津氏	3.5.142	切手園	水の手，大手，からめ手	
54－10	平之城	米丸字平之城	平地	山林		消滅	天文～弘治年間				平之城	のしろ台，大手	
54－11	馬立陣	上久徳字陣	丘陵	山林	200×200 複	不良	弘治２年～弘治３年	島津氏	島津氏	3.14.37 142.143	陣	水の手，櫓台，大手	
54－12	貝皿陣	上久徳字貝皿	丘陵	山林 畠 宅地	200×400 複	不良	天文～弘治年間	島津氏	島津氏		貝皿	水の手，櫓台，大手	
54－13	堂之平	米丸字堂ノ平	山頂	山林	100×200 単	不良		山ノ内氏	山ノ内氏		堂ノ平	水の手，大手	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
54－14	平ノ城	白男字平ノ城	丘陵	山林	150×350 複	不良	天文～弘治年間	島津氏	島津氏	3	平ノ城	水の手，大手 からめ手	
54－15	向城	白男字向城	丘陵	山林 畠	150×300 複	不良	天文～弘治年間	島津氏	島津氏	3.145	向城	水の手，大手	
54－16	掛橋陣	北宇掛橋	山頂	山林	200×300 単	不良	天文～弘治年間	北村氏		142	掛橋	水の手，大手	
54－17	金原陣	白男字金原	山頂	小学校敷地		消滅	天文～天文23年	蒲生氏	蒲生氏	1.19	金原	大手	
54－18	菱刈陣	来丸字陣平他	丘陵	山林 畠	200×200 複	不良	弘治２年～弘治３年	菱刈氏	菱刈氏	3.14.37 142.143 146	陣平，外陣 陣ケ平	水の手，櫓台， 大手，からめ手	(別)菱刈寿，北村宮 瀬川城，高陣
54－19	蛙ケ城	下久徳字蛙ケ城	平地	宅地		消滅	保安４年～弘治年間	蒲生氏	蒲生氏(？)	141	蛙ケ城		
54－20	城ケ崎	下久徳字城ケ崎	丘陵	山林 葉煙場	100×150 複	不良	弘治年間	島津氏	島津氏	3	城ケ崎		(別)武田どんの屋敷
54－21	松原陣	西浦字松原他	丘陵	山林	150×400 複	不良	天文弘治の頃	蒲生氏	蒲生氏(？)		松原，竹下 迫田		(別) ハガクシノウシト
54－22	陣	久末字北枝	丘陵	山林 宅地	200×200 単	不良	天文弘治の頃	蒲生氏	蒲生氏(？)		北枝		

溝辺町

55－1	高松城	有川字高松	山頂	山林	200×400 複	やや良			北原氏		高松	腰郭，犬走り， 堀，たて堀	
55－2	高松山城	三縄字高松	丘陵	山林	150×200 複	やや良					高松	腰郭，犬走り，堀 空堀，土塁	
55－3	玉利城	崎森字玉利	丘陵	山林 宅地	150×200 複	やや良					玉利	犬走り，堀，たて堀	
55－4	溝辺城	麓字平山田	山頂	山林	150×500 複	やや良			溝辺氏 鳥山氏 軒付氏		平山田	腰郭，犬走り，堀， 通路，たて堀，土塁 水の手，櫓台	
55－5	中丸城	玉利字中ノ丸	台地端	宅地 山林	150×150 複	やや良	南北朝～戦国末期	軒付氏			中ノ丸		

横川町

56－1	片城	中ノ下尾田	丘陵	道路 山林	300×400 複	良	永録年間	島津氏	島津氏			郭，堀	(郭)中尾田城 発掘有
56－2	鳥越城	中ノ下尾田	独立 丘陵	山林	150×200 複	やや良						郭，堀	
56－3	長坂上城	中ノ長坂上	丘陵	山林	200×300 単	良							

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
56－4	横川城	中ノ字城山	山頂 丘陵	山林	700×700 程	やや良	承久年間～永禄5年	横川氏	横川氏			郭，空堀，土塁	発堀有 (別)長尾城
56－5	横川古城	上ノ字古城	山頂	畠 山林	400×600 程	やや良	寛永年間～永禄6年	北原氏	横川氏 北原氏 河内氏			水の手，土塁，井戸 折れひずみ	(別)横川城 出城の跡
56－6	宇都畳	上ノ字南ノ迫	平地	工場用地		消滅	永禄年間	北原氏	横川氏 北原氏 島津氏			郭	
56－7	佐々木城	下ノ字大鋸	山頂	山林	100×150	やや良		佐々木氏				空堀	ⓐ

栗野町

57－1	松尾城	木場字	山麓 平地	山林	500×600 程	やや良	天正15年～天正末	島津氏	島津氏	3.167	本城，炭城	空堀	(別)栗野城
57－2	坂元城	米永字鐘月	山頂	山林	150×400 程	やや良				166	鐘月	堀，空堀	
57－3	北里城	北方字大迫	山頂	山林 畠	300×300 程	不良	正平7年～正平8年 文和元年～文和2年		畠山氏 島津氏	1	大迫	堀	(別)座崎城
57－4	上村城	上村	台地端	山林 畑地	300×400	やや良	戦国時代						ⓐ
57－5	笹峯城	木場笹峰	台地端	山林	300×400 ×2	良	戦国時代						(別)上古城，古城 ⓐ
57－6	新城	木場新城	台地端	山林	200×300	良	戦国時代						曽
57－7	陣ノ岡	幸田陣ノ岡	丘陵上	山林	200×200	やや良	戦国時代						曽

吉松町

58－1	亀鶴城	大字鶴丸字城	山頂	山林	150×300 程	消滅	～永禄元年	北原氏	北原氏 島津氏		城		
58－2	中城	大字中津川麓	台地端	宅地 畠	200×250	やや良					中ン城		曽
58－3	赤坂城	川西	台地端	畑地	200×400	やや良	戦国時代						曽
58－4	甕城	中津川堀之内	低 丘陵端	山林	300×300	やや良	戦国時代				堀之内		曽

牧園町

59－1	錦城	原窪田字城山	山頂	山林	200×500 程	やや良	享禄年間	北原氏	白坂氏 島津氏	3.5.22	城山	堀，空堀，通路	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
59－2	改田城	下中津川字向田平	山頂	山林	250×400 複	やや良		改田氏	改田氏		向田平	堀，空堀，土塁	(別)城ケ岡
59－3	小峰城	宿窪田字峯ケ原山	山頂	山林	150×300 複	やや良							
59－4	馬込城	馬込	丘陵端小台地	山林，畠宅地	200×600 単	やや良	戦国中期～戦国末期						

霧島町

60－1	大窪城	大窪字大窪	丘陵	山林	300×400 単	やや良					大窪		
60－2	椙城	田口字塩井	丘陵	山林	200×500 複	不良					塩井	空堀	
60－3	永人城	永人字笹ノ段他	丘陵	山林	200×500 複	やや良	平安時代～戦国時代				笹ノ段，後迫草場		
60－4	川北城	川北字大丸他	丘陵	山林	200×300 複	やや良	南北朝～戦国時代	税所氏			大丸，小丸	空堀	

隼人町

61－1	荒瀬城	西光寺字湯田	丘陵	山林，畠宅地	250×300 複	やや良						空堀，まド形，石塁	
61－2	小田城	小田岩神	丘陵	山林畠	150×200 複	不良						郭，石塁	
61－3	呉隈城	内	丘陵	山林	200×700 複	不良			北原氏，本田氏 浄谷氏 伊集院氏	3		郭，空堀，石塁	(別)隈之城
61－4	鶴ケ城	松永	丘陵	山林宅地	300×300 複	不良				3		郭，空堀，石塁	
61－5	富隈城	真孝大里	平地	宅地寺社境内地	200×300 複	やや良	文禄４年～慶長９年	島津氏		3		郭，空堀，石塁，礎石	
61－6	長浜城	小浜	丘陵	山林，水田畠，宅地	600×700 複	不良			樺山氏	3		郭，空堀，まド形，石塁	(別)生別府城
61－7	野神城	朝日	山麓丘陵	山林，水田畠，宅地	300×300 複	やや良				3		空堀，まド形，井戸	
61－8	日当山城	西光寺城下	山頂丘陵	山林，水田寺社境内地	150×150 複	不良			北原氏，本田氏 川畑氏，中村氏 伊集院氏	3		郭，空堀，石塁，井戸，礎石	
61－9	平松城	松永平松	丘陵	山林畠	150×250 複	不良				3		郭，空堀，まド形石塁，井戸	
61－10	茶臼ケ城	東郷	山頂丘陵	山林畠	150×300 複	やや良				3		郭，腰郭，水堀，石塁，水の手	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
61－11	角井ケ城	西光寺牟田	山頂	山林，畠 宅地 寺社境内地	150×200 複	不良				3	牟田	郭，たて堀，石塁，井戸	(別)後代目当山城
61－12	湯之峯砦	姫城小野	山林 丘陵	山林，畠 宅地	200×200 複	不良				3	山野	折れひずみ，石塁	
61－13	石踊塁	姫城石踊	丘陵	山林 宅地	100×100 単	やや良	南北朝～戦国時代	稲所氏			石踊		
61－14	内山田塁	内山田豊丸他	丘陵	町公共施設		消滅	奈良時代～戦国中期	大伴氏			豊丸，獅子尾山		
61－15	上野一上山城	嘉例川山ノ城他	台地端	山林	400×700 複	やや良	奈良時代				山ノ城，上山城		
61－16	堀之内塁	小浜堀之内	丘陵	山林 水田	200×200 複	やや良	南北朝～戦国時代				堀之内		
61－17	大丸塁	野久美田大丸	丘陵	山林	150×200 単	やや良	南北朝～戦国時代				大丸		
61－18	真孝高城	真孝高城	平地	畠，宅地 市営住宅 寺社境内地	200×250 単	不良良	南北朝～戦国末期				高城		
61－19	小浜古城	小浜古城	丘陵	山林 宅地	150×400 複	やや良	南北朝～戦国末期				古城		
61－20	陣之尾城	西光寺陣ノ尾	丘陵 端	山林	100×350 複	やや良	戦国中期	大隈氏			陣之尾		
61－21	植尾城	植尾	低 丘陵上	山林 神社	200×250	不良	戦国時代						⑧

福山町

62－1	馬立塁	福山字南園	平地	畠	100×150 複	不良	永禄４年～	島津氏	島津氏	3	南園	空堀	(別)古城，古城関い
62－2	廻城	福山字麓	山頂	山林	250×700 複	良	建久７年～慶長７年	廻氏	廻氏，肝付氏，島津氏 伊集院氏	3.185	麓	空堀，土塁，石塁	(別)仁田尾城 発掘有
62－3	竹原山陣	福山字竹原山	丘陵	山林	100×300 複	やや良	永禄４年～	北郷氏 島津氏				堀，空堀	(別)高塚ケ陣
61－4	惣陣ケ丘陣	福山字牧ノ原	山頂	山林	100×500 複	不良	永禄４年	島津氏	島津氏		牧ノ原		(別)大塚塁，大半札
62－5	福山古城	福山字旧城	丘陵	山林	200×250 単	やや良	奈良時代～戦国時代	大隅氏			旧城		
62－6	宝瀬城	福山字城ノ尾	台地端	山林，畠 宅地	250×600 複	やや良	戦国中期～戦国末期	廻氏			城ノ尾		
62－7	小廻古城	小廻	丘陵 中腹	山林 みかん山	100×200	やや良	南北朝～戦国時代						⑧

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
62－8	古石城	大迦	丘陵中腹	山林	200×500	やや良	南北朝～戦国時代						⑧
62－9	福地城	福地	小丘陵	山林	250×700	やや良	南北朝～戦国時代						⑧
62－10	福沢城	福沢	台地端	山林	300×350	やや良	南北朝～戦国時代						⑧

曽於郡

大隅町

63－1	岩北城	中之内字土成屋敷	丘陵	山林	200×200複	良					土成屋敷	土塁	(別)土成城
63－2	前井城	中之内字陣之尾	丘陵	山林畠	200×400複	不良					陣ノ尾	土塁	
63－3	新城	中之内字北山	丘陵	山林畠	250×400単	やや良		新納氏	新納氏	3.5.14 152	生首迫(旧字) 北山、城迫	土塁	
63－4	槻野城	月野字岡川路	丘陵	小学校		消滅			島津氏 肝付氏 若松氏		岡川路		
63－5	手取城	中之内字城他	台地端	山林	200×350複	良	鎌倉末期	岩川氏	岩川氏	3.126 153	城、手取、陣ノ元	空堀	
63－6	恒吉城	恒吉囲他	山頂	山林	300×500複	良			肝付氏、北郷氏 新納氏 伊集院氏	1.2.3.143	囲、陣ノ尾 陣ノ内	空堀、土塁	(別)日輪城
63－7	馬場城	岩川字上馬場	沖積地	寺社境内地		消滅	鎌倉末期	岩川氏	馬場氏 北郷氏	126.154	上馬場		(別)いわお城
63－8	(旧) 槻野城	月野字手水川他	山頂 丘陵	山林 畠 宅地	200×300複	やや良	南北朝～元亀3年	肝付氏	肝付氏		手水川、堂迫 堂ノ上、井手谷		
63－9	柳井谷城	中之内字城ケ尾他	山頂 丘陵	山林 畠 宅地	200×500複	やや良				3	城ケ尾、野首 遠目塚、上山中		
63－10	飯田城	岩川字宮田他	丘陵	宅地	150×200複	不良					宮田、深田		
63－11	広津田城	月野字井神山他	山頂 丘陵	山林 畠	500×1600複	不良	建武年間～元亀年間	肝付氏	肝付氏		井神山、関ケ迫 鳥井段、国見岡 竹迫		
63－12	上前城	恒吉字上囲	台地端	山林 畠	250×350複	やや良	南北朝～慶長4年	山田氏			上前、馬場	空堀、たて堀、大手 からめ手、堀底道	
63－13	坂元城	坂元字城山他	丘陵 台地端	山林	250×500複	やや良	南北朝～戦国期	岩川氏	肝付氏		城山、城ケ谷 三反田	郭郡、空堀、土橋 大手、からめ手	
63－14	岩元城	月野字岩元他	丘陵	山林	300×500複	やや良	南北朝～戦国末期	肝付氏			野首、堂山、岩元	郭郡、空堀、大手 からめ手、堀底道	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
63−15	愛宕山塁	長江字大路他	丘陵	山林	200×300 程	やや良	南北朝～戦国末期				大路、愛宕山		
63−16	大谷城	大谷字本城他	丘陵 台地端	山林 畠 宅地	150×500 程	やや良	南北朝～戦国末期	肝付氏			本城、城ケ原 城ケ迫	腰郭、空堀、虎口、土塁 のしろ台、大手 からめ手、堀底道	
63−17	伊屋松城	月野字伊屋松	台地端	山林 畠 宅地	350×350 程	やや良	南北朝～戦国末期	肝付氏	肝付氏 新納氏 北郷氏		伊屋松	空堀、大手 からめ手	
63−18	松尾田城	月野字野首	丘陵	山林	300×400 程	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏			野首		
63−19	中大谷城	大谷字中大谷	丘陵	山林 畠、宅地	350×500 程	やや良	戦国末期～慶長４年				中大各	腰郭、空堀、たて堀 大手、からめ手 堀底道	
63−20	岡元城	月野字岡元	丘陵	山林	300×700 程	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏 島津氏			岡元		

輝北町

64−1	加瀬田ケ城	平房字城山	山頂	山林	150×350 程	良	文禄４年～元和元年	肝付氏	肝付氏、山田氏、井手氏、仲村氏、入船氏、島津氏、伊集院氏、新納氏、鮫氏	3	城山	犬走り、堀、空堀、 たて堀、水の手、通路、大手 からめ手、堀底道、古木	(別)高雲加世田城
64−2	白岩城	上百引	丘陵	山林	150×400 程	良	弘治２年		伊賀倉氏			腰郭、犬走り、空堀 ます形、井戸	(別)御城ケ山、うし城
64−3	垂野城	市成小学大園	丘陵	公園	200×450 程	良	弘安元年～享徳３年		市成氏、山田氏 肝付氏、伊集院氏 島津氏、新納氏			腰郭、犬走り、堀、空堀、 堀底道、土塁、折れひずみ、 通路、大手	(別)鶴舞城
64−4	西原城	上百引	丘陵	公園	150×250 程	やや良		図師氏	図師氏			犬走り、空堀	(別)舞天城
64−5	小城	下百引	丘陵	宅地	50×100 単	やや良	～天文７年		島津氏 肝付氏				(別)崩城
64−6	百引本城	百引	丘陵	山林	150×200 程	やや良			肝付氏 島津氏			犬走り、空堀	
64−7	登見城	市成字登見山	丘陵	公園	150×200 単	やや良	奈良時代初期 戦国時代	市成氏 大浜氏	市成氏 小田氏		登見山	のしろ台	
64−8	諏訪原城	諏訪原字朝倉	台地端	山林	300×700 程	やや良	戦国中期～戦国末期	山田氏(？)	山田氏		城ノ元	空堀、たて堀、虎口 大手、からめ手	

財部町

65−1	黒棚陣	南俣字石塚	山麓	山林	100×300 程	やや良	慶長４年～	島津氏	新納氏、島津氏 伊集院氏 北郷氏	186	石塚	折れひずみ	
65−2	花平陣	南俣字丸鶴他	山頂	山林	150×300 程	やや良	慶長４年～	島津氏	島津氏	186	丸鶴、城ケ原	ます形	(別)城ケ原
65−3	竜虎城	北俣字水の手他	丘陵	公園	300×500 程	やや良	永正４年～元和元年	財部氏	新納氏、北郷氏 伊集院氏 島津氏	187	水の手、城之口	郭、空堀、土塁	(別)北俣城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
65－4	提城	下財部字塚田他	丘陵	山林	100×200 複	やや良	南北朝時代	提氏	提氏		塚田		
65－5	城ケ尾陣	下財部字西栗須	丘陵	畠	100×200 単	やや良	享禄元年～	北郷氏	北郷氏 島津氏 新納氏		西栗須		

末吉町

66－1	末吉城	大字深川字方 小字湯ノ尻他	丘陵	山林 宅地	400×900 複	やや良	建久７年～慶長年間	稲村氏	島津氏		湯ノ尻、田村	郭、空堀	(別)鳥越城 (別)内城、弁城、松下城、小松尾城、茅城、下手城、野久尾城、鳥居城、成城
66－2	宝珠庵城	大字深川 小字深川西	台地端	宅地 墓地	200×300 複	良	永禄３年～慶長年間	伊勢氏	伊勢氏 島津氏		深川西	空堀	
66－3	平松城	大字南之郷 小字陣ノ山	台地端	山林	600×800 複	良	天正年間～	本郷氏	本郷氏		陣ノ山、陣ノ下 陣ノ前	郭、堀、土塁	(別)陣城
66－4	岩北城	岩北字内堀	台地端	山林、水田 宅地 台地端	200×300 複	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏					
66－5	虎丸城	岩崎虎丸	台地端	山林、畠 宅地	150×200 複	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏				空堀、たて堀、大手からめ手、堀底道	
66－6	橋野屋館	橋野字野	台地	畠 宅地	250×400 単	やや良	平安中期	平氏			野		
66－7	上ノ城	深川	台地端	畑地	250×300	やや良	戦国時代						⑧
66－8	野首小陣	深川	台地端	畑地 山林	200×350	良	戦国時代						⑧
66－9	南郷城	南郷堀之内	低丘陵	山林	200×400	やや良	戦国時代						⑧

松山町

67－1	松山城	新橋字松尾他	山頂	公園	300×500 複	やや良	文治４年～	平氏	平氏、赤松氏 平山氏、肝付氏	189	松尾、野久尾 馬場、射場	空堀	(別)松尾城
67－2	泰野城	泰野字京の峯	山頂	山林	200×400 複	やや良				188	堀之内、南中	空堀	
67－3	尾野見城	尾野見	台地端	山林 畑地	200×350	やや良	戦国時代						⑧

志布志町

68－1	新城	帖字都上	丘陵	山林 畠	150×250 複	不良	永禄７年～		肝付氏				堀有
68－2	高城	帖高城	丘陵	山林	150×400 複	やや良			島津氏		高城		

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
68－3	内城	帖内城他	丘陵	山林 畠	250×650 複	やや良			畠山氏.島津氏 新納氏.肝付氏	3.160	内城.野首.高浜	腰郭，犬走り，空堀 土塁，石塁，虎口， 井戸	(別)城山，名古屋 広朝城
68－4	松尾城	帖松尾	丘陵	山林	300×400 複	やや良	建久２年～天正５年		橋井氏 島津氏 新納氏		松尾	郭，腰郭，犬走り，空堀 土塁，石塁，水の手， 大手，からめ手	(別)白雉城 西谷蔵王山
68－5	安楽城	安楽和田他	丘陵	山林	150×250 複	やや良			安楽氏 島津氏 新納氏	160	和田，宮下	郭，腰郭，犬走り， 空堀，土塁	
68－6	夏井城	夏井前田他	丘陵	山林 宅地 畠	200×300 複	やや良	～天正５年	新納氏	新納氏 肝付氏		前田，樋口		
68－7	陣岳塁	帖字都上他	丘陵	山林	150×250 単	やや良	戦国中期～戦国末期	新納氏			陣岳		

有明町

69－1	片平城	大字蓬原字木ノ下	丘陵	山林	150×200 複	不良	平安末期～	救仁院氏	救仁院氏	156.157	木ノ下		(別)片平古城
69－2	蓬原城	大字蓬原字出水	丘陵	山林	100×200 複	良	平安末期～	救仁院氏	救仁院氏.肝付氏 伊集院氏.大野氏 大寺氏	1.3.14	出水	堀，空堀，土塁	
69－3	金丸城	大字蓬原字金丸	丘陵	山林 宅地 シラス採取場	150×250 複	不良					金丸	空堀	
69－4	高牧城	大字山重字高牧	丘陵	山林	100×300 単	良					高牧	堀	

大崎町

70－1	金丸城	井俣字西井俣	丘陵	山林 畠	100×150 複	やや良	鎌倉時代～延文４年	救仁院氏	救仁院氏		西井俣	郭，腰郭，犬走り 堀，通路	
70－2	大崎城	仮宿字馬場他	丘陵 平地	山林，宅地 学校敷地	250×700 複	不良	天正５年～慶応３年	比志島氏 道永氏	比志島氏 道永氏	3.190	馬場，城内	腰郭，堀，ま十形	
70－3	胡摩ケ崎城	仮宿字仮宿下	山頂 丘陵	山林	100×250 複	やや良	建久元年～文明２年		肝付氏(？)	3.190	仮宿下	郭，腰郭，犬走り， 堀，土塁，通路	
70－4	粉谷城	永吉字粉谷	丘陵	山林 畠	150×500 複	やや良	鎌倉時代	肥後氏	肥後氏	190	粉谷	腰郭，犬走り，堀 土塁，ま寸形	
70－5	天守城	菱田字在郷	丘陵	山林 畠	150×200 複	やや良	鎌倉初期～平安末期		橋井氏	3.190	在郷	腰郭，堀，土塁， 水の手	
70－6	野御城	永吉字崎園	山頂	山林 畠	100×350 複	不良	建久元年～天正８年		千葉氏.名越氏 島津氏.新納氏	190	崎園	腰郭，犬走り，堀	
70－7	野方狼煙台	野方字曲迫	山頂	山林	100×150 複	良				3.190	曲迫	のしろ台	
70－8	竜相城	神領字天子丘他	丘陵 平地	山林，畠 宅地	200×400 複	不良	建久元年～天正５年	肝付氏	肝付氏 島津氏 新納氏	3.190	天子丘，神領町 裾園，搦迫	郭，腰郭，犬走り， 堀，土塁，ま寸形	(別)井出田城 大崎城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
70－9	杤山城	上持留字杤山	台地端	山林、畠	300×350 複	やや良	戦国時代～天正２年	杤山氏(？)	杤山氏(？)		杤山		(別)山ノ城
70－10	松尾塁	野方字松尾	丘陵	山林	200×250 単	やや良	南北朝～戦国末期				松ノ尾		
70－11	掛井城	野方字水之谷他	丘陵	畠	150×300 複	やや良	南北朝～戦国期	肝付氏			水の谷、掛井		
70－12	大崎古城	神領字古城	古墳利用	宅地	100×200 単	不良	南北朝～戦国時代	救仁郷氏				空堀	
70－13	矢ケ城	岡別府	台地端	畑地 山林	150×250	やや良	南北朝～戦国期						⑧
70－14	横瀬城	横瀬	台地端	山林		やや良	南北朝～戦国期						⑧

肝付郡

串良町

71－1	肝付氏古城	下小原字園田	平地	山林 畠	150×400 複	不良	戦国時代～永禄９年	肝付氏		42	園田		(別)城之園
71－2	松崎城	上小原字松崎	台地端城	山林、畠 寺社境内地	200×300 複	やや良	南北朝初期～	松崎氏	松崎氏		本府本元、東谷横堀	空堀、土塁 通路、堀底道	
71－3	北原城	細山田字平瀬	丘陵	山林	250×600 複	やや良	長寛２年～正平12年	北原氏	北原氏	3.42.43	城山、城山下、宝山	郭、腰郭、空堀 のしろ台	
71－4	串良城	岡崎字麓	台地端	山林	300×500 複	不良	文明２年～	平田氏	肝付氏、平田氏 鳥井氏、平山氏 村分氏、伊集院氏 蒲原氏、城堅崎氏	3.42.43.44	麓	郭、腰郭、帯郭、 虎口、のしろ台	(別)鶴亀城
71－5	細山田城	細山田字生栗須	丘陵	山林	150×200 複	やや良		細山田氏			中水流、徳島後迫、東領		
71－6	小原城	上小原字城ケ崎	台地端	山林 畠、宅地	150×200 複	やや良	南北朝初期	松崎氏			久保ノ上 牧神ノ下、溝中	空堀、土塁、ます形 通路、大手	(別)城ケ崎城
71－7	白寒水城	下小原字白寒水	台地端	山林 共同墓地 寺社境内地	200×200 複	やや良	南北朝初期～戦国期	津野氏	津野氏	42.43	白寒水	郭、空堀、水堀、たて堀 土塁、ます形、虎口、大手 のしろ台、からめ手	
71－8	岡崎城	岡崎字城ケ鼻	突出台地端	山林、畠 宅地 寺社境内地	150×250 複	やや良	正平９年～応永18年	田代氏	田代氏	45	城ケ鼻、西ノ下 三角畑、天神畑 牧ノ内、柳の丸	郭、堀、空堀、土塁 堀底道	(別)城ケ鼻
71－9	中山城	上小原字中山	台地端	山林	200×300 複	不良	～南北朝初期	津野氏		42.43	殿元、油穴口、 寺の下、天狗段、 子持ち迫、柳の丸、 殿元道、三ツ城	郭、堀、空堀	
71－10	肝付氏古城	岡崎字西ノ丸	平地	畠	100×400 複	不良	平安末期～	肝付氏	肝付氏	43.45	西ノ丸		(別)西ノ丸居館
71－11	稲村城	下小原字寒水	丘陵	山林	150×250 複	やや良	南北朝初期～戦国期	津野氏			後藤迫、稲村迫	堀、空堀、通路 土塁、堀底道	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
71－12	中村城	岡崎字竹之内	丘陵	山林、畠、宅地	150×400 程	やや良	南北朝～				竹ノ内	空堀	
71－13	北原氏居館	細山田字北原	平地	山林、畠		消滅	長寛２年～正平12年	北原氏	北原氏、加藤氏、内之浦氏、大蔵氏、伊丸、城宝蔵氏		北原	空堀、通路	
71－14	霧島城	細山田字下中	丘陵	山林、宅地、神社敷地	200×200 程	やや良	7世紀末～8世紀初期				霧島領、古田		

東串良町

72－1	別府ケ城	小字別府ケ城	平地	畠		消滅		肝付氏	肝付氏		別府城、城山城堀込		
72－2	曲之城	新川西字曲之城	平地	水田		消滅		肝付氏	肝付氏		曲之城、古馬、馬古市、清原、馬場、堀内、弓場前		
72－3	堀込城	新川西字鼎尾	平地	水田、畠		消滅			肝付氏(？)		鼎尾、城堀込		
72－4	笹塚城	新川西字笹塚	平地	水田、畠		消滅			肝付氏(？)		笹塚		
72－5	下伊倉城	新川西字城ノ山他	平地	山林、畠、水田、墓地古墳	200×300 程	やや良		肝付氏	肝付氏	3	城之山、本丸、池堀、竹下、番屋、古川、笠原、鍛冶、堀川堀、屋敷ノ周原	水堀、土塁、ます形堀、通路、からめ手、大手、古木	(別)肝付氏古城東の丸伊倉城
72－6	岩弘城	岩弘字後迫他	丘陵	山林	150×150 程	やや良	応永18年～明応４年	平田氏	平田氏	3.37	後迫、権現迫、牧ノ内、早馬下、合戦野、井手ノ上	堀郡、空堀、土塁、通路、大手、からめ手、古木	

内之浦町

73－1	荒田城	北方平牟田	丘陵	畠	100×150 単	やや良					荒田		
73－2	川上城	江平字川上	丘陵	山林、畠	150×100 程	良	文永時代～				川上	郭、堀、空堀、堀底道、通路	
73－3	岸良城	岸良字宇都	岡城	山林	200×300 程	良	文永11年～応永中期	岸良氏	岸良氏		宇都	郭、堀、空堀、通路、堀底道	
73－4	甑田城	小野字仁田山塩入	丘陵	墓地	150×200 程	やや良					仁田山塩入	郭、堀、空堀、通路、堀底道	
73－5	真福寺塁	岸良字大富田	丘陵	山林	50×100 単	良	文永11年～応永中期	岸良氏	岸良氏		大富田		

高山町

74－1	宇都の陣	前田字堂園	山頂	山林	100×200 単	良	正平元年～永禄９年	北原氏		158	堂園	郭、空堀、水の手	
74－2	大平城	後田字大平	丘陵平地	山林	200×400 程	良	暦応３年～天正８年	大平氏		158	大平	郭、空堀、堀、土塁、虎口、通路	(別)城台平 ジョウンデラ

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
74－3	御幣麓城	前田字大脇	丘陵	山林 宅地	200×400 複	良	南北朝時代	肝付氏		158	大脇	郭,堀,空堀,水の手 折れひずみ,水の手	(別)大脇城
74－4	合戦田の陣	前田字上西方	丘陵	山林	150×250 単	やや良	永正3年～天正8年	新納氏		158	上西方		(別)古城
74－5	求摩陣	新富字下永山他	丘陵	山林	200×250 単	良		肝付氏		3.158.159	下永山 築ケ城	空堀,折れひずみ 水の手	(別)下丸陣,築ケ城
74－6	檜見崎城	後田字檜見崎	平地	山林	150×200 複	良	長元9年～永禄9年	肝付氏 檜見崎氏	檜見崎氏	158	檜見崎	空堀,折れひずみ 水の手	
74－7	高山城	新富字本城	山頂 丘陵	山林	300×500 複	良	正平9年 (観応2年 一永禄9年	伴氏 肝付氏	肝付氏	3.5.158 159		郭,腰郭,堀,空堀 土塁,まず形, 折れひずみ	(別)肝付城 山之城,本城 国指定
74－8	塚崎城	野崎字塚崎	平地	山林 墓地	150×150 単	やや良	南北朝～永禄年間			158	塚崎		
74－9	堂園の陣	前田字長能寺	丘陵	山林	100×200 複	やや良	永正3年～天正8年	島津氏		158	正能寺		
74－10	富山城	富山字堂迫	丘陵	山林	100×400 複	やや良	弘安3年～天正8年	富山氏	富山氏	158.159	堂迫	郭,堀,空堀 折れひずみ,水の手,大手 からめ手,堀底道	
74－11	永山陣	新富字川路	丘陵	山林 洞窟	100×150 単	やや良	正平7年 文和元年～永正3年	新留氏 永山氏		158.159	川路		
74－12	波見城	波見字森	山麓	山林	150×200 単	良	弘安の頃～永禄時代	波見氏		158.159		郭,空堀,折れひずみ 大手,からめ手	
74－13	宮下城	宮下字堀内	丘陵 平地	山林	150×250 複	不良	南北朝時代	肝付氏		158.159	堀内,宮前,宮上	空堀,水の手	
74－14	柳井谷の陣	新富	山麓	山林	150×200 複	やや良	永正3年～永禄9年	島津氏	河内氏	3.5.158 159		郭,土塁	
74－15	弓張城	新富字城山他	丘陵	山林	400×600 複	良	正平5年～文禄9年	櫨井氏		3.5.158 159	城山,新城上	郭,空堀,たて堀 水の手	(別)麓ノ城
74－16	和田城	野崎字和田	山麓	山林	200×250 複	やや良	建武2年～永禄9年	肝付氏		158.159	和田	郭,空堀,たて堀 水の手	
74－17	波見の陣	波見字牟礼	山麓	公園地	150×200 複	良	弘安6年～永禄年間	波見氏	波見氏	158.159	牟礼	堀,空堀,大手, からめ手,堀	
74－18	天道山塁	野崎字天道山	丘陵	山林 寺社境内地	150×300 単	やや良	戦国中期～天正2年	肝付氏			天道山		

吾平町

75－1	松下城	上名字西野他	丘陵	山林 畠,宅地	100×200 複	やや良	戦国時代～江戸時代		松下氏		西野,諏訪尾 東宮, 門前(鎮座下)	腰郭,空堀,土塁 井戸,通路	発堀有
75－2	井上城	下名字井神島他	丘陵	山林,畠 宅地 寺社境内地	200×250 複	やや良	正平年間～文明年間		肝付氏 島津氏 櫨井氏	1.2.3.37 38.39	井神馬,川東 末次	空堀,土塁,井戸, 通路,古木	(別)末次城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
75－37	山吉城	麓字榊他	独立状丘陵	山林 荒地	200×250 複	不良	天正5年～元治元年	得丸氏	平氏 島津氏 伊地知氏	3.40	麓、榊、古牟田 城ヶ迫原	郭、腰郭、堀、空堀、土塁、水の手、道、通路、大手、からめ手	
75－4	筒ヶ迫城	上名字筒ヶ迫他	丘陵	山林、畠 宅地	200×200 複	原形状やや良	室町時代～永禄時代		肝付氏 伊地知氏	3	筒ヶ迫、迫門前 筒迫原、平瀬	郭、腰郭、堀、空堀 土塁、井戸、通路、大手	
75－5	岩下城	麓字神野他	丘陵	山林 畠	150×350 複	やや良	鎌倉末期～大正15年		岩下氏(？)	41	神野、東岳	空堀、土塁、石塁、礫石、通路、大手、古木	

大根占町

76－1	馬場中原城	池田字馬場中原	丘陵	山林		消滅	戦国～戦国末期	称寂氏(？)			馬場中原		
76－2	高城	神ノ川字城ヶ崎	丘陵	山林 畠	200×650 複	不良	天慶6年～	富山氏			城ヶ崎	空堀、石塁、大手、からめ手	
76－3	高尾山塁	宿利原字高尾	丘陵	山林	100×150 単	やや良	南北朝期～天正2年	称寂氏			高尾	からめ手、大手、空堀 土塁、のしろ台	
76－4	扇原城	馬場字扇原	丘陵	山林 畠	200×600 複	やや良	南北朝～戦国末期	称寂氏			城ノ岡		
76－5	神之川城	神川字神ノ川城	丘陵	山林 畠	200×300 複	やや良	戦国期～	富山氏			神ノ川城		

根占町

77－1	国見城	川北字城内	丘陵	山林、畠 宅地 寺社境内地	100×1100 複	やや良	南北朝～江戸初期	称寂氏	称寂氏	3.5.192	城ノ内畑、遺構、国見城 国見、城井、大手口、搦城、城内、水手口、北郭、野首	郭、空堀、土塁、虎口、水の手	(別)白三山、鴻之城
77－2	水流城	川南字城ノ脇他	丘陵	山林	100×200 単	やや良	南北朝～江戸初期	称寂氏	称寂氏		城ノ脇、鶴城	郭、腰郭、堀、空堀 虎口	(別)鶴城、城之尾
77－3	瀬脇城	川南字丸塚	丘陵	山林	200×300 複	やや良	南北朝～戦国時代	称寂氏	称寂氏 秘南氏	3.5.192	丸塚	郭、腰郭、虎口	(別)妹尾城、瀬入城
77－4	富田城	川南字古城他	丘陵	山林 畠	200×300 複	不良	江戸初期～元和元年	称寂氏	称寂氏	3.5.192	古城、本城、東城	郭、堀、空堀、虎口 水の手	(別)南谷城
77－5	野間城	川北字野間城他	丘陵	山林 畠	200×300 複	やや良	南北朝～江戸初期	称寂氏	称寂氏 野間氏	3.5	野間城、中城 道都前	郭、腰郭、堀、空堀 土塁、虎口	
77－6	山田城	山本字高城	丘陵	山林	100×300 複	やや良	平安末期～江戸初期	長田氏	長田氏 山本氏 称寂氏	3.5.191	高城、山田城	郭、腰郭、帯郭、堀 空堀、土塁、虎口	(別)平瀬戸城
77－7	建部城	川北字建部城	丘陵	山林 畠	150×150 複	不良	平安末期～南北朝期	建部氏	建部氏		建部城	郭、腰郭、虎口	

田代町

78－1	田代城	麓字城内他	丘陵	山林	200×500 複	やや良	鎌倉期～元和元年	田代氏	称寂氏 田代氏	3.5	城内、西ノ城	郭、腰郭、空堀、土塁、虎口、水の手	(別)馬尾城

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
78－2	原田城	麓字春田城	丘陵	山林	100×200 複	やや良	鎌倉時代～戦国時代	田代氏	田代氏	3.5	春田城	郭，腰郭，堀，空堀，土塁，虎口	
78－3	源訪城	麓字城ケ迫	丘陵	山林	200×300 複	やや良	鎌倉時代～戦国期		田代氏		城ケ迫 寺山野首	郭，腰郭，空堀，土塁，虎口	
78－4	舘園城	舘園字城ノ尾他	丘陵	山林	250×300 複	やや良	戦国時代～戦国末期	田代氏			城ノ尾，城ノ脇	腰郭，空堀，大手	

佐多町

79－1	高木城	郡字小崎	丘陵	畠	150×300 複	不良	建仁３年～正安３年	平氏	平氏	3.5	山崎	堀，空堀，土塁，水の手，通路，大手	
79－2	辺塚城	辺塚字中郷他	丘陵	果樹園	200×200 複	やや良	応永年間～文禄４年	竹崎氏	竹崎氏	3.5	中郷，西ノ城 東ノ城	郭，堀，空堀，通路，大手	(別)岡之城，西之城
79－3	伊座敷城	字城ケ崎他				消滅			島津氏 佐多氏 伊座敷氏	3.5			(別)佐多城
79－4	馬籠城	馬籠字城ケ崎	台地端	山林 畠	100×300 複	やや良	鎌倉時代～戦国期	建部氏	野田上氏		城ケ原，勝地		
79－5	古里城	郡字城ケ原	台地端	山林 畠	100×400 複	やや良	鎌倉時代～戦国期	建部氏	島津氏(？)		城ケ原	空堀，大手，からめ手	
79－6	萩崎城	郡字城ノ下他	台地端	山林	100×400 複	やや良	鎌倉時代～戦国期	建部氏	島津氏(？)		城ノ下，萩ノ崎		

熊毛郡

中種子町

80－1	増田城	増田字古房	丘陵	山林	150×200 複	不良		上妻氏		52	古房	郭，堀，空堀，畝十形，虎口	

南種子町

81－1	上妻城	向方字内城	丘陵 段状台地	山林，畠 宅地，道路	200×400 複	やや良		上妻氏			内城	郭，堀，空堀，土塁，堀底道，虎口，水の手，屋敷，畝，通路，古木	
81－2	上里城 （うえさと）	茎永字林	山頂	山林 寺社境内地	200×300 複	良		最上氏				郭，空堀，虎口	(別)ヒジリ山

上屋久町

82－1	津城	本城字城ノ山	丘陵	山林 畠	200×300 複	良		日高氏		48	城ノ山	郭，腰郭，堀，空堀，虎口，土橋，通路	
82－2	湯向城 （ゆむかい）	口永良部湯向字城ケ平	山麓 丘陵	畠 牧場	100×150 複	やや良			種ケ島氏	48	城ケ平	郭，堀，土塁	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
82－3	富田原城（とんだばる）	口永良部湯向	丘陵平地	畠	300×300程	不良						郭	
82－4	横川城（よこかわ）	横川折山	丘陵	山林	200×250程	不良	大永４年～	種ケ島氏		48	折山	郭，堀，空堀，土塁，すり形，犬手，堀底道	
82－5	宮ノ浦城	宮ノ浦字城ノ平	山頂山麓	山林	100×200程	やや良				48	城ノ平	郭，犬走り，空堀	
82－6	小瀬田城	上屋久町小瀬田	丘陵	原野山林		消滅					城之平		
82－7	永田城	上屋久町永田	丘陵	山林	120×50程	良	天正年間～	称寂氏	称寂氏種ケ島氏	48	城山	曲部，土塁	
82－8	一湊城（いっそう）	上屋久町一湊	丘陵	墓地	100×100程	不良	永禄年間～	種ケ島氏	種ケ島氏		松山	曲部，土塁	墓地で地形は変形

屋久町

83－1	栗生平家城（くりおべけ）	栗生字甲ノ峰他	山頂尾根	山林荒地	100×400程	良					甲ケ峰，鍋松平床，甲ノ板，隠谷		（別）甲ケ峰，甲ノ峰
83－2	湯沼平家城（ゆぬまたいらけ）	湯向字平家城他	山頂尾根	山林	150×200程	やや良					平家城，休松仮屋敷		（別）城下平家城
83－3	原城	原字神山	山頂	山林	150×250単	やや良					神山（森山）		（別）神山（森山）
83－4	安房城（あんぼう）	安房字城山	平地	山林畠	200×300程	良						腰郭，空堀，たて堀土塁	

大島郡

大和村

84－1	国武城（こくぶすく）	大字国直字城	山頂	山林		消滅					城		

住用村

86－1	坂元城（さもとすく）	大字城字池平	山麓	畠		消滅					池平		

瀬戸内町

87－1	海城（うみすく）	字西古見字寒久	山甲	自然公園		消滅					寒久		
87－2	諸鈍城（しょどんすく）	字諸鈍字スワームテ	山頂	山林		消滅					フワームテ		

竜郷町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
88－1	松当城（まつとう）	戸口字大三田他	丘陵	山林、畠、寺社境内地		消滅	13世紀初期～	山野氏	山野氏		大三田、内原		
88－2	屋々勝城（ややかつさく）	戸口字真ら勝他	山頂 山麓	山林、畠、寺社境内地、宅地		消滅	13世紀初期～		戸口氏 二保氏 友野氏	36	真ウ勝、内袋		
88－3	古見城（こみさく）	戸口字川渡	山頂	山林	150×200 複	不良	13世紀初期～	古見氏	古見氏 福利氏		川渡		
88－4	戸口城（とぐちじょう）	戸口字池野他	丘陵	畠 原野		消滅	元久２年～建長２年	平氏	戸口氏 平氏	36	池野、上天川	空堀	（別）大成（フーグスク）

笠利町

89－1	赤木名城（はきな）	里字溜池ノ又他	山頂	山林	100×350 複	不良					溜、池ノ又 川道、赤又	空堀、たて堀、土塁	
89－2	辺留城（べる）	辺留字辺留城	丘陵	畠	100×250 単	不良			笠利氏		辺留城		
89－3	嵩城（たか）	大笠利字嵩城	平地	畠 宅地	100×150 単	やや良	15世紀中頃～16世紀中頃	笠利氏	笠利氏		嵩城	水の手	
89－4	大和城（やまと）	手花部字大和城原	丘陵	畠 原野		消滅	15世紀後期～	笠利氏			大和城原		
89－5	崎城（さき）	須野字崎城	丘陵	畠 宅地		消滅	15世紀初期～				崎城		
89－6	按司城（あじ）	屋仁字崎山他	山頂	山林	150×150 複	やや良	15世紀初期～	屋仁氏	屋仁氏		崎山、清又 井ノ花、畑		
89－7	湊城（にやと）	用安フンニャト他	丘陵	山林 畠、宅地	100×250 複	不良	16世紀初期～		湯湾氏		フンニャト 湊城		

喜界町

90－1	七城（ななじょう）	志戸桶字増ケダ	丘陵	山林	200×200 複	やや良	建久２年～宝徳２年	平氏	平氏	30.31	増ケダ	郭	
90－2	平家盛（へいけもり）	早町字上ケ田	山頂	山林	200×200 複	やや良	建久２年～文正元年	平氏		30.31	上ケ用		（別）平家森

徳之島町

91－1	神之嶺城（かみのみねじょう）	神之嶺字アギマス	丘陵	宅地	150×150 複	やや良	15世紀～	ウンジキア	ウンジキア	102.103 104	アギマス		
91－2	佐安元屋敷（さーむとやしき）	亀徳字里	丘陵 平地	山林 寺社境内地 宅地	150×200 単	やや良	15世紀頃～16世紀中期		徳之島氏	105.106 107	里	石塁、庭園、礎石	

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
91－3	みやじょう 宮城	花徳字宮城	丘陵	山林 寺社境内地	150×200 複	良	12世紀～16世紀	按司氏	按司氏	102.103 104	宮城		
91－4	ヤト城	手々	丘陵 平地	山林	100×200 単	良		按丈八目	按丈八目	109			

天城町

92－1	たまじょう 玉城	天城字真瀬名	山頂	畠	200×300 単	不良	12世紀～16世紀				真瀬名	礎石	
92－2	やまとじょう 大和城	天城字上名道他	山頂	山林	200×300 単	良	12世紀～15世紀				上名道、瀬名山 津当部、当山		
92－3	おうじょう 大城	松原字大城	山頂	山林	250×200 単	良					大城		

伊仙町

93－1	みょうがんじょう 妙願城	大田布字明眼	山頂 寺社境内地	寺社境内地	200×200 複	良	14世紀～15世紀	妙願按司氏			明眼	堀、空堀、石垣	
93－2	あじ 按司城	阿三字谷俣	丘陵	山林 畠	150×200 単	やや良	9世紀				谷俣	堀	
93－3	うんのーじょう 思納城	面縄字ウガミ	丘陵	山林 畠	200×250 単	やや良	～15世紀				ウガミ	堀、空堀、虎口	(別)ウガン城
93－4	アマン城	字大香字下島権	丘陵	山林	100×200 単	やや良						石積	
93－5	ウウヒラ城	字大香字島根	丘陵	山林	200×200 単	やや良							
93－6	きねんあじのしき 喜念按司屋敷	字大香字喜念	丘陵	山林	100×300 単	やや良							

和泊町

94－1	こうらんまごはらじょう 後蘭孫八城	後蘭字前田川	丘陵	宅地 雑木林	150×250 複	やや良	～応永20年	後蘭孫八氏	平氏	34	前田川 (メーダゴウ)		(別)大屋々敷
94－2	ゆのむじじょう 世之主城	字内城上城	山頂	寺社境内地	100×200 複	やや良	応永２年～	後蘭孫八氏		35	上城	通路、堀底道	(別)内城 県指定(墓)

知名町

95－1	かみじろ 上城	字下城字先間他	山麓	原野	150×250 複	やや良	応永年間頃(？)	西目氏	西目氏		先間、次石	礎石	

与論町

番号	名称	所在地	立地	現況	規模・形状	残存度	存続期間	築城者	在城者	文献	地名	遺構	備考
96－1	与論城	字立長辺後地	丘陵	山林、畑、寺社境内地	100×300程	やや良	応永12年～応永30年	毛利氏		32.33	辺後地		
96－2	上城（うわぐすく）	字東区アマミズ	平地	山林、畑、宅地	150×150程	不良				32	アマミズ		

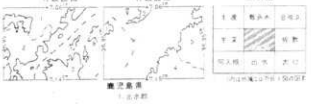
城館跡分布図

本渡
新和町
河浦町
天草町
苓北町
有明町
阿久根
49-1
50-1

分布図 1

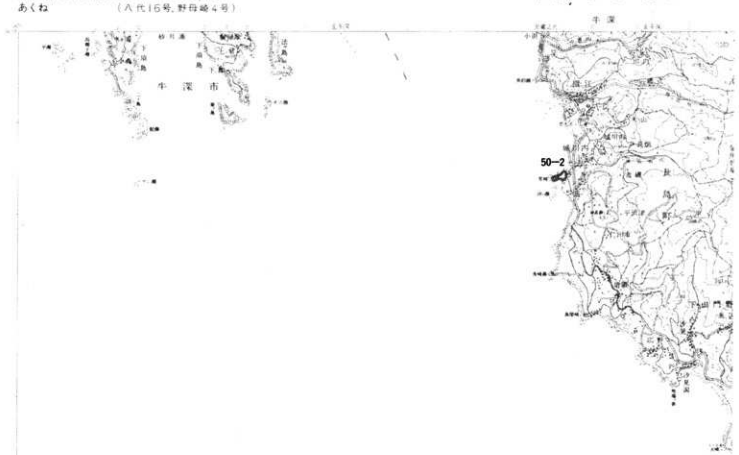
東　町
49－1　高　麗　城

長島町
50－1　鬼　　城

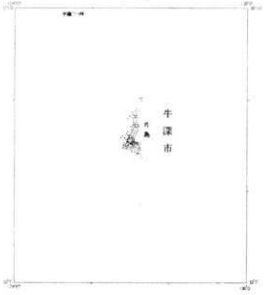


1:50,000地形図 N1-52-12-16, 18-4
あくね （A氏16号, 野母崎4号）

阿久根

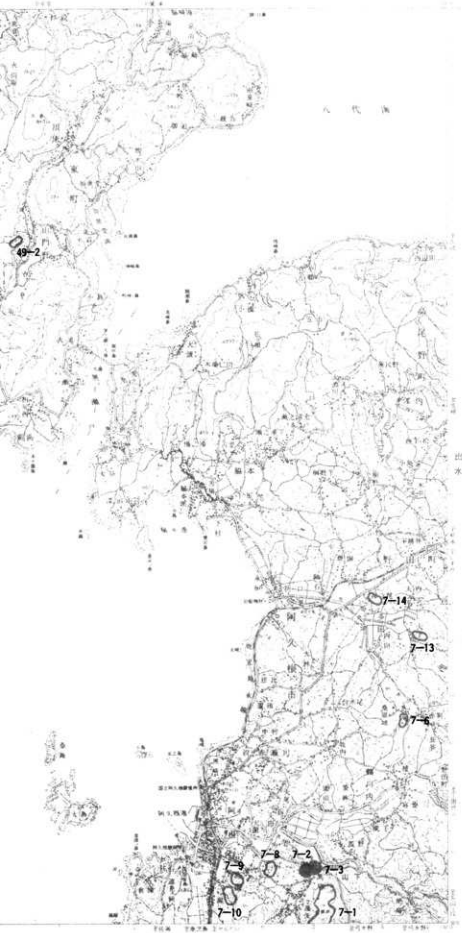


片島



西方

分布図 2

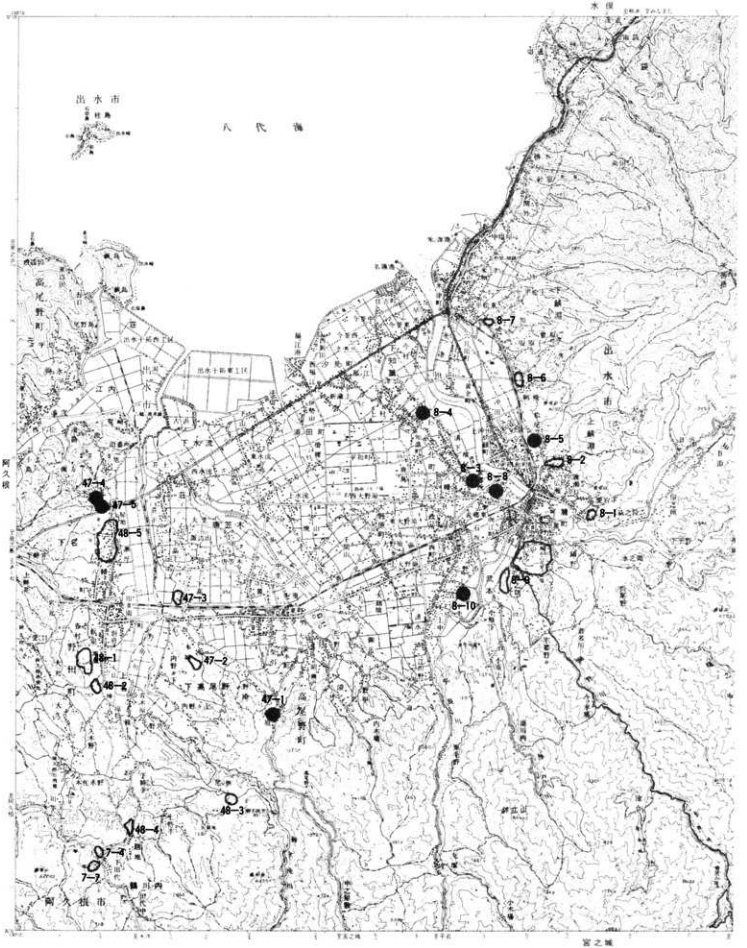


東　町
49−2　山門野城

長島町
50−2　常崎城

阿久根市
7−1　堂海城
2　新城
3　中之城
6　桑原城
8　大右城
9　宮吉城
10　小田城
13　大下城
14　陳之尾果

1:50,000地形図　NI-52-12-12
いずみ　（八代12号）



分布図 3

出水市

8－1 井之上城
2 太田城
3 知色城
4 谷城
5 松尾城
6 朝熊城
7 安原城
8 内城
9 出水城
10 平山城

高尾野町

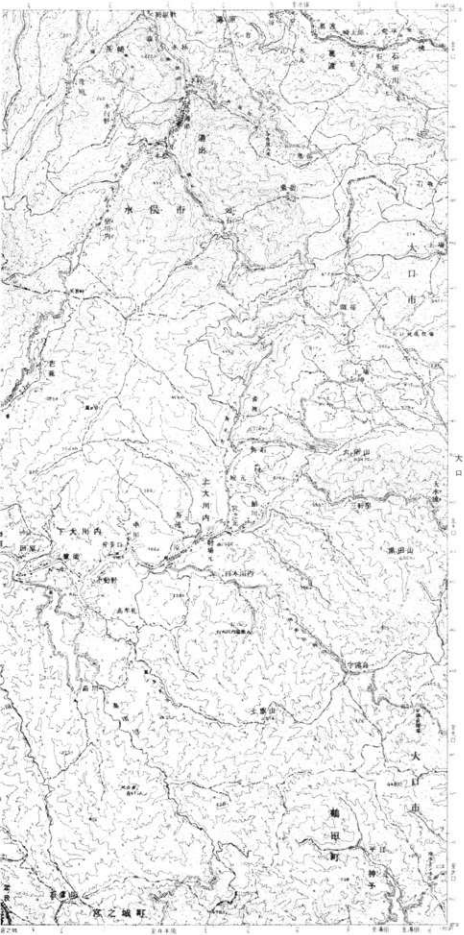
47－1 紅葉城
2 本城
3 新城
4 竹林城
5 本牢礼城

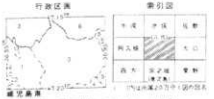
野田町

48－1 亀井山城
2 新城
3 尾ケ無城
4 越地城
5 本牢礼城屋形跡

阿久根市

7－4 出水ケ峯
7 田代城

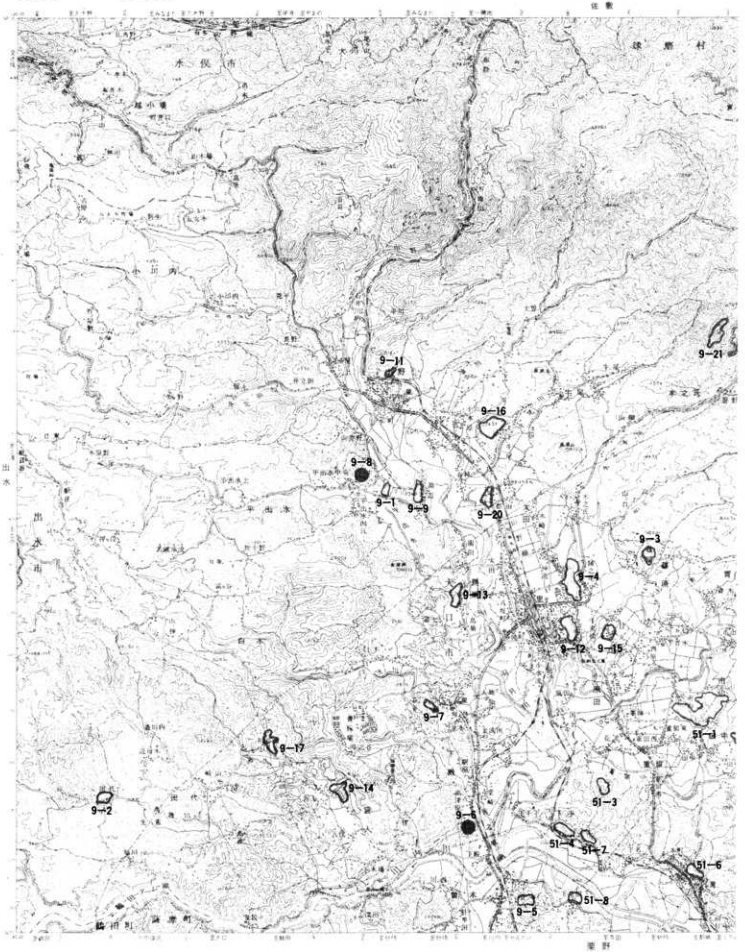




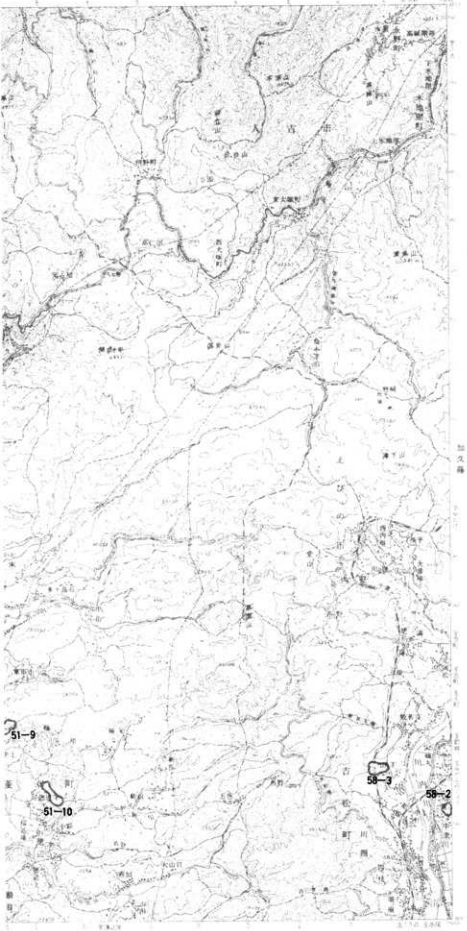
昭和58年8月30日発行（4色刷）
国土地理院

1:50,000地形図　NI-52-12-8
おおぐち　（八代8号）

大　口



分布図 4



大口市

9—1 王城
2 大平城
3 篠原城
4 陣之尾城
5 曽木城
6 小鷹城
7 羽月城
8 平泉城
9 涌辺城
11 山野城
12 大口城
13 鳥巣城
14 梅木城
15 日丸城
16 牛尾城
17 川岩瀬城
20 郡山城
21 本之氏城

菱刈町

51—1 市山城
3 花北城
4 飛田城
6 馬越城
7 球摩陣
8 荒田浄
9 陣城
10 徳辺城

吉松町

58—2 中城
3 永原城

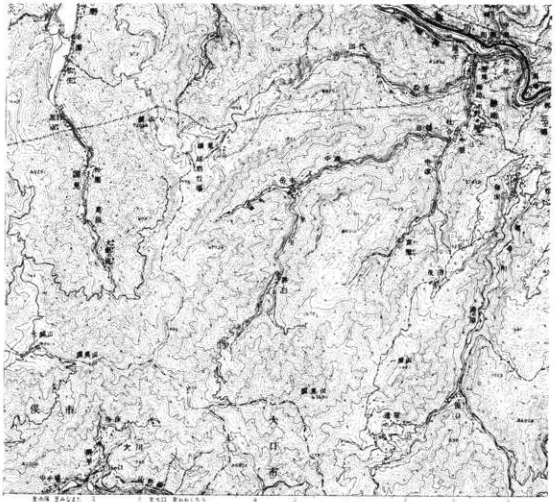
明治34年測量
昭和42年編集
昭和54年修正

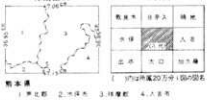
昭和55年2月20日 印刷
発行権所有者 国土地理院

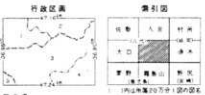
加 久 藤

佐　敷　　分布図 5

吉松町
58－1 亀 鶴 域







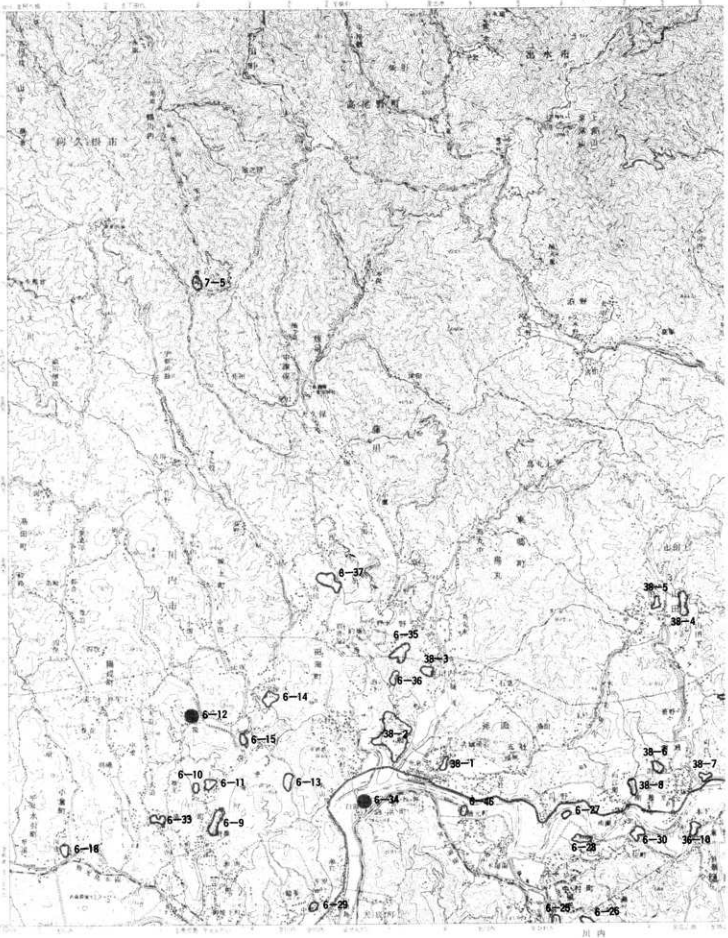
1:50,000 加久藤

昭和55年2月28日発行（4色刷）　許可なく複製を禁ずる
著作権者承認発行者　国土地理院

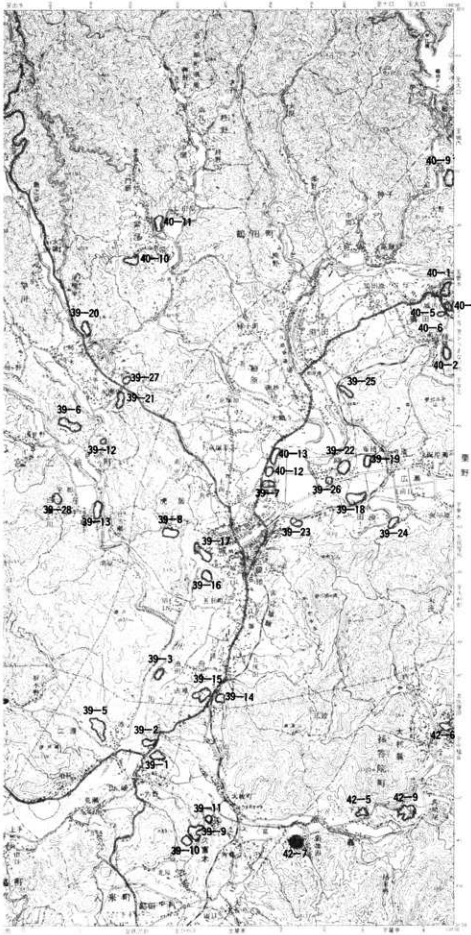
昭和55年12月28日発行（4色刷）　許可なく複製を禁ずる
著作権者承認発行者　国土地理院

宮之城

1:50,000地形図 NH-52-7-9
みやのじょう （鹿児島9号）



分布図 6



川内市
6－9 妹背城
10 内之城
11 梁之城
12 梅ケ城
13 タンタコ城
14 平山城
15 薩峠城
18 八丸城
25 椎山城
26 芝之上城
27 小鹿倉城
28 清水城
29 亀之城
30 久住城
33 白谷城
34 白浜城
35 新城
36 高城
37 西川内城
46 楠元城

樋脇町
36－10 野首城

東郷町
38－1 斧渕城
2 鶴ケ園城
3 原之城
4 假屋城
5 山田城
6 古城
7 智屋城
8 古城

宮之城町
39－1 金ケ城
2 山崎城
3 姥天城
4 城ノ段
5 高城
6 椎城
7 轟城

鶴田町
40－1 梅ケ岩城
2 彦之巣城
4 丸尾城
5 荻之平城
6 吾福寺跡
9 城ノ段
10 城ケ宇都
11 薬師城
12 椿城
13 長岡城

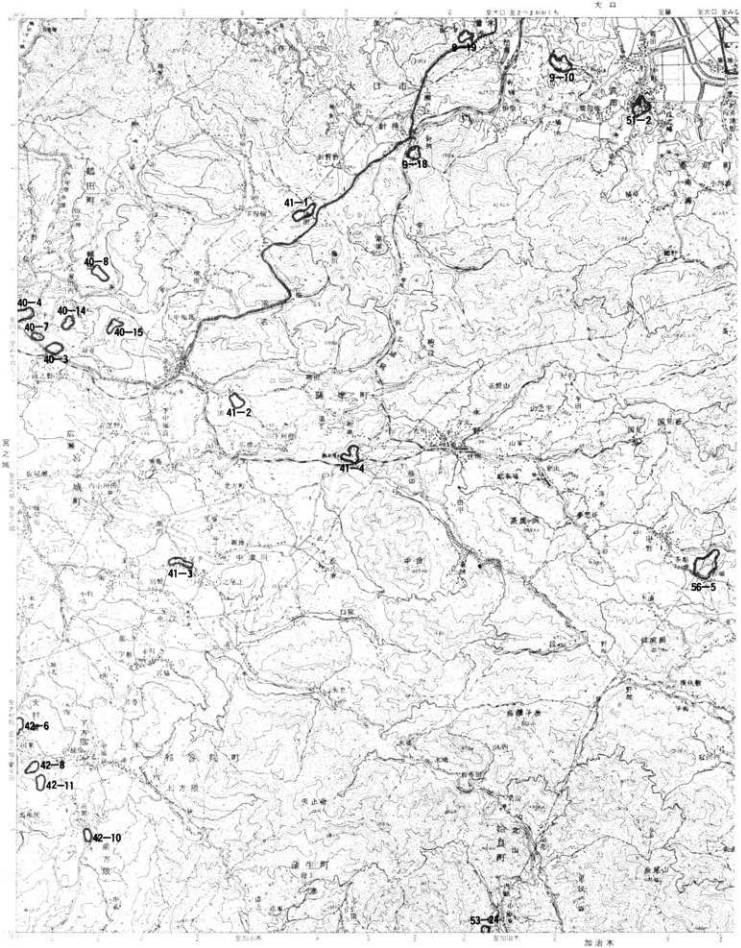
阿久根市
7－5 出水ケ陣

紀伊島町
42－5 大久保城
6 大村古城
7 菊池田城
9 松尾城

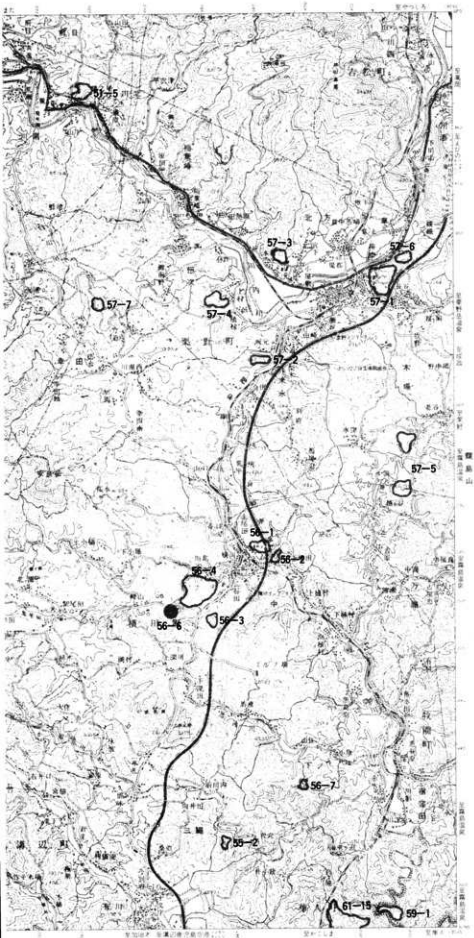
明治34年測量
昭和43年編集
昭和53年修正
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図を縮小して使用した。

栗　野

1：50,000 地形図　NH-52-7-5
（くりの　　（鹿児島5号）



分布図 7



大口市
9－10 山之城
18 関白陣
19 針持城

鶴田城
40－3 鎧田城
4 丸尾城
7 神崎山陣
8 鶯之巣陣
14 ヨケガ迫陣
15 塚摩陣

薩摩陣
41－1 境目城
2 戸子田城
3 中津川城
4 松尾城

祁答院町
42－6 大村古城
8 新城
10 滝聞城
11 西牟田城

菱刈町
51－2 大良城
5 湯之尾城

姶良町
53－24 北山城ケ段城

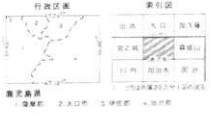
溝辺町
55－2 高松山城

横川町
56－1 片城
2 鳥越城
3 長坂上城
4 横川城
5 横川古城
6 宇宿堅
7 佐々木城

栗野町
57－1 松尾城
2 坂元城
3 北里城
4 上村城
5 浜峰城
6 新城
7 陣ノ岡

牧園町
59－1 踊城

隼人町
61－15 山野－上山城

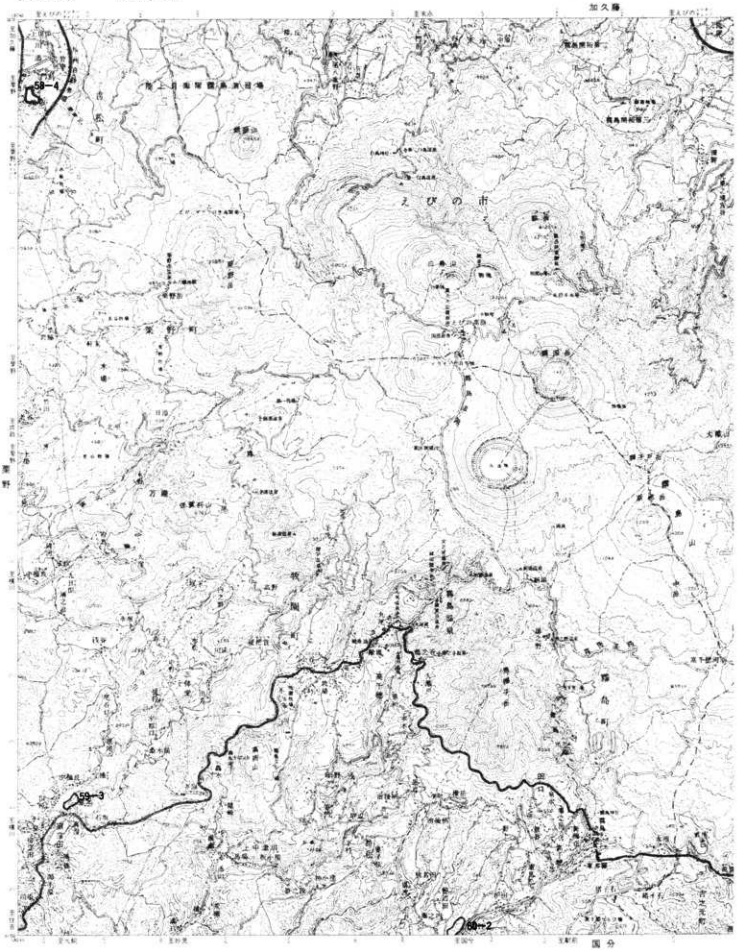


明治35年測量
昭和43年編集
昭和59年修正

昭和60年11月30日発行（4色刷）
国土地理院

1:50,000地形図　NH-52-7-I
きりしまやま　（鹿児島1号）

霧島山



都　城

分布図 8

吉松町
58－4　源　　城

牧園町
59－3　小　原　城

霧島町
60－2　栢　　城

財部町
65－5　城ケ尾陣

末吉町
66－2　宝珠城城
7　丁　ノ　城
8　野首小陣

西　方

阿久根市

7−1　莚　祢　城

11　大川上城

12　大川下城

川内市

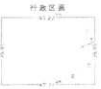
6−16　桁　　城

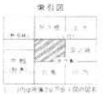
47　松　尾　城

48　湯　田　城

49　萩　　城

50　仁　検　丸　城



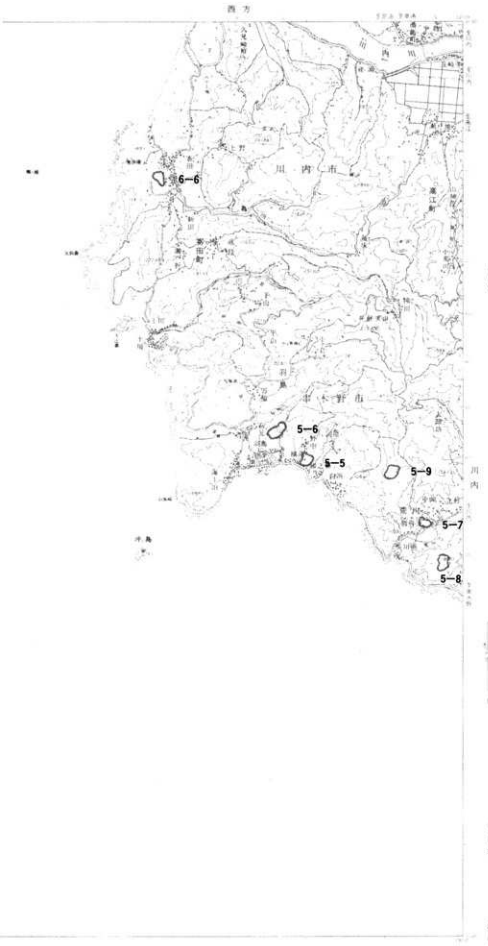


明治34年測量
昭和43年編集
昭和54年修正

国土地理院

羽　島

分布図 9

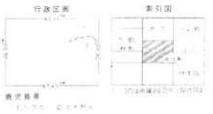


串木野市

5−5　羽島城
6　陣ノ岡
7　城ノ岡
8　陣ケ岡
9　出城

川内市

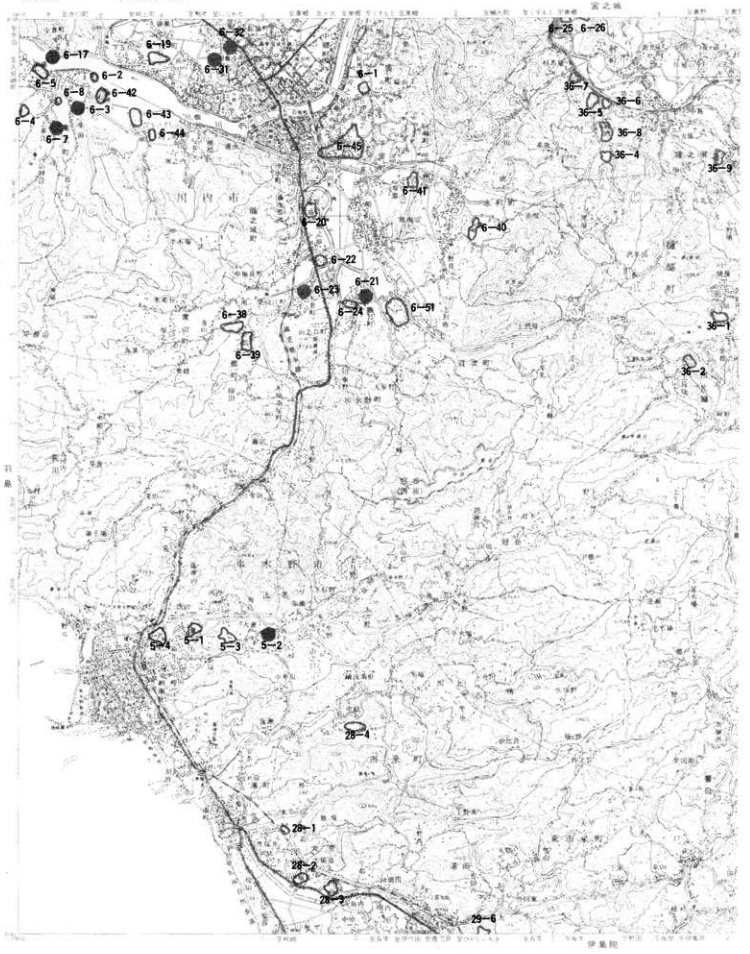
6−6　寄田城



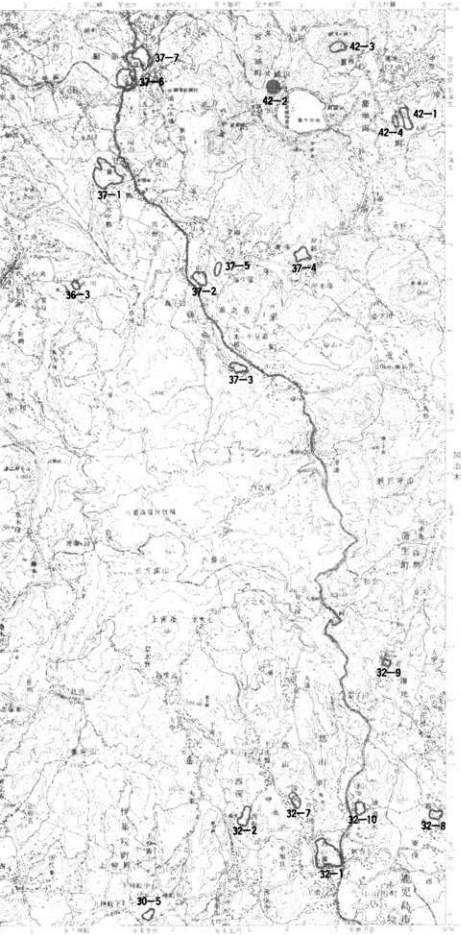
明治35年測量
昭和43年編集
昭和54年修正

川　内

1:50,000 地形図　NH-52-7-10
せんだい　（鹿児島10号）



分布図10

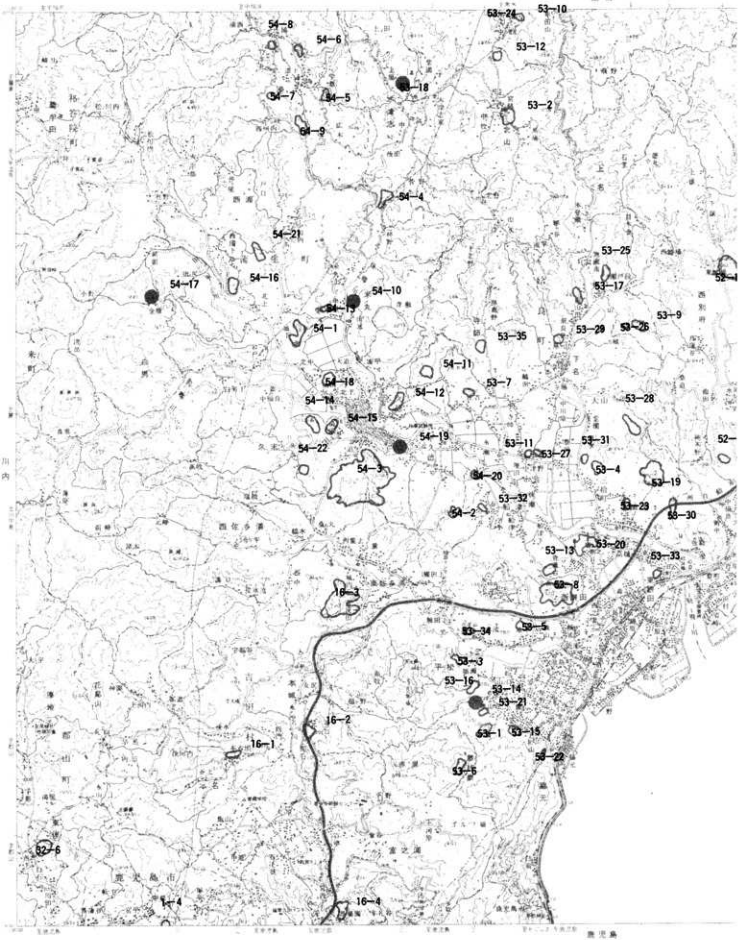


東木野郷		
5—1	東木野城	
2	荒下城	
3	桐ヶ城	
4	高ヶ城	
川内南		
6—1	綾ヶ山城	
2	猪子岳城	
3	高ヶ山城	
4	白石ヶ城	
5	高羽峠城	
7	天峰元城	
8	綾見ヶ城	
17	小倉城	
19	桐ヶ城	
20	尾首桐城	
21	小城	
22	一ノ城	
23	矢倉城	
24	猫目桐城	
25	桐ヶ山城	
26	三之丸城	
31	小松城	
32	本丸城	
38	殿ヶ城	
39	都城	
40	本ヶ城	
41	ヶ神城	
42	猫ヶ城	
43	沐ヶ城	
44	宮ヶ城	
45	千代城	
51	白ヶ城	
吉牟田町		
28—1	亀ヶ城	
2	ヶ城	
3	鶴ヶ城	
4	岡ヶ城	
東牟田町		
29—6	ヶ城	
都山町		
32—1	松ヶ城	
2	ヶ城	
7	木ノ下城	
8	神ノ下城	
9	切地城	
10	前田ヶ城	
橋脇町		
36—2	山北野城	
1	内山城	
3	大木野城	
4	ヶ城	
5	ヶ城	
6	ヶ城	
7	ヶ城	
8	橋脇城	
9	山城	
入来町		
37—1	清色城	
2	副ヶ城	
3	狭ヶ城	
4	田ヶ城	
5	桐ヶ城	
6	入佐ヶ城	
7	桐ヶ城	
郡山院町		
42—1	堀平山城	
2	ヶ城	
3	ヶ城	
4	内ヶ城	
伊集院町		
30—5	上神殿城	

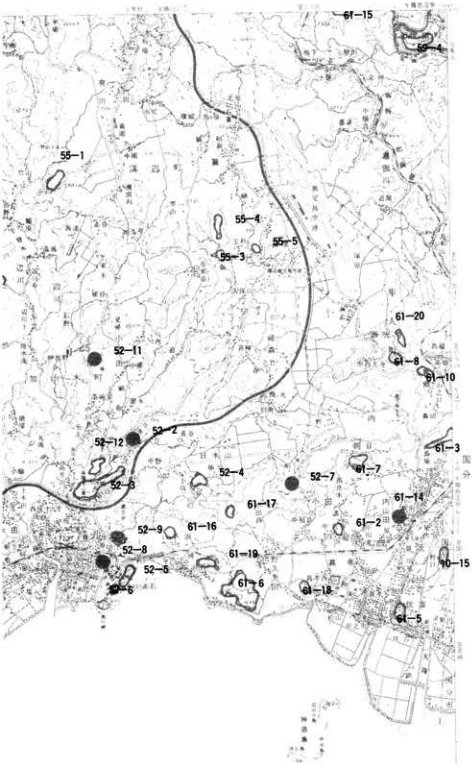
明治35年測量
昭和43年編集
昭和59年修正

加治木

1:50,000地形図　NH-52-7-6
かじき　（鹿児島6号）



分布図11



鹿児島
1—4 比志島城

国分市
10—15 野口古城

吉田町
16—1 本吉田城
2 上 城
3 松尾城
4 高屋城

郡山町
32—6 児玉門城

加治木町
52—1 岩屋城
2 柳 城
3 加治木城
4 長原砦
5 神ヶ平
6 上野園砦
7 姫丸園砦
8 向 砦
9 大成館城
10 内ノ尾城
11 神ノ尾城
12 山之前城

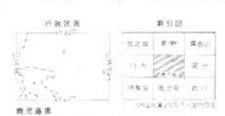
姶良町
53—1 岩剣城
2 下 城
3 城 跡
4 新 城
5 西 城
6 物部城(白山)
7 高 城
8 伊佐城
9 山田城
10 中 福
11 古 城
12 中 城
13 萩 峯城
14 山宮比良城
15 平 松城
16 貸集砦
17 為朝城
18 上福城
19 平 山城
20 笠ノ下城
21 後 山砦
22 白銀坂砦
23 帖 佐城
24 北山城ケ段城
25 上名城ケ丸城
26 岡春経城
27 中 城
53—28 大 山城
29 下名跡ノ尾城
30 諏訪柳丸砦
31 上野神ノ尾
32 上下丸砦
33 諏訪山神ノ丸
34 平松山ノ丸砦
35 別府柳丸城

蒲生町
54—1 北 村城
2 尾ケ城城
3 蒲 生城城
4 松 尾城城
5 麻 野城城
6 松 元城城
7 本 南砦砦
8 宗 正ケ砦砦
9 切 上城砦
10 平 之砦砦
11 西 之砦砦
12 日 置砦砦
13 堂 之下城
14 平 ノ城城
15 狩 倉砦砦
16 祖 嶋砦砦
17 金 堀砦砦
18 釜 刻砦砦
19 蛭 ケ城城
20 城ケ尾城砦
21 松 原砦
22 砦

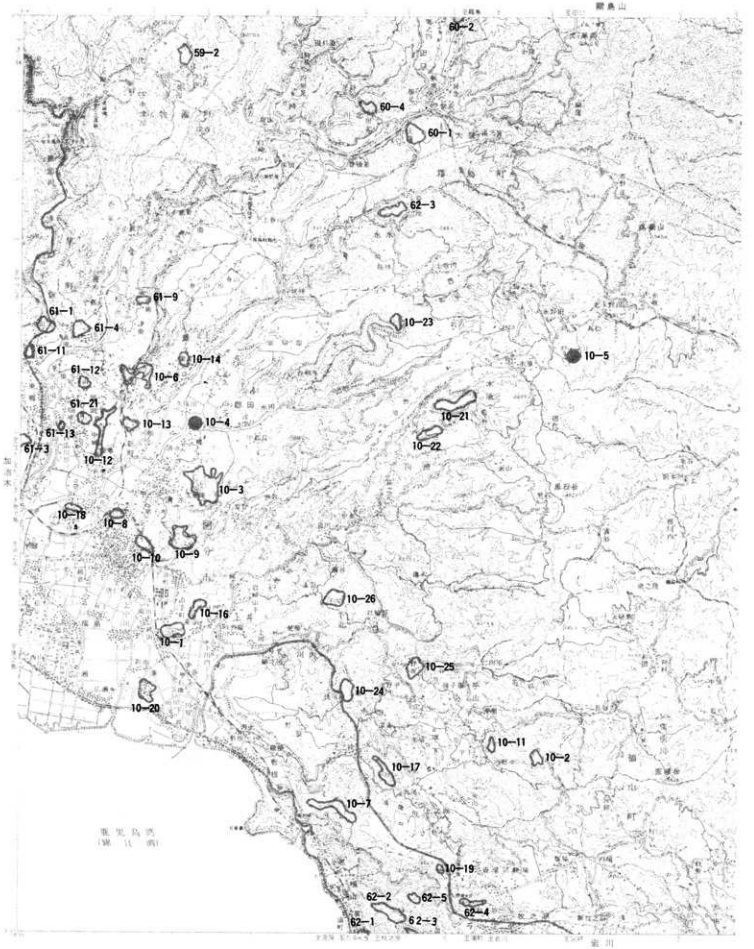
蒲生町
55—1 高 松城
3 上 倉城
4 蒲 生城
5 中 丸城

隼人町
61—2 小 田城
3 瓜 隈城城
5 高 屋城城
6 長 浜城城
7 野 神城城
8 日 当山城城
10 笠ノ下城城
14 内山田砦砦
15 山野上山城城
16 堀之内砦砦
17 大 丸砦砦
18 宮 下高城城
19 小 浜古城城
20 神之尾城城

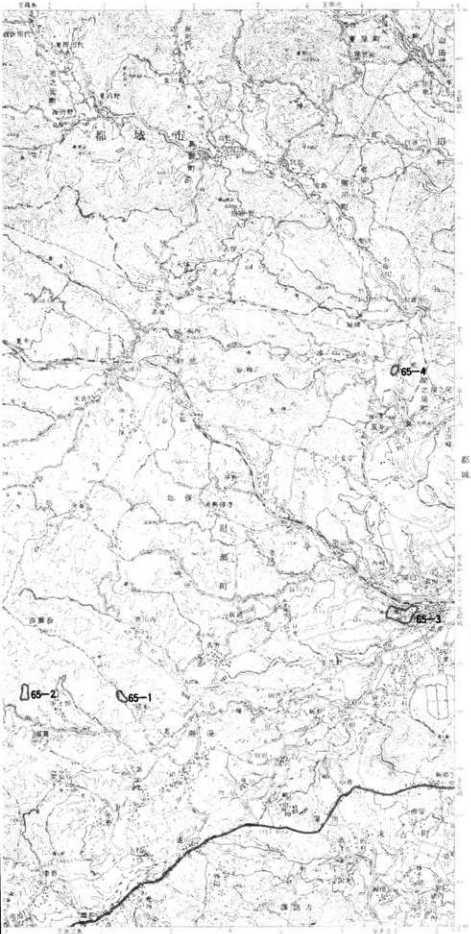
牧園町
59—4 馬 込城



明治35年測量
昭和43年調製
昭和59年修正


59−2
60−2
60−4
60−1
62−3
61−9
61−1
61−4
61−11
10−14
10−6
61−12
61−21
10−13
10−4
61−13
61−3
10−12
10−3
10−18
10−8
10−10
10−9
10−16
10−1
10−20
10−23
10−5
10−21
10−22
10−26
10−25
10−24
10−11
10−2
10−17
10−7
10−19
62−2
62−5
62−4
62−1
62−3

分布図12



国分市
10−1 上井城
2 桂姫城
3 清水城
4 都田小城
5 高松城
6 橘木城
7 長尾城
8 景連山城
9 牟人城
10 舞鏡城
11 渡瀬ノ陣
12 姫木城
13 槌井城
14 桑ノ丸城
16 宇豆峯城
17 鷲ノ丸城
18 府中城
19 片城跡
20 下井城
21 幸原城
22 陣ノ口
23 台明寺跡
24 後田内城
25 野坂跡
26 川内城

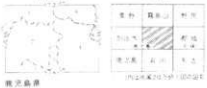
霧島町
60−1 大窪城
2 梅城
3 水人城
4 川北城

隼人町
61−1 荒平城
3 亀割城
4 鶴ケ城
9 平松城
11 角井ケ城
12 馬ノ峯砦
13 石踊跡
21 桐尾城

財部町
65−1 里櫛陣
2 花平城
3 竜虎城
4 提城

牧園町
59−2 夜田城

福山町
62−1 馬立跡
2 御領城
3 竹原山陣
4 狸陣ケ谷陣
5 福山古城

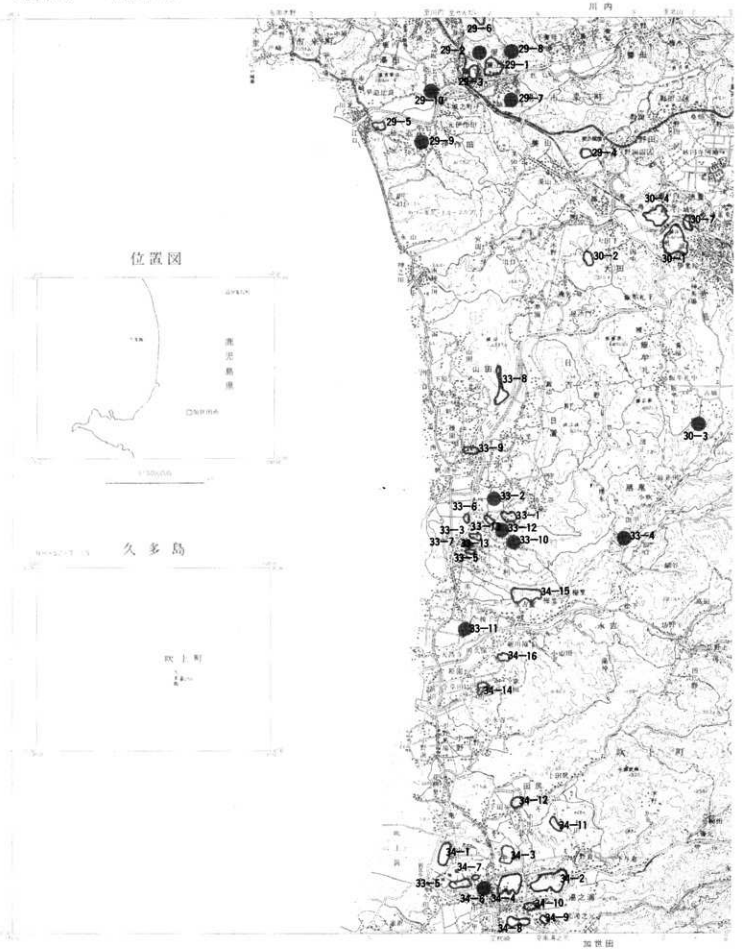


明治35年測量
昭和57年第2回編集

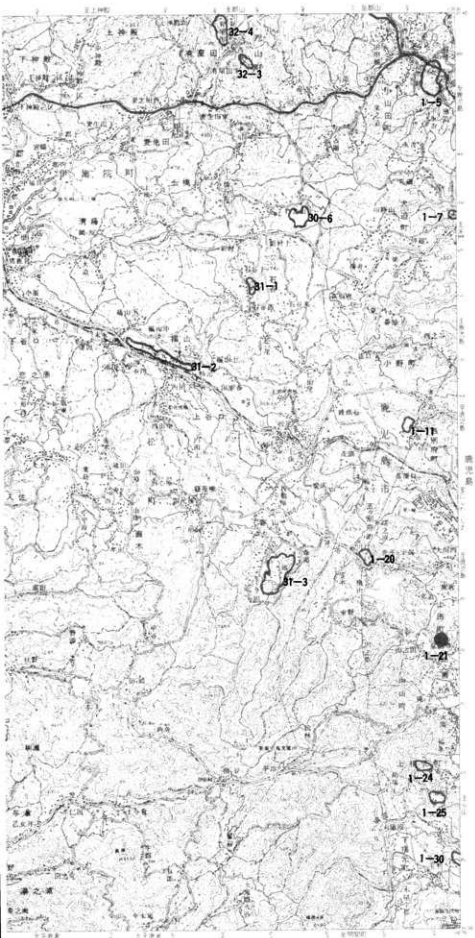
国土地理院

1:50,000 地形図：NH-52-7-11
いじゅういん　（鹿児島11号）

伊集院



分布図 13



鹿児島市
- 1－5 小山田城
- 7 大亜墓
- 11 小田城
- 20 川口城
- 21 苦辛城
- 24 菊池城
- 25 御所ヶ原城
- 30 茶臼ヶ城

東市来町
- 29－1 鶴丸城
- 2 番屋城
- 3 平之城
- 4 大田原墓
- 5 伊作田城
- 6 古城
- 7 建伸之墓
- 8 君仏城
- 9 椎城
- 10 向椎城

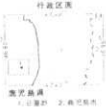
伊集院町
- 30－1 一宇治城
- 2 大田城
- 3 内城
- 4 大内山城
- 6 長崎城
- 7 小城

松元町
- 31－1 石谷城
- 2 谷口城
- 3 春山城

郡山町
- 32－3 堅城
- 4 有屋田城

日吉町
- 33－1 井尻城
- 2 井手ケ城
- 3 騎子ケ城
- 4 田平城
- 5 南谷城
- 6 野崎城
- 7 若松城
- 8 松尾城
- 9 古加城
- 10 吉利古城
- 11 吉利城
- 12 温室敬所
- 13 春日

吹上町
- 34－1 池之城
- 2 伊作城
- 3 亀山城
- 4 中原城
- 5 野ケ崎城
- 6 堀之内
- 7 山ノ城
- 8 打越城
- 9 皮蔵石城
- 10 三石城
- 11 大堂田城
- 12 田尻城
- 14 椎ノ城
- 15 南郷城
- 16 勇倉城



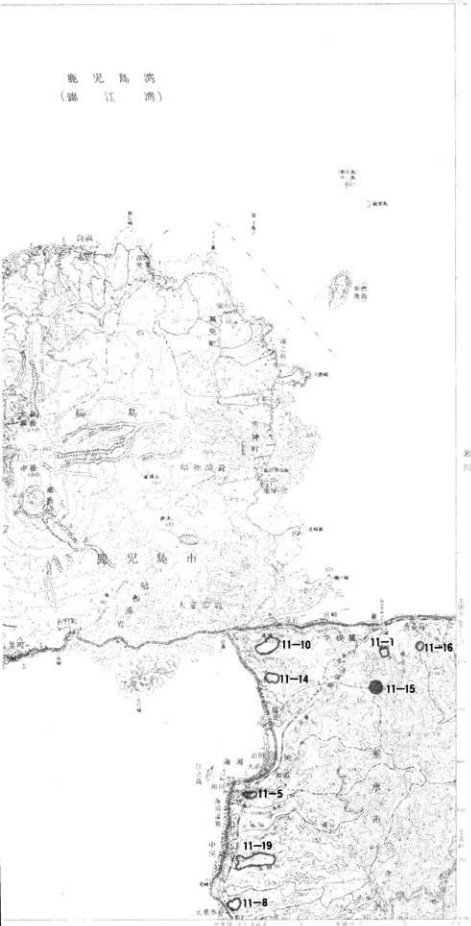
明治35年測量
昭和43年編集
昭和60年修正

承認番号 昭和61年3月20日 承認（ 作成）
この地図を複製する場合は、国土地理院

1:50,000 地形図 NH-52-7-7
かごしま （鹿児島7号）

鹿児島

分布図14



鹿児島市
1−1 山 上 城
2 尾 引 小 城
3 鹿 児 島 城
4 比 志 島 城
6 伊 敷 館 跡
7 天 神 原
8 夏 originally 城
9 原 田 宮
10 野 元 宮
12 上 山 城
13 鹿 児 島 城
14 清 水 城
15 東 福 寺 城
16 内 城
17 武 岡 城
18 谷 山 城
19 中 洲 城
22 和 城
23 神 前 城
26 城 ヶ 原
27 楠 山 神
28 清 之 平 城
29 谷 山 城
30 笠 日 ヶ 城
32 宇 宿 城
34 辺 川 城
35 荒 田 原
36 鶴 之 丁 城

垂水市
11−1 大 姥 城
5 崎 山 城
8 垂 水 城
10 早 崎 原
14 小 正 原
15 笠 野 ヶ 原
16 平 原 の 神
19 中 原 城

桜島町
15−1 櫻 山 城

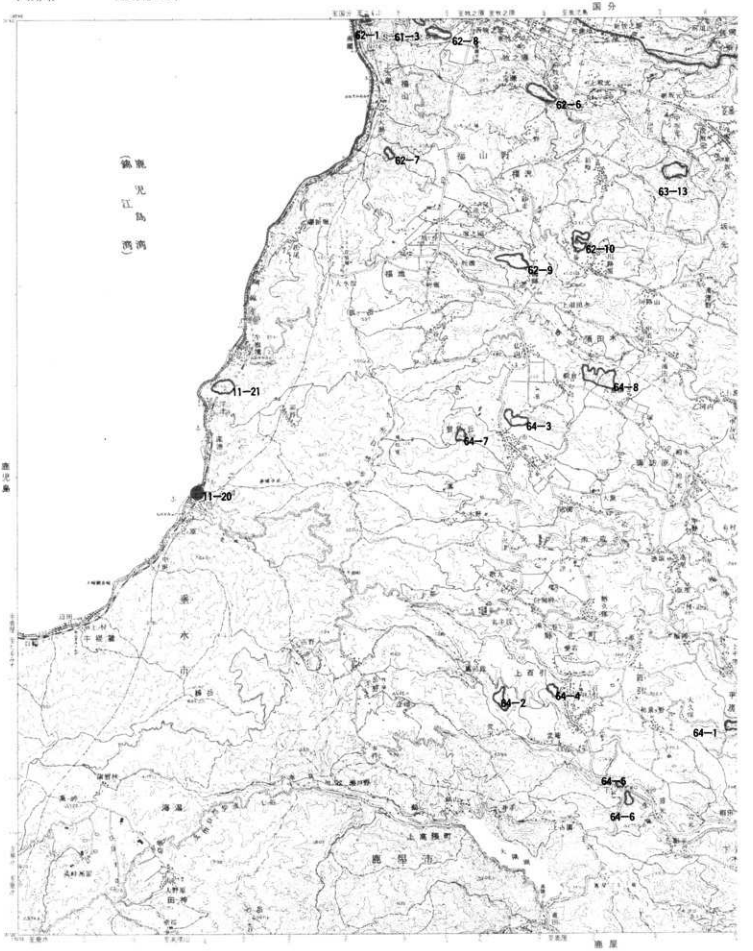
郡山町
32−5 田 田 城

鹿児島湾

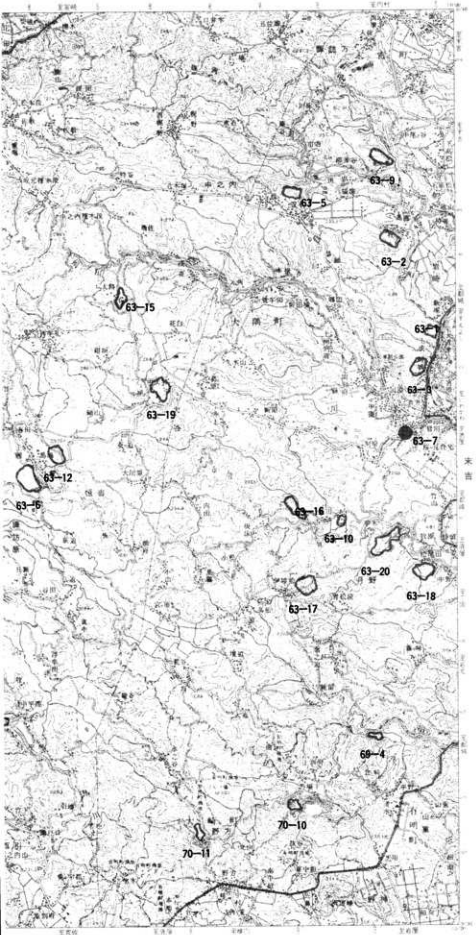
大正4年測量
昭和43年編集
昭和59年修正

1:50,000 地形図 NH-52-7-3
いわがわ （鹿児島3号）

岩　川



分布図15



垂水市
11—20 二ツ谷城
21 境 城

福山町
62—1 馬立 城
3 竹原山神城
6 宇瀬 城
7 小廻古城
8 古石 城
9 福地 城
10 福沢 城

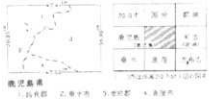
大隅町
63—1 岩北 城
2 梅井 城
3 新 城
5 手取 城
6 恒吉 城
7 馬場 城
9 柳井谷城
10 飯田 城
12 上桜 城
13 坂元 城
15 愛石 城
16 大谷 城
17 伊屋松城
18 松尾城田城
19 中大谷城
20 園元 城

輝北町
64—1 加瀬田ケ城
2 白岩 城
3 垂野 城
4 西原 城
5 小 城
6 百引本城
7 笹見 城
8 瀬詰 城

有明町
69—4 高牧 城

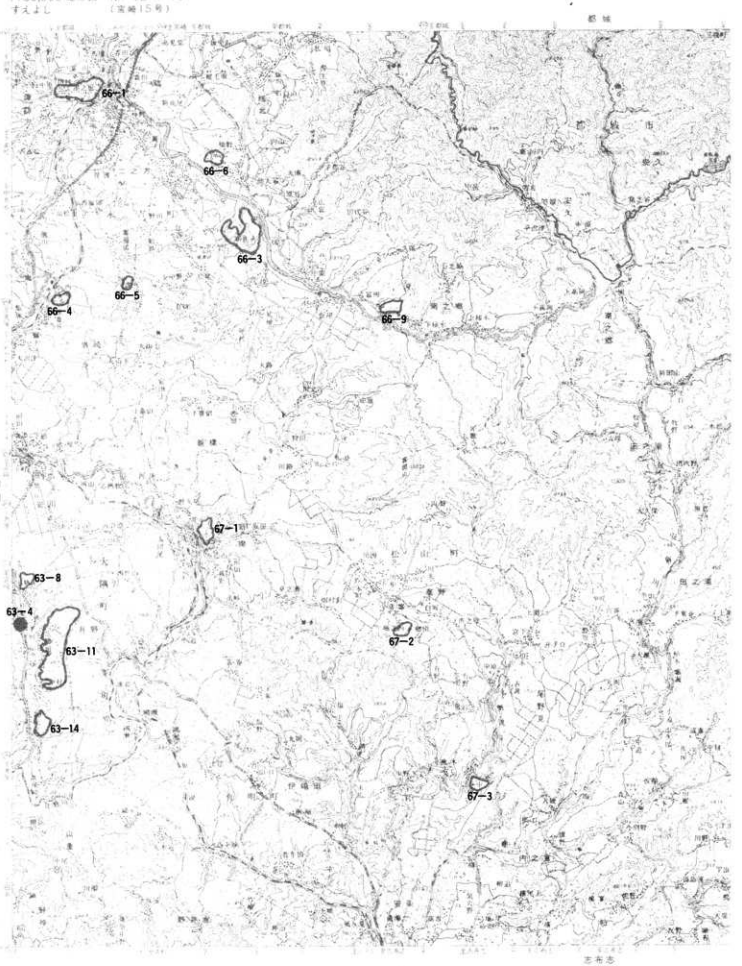
大崎町
70—10 松尾 城
11 梅井 城

隼人町
61—3 城跡 町

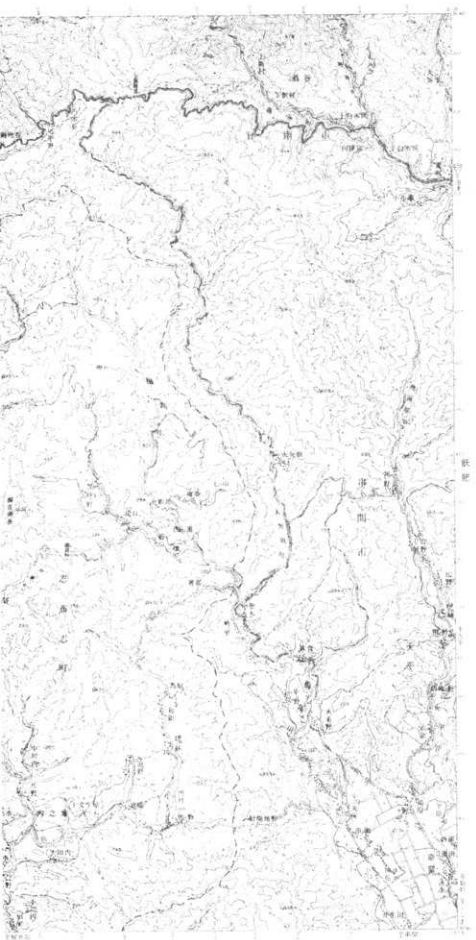


明治35年測量
昭和43年編集
昭和58年修正

1:50,000 地形図　NH-52-1-15
すえよし　（宮崎15号）



分布図16



大隅町

63－4 根 野 城
8 根 野 城(II)
11 広 津 田 城
14 岩 元 城

末吉町

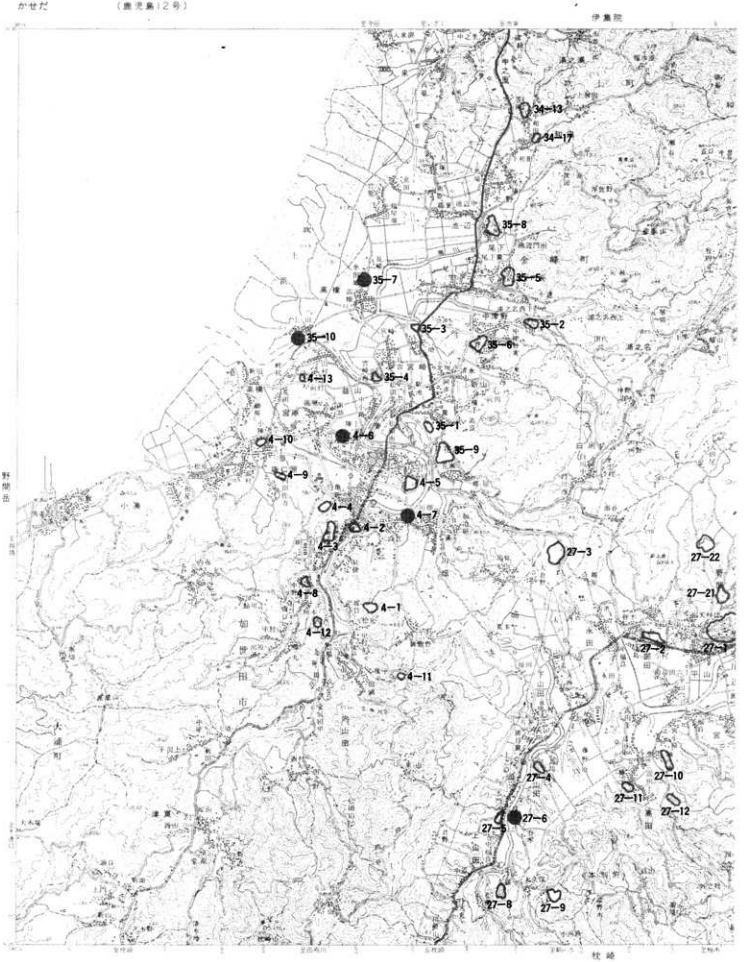
66－1 末 吉 城
3 平 松 城
5 岩 北 城
5 虎 丸 城
6 諸 野 居 館
9 南 郷 城

松山町

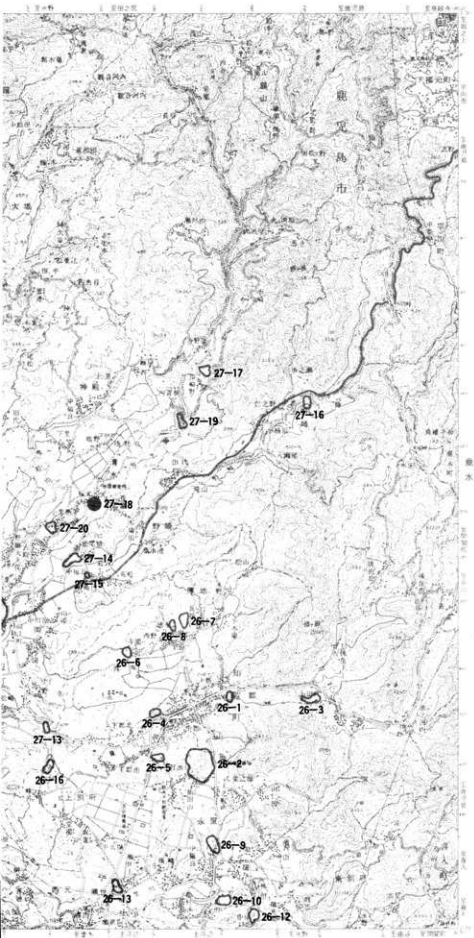
67－1 松 山 城
2 泰 野 城
3 尾 野 見 城

1:50,000 地形図 NH-52-7-12
かせだ
（鹿児島12号）

加 世 田



分布図17



加世田市

4—1 荒瀬城
2 別府城
3 上ノ城
4 内田城
5 尾平城
6 陣
7 花平礼城
8 柚木城
9 佐方城
10 小陣
11 上城
12 古城
13 剣ノ塚陣

知覧町

26—1 亀甲城
2 知覧城
3 尖ケ城
4 寺跡城
5 古城
6 厚地城
7 野行城
8 山行城
9 柴立城
10 屋田城
12 乃領城
13 用畑城
16 原山古陣

川辺町

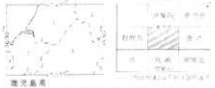
27—1 平山城
2 田部田城
3 亀ケ城
4 勝目城
5 陣之尾城
27—6 堀之内
8 野首城
9 本別府城
10 高田城
11 堀之内
12 古城
13 衣丹ケ城
14 松尾城
15 野崎陣
16 植原陣
17 市越野小城
18 河波氏屋敷
19 内青指城
20 古屋敷出陣
21 野間陣之尾城
22 大田尾館

吹上町

34—13 天ケ城
17 田中城

金峰町

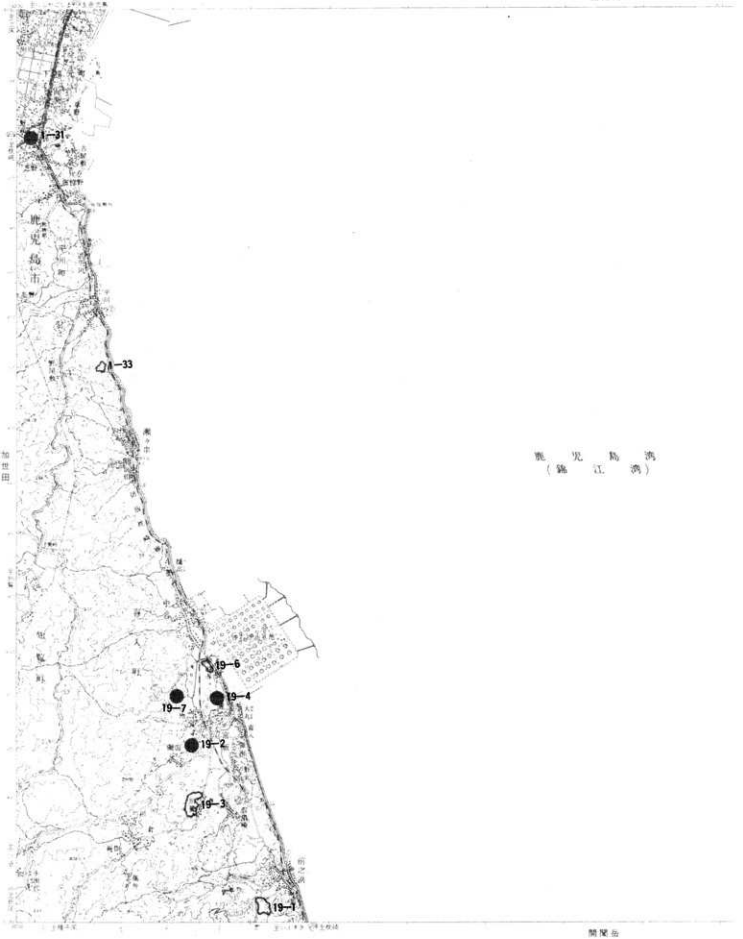
35—1 鏡之城
2 上城城
3 甘雲崎城
4 古城
5 亀ケ城
6 江田城
7 羊田城
8 羊羊ケ城
9 今城
10 楼敷木陣



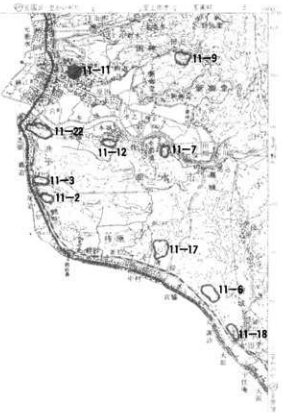
明治35年測量
昭和44年編集
昭和59年修正

国土地理院

1:50,000 地形図　NH-52-7-8
たるみず　（鹿児島8号）



分布図18



鹿児島市
1−31 堀ノ内
33 大蛸山陣

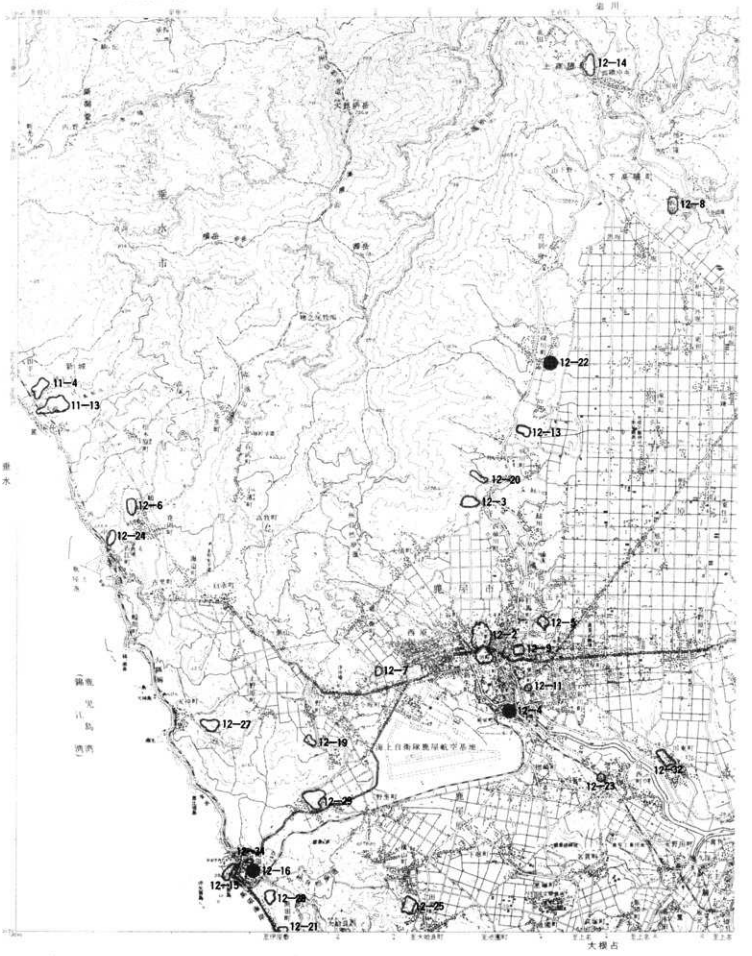
垂水市
11−2 岸迫城
3 高峠城
6 白石城
7 高城
9 田上城
11 林城
12 垂水城
17 古城
18 諏訪城

喜入町
19−1 根占城
2 上能城
3 給黎城
4 昇仙山城
6 愛宕城
7 上ノ城

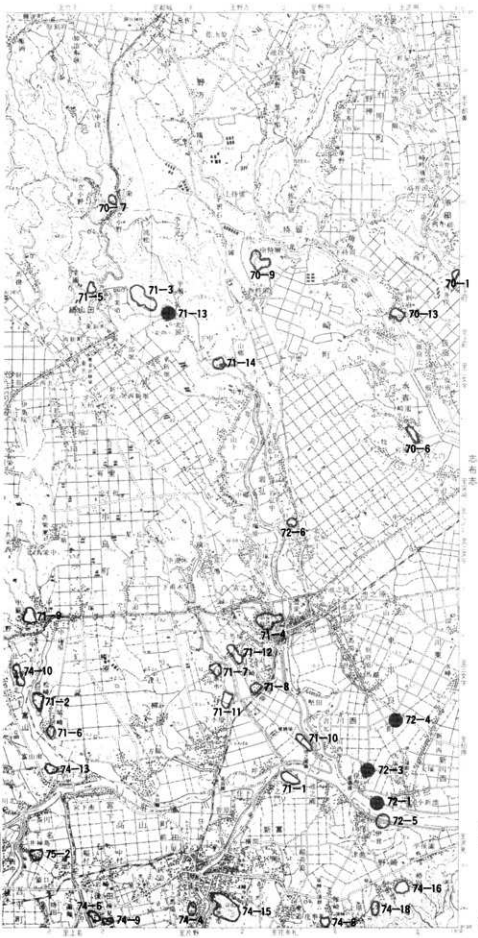
明治35年測量
昭和44年編集
昭和51年修正

鹿　屋

1:50,000 地形図　NH-52-7-4
かのや　（鹿児島６号）



分布図19



垂水市
11−4 吉今城
13 新城

鹿屋市
12−2 鹿屋城
3 鹿屋舊城
4 鹿屋古城
5 鹿屋元町
6 木谷城
7 久恵城
8 假屋城
9 古前城
11 白崎城
11 白崎城
13 瀬戸城
14 高隈城
15 高須城
16 高迫古城
19 野里城
20 長谷城
21 浜田城
22 甘ケ城
23 姫隈城
24 古江城
25 横山城
27 荒平城
28 金比羅山城
29 小牧城
32 宮ノ前城
34 観音山塁

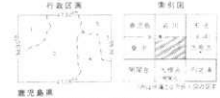
大崎町
70−1 金丸城
6 野神城
7 野方狼煙台
9 神山城
13 矢ケ城

串良町
71−1 肝付氏古城
2 松崎城
3 北原城
4 串良城
5 細山田城
6 小原城
7 白岩本城
8 岡崎城
9 中山城
10 肝付氏古城
11 柿村城
12 中村城
13 北原氏居館
14 喜島城

東串良町
72−1 別府ケ城
3 堀込城
4 笹塚城
5 下伊倉城
6 岩弘城

高山町
74−4 合戦田の陣
6 横見崎城
8 塚崎城
9 幸岡の陣
10 宮山城
13 宮下城
15 弓張城
16 和田城
18 天道山塁

香平町
75−2 井上城



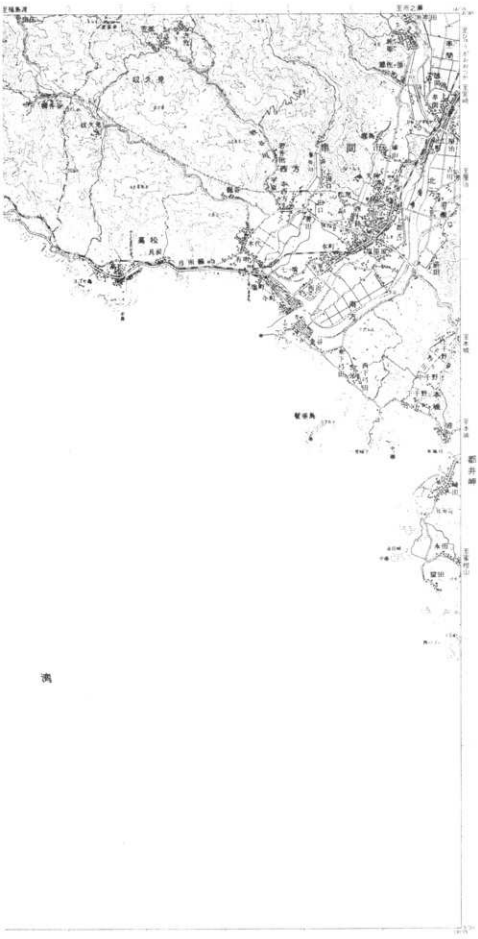
明治35年測量
昭和43年編集
昭和53年修正

昭和43年2月30日発行（4色刷）
国土地理院

1:50,000 地形図　NH-52-1-16
しぶし　(宮崎16号)

志布志

分布図20



志布志町
68－1 新　　城
2 高　　城
3 内　　城
4 松 尾 城
5 安 楽 城
6 夏 井 城
7 神 岳 城

有明町
69－1 竹 平 城
2 蓬 原 城
3 金 丸 城

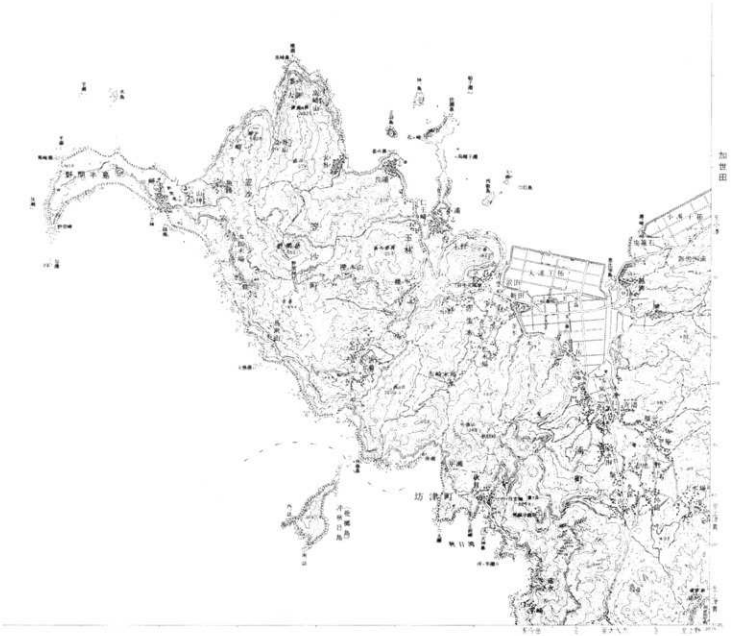
大崎町
70－2 大 崎 城
3 胡摩ケ崎城
4 椎 谷 城
5 天 寺 城
8 竜 相 城
12 大崎古城
15 横 瀬 城

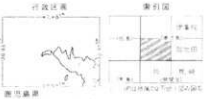
東串良町
72－2 曲 之 城

高山町
74－14 波 見 城
17 波見の陣

明治35年測量
昭和44年編集
昭和53年修正

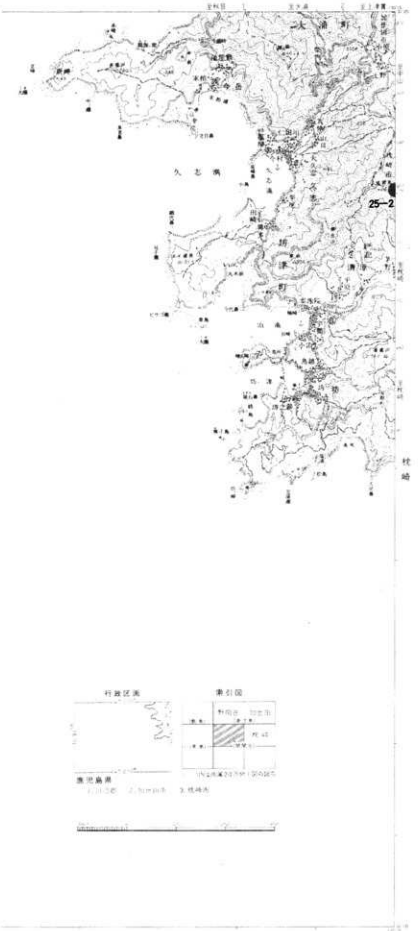
野間岳





坊

分布図21

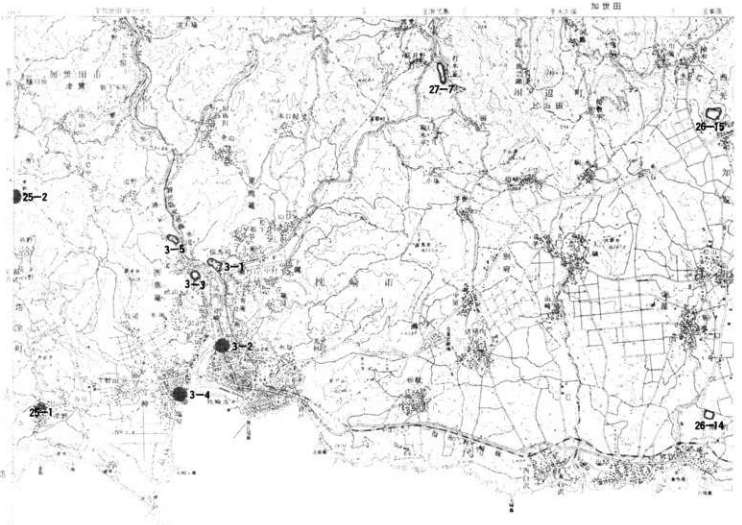


坊津町

25−2 帆ヶ岳

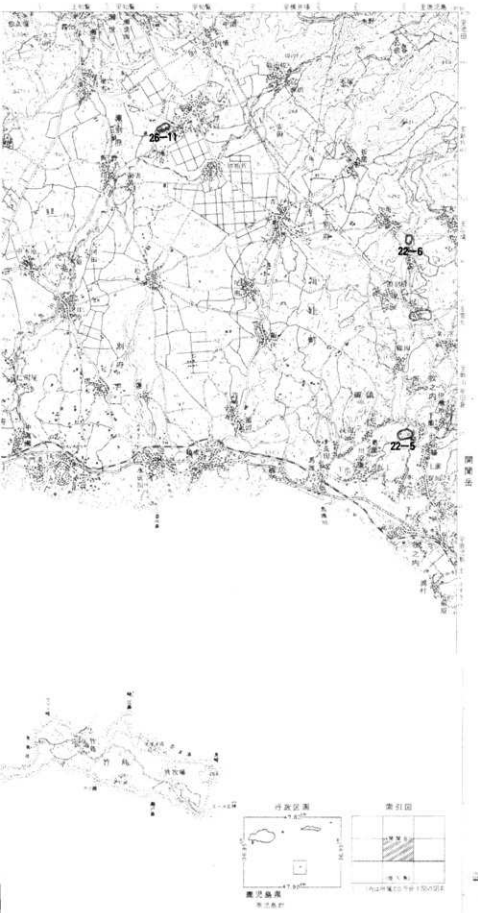
1:50,000地形図　NH-52-8-9
まくらざき　（開聞岳8号）

枕　崎



薩摩硫黄島

分布図22



枕崎市
- 3－1 桜之城
- 2 薬之城
- 3 鳥城
- 4 小湊城
- 5 小陣

三島村
- 17－1 青尾の城
- 2 平家城
- 3 永良部崎城
- 4 城ケ原
- 5 黒木御所

鰺娃町
- 22－5 猫城
- 6 只角城

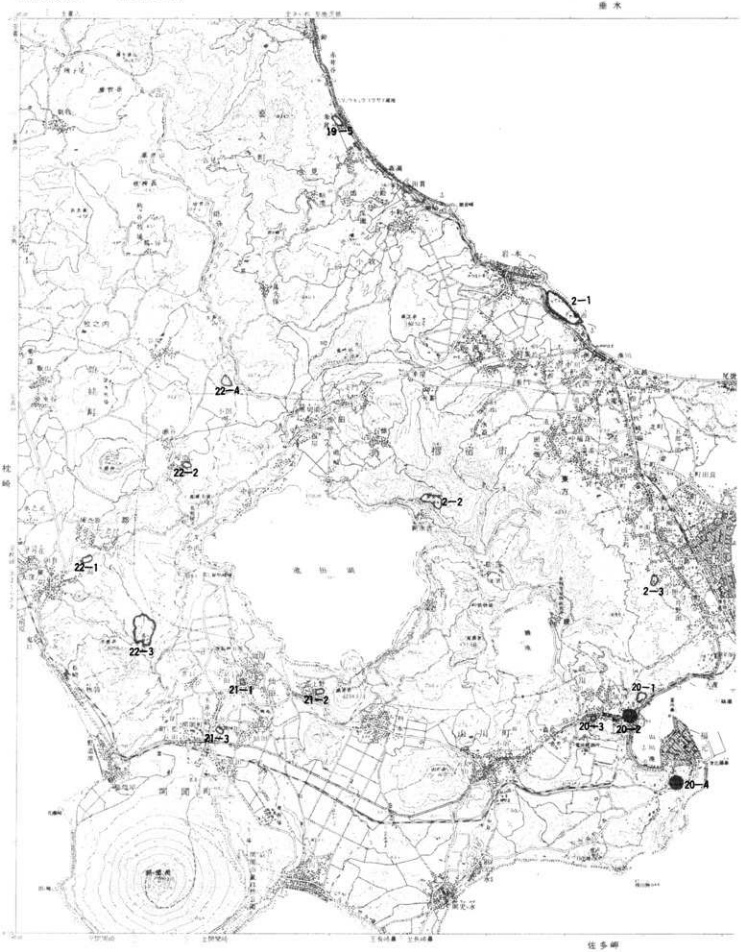
坊津町
- 25－1 野首城
- 2 陣ケ岳

知覧町
- 26－11 新楮
- 14 南別府城
- 15 陣の岡城

川辺町
- 27－7 城ケ南風城

1:50,000 地形図 NH-52-8-5
かいもんだけ （開聞岳5号）

開聞岳



分布図 23

指宿市
2－1 松尾域
2 清見域
3 原田域

喜入町
19－5 米倉域

山川町
20－1 臼ケ域
2 馬背域
3 鎌田域
4 上矢倉域

開聞町
21－1 仙田域
2 上野域
3 小域

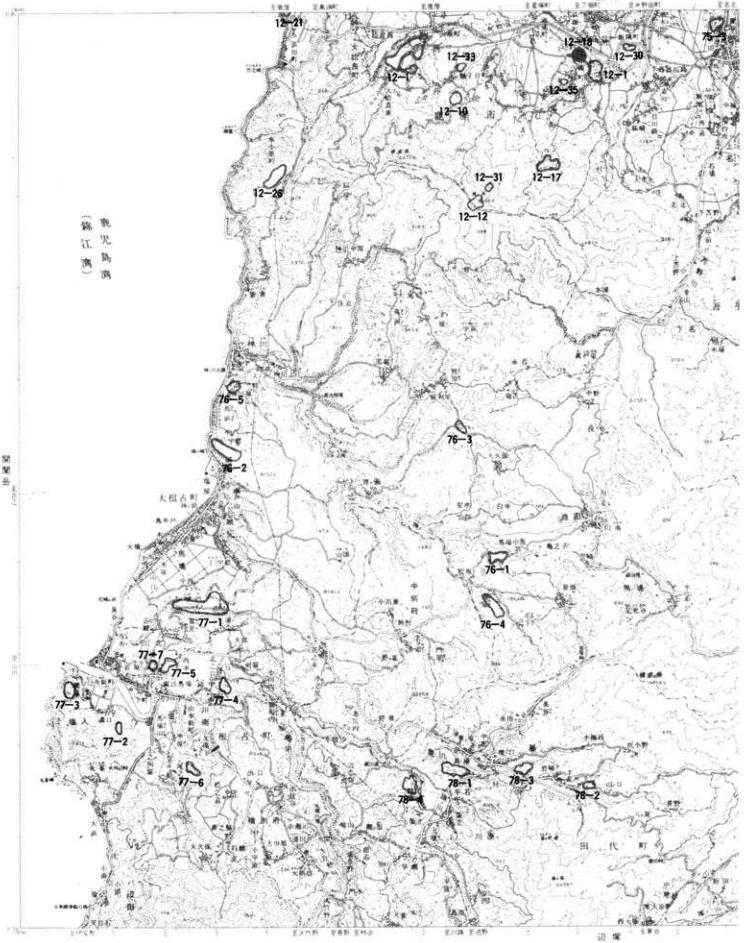
頴娃町
22－1 頴娃古域
2 椿山域
3 頴娃域
4 陣山域

明治34年測量
昭和43年編集
昭和58年修正
資料：昭和57年修正測量(1/25,000地形図)
海岸線は昭和47年測量の図面による

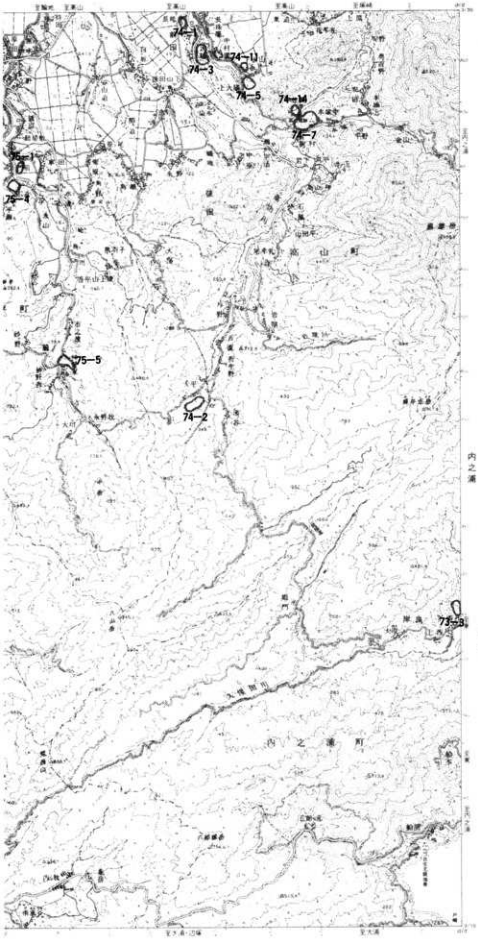
昭和60年11月30日発行（4色刷）　許可なく複製を禁ず
発行者　国土地理院

1:50,000 地形図　NH-52-8-1
おおねじめ　（関関当1号）

大根占



分布図24



鹿屋市
- 12-1 大姶良城
- 10 志々目城
- 12 陣之尾景
- 17 荒百城
- 18 西俣城
- 21 浜田城
- 26 陣　城2
- 30 年貢城
- 31 山ヶ城
- 33 志々目城
- 35 大塚山景

内之浦町
- 73-3 岸良城

高山町
- 74-1 宇都の陣
- 2 大平城
- 3 御船蔵城
- 5 求摩陣
- 7 高山城
- 11 永山陣
- 14 棚井谷の陣

吾平町
- 75-1 松下城
- 3 山吉城
- 4 篠ヶ迫城
- 5 岩下城

大根占町
- 76-1 当場中原城
- 2 高　城
- 3 高尾山景
- 4 前原城
- 5 神ノ川城

根占町
- 77-1 国見城
- 2 水流城
- 3 瀬脇城
- 4 富田城
- 5 野間城
- 6 山田城
- 7 建部城

田代町
- 78-1 田代城
- 2 原田城
- 3 諏訪城
- 4 鶴園城

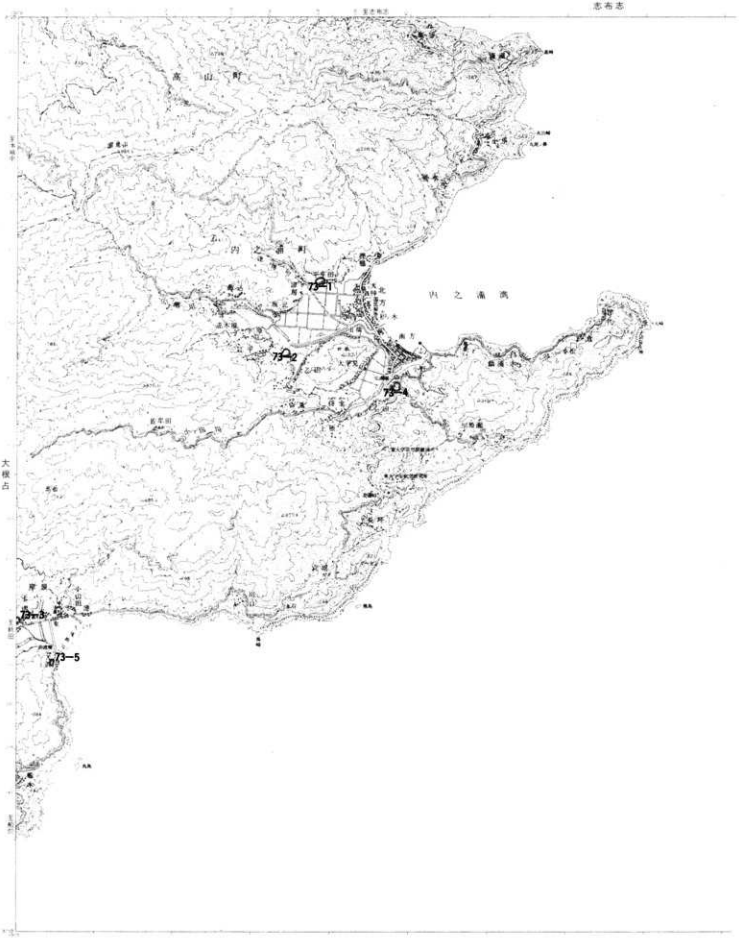
明治35年測量
昭和43年編集
昭和52年修正
資料：昭和51年修正測量1:25,000地形図
昭和52年関係2市2町資料

昭和53年10月30日発行（1-79-81）　許可なく複製を禁ずる
著作権所有者　国土地理院

1:50,000 地形図　NH-52-2-13
うちのうら　（閏間島｜号東）

内之浦

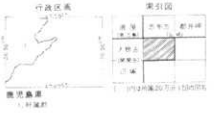
志布志



分布図25

内之浦町

73－1 荒　田　城
2 川　上　城
3 岸　良　城
4 池　田　城
5 真福寺塁



明治35年測量
昭和43年編集
昭和52年修正

昭和53年11月30日発行　一万分の一　日本地図センター承認（日セ）地形第5号の3
この地図の無断複製を禁ず
国土地理院

1:50,000 地形図 NH-52-8-6-7
さたみさき （開聞岳6号・7号）

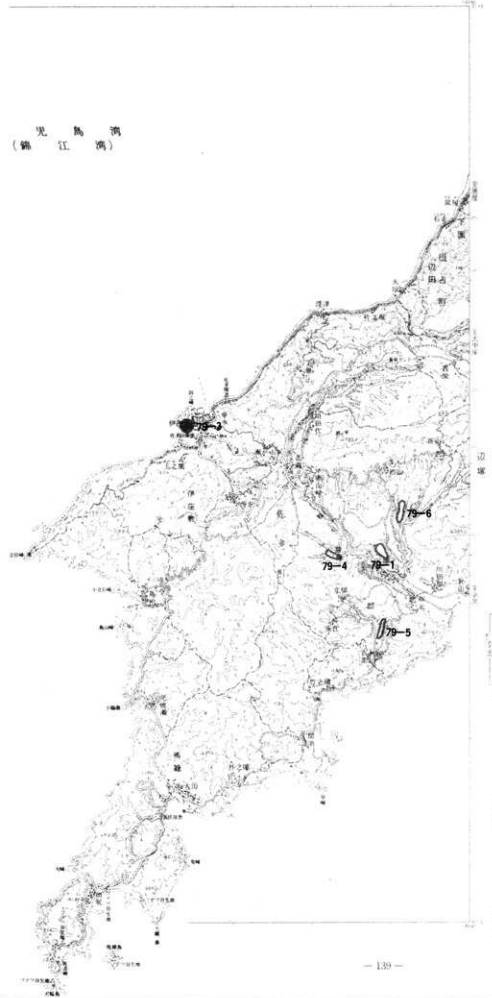
佐多岬

開聞岳

分布図26

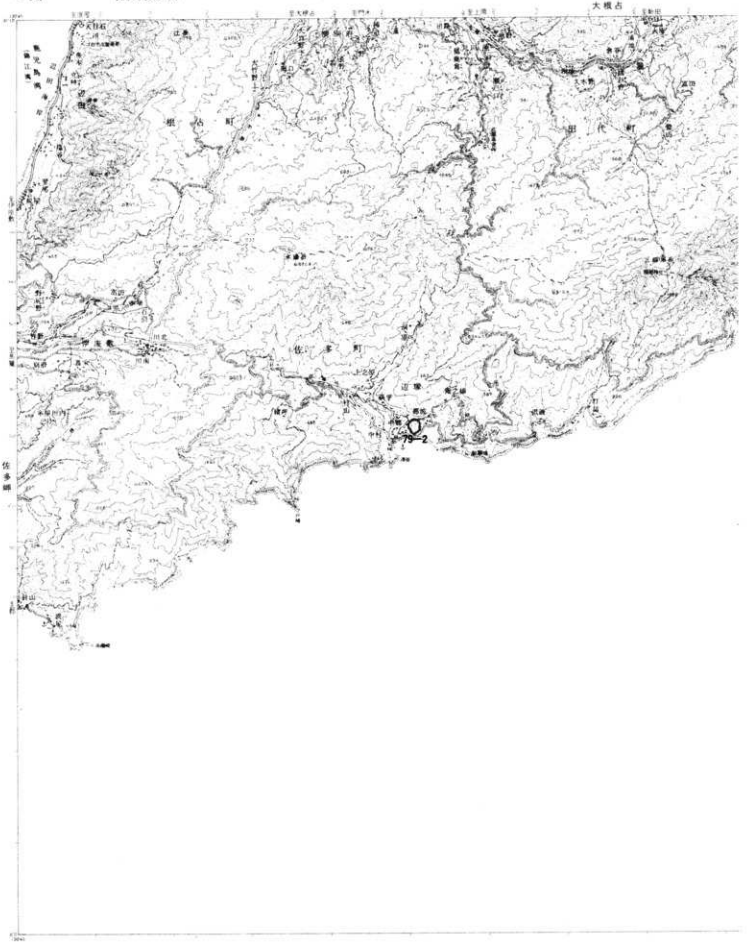
田代町

79－1 高木城
3 伊座敷城
4 馬籠城
5 古里城
6 萩崎城



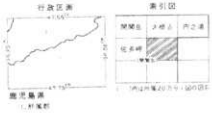
辺　塚

1:50,000 地形図　NH-52-8-2
へつか　（開聞岳2号）



分布図27

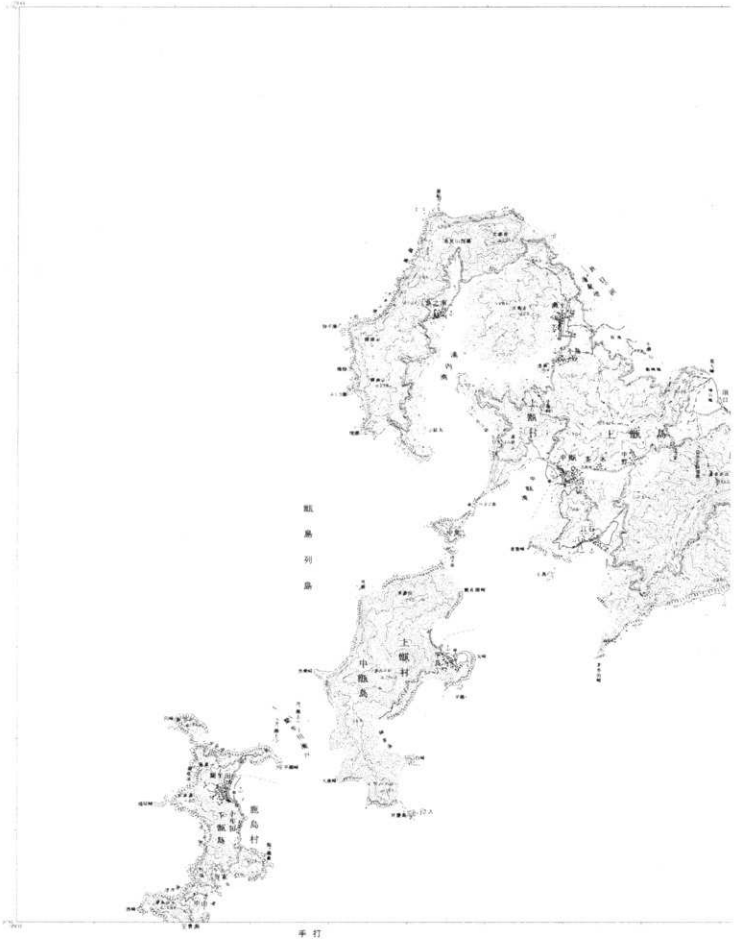
田代町
79－2 辺塚城



明治35年測量
昭和43年編集
昭和52年修正

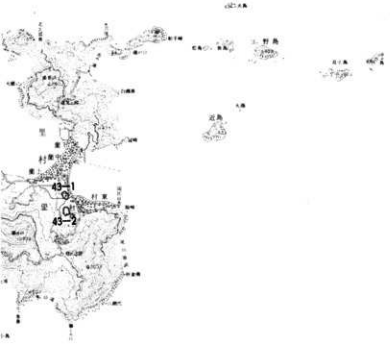
昭和54年3月30日発行（4年6回）
著作権の所有者並びに発行者　国土地理院

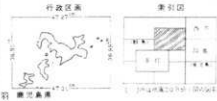
中　甑



分布図28

黒　　村
43－1　亀　　城
　　2　鶴　　城



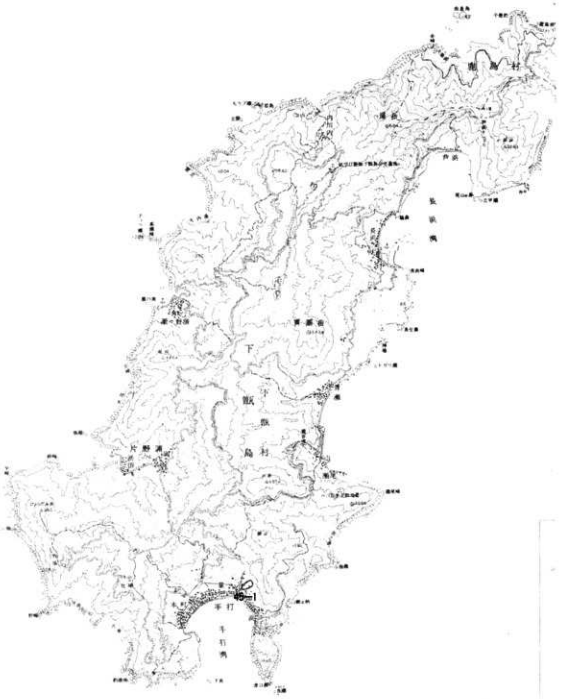


明治34年測量
昭和43年編集
昭和58年修正

昭和60年12月30日発行　1:5万
国土地理院

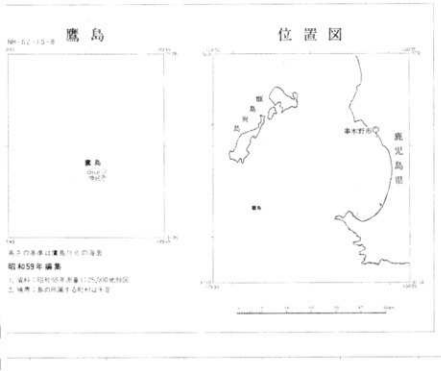
1:50,000地形図　NH-52-13-2-3-6-7
てうち　（甑島2号-3号-6号-7号）

手　打



中 甑

下 甑 村
45－1 大　　城

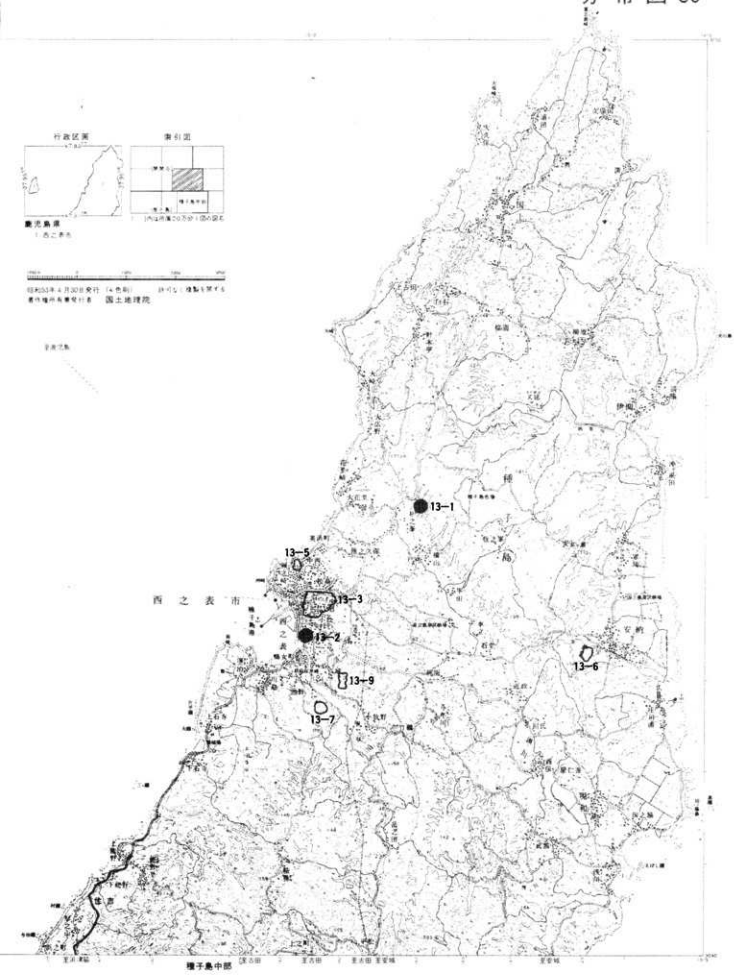


明治34年測量
昭和43年編集
昭和59年修正

西之表市

13－1 野久尾城
2 黒山尻城
3 赤尾木城
5 古　　城
6 安納城
7 屋久田城
9 古　　城

分布図30



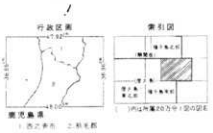
1:50,000 地形図 NH-52-9-1-3-13
たねがしまちゅうぶ （屋久島1号-1号東）

種子島中部

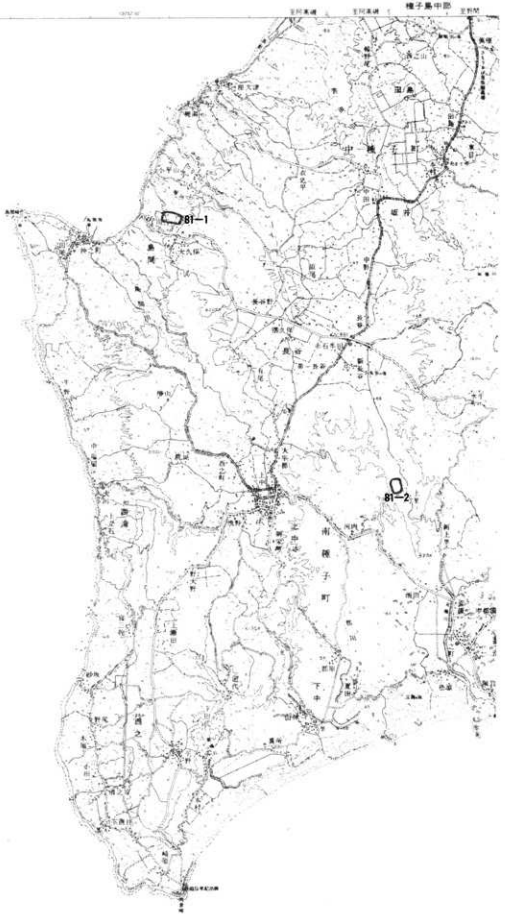
分布図31

西之表市
13－4 住吉城
8 古田城

中種子町
80－1 増田城

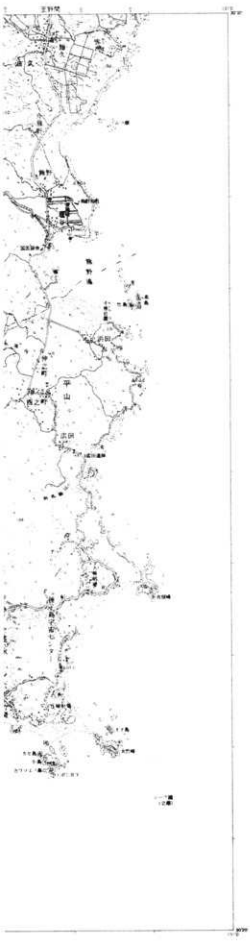


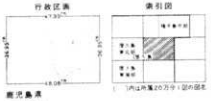
種子島南部



分布図32

南種子町
81－1 上 友 城
2 上 里 城

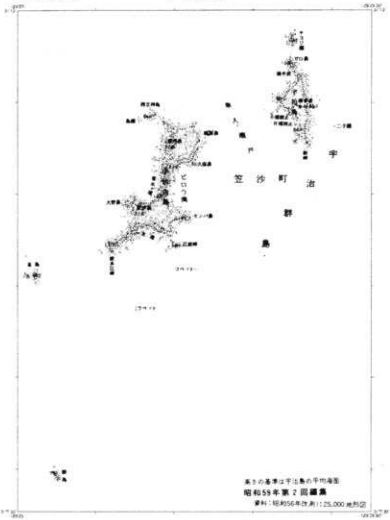




昭和52年12月20日発行 (4色刷) 許可なく複製を禁ず
発行機関発行者 国土地理院

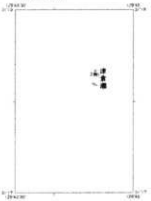
NH-52-14-9-10

宇治群島



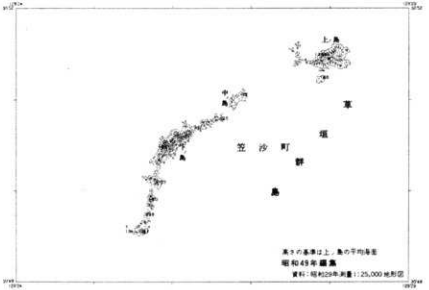
津倉瀬

NH-52-14-5

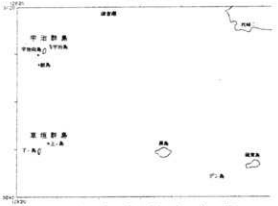


NH-52-14-11-12

草垣群島

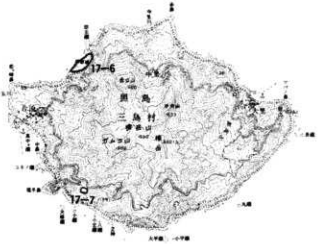


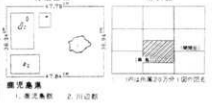
位置図



分布図 33

三島村
17－6 平家城
7 的城





鹿児島県
1. 薩摩地区　2. 川辺地区

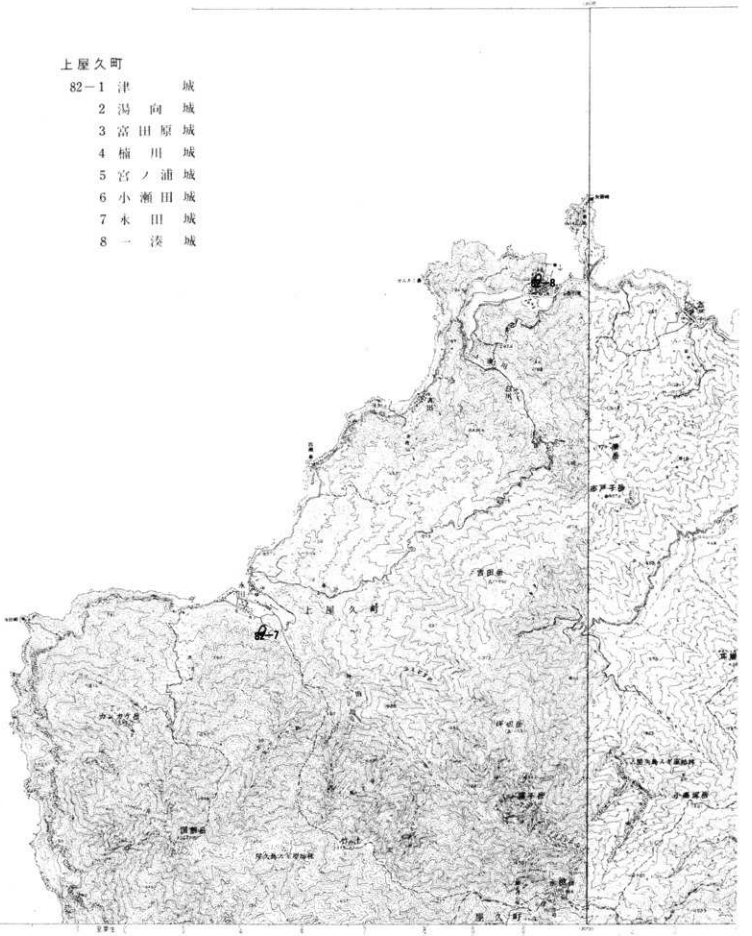
昭和49年編集
昭和59年第2回編集
資料昭和57年改測　1:25,000地形図

昭和60年3月30日発行（4色刷）
著作権者兼発行者　国土地理院

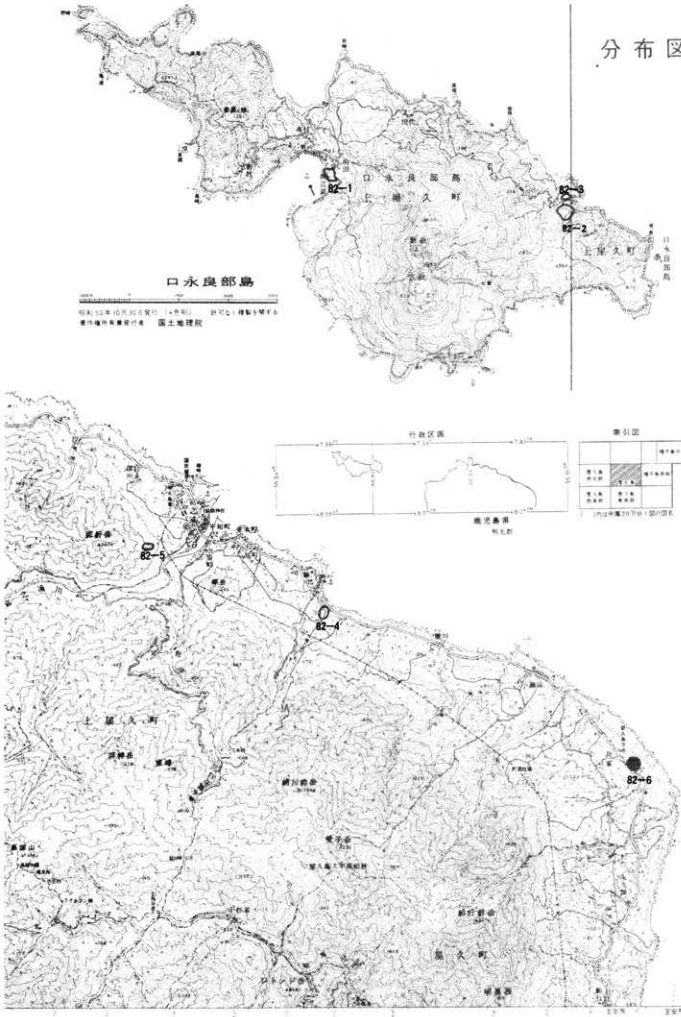
屋久島，北部

上屋久町

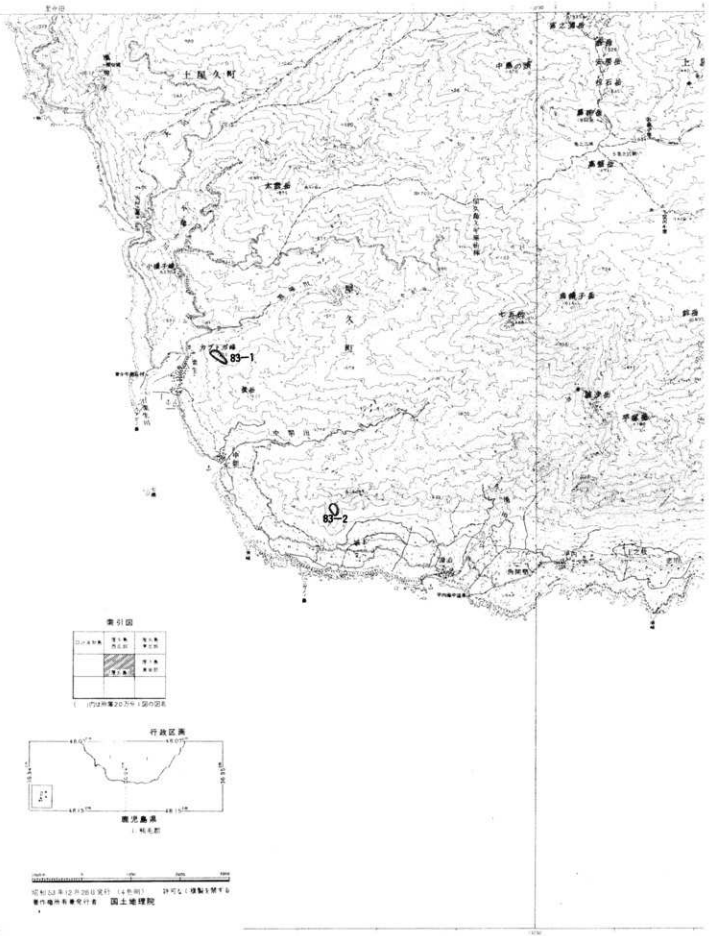
82－1 津　　域
2 湯　向　域
3 富田原　域
4 楠　川　域
5 宮ノ浦　域
6 小瀬田　域
7 永　田　域
8 一　湊　域



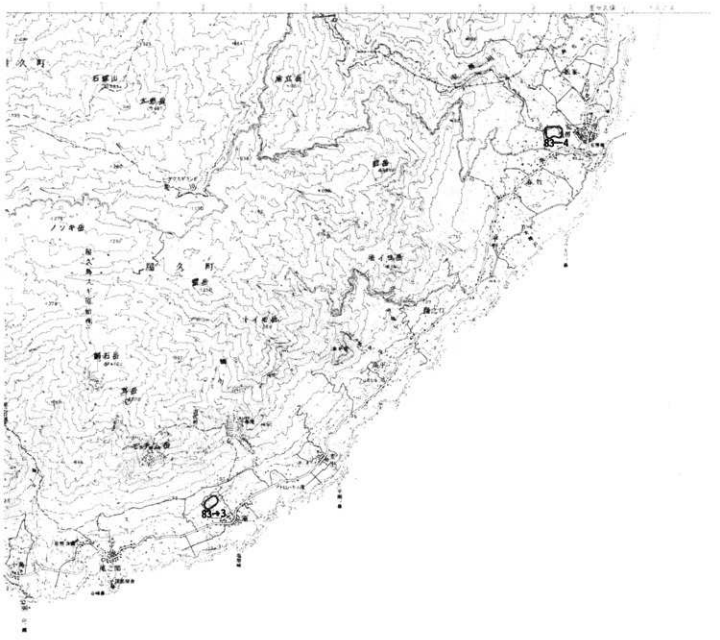
分布図 34



屋久島　南部



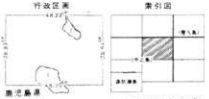
分布図35



屋久町

83－1　栗生平家城
2　湯泊平家城
3　原　城
4　安房城

中之島



昭和46年編集
資料：昭和43年 測量 1:25,000地形図

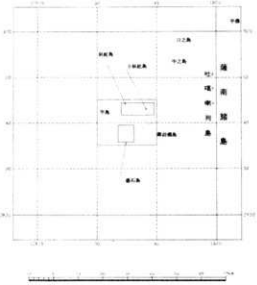
諏訪瀬島

1:50,000 地形図　NH-52-16-5･6･7･8
すわのせじま　（中之島5号･6号･7号･8号）

薩南諸島
吐噶喇列島
十島村

悪石島

位置図

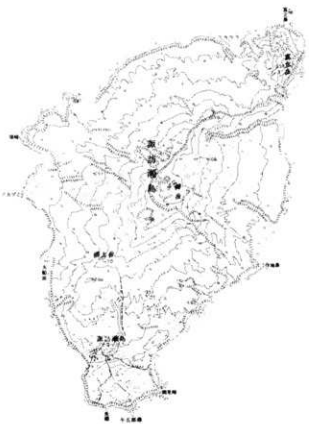


臥蛇島

薩南諸島
吐噶喇列島

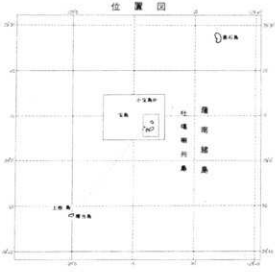
十島村

小臥蛇島



索引図

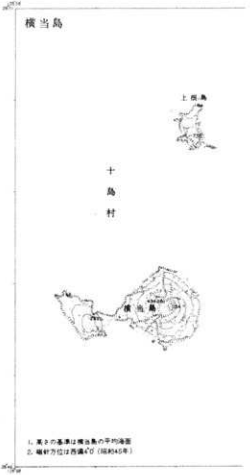
行政区画

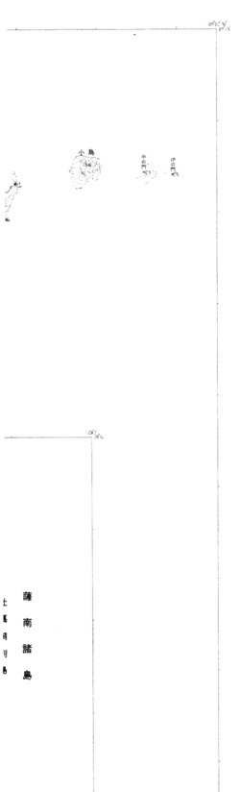


薩　南　諸　島

トカラ列島

十　島　村

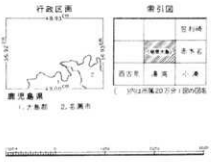


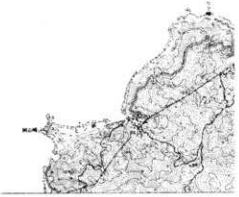


昭和５年測量
昭和46年編集
資料：昭和45年測量1:25,000地形図

昭和46年12月28日発行 著作権所有者発行者 国土地理院
（4色刷） 許可なく複製を禁ずる

西古見



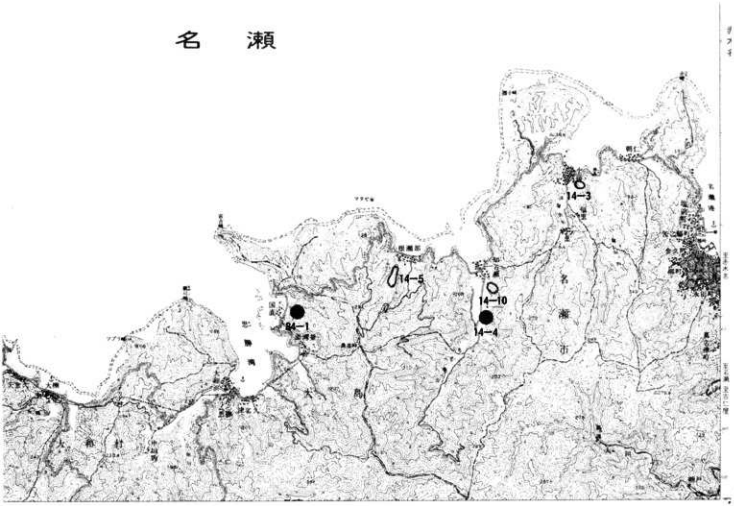


分布図39

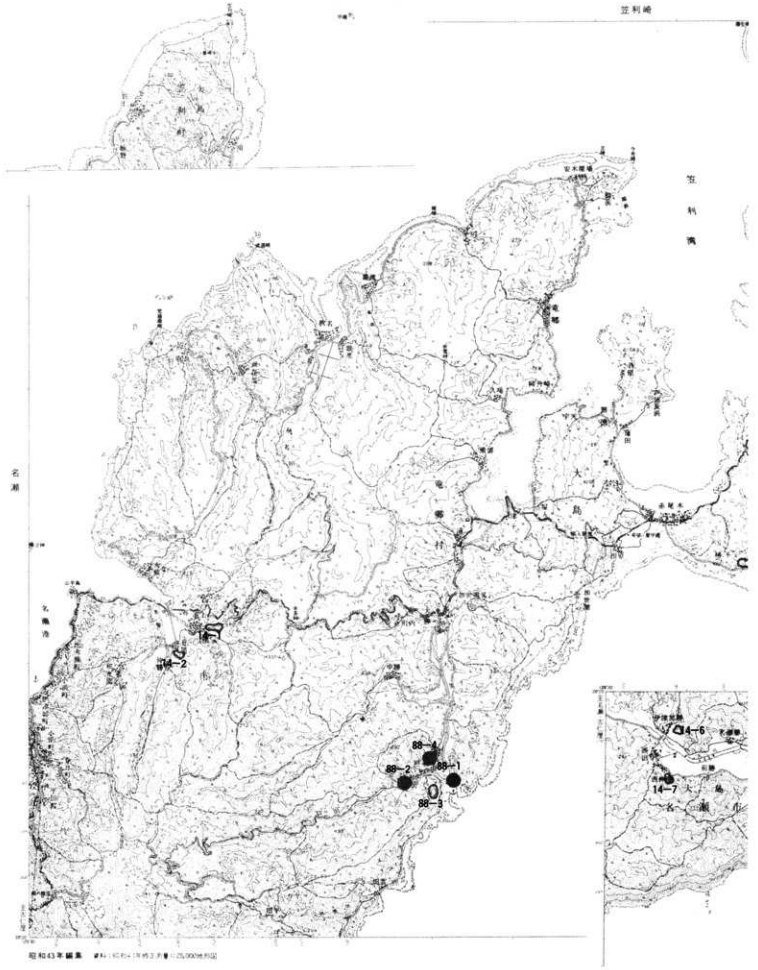
名瀬市
14－3 小宿城
4 知名瀬城
5 根瀬部城
10 上川城

大和村
84－1 国直城

瀬戸内町
87－1 海城

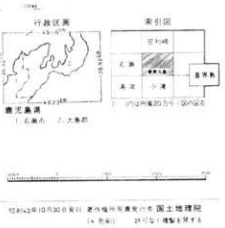


赤木名



昭和43年編集　資料：国土地理院2万5千分の1地形図

分布図 40



名瀬市

14—1 浦上城
2 有屋アジ屋敷
6 伊津部勝城
7 中勝原テラ屋敷
8 小湊アジ屋敷

竜郷町

88—1 松当城
2 屋々勝城
3 古見城
4 戸口城

笠利町

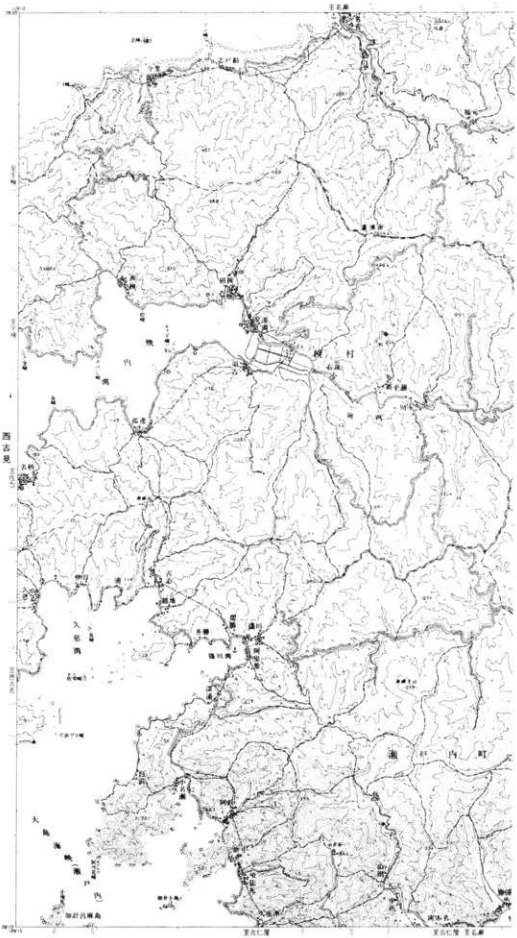
89—1 赤木名城
2 辺留城
3 富城
4 大和城
5 崎城
6 按司城
7 湊城

湯湾

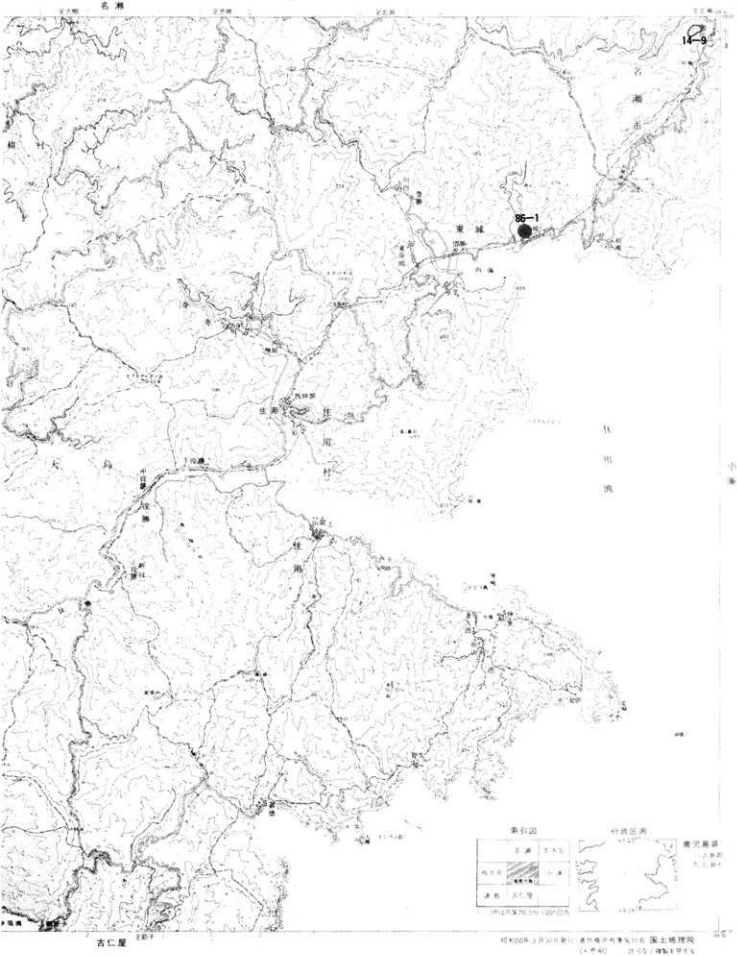
1:50,000 地形図 NH-52-18-11
ゆわん （奄美大島11号）

名瀬市
14－9 朝戸城

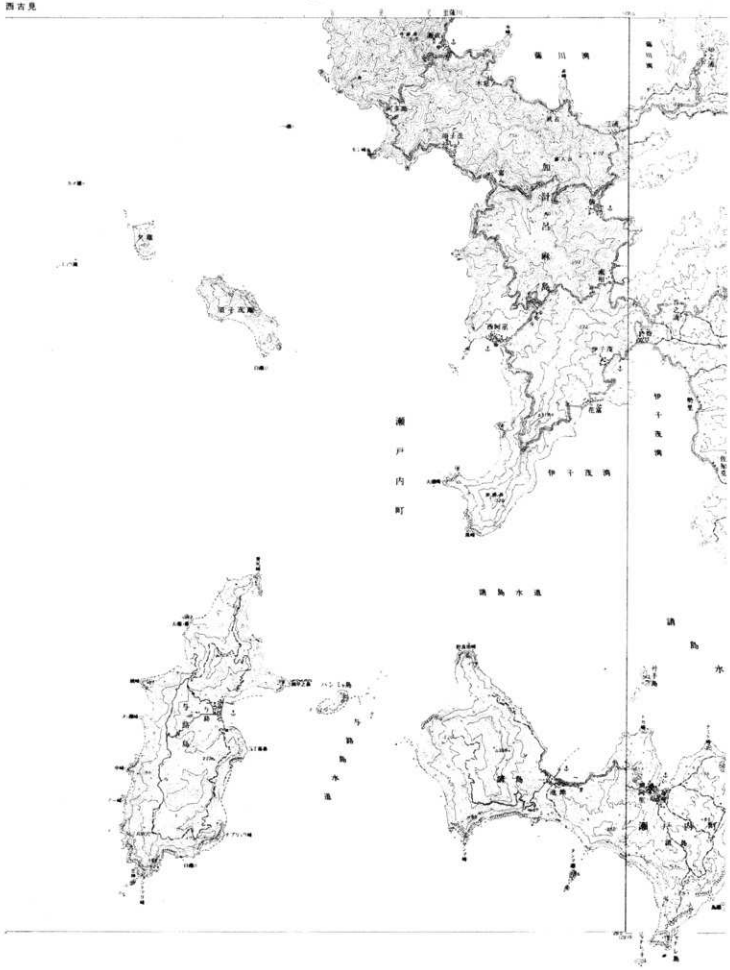
住用村
86－1 坂元城



分布図 41

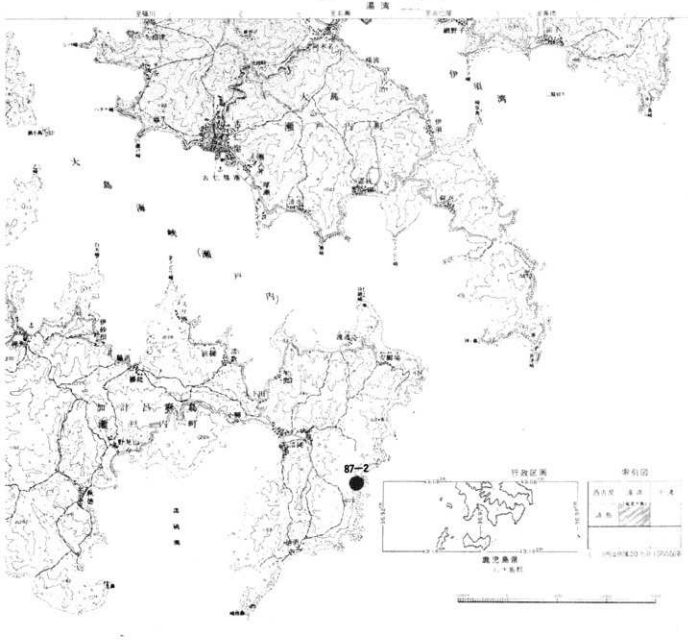


請　島



古仁屋

分布図42



瀬戸内町

87−2 諸　鈍　城

喜界島

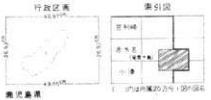
大正9年測量　1：資料：昭和46年修正測量1：25,000地形図
昭和43年編集
昭和47年修正

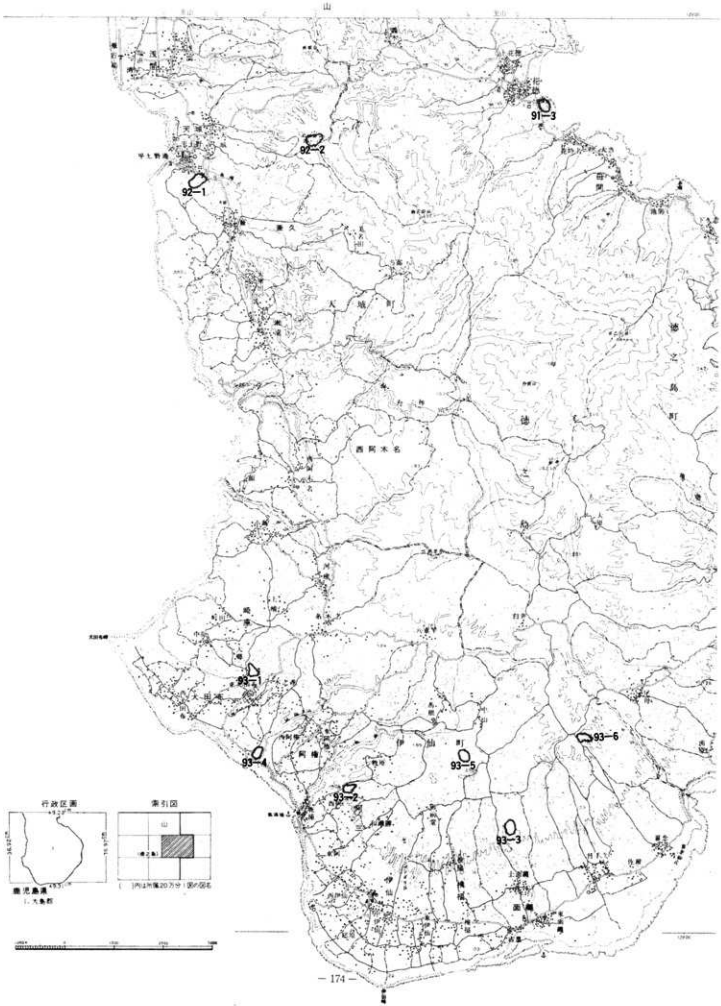
分布図43

喜界町

90—1 七　　城

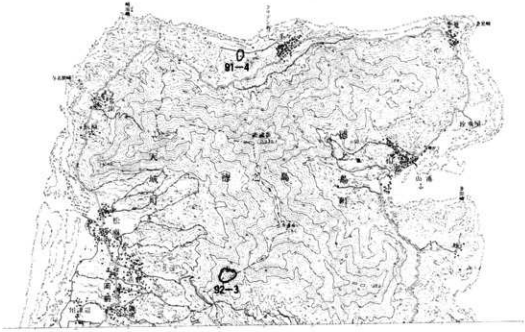
2 平　家　城




91—3
92—2
92—1
93—1
93—4
93—2
93—5
93—6
93—3
行政区画
索引図

分布図44

山



徳之島町

91−1 神之嶺城
2 佐安元屋敷
3 宮城
4 ヤト城

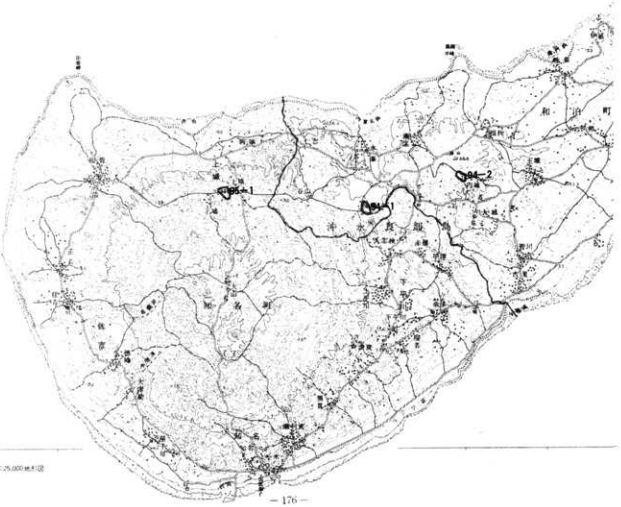
天城町

92−1 玉城
2 大和城
3 大城

伊仙町

93−1 妙嶽城
2 按司城
3 思納城
4 アマン城
5 ウウヒラ城
6 喜念按司屋敷

与論島
昭和60年3月30日発行
国土地理院


昭和43年編集

分布図45

和泊町
94−1 後蘭孫八城
2 世之主城

知名町
95−1 上城

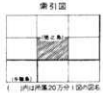
与論町
96−1 与論城
2 上城

1. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標系は第52系、中央子午線は東経129°
2. 図郭に付した地域は経緯度差1分ごとの目盛
3. 基本測量成果以外の資料追加
4. 等高線の間隔は20メートル
5. 磁針方位は西偏約3°10（昭和43年）
6. 図式は昭和40年式（1:50,000地形図図式

行政区画

鹿児島県
1. 大島郡

索引図



（ ）内は索引20万分の1図の図名

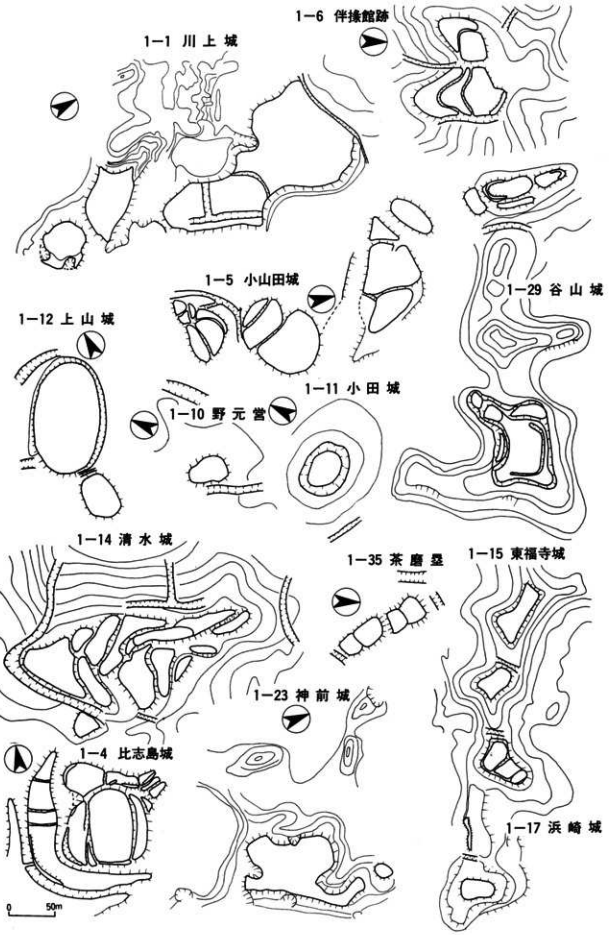
沖永良部島

昭和43年11月30日発行 著作権所有者兼発行者 国土地理院
（4色刷） 許可なく複製を禁ずる

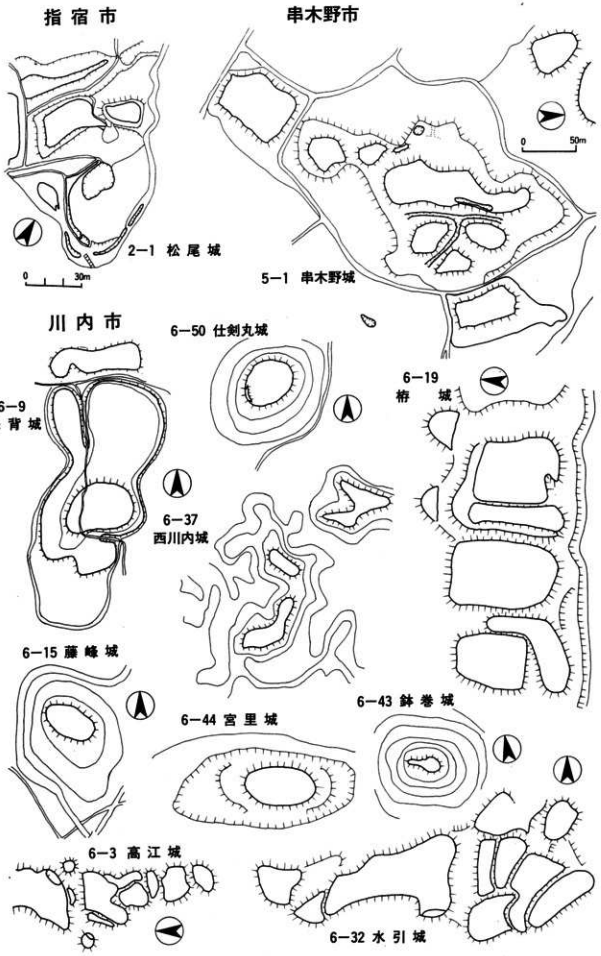
第5章　城館跡略測図

鹿児島市

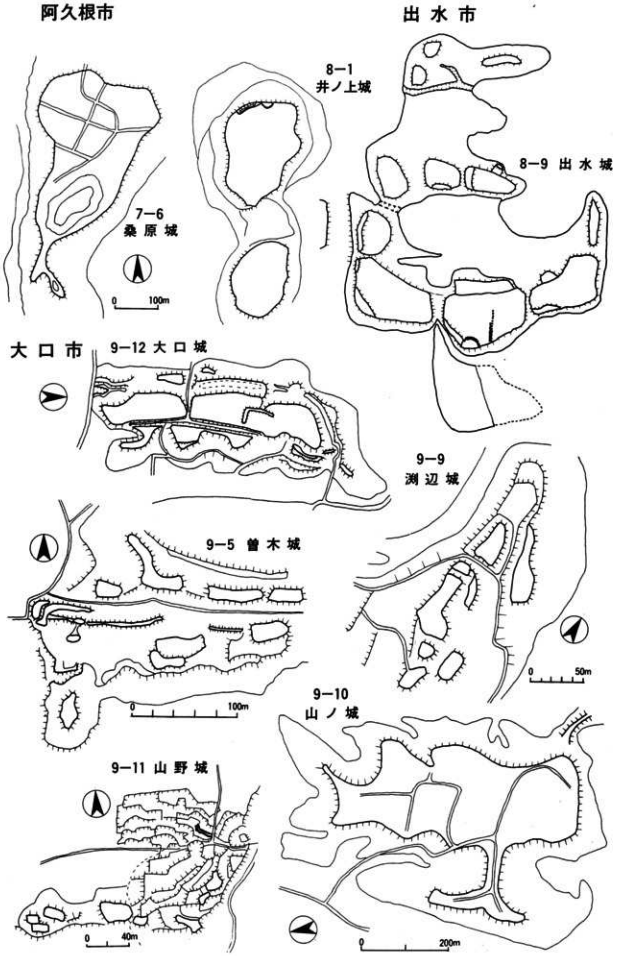
略測図1



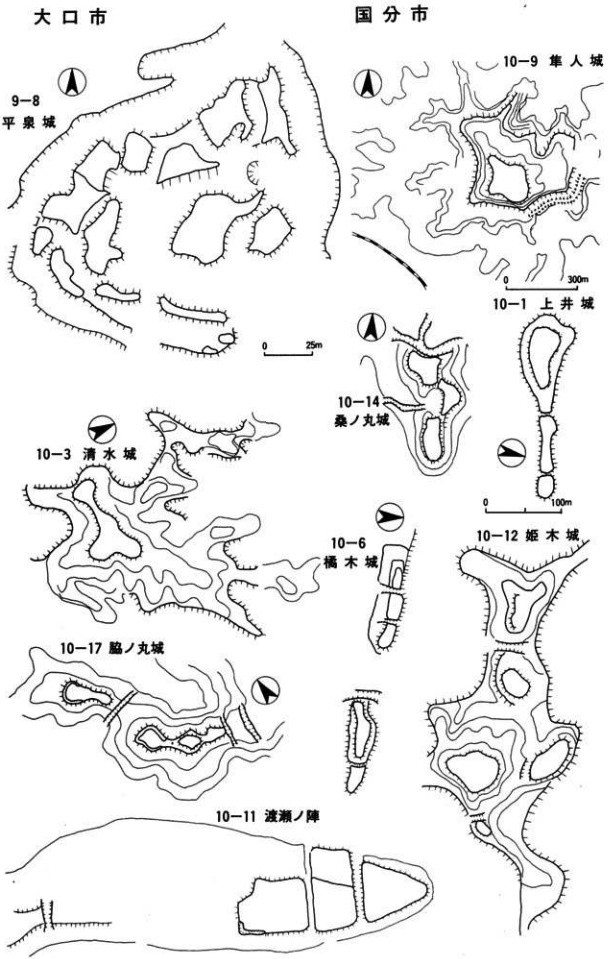
略測図 2


指宿市
串木野市
2−1 松尾城
0 30m
5−1 串木野城
0 50m
川内市
6−50 仕剣丸城
6−19
榎 城
6−9
妹背城
6−37
西川内城
6−15 藤峰城
6−44 宮里城
6−43 鉢巻城
6−3 高江城
6−32 水引城

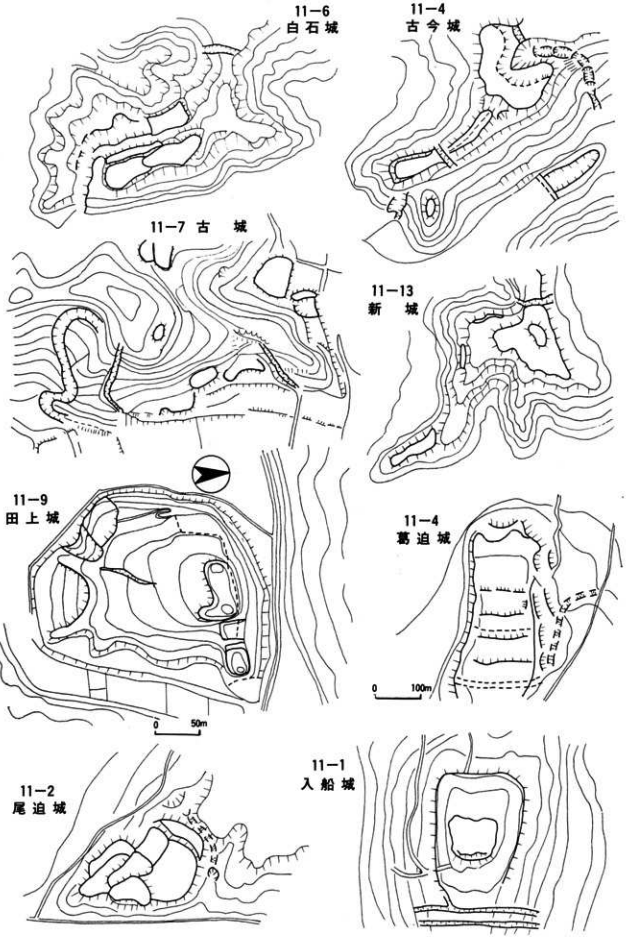
略測図 3


阿久根市
出水市
8−1
井ノ上城
8−9 出水城
7−6
桑原城
0 100m
大口市
9−12 大口城
9−9
渕辺城
9−5 曽木城
0 50m
100m
9−10
山ノ城
9−11 山野城
0 40m
0 200m

略測図 4


大口市
国分市
9−8
平泉城
0
25m
10−9 隼人城
0
300m
10−1 上井城
0
100m
10−14
桑ノ丸城
10−3 清水城
10−6
橋木城
10−12 姫木城
10−17 脇ノ丸城
10−11 渡瀬ノ陣

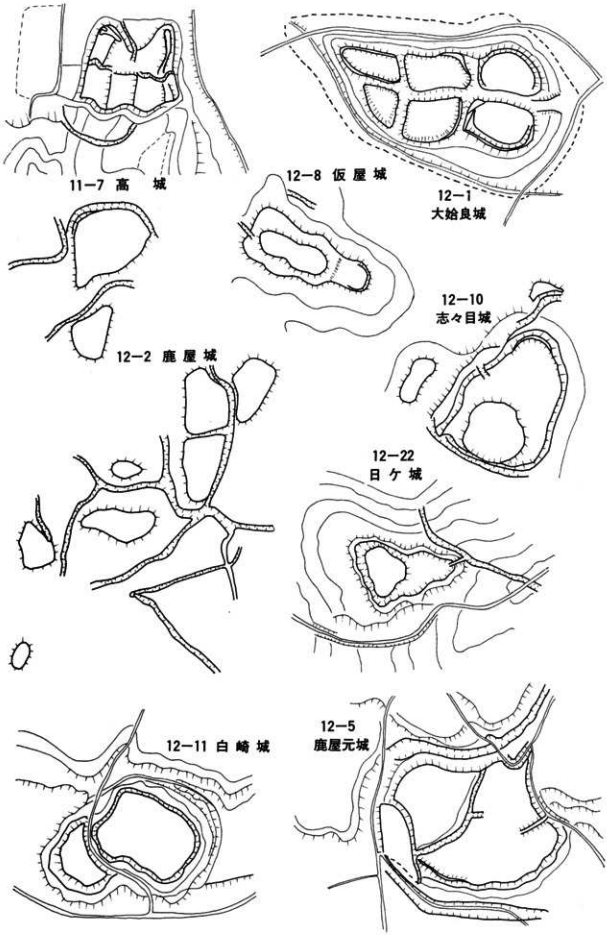
垂水市


11−6
白石城
11−4
古今城
11−7 古 城
11−13
新 城
11−9
田上城
0 50m
11−4
葛迫城
0 100m
11−2
尾迫城
11−1
入船城

略測図 6

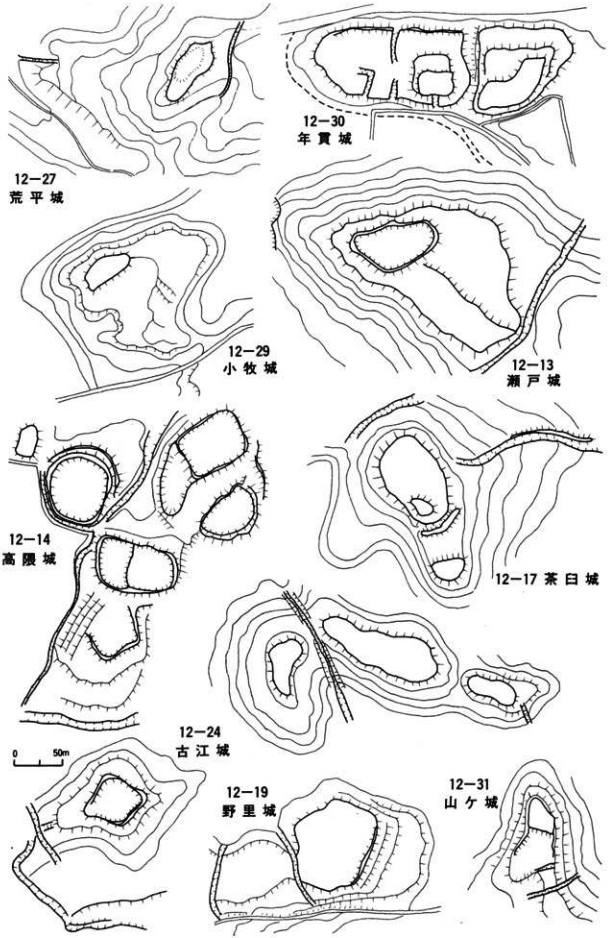
垂水市

鹿屋市

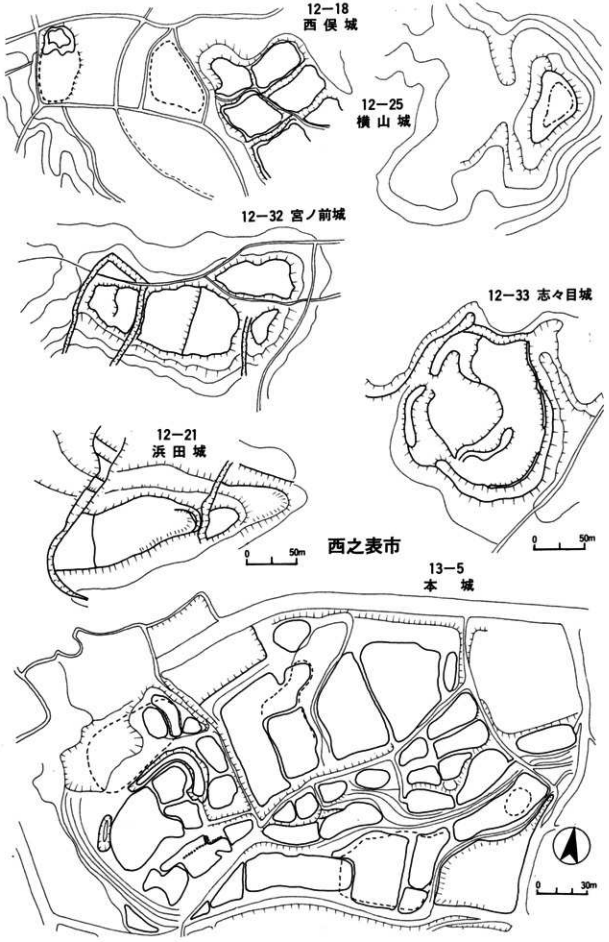

11−7 高　城
12−8 仮屋城
12−1
大始良城
12−10
志々目城
12−2 鹿屋城
12−22
日ケ城
12−11 白崎城
12−5
鹿屋元城

略測図 7

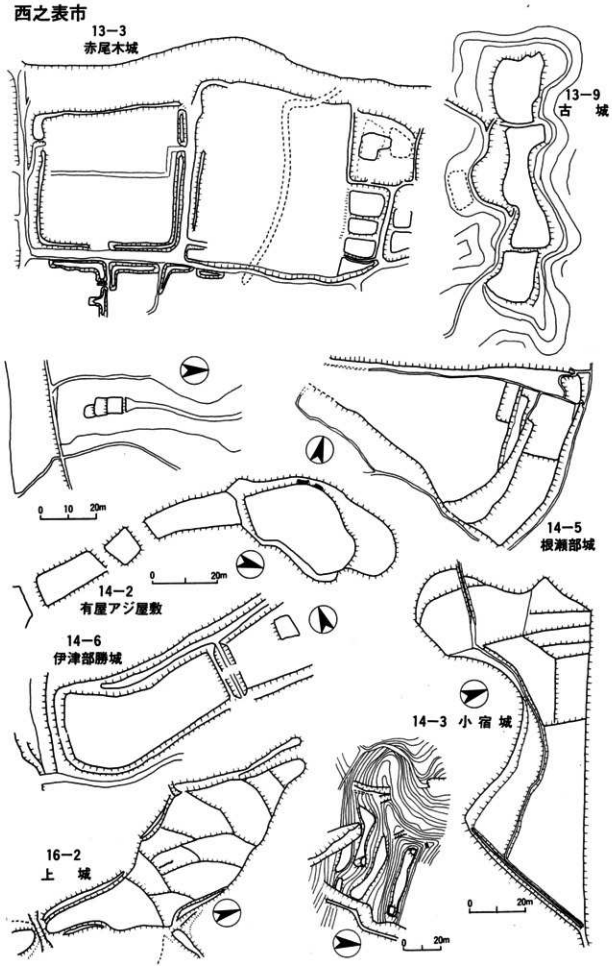
鹿屋市


12−27
荒平城
12−30
年貢城
12−29
小牧城
12−13
瀬戸城
12−14
高隈城
12−17 茶臼城
12−24
古江城
0 50m
12−19
野里城
12−31
山ケ城

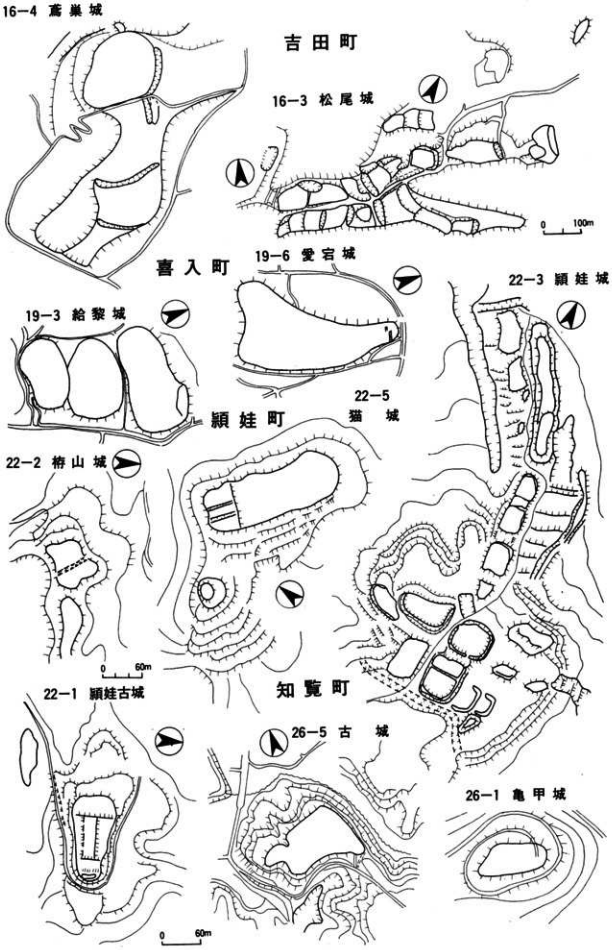
略測図 8


12−18
西俣城
12−25
横山城
12−32 宮ノ前城
12−33 志々目城
12−21
浜田城
0 50m
西之表市
13−5
本 城
0 30m

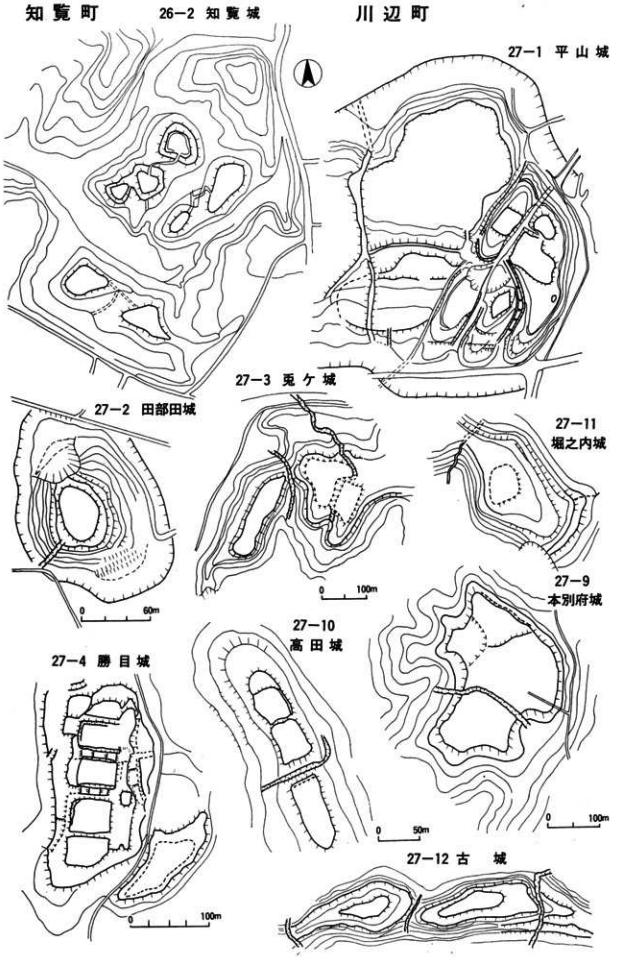
略測図 9


西之表市
13−3
赤尾木城
13−9
古　城
14−5
榎瀬部城
14−2
有屋アジ屋敷
14−6
伊津部勝城
14−3 小宿城
16−2
上　城
0 10 20m
0 20m
0 20m
0 20m

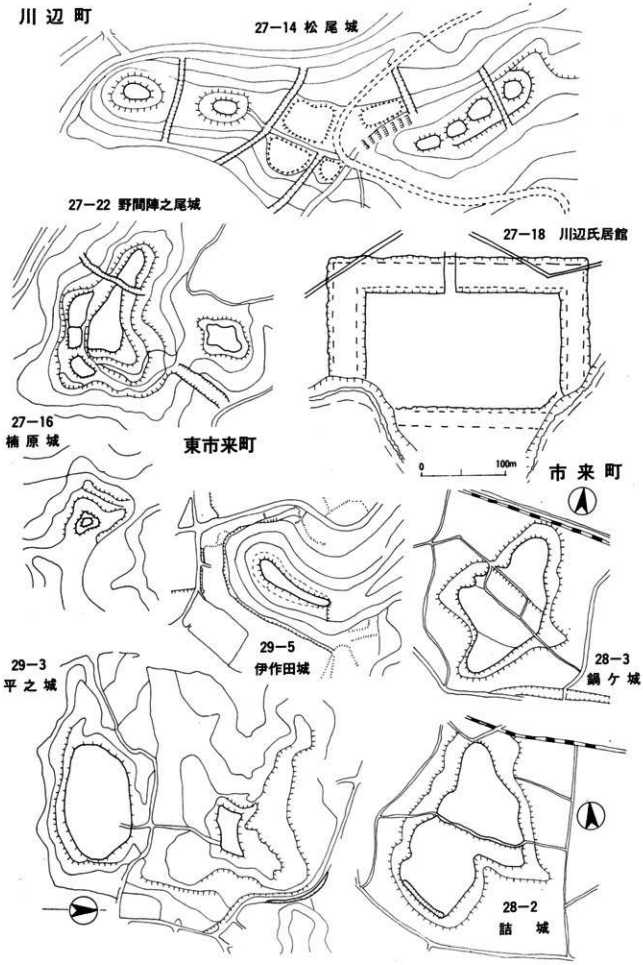
略測図10


16－4 高巣城
吉田町
16－3 松尾城
0 100m
喜入町
19－6 愛宮城
22－3 頴娃城
19－3 給黎城
22－5
猫城
頴娃町
22－2 栫山城
0 60m
知覧町
22－1 頴娃古城
26－5 古城
26－1 亀甲城
0 60m

略測図 11


知覧町
26−2 知覧城
川辺町
27−1 平山城
27−3 兎ケ城
27−2 田部田城
27−11
堀之内城
27−9
本別府城
27−10
高田城
27−4 勝目城
27−12 古 城
0 60m
0 100m
0 50m
0 100m
0 100m

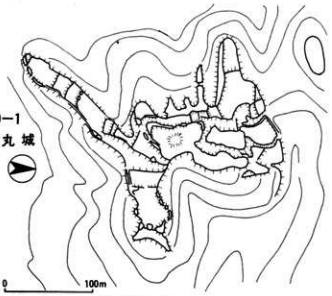
略測図 12


川辺町
27−14 松尾城
27−22 野間陣之尾城
27−18 川辺氏居館
0
100m
27−16
楠原城
東市来町
市来町
29−5
伊作田城
28−3
鍋ケ城
29−3
平之城
28−2
詰城

略測図 13

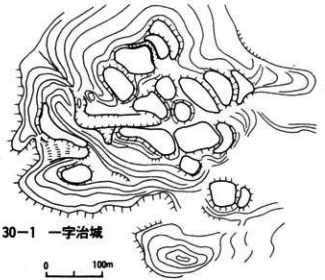
東市来町

29−1 鶴丸城



29−2 番屋城

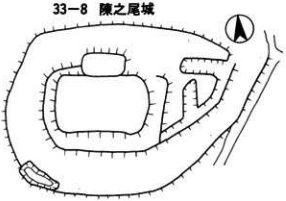
伊集院町



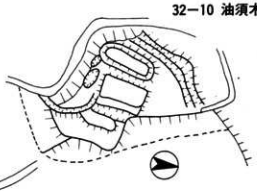
30−1 一宇治城

郡山町

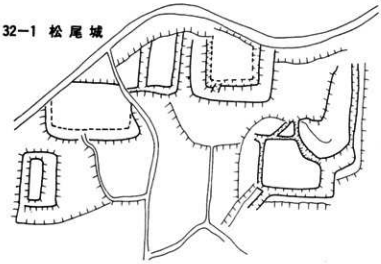
33−8 隙之尾城



32−10 油須木城

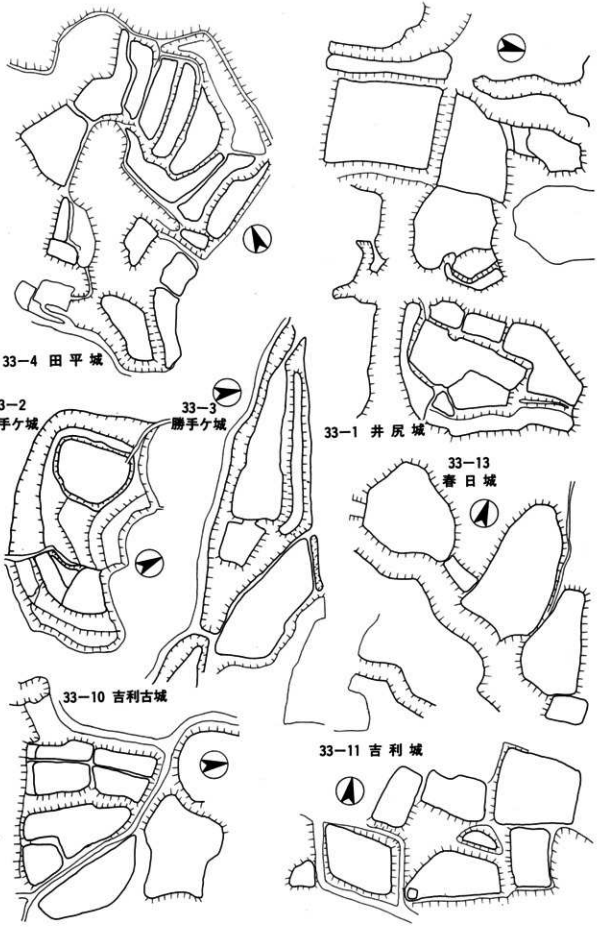


32−1 松尾城



32−5 川田城

日吉町



略測図 15

日吉町

33−8 松尾城

33−6 野崎城

吹上町

34−2
伊作城

34−15
南郷城

34−4 中原城

金峰町

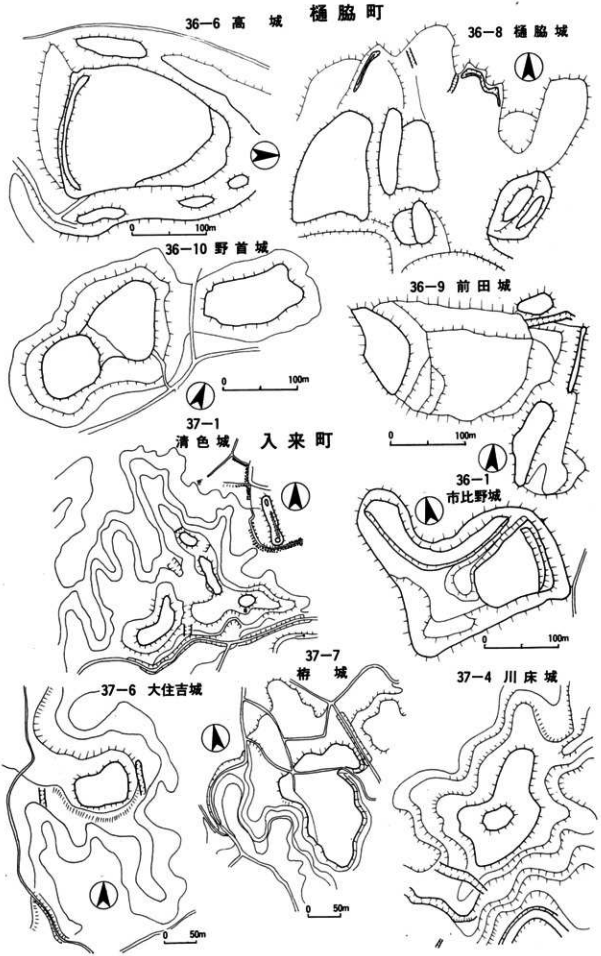
35−4
古城

35−8 牟礼ケ城

35−5 亀ケ城

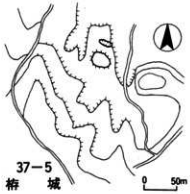
35−1
鶴之城

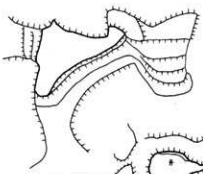
略測図 16

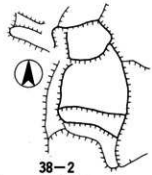

36－6 高　城
樋脇町
36－8 樋脇城
0
100m
36－10 野首城
0
100m
36－9 前田城
0
100m
37－1
清色城
入来町
36－1
市比野城
0
100m
37－7
柊　城
37－6 大住吉城
37－4 川床城
0
50m
0
50m

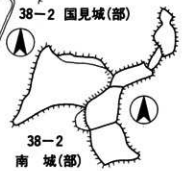
略測図 17

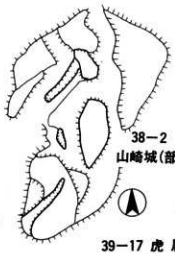
東郷町

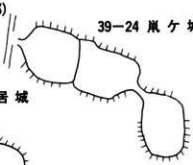


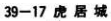




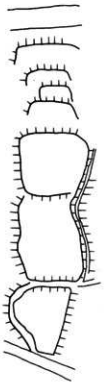


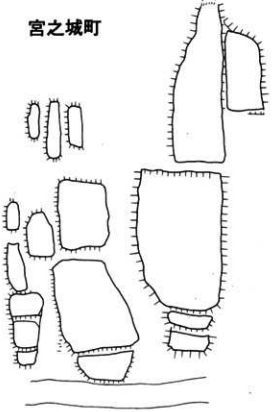


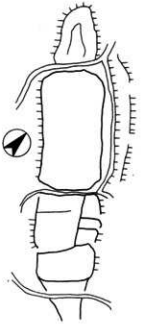




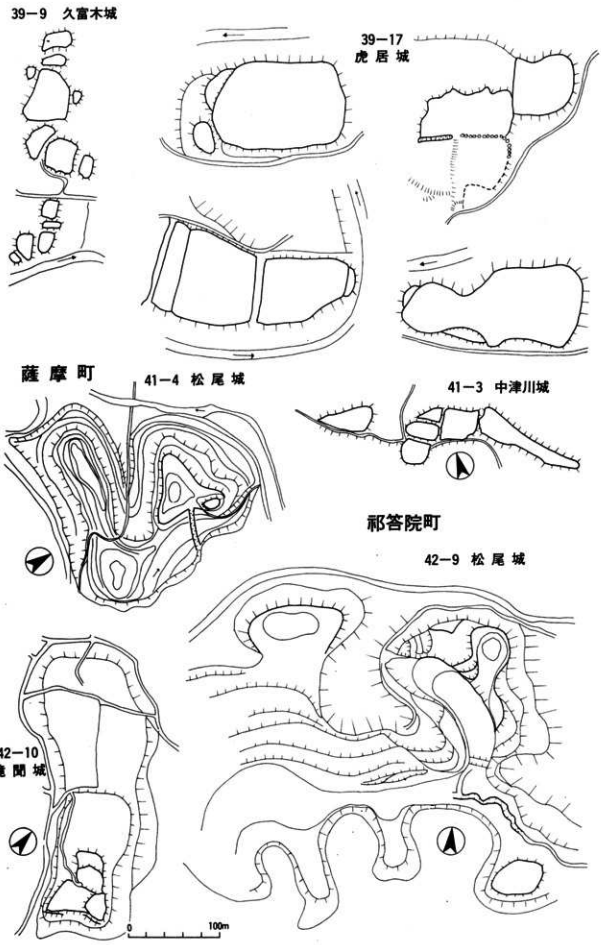
宮之城町





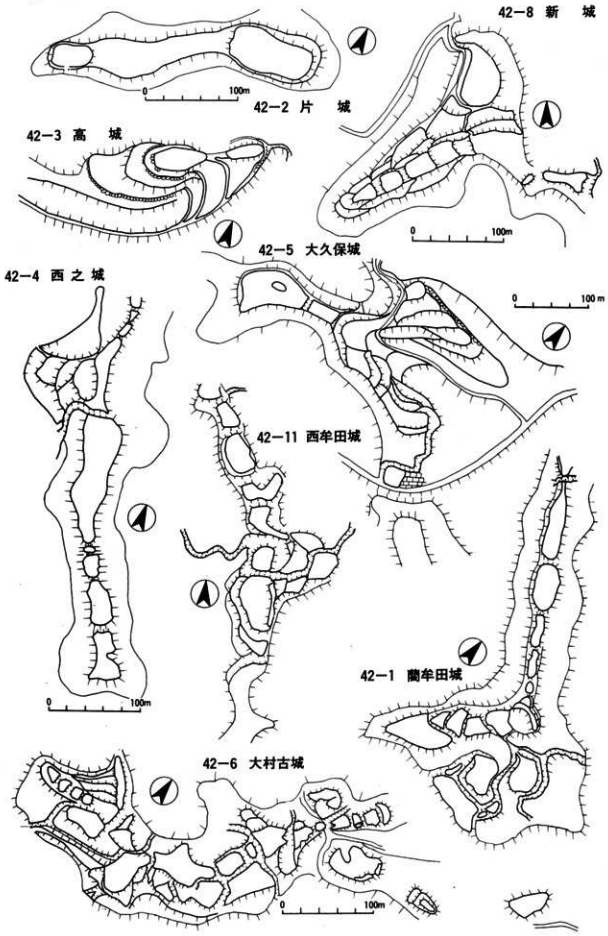


略測図 18


39−9 久富木城
39−17
虎居城
薩摩町
41−4 松尾城
41−3 中津川城
祁答院町
42−9 松尾城
42−10
滝聞城
0
100m

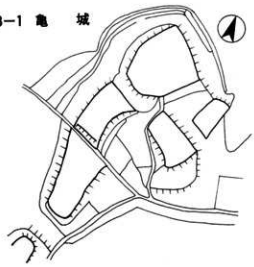
略測図 19

祁答院町


42−8 新　城
42−2 片　城
42−3 高　城
42−5 大久保城
42−4 西之城
42−11 西牟田城
42−1 蘭牟田城
42−6 大村古城
0
100m

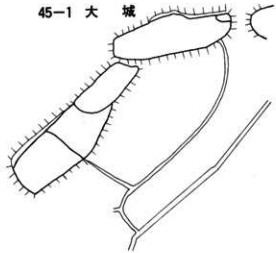
里　村

43−1 亀　城



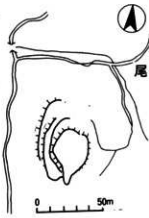
下飯村

45−1 大　城

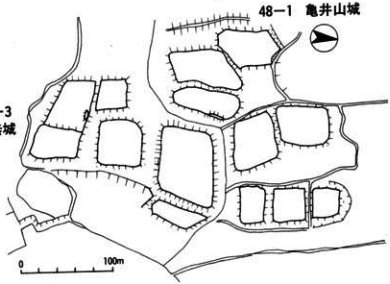


野田町

48−3
尾ケ無城

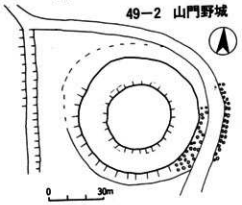


48−1 亀井山城



東　町

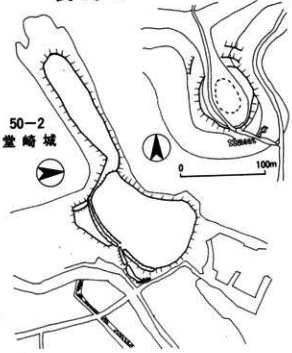
49−2 山門野城



長島町

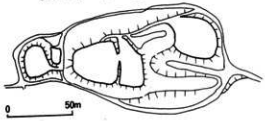
50−1 鬼　城

50−2
堂崎城

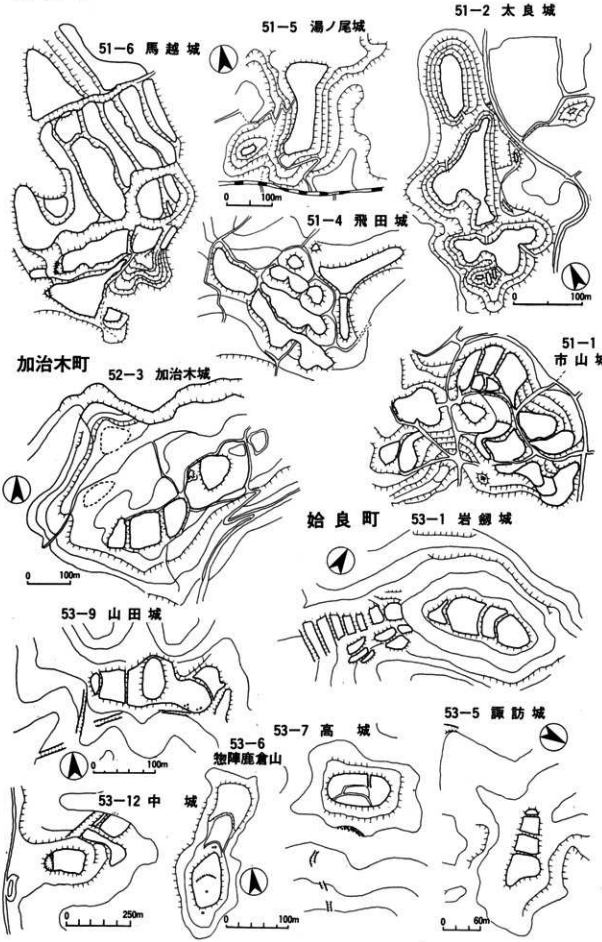


菱刈町

51−3 花北城

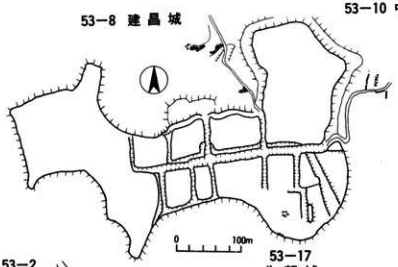


菱刈町

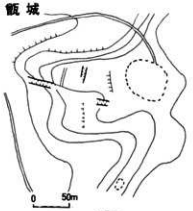

51−6 馬越城
51−5 湯ノ尾城
51−2 太良城
51−4 飛田城
51−1 市山城
加治木町
52−3 加治木城
姶良町
53−1 岩剱城
53−9 山田城
53−7 高城
53−6 物陣鹿倉山
53−5 諏訪城
53−12 中城
0 100m
0 250m
0 60m

始良町

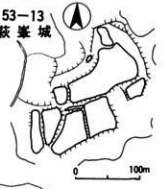
53−8 建昌城



53−10 中飯城



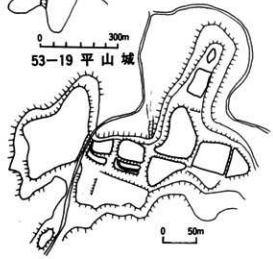
53−13 荻峯城



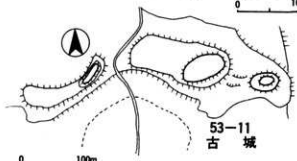
53−2 下城

53−17 為朝城

53−19 平山城

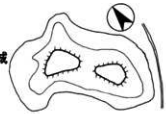


53−11 古城

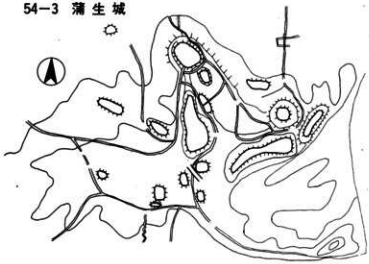


蒲生町

54−6 松元城



54−3 蒲生城

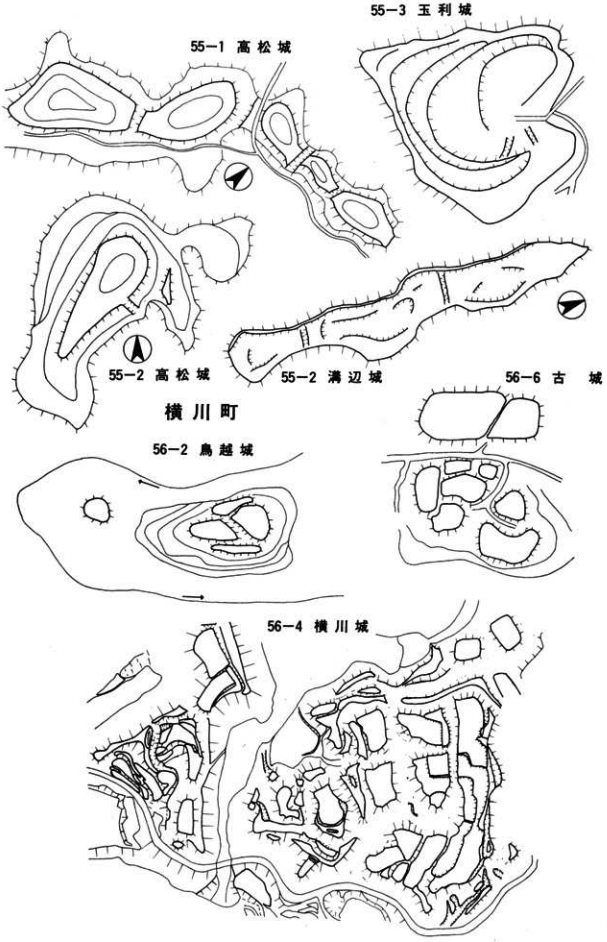


54−5 栫野城

54−7 本南陣

略測図 23

溝辺町

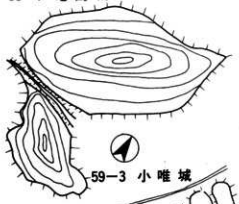


栗野町

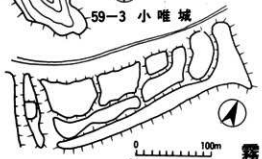
57−1 松尾城(鳥瞰図)

吉松町

58−1 亀鶴城



59−3 小唯城



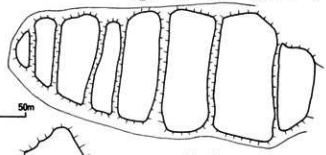
0 100m

60−4 川北城

54−4 松坂城

59−1 踊城

牧園町



0 50m

59−2 改田城

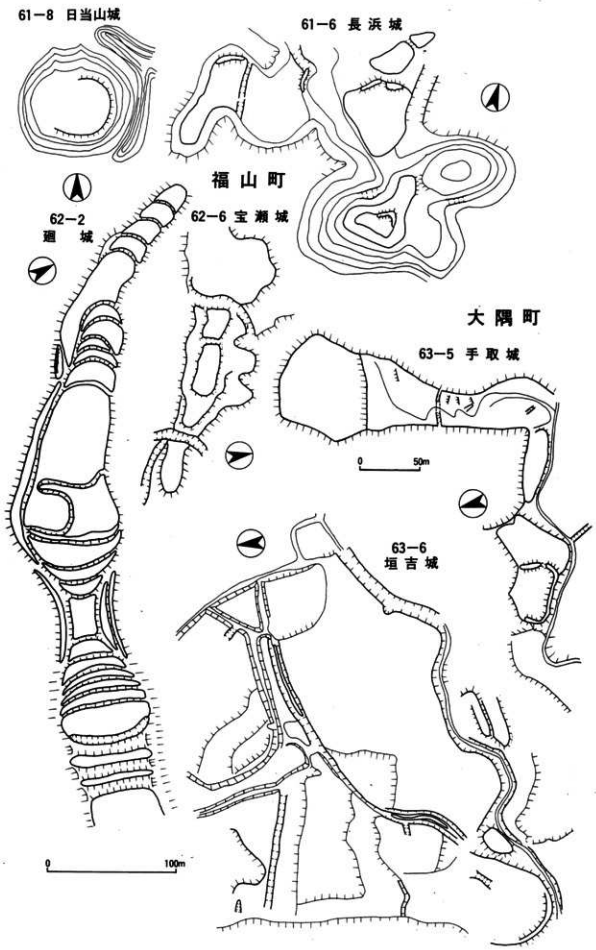
霧島町

60−3 永入城

隼人町

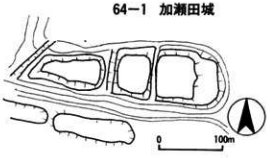
61−4 鶴ケ城

略測図25

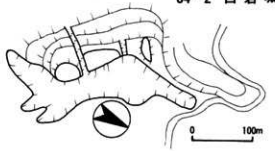

隼人町
61−8 日当山城
61−6 長浜城
福山町
62−2
廻城
62−6 宝瀬城
大隅町
63−5 手取城
0 50m
63−6
垣吉城
0 100m

輝北町

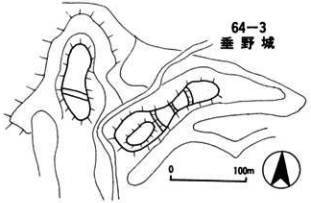
64−1 加瀬田城



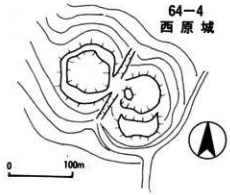
64−2 白岩城



64−3 垂野城

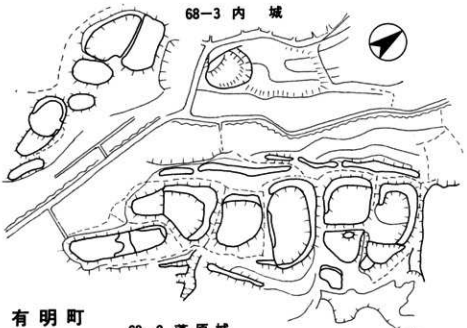


64−4 西原城

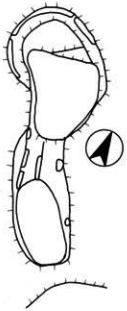


志布志町

68−3 内　城

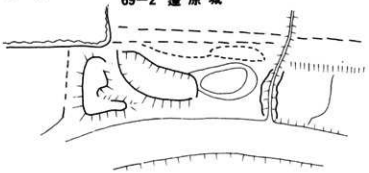


68−5 安楽城



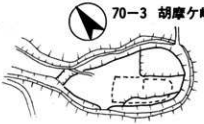
有明町

69−2 蓬原城

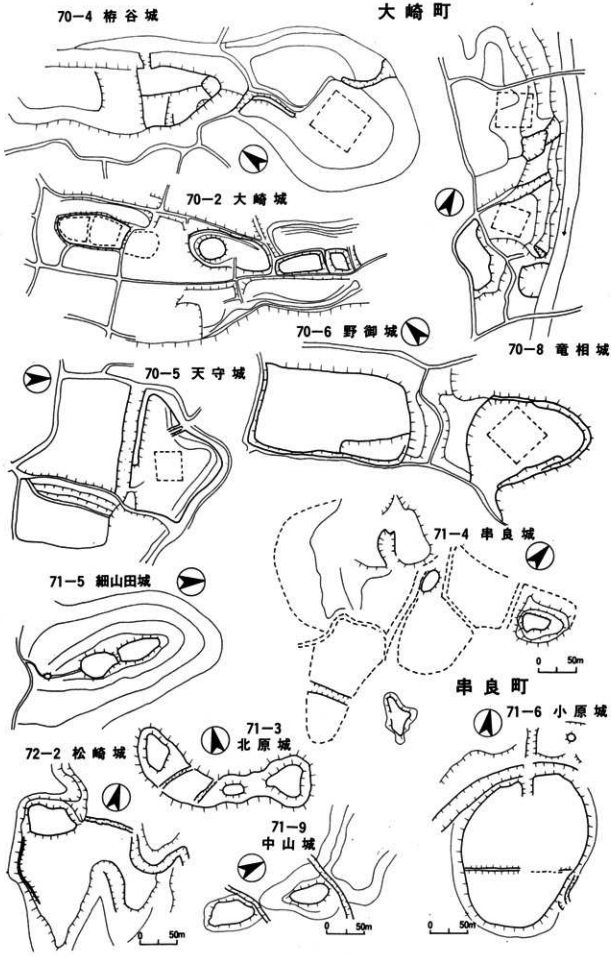


大崎町

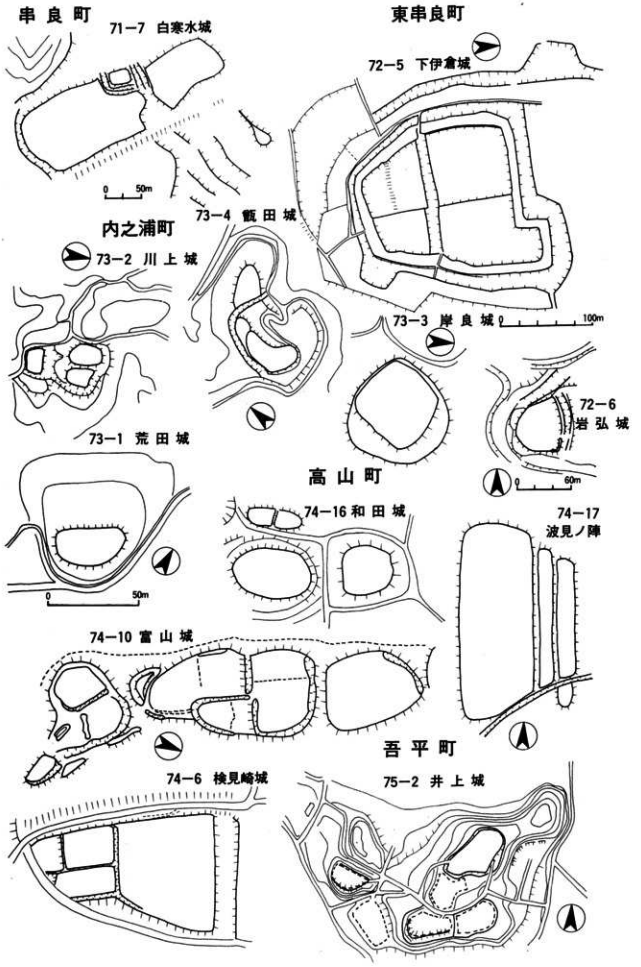
70−3 胡摩ケ崎城



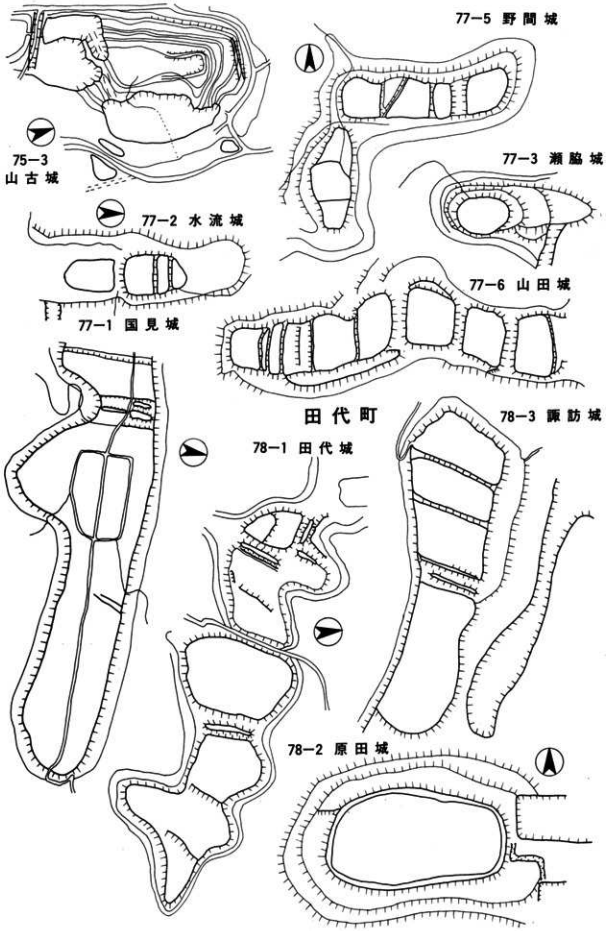
略測図27


大崎町
70−4 栫谷城
70−2 大崎城
70−6 野御城
70−8 竜相城
70−5 天守城
71−4 串良城
71−5 細山田城
串良町
71−6 小原城
71−3 北原城
72−2 松崎城
71−9 中山城
0 50m

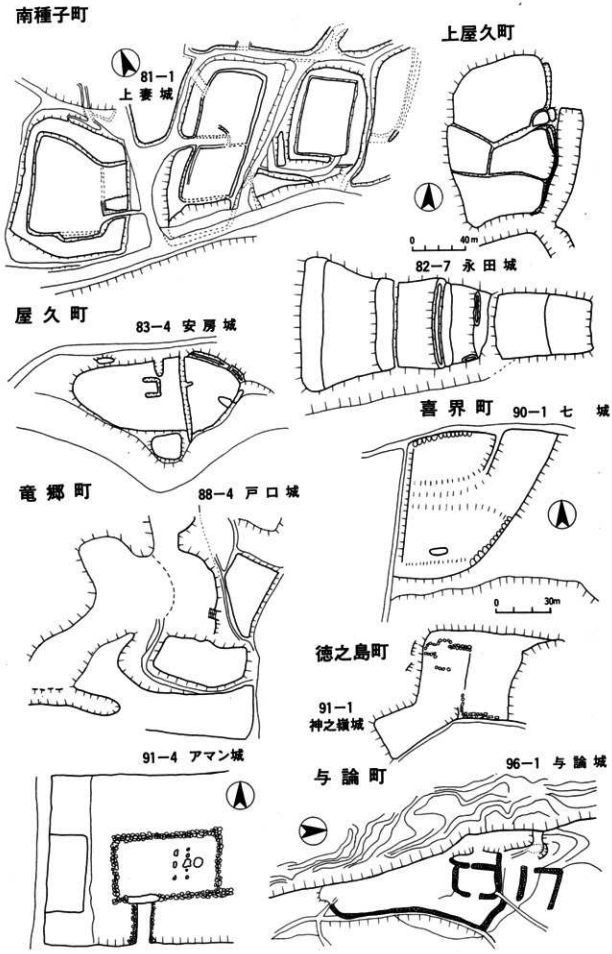
略測図 28


串良町
71−7 白寒水城
0 50m
東串良町
72−5 下伊倉城
73−4 甑田城
内之浦町
73−2 川上城
73−3 岸良城
0 100m
72−6
岩弘城
0 60m
73−1 荒田城
0 50m
高山町
74−16 和田城
74−17
波見ノ陣
74−10 富山城
吾平町
74−6 検見崎城
75−2 井上城

略測図 29


根占町
77−5 野間城
75−3
山古城
77−3 瀬脇城
77−2 水流城
77−6 山田城
77−1 国見城
田代町
78−3 諏訪城
78−1 田代城
78−2 原田城

略測図 30


南種子町
81－1
上妻城
上屋久町
0
40m
82－7 永田城
屋久町
83－4 安房城
喜界町
90－1 七城
竜郷町
88－4 戸口城
0
30m
徳之島町
91－1
神之嶺城
91－4 アマン城
与論町
96－1 与論城

第6章　文献一覧

1　旧記雑録
2　山田聖栄日記
3　三国名勝図会
4　鹿児島県地誌
5　薩隅日地理纂考
6　薩藩沿革地図（切絵図）
7　麑藩名勝考
8　文政前後城下図
9　天保年間鹿児島城下絵図
10　忠義公史料
11　上井経兼日記
12　成尾常矩図
13　見聞秘記
14　島津国史
15　旧薩摩御城下絵図
16　本藩地理拾遺集
17　谷山書記
18　桜島中万摺
19　地誌備考
20　薩州鹿児島郡吉日神社兼閣旧跡政帳
21　松尾城絵図
22　薩隅日三州吉戦場記
23　吉田衆中特高帳
24　衆中屋敷図
25　幕末東佐多浦ノ図
26　吉田郷地図
27　天保12年薩州出水郡出水高山大川神社兼閣名所旧跡産物帳
28　出水郡武本村検地名寄帳
29　出水外城図
30　平家没落由来書
31　大蛇羅家由来書
32　道ノ島代官記集成
33　滝家文書
34　後蘭孫八由緒記
35　世之主がなし内緒記

36　平行盛墓碑（瀬戸口祐左衛門盛善）
37　西藩野誌
38　田代家文書
39　祢寝文書
40　建久図田帳
41　神野の古石塔群
42　万延元年（1860）庚申年串良寺院由緒調
43　串良附近古跡略図
44　南朝忠臣，肝付兼重
45　串良群集古墳略図
46　菱刈両院古雑徴（写）
47　懐中島記
48　種子島家譜
49　御家年中行事
50　家譜略
51　方角礼帳
52　上妻氏石塔碑文
53　高来御由来記
54　碇山城址石碑（碑文に当域の由来を記す）
55　御家五代他家古城主来由記
56　薩隅日三州他家古城主由来記
57　永利氏文書（島津貞久，師久）
58　権執印文書（旧記雑録）
59　薩摩国図田帳
60　平佐城址石碑
61　高城郷由来記
62　限之城西手郷土出米綱帳
63　平佐由緒書
64　百次城主入来院淡路守之墓
65　上野氏ノ墓
66　指宿氏系図
67　帖佐来歴
68　帖佐由来記
69　帖佐古記録
70　加世田名勝史
71　再撰帳
72　伊作名勝志
73　入来院家文書
74　庶流入来院家文書

75　岡元家文書
76　寺尾家文書
77　入来院氏系図（本系図）
78　村尾氏系図
79　東郷氏系図
80　戸長役場日記（明治13年）
81　渋谷有重供養塔銘（正安２年）
82　旦那墓銘
83　大永六地蔵塔銘
84　大永板碑銘文（大永５年）
85　天文板碑銘文（天文13年）
86　仏神免名寄帳（享保10年）
87　山口家文書
88　清色北方，南方水田検注帳（1322年）
89　算田日記（1490年）
90　浦ノ名検地名寄帳（1757年）
91　種田氏系図
92　種田秀縄墓塔銘
93　岡元家系図
94　山口虚空蔵堂穴地蔵塔銘
95　十三仏塔銘（天正３＝1575年）
96　副田村検地名寄帳（享保９年）
97　近世入来文書
98　経塚地蔵塔銘（寛政13年）
99　大口城絵図
100　古戦并古戦場札帳
101　大島国絵図
102　呉良謝佐栄久由緒記
103　雑書由緒記
104　古代中世奄美史料琉球図
105　首里之主由緒記
106　八十八免良謝由緒記
107　琉球図大島図絵図
108　伊集院由緒記
109　手手ノ口文書
110　伊作名勝志
111　肝付文書
112　河上家文書37点　（地方家族の変遷）
113　薩州日置郡市来，山川神社仏閣旧蹟由緒物産

114 大日寺墓塔群庚申供養碑南朝忠臣市来氏顕彰碑
115 郷の自治制
116 郷の役職三役
117 鹿屋文書
118 肝付正統略伝
119 肝付支域
120 池端文書
121 肝付史
122 日置北郷下地中分絵図
123 六目文書
124 鹿児島県史
125 吉利郷惣絵図
126 馬場氏古系図
127 肝付落城伝聞記
128 大根占町神川鳥浜枝碑
129 飛来嶽大観現由来記
130 鹿屋市天神町長崎六地蔵
131 肝付兼続伝
132 吉利島津家系譜
133 吉利郷惣絵図
134 垂城伝誌
135 隅府温故集
136 垂城録
137 薩藩名勝誌
138 大隅日向薩摩古城塁跡
139 日本城郭誌
140 伊集院郷土史
141 浦生御城山絵図
142 山本日記
143 筑輪伊賀自記
144 慶応３年蒲生古図
145 慶応年蒲生絵図
146 赤塚源太左衛門上申状
147 薩藩旧伝集
148 祁答院記
149 宮之城記
150 名勝志再撰方志ら偏帳留
151 薩藩治革地図，天文19年
152 薩隅日故跡拾遺

153 都城史蹟考
154 宮内社司沢氏文書
155 薩藩政要録
156 蓬原外城終始由緒覚
157 大宰管内志
158 高山名勝志
159 高山惣絵図
160 志布志旧記
161 吉満家古文書
162 栖本文書
163 名勝志再撰方長島
164 牧家系図
165 藤野家文書「肥後国守護代請文」正点執筆
166 栗野踊湯横川廻勤雑記
167 栗野由来記
168 知行名寄帳
169 市来氏家系図
170 鶴田再選方札帳
171 境田代系図
172 松尾城及び周辺図
173 川辺大境并内縄引帳
174 川辺名勝誌
175 川辺郷絵図
176 成川板碑
177 島津師久注廻状案
178 旧跡帳
179 乱導集
180 伴姓頴娃氏正統系図
181 頴娃御家開書
182 池田新三郎（法名浄図）供養塔
183 頴娃村里改帳
184 甑島古記録帖
185 廻御戦場絵図
186 庄内陣記
187 伊集院家文書
188 松山尾野見村荒起御検地帳
189 松山神主檀方帳
190 大崎名勝誌
191 鎌倉実記巻７大隅郡地誌備考

192 壱岐賀州記
193 国分諸古記
194 国分麓絵図
195 国分御屋形跡
196 姶良郡清水村史蹟名勝地
197 忠相，忠親，時久三代日帳
198 川内市史古石塔編
199 神書（止上神社記録）
200 鹿籠名数記（明治４年）
201 上井覚兼日記
202 桟敷本旧三方境之跡の石碑
203 長浜古文書
204 要用集
205 阿久根名勝志
206 阿久根町郷土誌
207 出水風土誌
208 出水郡誌
209 阿久根文化財
210 時吉関係古文書

索　引

あ

青尾の城 51
赤尾木城 49
赤坂城 71
荻根城 42
朝能城 43
朝戸城 50
按司城（笠利町） 84
按司城（伊仙町） 85
愛宕城 52
愛宕山墓 75
厚地城（知覧町） 53
厚地城（都山町） 57
穴ケ城 53
穴城 62
天ケ城 69
余ケ城 61
尼ケ城 79
アマン城 85
網屋城 51
天守城 77
荒瀬城（加世田市） 38
荒瀬城（隼人町） 72
荒田営 66
荒田城 79
荒平城 49
有屋アジ屋敷 50
有屋田城 57
安納城 50
安房城 83
安楽城 77

い

飯田城 74
碇山城 40
井上城 80
池之城 58
伊作城 58
伊作田城 56
伊座敷城 82
石踊墓 73
石神城 42
石谷城 56
井尻城 57
出水ケ陣 43
出水ケ墓 42
出水城 44
一宇治城 56
市崎野小城 55
市比野城 59
市山城 66
一漆城 83
伊津部勝城 50
井手ケ城 57
井手丸墓 69
稲村城 78
犬迫墓 36
猪子岳城 40
井之上城 43
今城 59
歯牟田城 64
妹背城 40
伊屋松城 75
入船城 46
岩北城（大隅町） 74
岩北城（末吉町） 76
岩下城 81
岩頭城 67
岩弘城 79
岩元城 74
岩屋城 66

う

ウウヒラ城 85
上椙城 74
上篭城 52
上里城 54
上床城 59
上ノ城（加世田市） 38
上ノ城（喜入町） 72
上野城 52
上ノ城（末吉町） 76
上山城 36
上脇城 68
上城 51
兎ケ城 54
牛尾城 44
宇宿城 37
臼ケ城 52
宇豆峰墓 46
打越城 58
内城 43
内田城（加世田市） 38
内田城（樋脇町） 60
内ノ城 40
内山田墓 73
内青折城 55
宇都の陣 79
宇都墓 71
鵜ノ塚陣 39
馬背城 52
海城 83
梅ノ城 40
梅君ケ城 62
浦上城 50
上井城 45
上城 46
恩納城 85

え

頴娃古城 52
頴娃城 52
江田城 59
永良部崎城 51

お

於天城 61
王城 44
大姶良城 47
大石城 43
大内山城 56
大川上城 42
大川下城 43
大口城 44
大久保城 64
大窪城 40
大蔵館 67
大崎古城 78
大崎城 77
大下城 42
大城 64
大住吉城 60
大田尾館 55
大蛸山陣 37
太田城 43
大田城 55
大谷城 75
大田原墓 56
大塚山墓 49
大平城 44
大平城 79
大峰元城 40
大牟田城 58
大村古城 64
大山城 68
岡崎城 78
岡元城 75
尾賀椙城 41
小鹿倉城 41
尾頭小城 36
小倉城 40
尾ケ無城 65
尾迫城 46
後川内城 46
小田城（鹿児島市） 36
小田城（阿久根市） 43
小田城（隼人町） 72
踊城 71
衣刃ケ城 54
弁潮城 60
尾野見城 76
小浜古城 73
小浜墓 47
小原城 78
尾守城 38
鬼城 65

か

貝殻崎城 51
改田城 59
柿本城 39
角井ケ城 73
椙城 39
掛橋陣 70
椙城（鹿児島市） 37
椙城（川内市） 40
椙城（川内市） 41
椙城（大口市） 44
椙城（東市来町） 56
椙城（入来町） 60
椙城（入来町） 60
椙城（宮之城町） 61
椙（加治木町）） 66
椙城（霧島町） 72
椙井城（大隅町） 74
椙井城 78
椙谷城 77
椙ノ城 59
椙野城 69
椙山城（川内市） 41
椙山城（頴娃町） 52
鹿児島城 34
加治木城 66
春日城 58
加瀬田城 69
片城（都答院町） 64
片城墓 45
片城（横川町） 70
片平城 77
合戦田の陣 79
勝手ケ城 57
勝目椙城 41
勝目城 54
桂姫城 45
金原陣 70
金丸城（有明町） 77
金丸城（大崎町） 77
鹿屋一谷城 48
鹿屋古城 48
鹿屋城 48
鹿屋元城 48
鎌田城 52
上川城 50
上城 85
上神殿城 56
神ノ川城 81
神前城 37
上村城 71
亀井山城 65
亀ケ城 59
亀城 64
亀鶴城 71
亀之城 41
亀山城 58
蒲生城 69
烏城 38
狩集陣 68
仮屋城（鹿屋市） 48
仮屋城（東郷町） 61

川岩瀬城 45
川内城 46
川上城（鹿児島市） 36
河上城 55
川上城（内之浦町） 79
川北城 72
川口城 37
皮篭石城 58
川田城 57
川床城 60
河邊氏居館 55
川畑城 54
土器園墓 67
神崎山陣 63
神之嶺城 84
観音山墓 49
関白陣 45
上名楠ケ丸城 68
賀宮城 43

き

給黎城 52
菊池城 37
菊池田城 64
岸良城 79
北里城 71
木谷城 48
北原氏居館 79
北原城 78
北村城 69
北山城ケ段城 53
亀甲城 69
切手園 69
喜念按司屋敷 85
木ノ氏城 45
木牟礼城 65
木牟礼城屋形跡 65
肝付氏古城（串良町） 78
肝付氏古城（串良町） 78
旧観野城 74
清色城 60
清見城 38
霧島城 79

く

久恵城 48
久木野城 60
串木野城 39
串良城 78
久住城 41
楠原陣 55
楠元城 42
葛迫城 46
葛原墓 66
崩原城 81
国直城 83
国見城 81
久富木城 61
球摩陣（鶴田町） 63
球摩陣（菱刈町） 66
球摩陣（高山町） 80
熊之城 38
隈之城 60
雲之上城 41
苦辛城 37
栗生平家城 83
栗脇城 62
黒木御所 51
黒櫛陣 75
黒山尻城 49
桑ノ丸城 46
桑原城 43
楠川城 83

け

貝皿陣 69
検見崎城 80
検見ケ城 40
麑城 71

こ

恋ノ巣城 62
上妻城 82
幸原城 46
高山城 80
高羅城 65
後藤孫八城 85
郡田小城 45
郡山城 45
古今城 46
飯田城 79
越地城 65
古城（加世田市） 39
小城（川内市） 41
古城（西之表市） 50
小城（開聞町） 52
古城（知覧町） 53
古城（川辺町） 54
古城（東市来町） 56
小城（伊集院町） 56
古城（金峰町） 59
古城（東郷町） 61
古城（東郷町） 61
古城（宮之城町） 62
古城（宮之城町） 62
古城（給良町） 67
小城（輝北町） 75
小陣 38
小陣 39
小畦城 72
小瀬田城 83
小鷹城 44
古殿諏訪陣 55
古前城 48
小牧城 49
小松城 41
古見城 84
小湊アジ屋敷 50
小湊城 50
小廻古城 73
小宿城 50
小山田城 36
金比羅山墓 49
御所ケ原城 37
御幣薗城 80
胡摩ケ崎城 77

さ

坂元城 83
佐安元屋敷 84
境城 47
境田城 63
坂下城 39
佐方城 39
坂元城（栗野町） 71
坂元城（大隅町） 74
咲隈城 72
崎城 84
崎山城 46
桜之城 38
佐々木城 71
笹塚城 79
笹峰城 71
桟敷本陣 59
猿山古陣 54
三十町陣ノ尾 69

し

仕剣丸城 42
重信城 55
志々目城 48
志々目西城 49
雛原城 44
柴立城 53
清水城（鹿児島市） 35
清水城（川内市） 41
清水城（国分市） 45
下伊倉城 79
下井城 46
下城 67
下本城 47
下名陣ノ尾城 68
諸鈍城 83
白石ケ城 40
白石城 47
白男川城 62
白銀坂陣 68
白崎城 48
白塞水城 78
白谷城 41
白浜城 41
白岩城 75
城ケ宇都 63
城ケ尾陣 76
城ケ南城 54
城ケ原（鹿児島市） 37
城ケ原（三島村） 51
城木場城 62
城ノ園 39
新府 53
真孝高城 73
新城（川内市） 41
新城（阿久根市） 42
新城（垂水市） 47
新城（宮之城町） 62
新城（郡菅院町） 64
新城（高尾野町） 65
新城（野田町） 65
新城（給良町） 67
新城（栗野町） 71
新城（大隅町） 74
新城（志布志町） 76
真福寺墓 79
城ケ崎 70
城瀬城 67
城ノ段（宮之城町） 61
城之段（鶴田町） 63
陣　（加世田市） 39
陣　（蒲生町） 70
陣ケ岡 39
陣ケ岳 53
陣ケ平 66
陣城 49
陣城 66
陣岳墓 77
陣之内 54
陣ノ岡（串木野市） 39
陣ノ岡（栗野町） 71
陣の岡城 54
陣之尾城（大口市） 54
陣之尾城（川辺町） 54
陣ノ尾城（都山町） 57
陣ノ尾城（加治木町） 67
陣之尾城（隼人町） 73
陣之尾墓（阿久根市） 43
陣之尾墓（鹿屋市） 48
陣ノ口 46
陣山墓 53

す

末吉城 76
助之城 60
住吉城 50
諏訪城（垂水市） 47
諏訪城（給良町） 67
諏訪城（田代町） 82
諏訪原城 75

せ

瀬戸城 48
催馬楽城 36
瀬脇城 81
仙田城 52
善福寺陣 63

そ

惣陣ケ岡陣 73
総陣鹿倉山 67
総陣之尾 56
総徳ノ城 42
曽木城 44
園田城 53
染ノ城 40

た

泰野城 75
台明寺塁 45
平城（郡山町） 57
平城（宮之城町） 61
高江城 40
高江峰城 40
高尾山塁 81
高木城 82
高隈城 48
高城（川内市） 41
高城（垂水市） 47
高城（樋脇町） 60
高城（樋脇町） 60
高城（宮之城町） 61
高城（郡答院町） 64
高城（姶良町） 67
高城（志布志町） 76
高城（大根占町） 81
高須古城 48
高須城 48
高田城 54
鞠之巣陣 63
高牧城 77
高松城（国分市） 45
高松城（溝辺町） 70
高松山城 70
田上城 47
滝間城 64
竹原山陣 73
竹林城 65
田代城（阿久根市） 43
田代城（田代町） 81
田尻城 58
只角城 53
橘木城 45
立石城 74
建部城 81
建昌城 67
田中城 59
谷口城 56
谷城 43
谷峰城 37
谷山城 37
田平城 57
田部田城 54
玉城 85
玉利城 70
為朝城（知覧町） 54
為朝城（姶良町） 68
太良城 66
垂野城 75
垂水城 47
垂水本城 47
タンタコ城 40
大丸塁 72

ち

知色城 43
知名瀬城 50
茶臼ケ城（鹿児島市） 37
茶臼ケ城（隼人町） 72
茶臼城（鹿屋市） 48
茶臼城（姶良町） 68
茶円ケ尾塁 47
茶磨塁 38
智屋城 61
帖佐館 68
知覧城 53

つ

塚崎城 80
槻野城 74
津城 82
土城 39
土矢倉城 52
筒ケ迫城 81
提城 76
垣吉城 74
椿城 63
椿山陣 37
詰城 55
鶴ケ岡城 61
鶴ケ城（宮之城町） 62
鶴ケ城（隼人町） 72
鶴城 64
水流城 81
鶴園城 82
鶴田城 63
鶴ノ城 59
鶴丸城 55

て

手取城 74
寺師城 53
寺師柳丸城 69
天童山塁 80
出城 39

と

東福寺城 37
遠江ケ塁 69
時吉城 62
徳仏城 56
徳辺城 66
戸口城 84
戸子田城 63
年貢城 49
唐湊城 37
轟原城 61
飛田城 66
鳥巣城 51
鳥之巣陣 63
富隈城 72
富城 84
登見城 75
富田城 81
富山城 80
虎居城 62
虎丸城 76
鳥越城 70
鳥巣城 44
富田原城 83
堂崎城 65
堂園の陣 80
堂之平 69

な

内城（鹿児島市） 37
内城（加治木町） 56
内城（加治木町） 67
内城（志布志町） 77
中大谷城 75
中勝原テラ屋敷 50
中瓶城 67
中城（宮之城町） 62
中城（姶良町） 68
中城（姶良町） 68
中城（吉松町） 71
中津川城 63
中之城 42
中原城 58
中俣城 47
中丸城 70
中村城 79
中山城 78
長岡城 63
長尾城 45
長崎城 56
永田城 83
永利城 42
長浜城 72
永入城 72
永山陣 80
夏井城 77
夏陰城 36
七城 84
鍋ケ城 55
鍋倉柳丸塁 68
波ノ平城 37
南郷城（吹上町） 59
南郷城（末吉町） 76
南谷城 57

に

二川砦 47
西川内城 41
西之城 64
西原城 75
西俣城 48
西牟田城 64
二福城 41
滝城 84

ね

猫城 53
猫岳城 42
鼠ケ城（宮之城町） 62
鼠ケ城（宮之城町） 62
根瀬部城 50

の

野石城 53
野方狼煙台 77
野神城 72
野首小陣 76
野久尾城 49
野首城（坊津町） 53
野首城（川辺町） 54
野首城（樋脇町） 60
野口高城 45
野御城 77
野坂塁 46
野崎城 57
野崎陣 55
野里城 48
野間城 81
野間陣之尾城 54
野元営 36

は

赤木名城 84
萩崎城 82
萩之平陣 63
萩峰城 68
萩城 42
橋野居館 76
橋ノ口城 38
羽島城 39
祈山城 78
祈ケ峰城 58
長谷城 48
鉢巻城 42
八丸城 40
羽月城 44
花北城 66
花平陣 75
花牟礼城 39
鼻連山城 36
浜ケ城 39
浜崎城 37
浜田城 49
波見城 80
波見の陣 80
早崎塁 47
林城 47
隼人城 45
原城 83
原田城 38
原田城 82
原ノ城 61
原籠営 36
針持城 45
春山城 53
馬場城 74
馬場中原城 81
伴接館跡 36
番屋城 55

ひ

日ケ城 49
菱刈陣 70
比志島城 36
聖ノ城 57
鮭ケ城 70
日當比良 68
日当山城 72
日之迫墓 67
姫木城 45
平泉城 44
平熊城 72
平佐城 42
平之城（東市来町） 55
平之城（蒲生町） 69
平ノ城（蒲生町） 70
平松城（姶良町） 68
平松城（末吉町） 76
平松山ノ丸墓 69
平山城（川内市） 40
平山城（出水市） 44
平山城（川辺町） 54
平山城（姶良町） 68
広津田城 74
樋脇城 60
毘沙門城 57
琵琶山城 52

ふ

古城（西之表市） 50
大城 85
福沢城 74
福地城 74
福山古城 73
藤峰城 40
渕上城 60
渕辺城 44
府中館 46
薄原城 77
船間城 49
古江城 49
古垣城 58
古里城 82
古城（垂水市） 47
古城（宮之城町） 62
古城（宮之城町） 62
古田城 50

へ

平家城（三島村） 51
平家城（三島村） 51
平家盛 84
平常の陣 47
辺塚城 82
辺田城 38
別府ケ城 79
別府城 38
辺留城 84

ほ

宝球庵城 76
宝瀬城 73
細山田城 78
堀込城 79
堀ノ内（鹿児島市） 37
堀ノ内（川辺町） 54
堀ノ内（吹上町） 58
堀之内墓 73
本城 65
本南陣 69
本別府城 54

ま

舞鶴城 45
前田城 60
曲之城 79
植尾城 73
馬越城 66
馬込城 72
馬籠城 82
増田城 82
馬立陣 69
馬立墓 73
松尾城（指宿市） 38
松尾城（川内市） 42
松尾城（出水市） 43
松尾城（吉田町） 51
松尾城（川辺町） 55
松尾城（郡山町） 57
松尾城（日吉町） 58
松尾城（宮之城町） 61
松尾城（宮之城町） 61
松尾城（薩摩町） 63
松尾城（郡答院町） 64
松尾城（横川町） 71
松尾城（志布志町） 77
松尾田城 75
松尾墓 78
松坂城 69
松崎城 78
松下城 80
松当城 84
松原城 70
松元城 69
松山城 76
的城 51
丸尾城 63

み

箕冠城 60
水ノ手城 57
水引城 41
溝辺城 70
三石城 58
南別府城 54
宮城 85
宮下城 80
都城 42
宮里城 42
宮ノ浦城 83
宮ノ前城 49
妙厳城 85

む

向城 70
向陣 67
向椙城 56
牟田城 59
無名城 70
牟礼ケ城 59

め

廻城 73
目丸城 44

も

餅田中ノ丸 69
本吉田城 51
百引本城 75
紅葉城 65
百次城 42

や

矢ケ城 77
焼山営 68
屋久田城 50
奴久良城 67
矢倉城 41
安原城 43
ヤト城 85
柳井谷城 74
柳井谷の陣 80
築瀬城 63
山石城 53
山ケ城 49
山崎城 61
山田城（東郷町） 61
山田城（姶良町） 67
山田城（根占町） 81
大和城（笠利町） 84
大和城（天城町） 85
山門野城 65
山野上山城 73
山ノ城（大口市） 44
山ノ城（吹上町） 58
山野城（大口市） 42
山古城 81
屋々勝城 84

ゆ

楡井墓 45
勇介城 59
油須木城 57
湯田城 42
湯田城 62
湯迫平家城 83
世之主城 85
湯ノ尾城 64
湯之峯砦 73
弓張城 80
湯向城 82

よ

陽春院城 68
ヨケガ迫 63
横川古城 71
横川城 71
横瀬城 78
横山城（鹿屋市） 49
横山城（桜島町） 51
吉利古城 58
吉利城 58
米倉城 52
寄田城 40
与論城 86

り

竜虎城 75
竜相城 77
領家政所 58

わ

若松城 58
脇ノ丸城 46
渡瀬ノ陣 45
和田城 80

鹿児島県の中世城館跡

昭和62年３月

編　集　鹿児島県教育委員会
発　行　昭和62年３月31日
〒892-01 鹿児島市山下町14－50
印　刷　（有）アート印刷
〒890　鹿児島市下竜尾町26－１
TEL 47－1605

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。（承認番号）昭和61九複、第352号